

**薬剤師になるために**  
Introduction to Pharmacy

**會 根 知 道 (ソネ トモミチ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	必修	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：A.ヒューマニズムについて学ぶ  
一般目標：生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

ユニット：

(1) 生と死 (一般目標：生命の尊さを認識し、人の誕生から死までの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。)

(2) 医療の担い手としてのこころ構え (一般目標：常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通じて社会に貢献できるようになるために必要な心構えを身につける。)

(3) 信頼関係の確立を目指して (一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようにするために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。)

コース：B.イントロダクション

一般目標：薬学生としてのモチベーションを高めるために、薬の専門家として身につけるべき基本的知識、技能、態度を修得し、卒業生の活躍する現場などを体験する。

ユニット：

(1) 薬学への招待 (一般目標：薬の専門家として必要な基本姿勢を身につけるために、医療、社会における薬学の役割、薬剤師の使命を知り、どのように薬学が発展してきたかを理解する。)

コース：本学独自の薬学専門科目

ユニット：リメディアル教育

一般目標：広い薬学領域を積極的に学習する意欲を高めるために、基礎系科目(数学、化学、物理、生物)が薬学専門科目にどのように関わっているのかを理解する。

授業スケジュール詳細は、講義時に配付する「薬剤師になるために 履修ガイド」等で説明する。

なお、下記到達目標を達成するために、講義は15回以上となる予定である。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回 【到達目標】 イントロダクション (1~3)**

薬学への招待

【薬剤師の活動分野】

・薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。

・薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。

・医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。

・医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。  
・疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。

【現代社会と薬学との接点】

・麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。

・薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 参加型講義(90分 X 3回)

Web 検索等による課題調査

自己学習

【評価】 小テスト(形成的評価)

成果物(課題、レポート等)(総括的評価)

到達度確認試験(総括的評価)

定期試験(総括的評価)

**第2回 【到達目標】 ヒューマニズムについて学ぶ (1~4)**

生と死

【生命の尊厳】

・人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。  
・誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる。

・医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。

・死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。

【医療の目的】

・予防、治療、延命、QOLについて説明できる。

医療の担い手としてのこころ構え

【社会の期待】

・医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。

【学習方法・自己学習課題】 参加型講義(90分 X 4回)

Web 検索等による課題調査

自己学習

【評価】 小テスト(形成的評価)

成果物(課題、レポート等)(総括的評価)

到達度確認試験(総括的評価)

定期試験(総括的評価)

**第3回 【到達目標】 実体験者から薬学を学ぶ (1~3)**

生と死

【生命の尊厳】

・人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。

・誕生に関わる倫理的問題(生殖技術、クローン技術、出生前診断など)の概略と問題点を説明できる。

・医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。

・死に関わる倫理的問題(安楽死、尊厳死、脳死など)の概略と問題点を説明できる。

【医療の目的】

・予防、治療、延命、QOLについて説明できる。

医療の担い手としてのこころ構え

【社会の期待】

・医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。

薬学への招待

【薬剤師の活動分野】

・薬剤師の活動分野(医療機関、製薬企業、衛生行政など)について概説できる。

・薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。

・医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。

・医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。

・疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。

【現代社会と薬学との接点】

・麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。

・薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 外部講師による、実体験に基づく

参加型講義(90分 X 3回)

Web 検索等による課題調査

自己学習

【評価】 成果物(課題、レポート等)(総括的評価)

到達度確認試験(総括的評価)

定期試験(総括的評価)

**第4回 【到達目標】 くすり、痛み、病気から薬学って何を考**

えてみよう！-分野横断型講義(1~4)

薬学への招待

【薬について】

・「薬とは何か」を概説できる。

・一般用医薬品と医療用医薬品の違いについて概説できる。

・薬の発見の歴史を具体例を挙げて説明できる。

・化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。

・種々の剤形とその使い方について概説できる。

【現代社会と薬学との接点】

・麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。

・薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。

・先端医療を支える医薬品開発状況について概説できる。

ヒューマニズムについて学ぶ

生と死

【医療の目的】

・予防、治療、延命、QOLについて説明できる。

信頼関係の確立を目指して

【患者の気持ちに配慮する】

・病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。

・患者の心理状態を把握し、配慮する。

・患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。

医療の担い手としてのこころ構え

【社会の期待】

・医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。

【学習方法・自己学習課題】 分野横断型・参加型講義(90分 X 4回)

ひとつの病気や薬物をテーマに、多分野の専門科目を担当している教員による共同講義

グループワーク

課題演習

【評価】 成果物(課題、レポート等)(総括的評価)

到達度確認試験(総括的評価)

定期試験(総括的評価)

**第5回 【到達目標】 ドラマから薬学を学んでみよう！-分野横断型**

講義(5~6)

薬学への招待

【薬について】

・「薬とは何か」を概説できる。

・一般用医薬品と医療用医薬品の違いについて概説できる。

- ・薬の発見の歴史を具体例を挙げて説明できる。
- ・化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。
- ・種々の剤形とその使い方について概説できる。

【現代社会と薬学との接点】

- ・麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。
- ・薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。
- ・先端医療を支える医薬品開発状況について概説できる。

ヒューマニズムについて学ぶ

生と死

【医療の目的】

- ・予防、治療、延命、QOLについて説明できる。

信頼関係の確立を目指して

【患者の気持ちに配慮する】

- ・病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。
- ・患者の心理状態を把握し、配慮する。
- ・患者の家族の心理状態を把握し、配慮する。

医療の担い手としてのこころ構え

【社会の期待】

- ・医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。

【学習方法・自己学習課題】 分野横断型・参加型講義 (90分 X 2回)

ドラマを題材に、多分野の専門科目を担当している教員による共同講義

グループワーク

課題演習

【評価】 成果物 (課題、レポート等) (総括的評価)

到達度確認試験 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

評価の時期・方法・基準

成果物の提出状況 (20%), 到達度試験 (30%), 定期試験 (50%) で評価する (100点満点中60点以上で合格)。

なお、修学状況 (出席、受講態度等) 不良の者については、40点を限度に減点することがある。

小テスト、参加型講義等に「クリッカー」を使用しますので、必ず購入すること。

教材等

教科書…「ヒューマニズム・薬学入門」スタンダード薬学シリーズ1, 日本薬学会編 東京化学同人 (4,200円+税)

「くすり、痛み、病気から薬学ってどういうもの考えた薬学概論」岩城正宏、安原智久編著、京都廣川書店 (3,200円+税)

関連科目

1年次前期に開講される「早期体験学習」ならびに全ての薬学専門科目に関連する。

担当者の研究室等

曾根, 中村, 安原:1号館2階 (薬学教育研究室, Academic Support Center (枚方キャンパス)), 上野, 奥野:1号館5階 (公衆衛生学研究室), 山下:1号館4階 (薬剤学研究室), 倉本:1号館6階 (薬理学研究室), 小森, 菊田, 首藤:6号館3階 (医療薬学研究室), 吉岡:1号館3階 (薬物治療学研究室), 福山智子:看護学部

備考

【共同担当者】

上野仁, 奥野智史, 菊田真穂, 倉本展行, 小森浩二, 首藤誠, 中村三孝, 安原智久, 山下伸二, 吉岡靖啓, 福山智子, 外部講師

化学 Chemistry				
安原智久 (ヤスハラ トモヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース: 本学独自の薬学専門教育

ユニット: リメディアル教育 (F (4) 薬学の基礎としての化学)

一般目標: 薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識を修得する。

コース: 化学系薬学を学ぶ

ユニット: C4 化学物質の性質と反応

(1) 化学物質の基本的性質

一般目標: 基本的な無機および有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 導入講義 (本学における化学系授業科目、化学

と薬)

原子の電子配置と原子軌道について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第2回 【到達目標】 電子のスピンとパウリの排他律について説明できる。

周期表に基づいて原子の諸性質 (イオン化エネルギー、電気陰性度など) を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第3回 【到達目標】 化学結合 (イオン結合、共有結合、配位結合など) について説明できる。分子の極性および双極子モーメントについて概説できる。分子をルイス構造式で書くことができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第4回 【到達目標】 薬学領域で用いられる代表的化合物を慣用名で記述できる。

基本的な化合物を簡単なIUPAC則に従い命名できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第5回 【到達目標】 分子構造模型を使用して、簡単な分子を組み立てることができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第6回 【到達目標】 軌道の混成について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第7回 【到達目標】 炭素原子を含む反応中間体 (カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、カルベン) の構造と性質を説明できる。

非共有電子対、空軌道を分子軌道の視点から説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第8回 【到達目標】 共役や共鳴の概念を説明できる。

有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第9回 【到達目標】 酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標を説明できる。

ルイス酸・塩基を定義することができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第10回 【到達目標】 窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。

イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキシ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第11回 【到達目標】 立体配座をエネルギー的視点から説明できる。

Newman投影式を用いて立体配座の説明ができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第12回 【到達目標】 シクロアルカンの立体的な歪を説明できる。シクロヘキサンの立体配座、立体配置を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

第13回 【到達目標】 分子構造模型を使用して、立体配座を説明することができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト

(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

講義中に行う小テスト (10%) および定期 (中間・期末) 試験 (90%) で評価を行う。100点満点中、60点以上で合格。

教材等

教科書…「ブルース有機化学 (上)」富岡清 他訳、化学同人 (6500円)

HGS分子構造模型 C (有機化学 学生実習用セット)、丸善 (4200円)

参考書…「薬学の基礎としての化学 I 定量的取扱い」日本薬学会編、東京化学同人 (2400円)

関連科目

本講義は有機化学 I (1 年後期)、有機化学 II (2 年前期)、有機化学 III (2 年後期) の基礎となる科目です。従って、教科書はこれら3科目と共通のもの「ブラス有機化学(上、下)」を使用します。

**担当者の研究室等**

1 号館 2 階 薬学教育研究室・Academic Support Center (枚方キャンパス)

**備考**

受講者の理解度に合わせて補講を行う場合がある。授業と同様に出席すること。

物理学 Physics				
柳田 一夫 (ヤナダ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育  
 ユニット：リメディアル教育 (F(3)薬学の基礎としての物理)  
 一般目標：薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。  
 ユニット：薬学専門教育(物理系薬学を学ぶ)C1物質の物理的性質  
 (1)物質の構造  
 一般目標：化学物質の基本的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などの基本知識を修得し、それらに応用する技術を身につける。  
 ユニット：薬学専門教育(物理系薬学を学ぶ)C1物質の物理的性質  
 (2)物質の状態 I  
 一般目標：物質の状態および相互変換過程を解析できるようになるために、熱力学の基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 F(3) [基本概念] 1~4  
 物理量の基本単位およびそれを組み合わせた組立単位を説明できる。  
 F(3) [運動の法則] 1~2.  
 運動の法則について理解し、力について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 F(3) [運動の法則]  
 1. 運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。  
 2. 直線運動、円運動、単振動などの運動を、数式を用いて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 F(3) [エネルギー]  
 1. 運動エネルギー、ポテンシャルエネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互作用について例をあげて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 F(3) [波動]  
 1. 光、音、電磁波などの波の性質を理解し、反射、屈折、干渉などの特性を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第5回** 【到達目標】 F(3) [波動]  
 1. 光の性質を理解し、屈折率、偏光について説明できる。(光の振動数や波長から光子のエネルギーを計算できる。)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 F(3) [電荷と電流]  
 1. 電荷と電流、電圧、オームの法則などを説明できる。  
 F(3) [電場と磁場]  
 1. 電場と磁場の相互関係を説明できる。  
 2. 電場、磁場の中における荷電粒子の運動を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)

- 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 C1(1) [原子・分子]  
 1. 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。  
 2. 分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。  
 C1(2) [総論]  
 3. エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第8回** 【到達目標】 F(4) [化学結合と分子]  
 3. 分子間およびイオン間相互作用と融点や沸点などとの関係を説明できる。  
 C1(2) [総論]  
 1. ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。  
 2. 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 C1(2) [エネルギー] 1~6.  
 仕事および熱の概念を説明できる。定容熱容量及び定圧熱容量について説明できる。熱力学第一法則について式を用いて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 C1(2) [エネルギー]  
 7. エンタルピーについて説明できる。  
 8. 代表的な物理変化、化学変化に伴う標準エンタルピー変化を説明し、計算できる。  
 9. 標準生成エンタルピーについて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 C1(2) [自発変化]  
 1. エントロピーについて説明できる。  
 2. 熱力学第二法則について説明できる。  
 3. 代表的な物理変化、化学変化に伴うエントロピー変化を計算できる。  
 4. 熱力学第三法則について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第12回** 【到達目標】 C1(2) [自発変化]  
 5. 自由エネルギーについて説明できる。  
 6. 熱力学関数の計算結果から、自発的な変化の方向と程度を予測できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第13回** 【到達目標】 C1(2) [自発変化]  
 7. 自由エネルギーの圧力と温度による変化を、式を用いて説明できる。  
 8. 自由エネルギーと平衡定数の温度依存性 (van't Hoff の式) について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 評価の時期・方法・基準**  
 講義中適宜提出するレポート (20%) および定期試験 (80%) で評価する。100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
**教科書**…1) 青木宏光、長田俊治、橋本直文、三輪嘉尚著 「物理化学大義-事象と理論の融合-」 京都廣川書店 (6000円+税)。  
 2) 「ニューサポート 新編 物理 I」 東京書籍 (524円+消費税)
- 関連科目**  
 物理化学 I、機器分析学
- 担当者の研究室等**  
 1号館2階 薬学教育研究室、ASC (Academic Support Center) (枚方キャンパス)
- 備考**  
 物理学は、いろいろな科目を勉強するときの基礎になります。特に、単位には早く慣れた方が良いと思います。そのために、

測定値のような物理量には、必ず単位を付けることを心がけましょう。

<b>生物学</b> Biology				
<b>會 根 知 道 (ソネ トモミチ)</b>				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育

ユニット：リメディアル教育

F (5) 薬学の基礎としての生物

一般目標：薬学を学ぶ上で必要な生物学の基礎力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体、集団レベルでの生命現象と、誕生から死への過程に関する基本的知識を修得する。

また、下記、生物系薬学 C8 生命体の成り立ち、C9 生命をミクロに理解する、C10 生体防御を効果的に学習するために、必要な基本的知識を修得する。

C8 (1) ヒトの成り立ち (一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。)

C8 (2) 生命体の基本単位としての細胞 (一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。)

C8 (3) 生体の機能調節 (一般目標：ホメオスタシス (恒常性) の維持機構を個体レベルで理解するために、生体のダイナミックな調整機構に関する基本的知識を修得する。)

C9 (1) 細胞を構成する分子 (一般目標：生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。)

C9 (2) 生命情報を担う遺伝子 (一般目標：生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する。)

C9 (3) 生命活動を担うタンパク質 (一般目標：生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。)

C9 (4) 生体エネルギー (一般目標：生命活動が生体エネルギーにより支えられていることを理解するために、食物成分からのエネルギーの産生、および糖質、脂質、タンパク質の代謝に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。)

C10 (1) 身をまもる (一般目標：ヒトの主な生体防御反応について、その機構を組織、細胞、分子レベルで理解するために、免疫系に関する基本的知識を修得する。)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回 【到達目標】** ・動物、植物、微生物の細胞について、それらの構造の違いを説明できる。

・細胞内小器官の構造と働きについて概説できる。

・細胞膜の構造と性質について概説できる。

・多細胞生物である高等動物の成り立ちを、生体高分子、細胞、組織、器官、個体に関係づけて概説できる (1)。

(内容：第1章-細胞、第2章-多細胞動物の構成について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第2回 【到達目標】** ・多細胞生物である高等動物の成り立ちを、生体高分子、細胞、組織、器官、個体に関係づけて概説できる (2)。

(内容：第4章-生体高分子のタンパク質について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第3回 【到達目標】** 多細胞生物である高等動物の成り立ちを、生体高分子、細胞、組織、器官、個体に関係づけて概説できる (3)。

(内容：第4章-生体高分子の糖質、脂質、核酸について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第4回 【到達目標】** ・独立栄養生物、従属栄養生物について説明できる。

・代謝 (異化・同化) について説明できる (1)。

・嫌気呼吸、好気呼吸について概説できる (1)。

(内容：第2章-主要器官の構成、第5章-酵素反応、糖代

謝について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第5回 【到達目標】** ・代謝 (異化・同化) について説明できる (2)。

・嫌気呼吸、好気呼吸について概説できる (2)。

(内容：第5章-アミノ酸代謝、脂質代謝、核酸代謝について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第6回 【到達目標】** ・細胞の増殖、死について概説できる。

・減数分裂について概説できる。

(内容：第3章-体細胞分裂、生殖細胞の形成について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第7回 【到達目標】** ・遺伝の基本法則 (メンデルの法則など) を説明できる。

・性染色体による性の決定と伴性遺伝を説明できる。

(内容：第6章-遺伝形質を伝える規則性、常染色体と性染色体の遺伝情報について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第8回 【到達目標】** ・遺伝とDNAについて概説できる (1)。

(内容：第7章-遺伝子の本体DNAと複製について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第9回 【到達目標】** ・遺伝とDNAについて概説できる (2)。

・進化の基本的な考え方を説明できる。

(内容：第7章-形質発現の仕組み、遺伝子の突然変異と進化について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第10回 【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス (恒常性) について概説できる (1)。

・生体の情報伝達系、防御機構 (神経系、内分泌系、免疫系) について概説できる (1)。

(内容：第8章-内部環境と神経系について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第11回 【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス (恒常性) について概説できる (2)。

・生体の情報伝達系、防御機構 (神経系、内分泌系、免疫系) について概説できる (2)。

(内容：第8章-内部環境と内分泌系について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第12回 【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス (恒常性) について概説できる (3)。

・生体の情報伝達系、防御機構 (神経系、内分泌系、免疫系) について概説できる (3)。

(内容：第8章-内分泌系と神経系の協調作用について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**第13回 【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス (恒常性) について概説できる (4)。

・生体の情報伝達系、防御機構 (神経系、内分泌系、免疫系) について概説できる (4)。

(内容：第9章-体液性免疫と細胞性免疫について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義 (講義室)

自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

**【評価】** 課題 (総括的評価)

定期試験 (総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**

課題の取り組み状況 (10%)、定期試験 (90%) で評価する。また、

上位学年の科目履修が優先する再履修学生は、定期試験 (100%)

で評価する。何れの場合も100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**

教科書…「医歯薬系学生のための illustrated 基礎生命科学」竹島浩編, 京都廣川書店 (2,800円+税) " 参考書…「ニューステージ 新生物図表」浜島書店 (870円税込み)

(高校で使用した同様な教材, 例えば「生物図録 数研出版」でもよい)

**関連科目**

基盤演習II (生物学), 基盤演習V (生化学・生理解剖学), 基盤実習・生化学, 生理解剖, 免疫学, 分子細胞生物学など

**担当者の研究室等**

1号館2階 (薬学教育研究室, Academic Support Center (枚方キャンパス))

数学 Mathematics				
島田 伸一 (シマダ シンイチ) 田畑 謙二 (タバタ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1・2・3・4	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース : 本学独自の薬学専門教育  
 ユニット : リメディアル教育 (F (6) 薬学の基礎としての数学・統計)  
 一般目標 : 薬学を学ぶ上で基礎となる数学・統計学に関する基礎知識を習得し、それらの薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。  
 補足説明 : 理工学薬学等で使われる微分積分の基礎を講義する。高校の数学の数IIIは仮定せずに講義を進める。数学IIの範囲で十分である。道具としての数学を目指すので、厳密さは時には犠牲にしても、直観的なわかり易い説明を優先する。また時間の許す限り様々な応用も例示したい。  
 到達目標 (1) 微積分の基本的計算の習得 (2) 簡単な微分方程式の解法の習熟

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 [微分法の基本]  
 微分、積分の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・接線と微分係数 ・導関数  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期テスト (総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 [微分法の基本]  
 微分、積分の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・微分計算の公式 ・1次近似式  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 1, 2の小テスト (総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 [微分法の基本]  
 微分、積分の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・関数の増減 ・速度と加速度  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期テスト (総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 [指数関数と対数関数]  
 指数関数、対数関数の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・指数法則と対数法則 ・グラフ  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 3, 4の小テスト (総括的評価)
- 第5回** 【到達目標】 [指数関数と対数関数]  
 指数関数、対数関数の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・簡単な微分方程式  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期テスト (総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 [3角関数]  
 三角関数の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・3角関数の復習 ・グラフ  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期テスト (総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 [3角関数]  
 三角関数の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・加法定理 ・3角関数の微分  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 5, 6, 7の小テスト

(総括的評価)

- 第8回** 【到達目標】 不定積分  
 ・基礎的な公式  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期テスト (総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 不定積分  
 ・置換積分  
 ・部分積分  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 8, 9の小テスト (総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 定積分  
 ・不定積分と定積分  
 ・面積と定積分  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期テスト (総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 定積分  
 ・定積分の計算  
 ・置換積分と部分積分  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 10, 11の小テスト (総括的評価)
- 第12回** 【到達目標】 定積分  
 ・表面積と回転体の体積  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期テスト (総括的評価)
- 第13回** 【到達目標】 [微分方程式]  
 基本的な微分方程式の計算ができる。(技能) ・変数分離型 ・1階線型  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 12, 13の小テスト (総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**

小テスト20%、定期テスト(期末)で80%で判定し評価する。小テストは約2週毎に実施するが、講義の進度によって前後する場合もある。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…数学 (摂南大学数学教室編)  
 参考書…"微分積分, 微分方程式と名前のついている本。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。"

**関連科目**

"物理, 化学等"

**担当者の研究室等**

島田 : 寝屋川学舎3号館3階(数学研究室) shimada@mpg.setsunan.ac.jp

有機化学I Organic Chemistry I				
安藤 章 (アンドウ アキラ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース: 化学系薬学を学ぶ  
 ユニット: C4 化学物質の性質と反応  
 一般目標: 化学物質 (医薬品および生体物質を含む) の基本的な反応性を理解するために、代表的な反応、分離法、構造決定法などについて基本的知識と、それらを実施するための基本的技能を修得する。  
 (1) 化学物質の基本的性質  
 一般目標: 基本的な無機および有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。  
 (2) 有機化合物の骨格  
 一般目標: 脂肪族および芳香族炭化水素の性質を理解するために、それぞれの基本的構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ・反応の進行を、エネルギー図を用いて説明できる。(1)  
 ・アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性について説明できる。(1)  
 ・カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。(1)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 小テスト (形成的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 ・反応の進行を、エネルギー図を用いて説明できる。(2)  
 ・アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性に

ついて説明できる。(2)

・カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。(2)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第3回 【到達目標】 ・アルケンへのハロゲン化水素の付加反応の位置選択性について説明できる。(3)

・カルボカチオンの級数と安定性について説明できる。(3)

・アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性 (アンチ付加) を説明できる。(1)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第4回 【到達目標】 ・アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性 (アンチ付加) を説明できる。(2)

・アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。(1)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第5回 【到達目標】 ・アルケンへの臭素の付加反応の機構を図示し、反応の立体特異性 (アンチ付加) を説明できる。(3)

・アルケンへの代表的なシン型付加反応を列挙し、反応機構を説明できる。(2)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第6回 【到達目標】 ・構造異性体と立体異性体について説明できる。(1)

・キラリティーと光学活性を概説できる。(1)

・エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。(1)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第7回 【到達目標】 ・構造異性体と立体異性体について説明できる。(2)

・キラリティーと光学活性を概説できる。(2)

・エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。(2)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第8回 【到達目標】 ・ラセミ体とメソ化合物について説明できる(1)。

・絶対配置の表示法を説明できる(1)。

・Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる(1)。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第9回 【到達目標】 ・ラセミ体とメソ化合物について説明できる(2)。

・絶対配置の表示法を説明できる(2)。

・Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる(2)。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第10回 【到達目標】 ・アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる(1)。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第11回 【到達目標】 ・アルキンの代表的な反応を列挙し、説明できる(2)。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第12回 【到達目標】 ・有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる(1)。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第13回 【到達目標】 ・有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる(2)。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

評価の時期・方法・基準  
定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

無断欠席については、減点することがある。

教材等

教科書…「ブルース 有機化学」(上) (第5版) P.Y.Bruice 著、大船・香月・西郷・富岡監訳、化学同人、2009 (6500円)

参考書…スタンダード薬学シリーズ3「化学系薬学-1.化学物質

の性質と反応-」日本薬学会編 東京化学同人、「有機化学の基礎づくり」熊懷・他訳 化学同人、「基礎有機化学」土屋・他著 南江堂他

関連科目

薬学における重要な基礎科目であり、化学、医薬品合成化学、医薬品化学、物理化学、分析化学、機器分析学、天然物化学、生薬学などは特に関連が深い。

担当者の研究室等

1号館3階(薬化学研究室)

備考

追加の演習等 (2コマ程度) を行う場合があるので必ず出席すること。

## 有機化学II

Organic Chemistry II

安藤 章 (アンドウ アキラ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：化学系薬学を学ぶ

ユニット：C4 化学物質の性質と反応

一般目標：化学物質 (医薬品および生物物質を含む) の基本的な反応性を理解するために、代表的な反応、分離法、構造決定法などについて基本的知識と、それらを実施するための基本的技能を修得する。

(2) 有機化合物の骨格

一般目標：脂肪族および芳香族炭化水素の性質を理解するために、それぞれの基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。

(3) 官能基

一般目標：官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、カルボニル基、アミノ基などの官能基を有する有機化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得し、それらを応用するための基本的技能を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 ・共役ジエンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。(1)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第2回 【到達目標】 ・共役ジエンへのハロゲンの付加反応の特徴について説明できる。(2)

・Diels-Alder反応の特徴を具体例を用いて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第3回 【到達目標】 ・有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。(1)

・求核置換反応 (SN1およびSN2反応) の機構について、立体化学を含めて説明できる。(1)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第4回 【到達目標】 ・有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。(2)

・求核置換反応 (SN1およびSN2反応) の機構について、立体化学を含めて説明できる。(2)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第5回 【到達目標】 ・有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。(3)

・求核置換反応 (SN1およびSN2反応) の機構について、立体化学を含めて説明できる。(3)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第6回 【到達目標】 ・有機ハロゲン化合物の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。(4)

・求核置換反応 (SN1およびSN2反応) の機構について、立体化学を含めて説明できる。(4)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

【評価】 小テスト (形成的評価)

定期試験 (総括的評価)

第7回 【到達目標】 ・ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Saytzeff 則) を説明できる。(1)

・アルケンの代表的な合成法について説明できる。(1)

- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第8回** **【到達目標】** ・ハロゲン化アルキルの脱ハロゲン化水素の機構を図示し、反応の位置選択性(Saytzeff 則)を説明できる。(2)  
 ・アルケンの代表的な合成法について説明できる。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第9回** **【到達目標】** ・アルケンの代表的な合成法について説明できる。(3)  
 ・アルキンの代表的な合成法について説明できる。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第10回** **【到達目標】** ・アルキンの代表的な合成法について説明できる。(2)  
 ・有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第11回** **【到達目標】** ・有機ハロゲン化合物の代表的な合成法について説明できる。(2)  
 ・アルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第12回** **【到達目標】** ・アルコール類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる(2)。  
 ・フェノール類、チオール類の抗酸化作用について説明できる。  
 ・エーテル類の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第13回** **【到達目標】** ・オキシラン類の開環反応における立体特異性と位置選択性を説明できる。  
 ・代表的な炭素-炭素結合生成反応について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。  
 無断欠席の場合減点することがある。

**教材等**

**教科書**…「ブレース 有機化学」(上) (第5版) P.Y.Bruice 著、大船・香月・西郷・富岡監訳、化学同人、2009 (6500円)  
**参考書**…スタンダード薬学シリーズ3「化学系薬学-I. 化学物質の性質と反応」日本薬学会編、東京化学同人、「有機化学の基礎づくり」熊懐・他訳 化学同人、「基礎有機化学」土屋・他著 南江堂他

**関連科目**

薬学における基礎科目であるが、化学、物理化学、分析化学、機器分析学、天然物化学、生薬学、医薬品合成化学、医薬品化学などは特に関連が深い。

**担当者の研究室等**

1号館3階(薬化学研究室)

**備考**

追加の演習等 (2コマ程度) を行う場合があるので必ず出席すること。

**有機化学III**  
 Organic Chemistry III

**表 雅 章 (オモテ マサアキ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：化学系薬学を学ぶ  
 ユニット：C4 化学物質の性質と反応  
 一般目標：化学物質（医薬品および生物物質を含む）の基本的な反応性を理解するために、代表的な反応、分離法、構造決定法などについての基本的知識と、それらを実施するための基本的技能を修得する。  
 (2) 有機化合物の骨格  
 一般目標：脂肪族および芳香族炭化水素の性質を理解するため

に、それぞれの基本構造、物理的性質、反応性に関する基本的知識を修得する。

(3) 官能基

一般目標：官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、カルボニル基、アミノ基などの官能基を有する有機化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的技能を身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** **【到達目標】** 代表的な芳香族化合物を列挙し、その物性と反応性を説明できる。  
 芳香族性 (Huckel 則) の概念を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** 芳香族化合物の求電子置換反応の機構を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第3回** **【到達目標】** 芳香族化合物の求電子置換反応の反応性および配向性に及ぼす置換基の効果を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第4回** **【到達目標】** 芳香族化合物の代表的な求核置換反応について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第5回** **【到達目標】** アルコール、チオール、フェノール、カルボン酸などの酸性度を比較して説明できる。  
 アルコール、フェノール、カルボン酸、およびその誘導体の酸性度に影響を及ぼす因子を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第6回** **【到達目標】** カルボン酸の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第7回** **【到達目標】** カルボン酸の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第8回** **【到達目標】** アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第9回** **【到達目標】** アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第10回** **【到達目標】** アルデヒド類およびケトン類の性質と、代表的な求核付加反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第11回** **【到達目標】** カルボン酸誘導体（酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル）の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第12回** **【到達目標】** カルボン酸誘導体（酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル）の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
**【評価】** e-learning（形成的評価）

- 定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 カルボン酸誘導体（酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル）の代表的な性質と反応を列挙し、説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）
- 【評価】 e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験の結果で評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「ブルース 有機化学」(下) (第5版) P. Y. Bruice 著  
富岡・他監訳 化学同人 (¥6,500) "

参考書…「スタンダード薬学シリーズ3 化学系薬学-I. 化学物質の性質と反応-」日本薬学会編 東京化学同人, 「有機化学の基礎づくり」熊懐・他訳 化学同人

関連科目

基盤講義 I, 有機化学 I, II

担当者の研究室等

1号館3階(薬化学研究室)

物理化学I Physical Chemistry I				
橋本直文(ハシモト ナオフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：物理系薬学を学ぶ  
ユニット：C1物質の物理的性質

一般目標：化学物質の基本的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などの基本的知識を修得し、それらを活用する技術を身につける。

(2)物質の状態I 一般目標：物質の状態および相互変換過程を解析できるようになるために、熱力学の基本的知識と技能を修得する。

(3)物質の状態II 一般目標：複雑な系における物質の状態および相互変換過程を熱力学に基づき解析できるようになるために、溶液および電気化学に関する基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 純物質の物理的変化  
相変化に伴う熱の移動、化学ポテンシャルについて説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第2回 【到達目標】 純物質の物理的変化  
相平衡と相律について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第3回 【到達目標】 "相図  
代表的な状態図（一成成分系、二成分系）について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第4回 【到達目標】 相図  
代表的な状態図（二成分系、三成分系）について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第5回 【到達目標】 混合物の性質  
化学ポテンシャル、完全気体の自発的な混合について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第6回 【到達目標】 混合物の性質  
溶液・溶質の化学ポテンシャル、活量と活量係数について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第7回 【到達目標】 混合物の性質  
溶液の束一的性質（沸点上昇、凝固点降下、沸点上昇）について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第8回 【到達目標】 混合物の性質  
溶液の束一的性質（浸透圧、等張化）について説明できる。  
物質の溶解平衡について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験

- 第9回 【到達目標】 化学平衡  
反応ギブズエネルギーから、自発的な変化の方向と程度を予測できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験

- 第10回 【到達目標】 化学平衡  
諸条件による平衡の移動、自由エネルギーと平衡定数の温度依存性（ファンツホッフの式について説明できる）。

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験

- 第11回 【到達目標】 電気化学  
イオン強度、電解質の活量係数の濃度依存性（デバイ-ヒュッケルの式）について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験

- 第12回 【到達目標】 まとめ  
物理化学I 授業内容のまとめ。

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験

- 第13回 【到達目標】 例題による計算問題の解説。

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験

評価の時期・方法・基準

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…青木宏光、長田俊治、橋本直文、三輪嘉尚 「物理化学大義」(6000円)  
三輪嘉尚、青木宏光 「パサバ薬学演習シリーズ②物理化学演習」(2800円)

関連科目

物理学の基礎、基盤講義 I I (物理)、基盤講義IV(数学) を修得しておく和良好的。物理化学 I I、物理薬剤学の基礎となる。

担当者の研究室等

1号館3階 薬品物性化学研究室

物理化学II Physical Chemistry II				
橋本直文(ハシモト ナオフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：物理系薬学を学ぶ  
ユニット：C1物質の物理的性質

一般目標：化学物質の基本的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などの基本的知識を修得し、それらを活用する技術を身につける。

(3)物質の状態II 一般目標：複雑な系における物質の状態および相互変換過程を熱力学に基づき解析できるようになるために、溶液および電気化学に関する基本的知識と技能を修得する。

(4)物質の変化 一般目標：物質の変換過程を理解するために、化学反応速度論および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 反応速度  
反応次数と速度定数について説明できる。代表的な反応について説明でき、微分型速度式を積分型速度式に変換できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第2回 【到達目標】 反応速度  
代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。代表的な複合反応（可逆反応、平行反応、連続反応など）の特徴について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第3回 【到達目標】 反応速度  
アレニウス式、遷移状態理論について説明できる。代表的な触媒反応（酸・塩基触媒反応など）について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第4回 【到達目標】 物質の移動  
拡散および溶解速度について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第5回 【到達目標】 物質の移動  
溶解度に影響する因子、溶解速度に影響する因子について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義

- 第6回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 物質の移動  
沈降現象について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第7回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 界面化学  
表面張力、気液界面、液液界面について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第8回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 界面化学  
表面張力の測定法、ギブスの吸着等温式について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第9回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 界面化学  
界面活性剤、ミセルについて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第10回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 界面化学  
臨界ミセル濃度前後の溶液の物理化学的性質、吸着平衡について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第11回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 界面化学  
コロイド分散系について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第12回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 物質の移動  
粘度、レオロジー、粘度測定法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第13回 【評価】 授業修了後の定期試験  
【到達目標】 物質の移動  
ニュートン流動、非ニュートン流動について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…青木宏光、長田俊治、橋本直文、三輪嘉尚 「物理化学大義」(6000円)  
三輪宏尚、青木宏光 「バサバ薬学演習シリーズ②物理化学演習」(2800円)

**関連科目**  
物理学の基礎、基盤講義 I I (物理)、物理化学 I を修得しておく  
と良い。  
物理薬理学、薬物動態学の基礎となる。

**担当者の研究室等**  
1号館3階 薬品物性化学研究室

薬品分析学 Analytical Chemistry				
秋 澤 俊 史 (アキザワ トシフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：物理系薬学を学ぶ  
ユニット：C2 化学物質の分析  
一般目標：化学物質（医薬品を含む）をその性質に基づいて分析できるようにするために、物質の定性、定量などに必要な基本的知識と技能を修得する。  
(1) 化学平衡  
一般目標：水溶液中での物質の性質を理解するために、各種の化学平衡に関する基本的知識と測定の基本的技能を修得する。  
(2) 化学物質の検出と定量  
一般目標：試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価
- 第1回 【到達目標】 酸・塩基平衡を説明できる。溶液の水素イオン濃度 (pH) を説明できる。溶液の pH を計算できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
【評価】 定期試験 (総括的評価)
- 第2回 【到達目標】 緩衝作用について具体例をあげて説明できる。代表的な緩衝液の特徴とその調整法を説明できる。化学物質の pH による分子形、イオン形の変化を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
【評価】 定期試験 (総括的評価)
- 第3回 【到達目標】 錯体・キレート生成平衡について説明できる。

- 沈殿平衡 (溶解度と溶解度積) について説明できる。酸化還元電位について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第4回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 酸化還元平衡について説明できる。分配平衡について説明できる。イオン交換について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第5回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。日本薬局方収載の代表的な確認試験を列挙し、その内容を説明できる。日本薬局方収載の代表的な純度試験を列挙し、その内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第6回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 実験値を用いた計算および統計処理ができる。医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。日本薬局方収載の重量分析の原理及び操作法を説明できる。日本薬局方収載の容量分析法について列挙できる。日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第7回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第8回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第9回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第10回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第11回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第12回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 電気滴定 (電位差滴定、電気伝導度滴定など) の原理、操作法および応用例を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)
- 第13回 【評価】 定期試験 (総括的評価)  
【到達目標】 まとめ  
重要点のまとめと質疑応答  
【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験 (80点)、レポート (10点) および受講態度 (10点) で評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…分析化学 I (定量分析編) (朝倉書店、3800円)  
薬剤師に必要な臨床機器分析 (廣川書店、4000円)  
参考書…日本薬局方解説書 (38000円)  
分析化学 II (機器分析編) (朝倉書店、3800円)

**関連科目**  
基礎薬学実習Ic、臨床分析学、薬局方概論

**担当者の研究室等**  
1号館4階(臨床分析化学研究室)

**備考**  
薬剤師に必要な臨床機器分析 (廣川書店、4000円) は基礎薬学実習Ic (2年生)、臨床分析学 (3年生)、先端医療II (5年生) でも使用する。

機器分析学 Instrumental Analysis I				
野 田 直 規 (ノダ ナオキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：物理系薬学を学ぶ  
ユニット：C3 生体分子の姿・かたちをとらえる  
一般目標：生体の機能や医薬品の働きが三次元的な相互作用によって支配されていることを理解するために、生体分子の立体構造、生体分子が関与する相互作用、およびそれらを解析する

手法に関する基本的知識と技能の修得する。

(1) 生体分子を解析する手法  
一般目標：生体分子、化学物質の姿、かたちをとらえるために、それらの解析に必要な方法に関する基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 電磁波の性質および物質との相互作用について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（パワーポイントによる説明を含む）講義室。

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる（1）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる（2）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 蛍光光度法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 IRスペクトルの概要と測定法を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 IRスペクトル上の基本的な官能基の特定吸収帯を列挙し、帰属することができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 赤外・ラマン分光スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 キラリティーと光学活性について概説できる。エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 比旋光度測定法の概略について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 旋光度測定法（旋光分散）、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる（1）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第11回 【到達目標】 旋光度測定法（旋光分散）、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる（2）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第12回 【到達目標】 原子吸光光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 発光分析の原理、操作法および応用例を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

これまでの講義内容に対する質問。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験(100%) で評価する。

100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…財津潔編「薬学領域の機器分析学」(4800円) 廣川書店

参考書…泉美治ら監修「機器分析のてびき」(3900円) その他各

セクションに関する参考書は教科書に記載

関連科目

物理学、有機化学、分析化学

担当者の研究室等

1号館4階(天然薬物構造化学研究室)

生薬学

Pharmacognosy

矢部 武士 (ヤベ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース： 化学系薬学を学ぶ

ユニット： C7自然が生み出す薬物

一般目標：自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質の含有成分の単離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。

(1) 薬になる動植物

一般目標：薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の基本的性質を理解するために、それらの基原、性状、含有成分、生合成、品質評価、生産と流通、歴史的背景などについての基本的知識、およびそれらを活用するための基本的技能を修得する。

(2) 薬の宝庫としての天然物

一般目標：医薬品開発における天然物の重要性と多様性を理解するために、自然界由来のシーズ（医薬品の種）に関する基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 生薬とは何かを説明できる。

生薬の歴史について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 薬用植物と生薬ならびに関連の医薬品の概略を説明できる。

薬用植物の分類法および命名法を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 生薬中の成分（アルカロイド、テルペノイド、サポニン、フェニルプロパノイドなど）について

生薬成分の生合成経路について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 アルカロイドの分類とアルカロイド含有生薬について説明できる。アルカロイドの基本骨格による分類とアルカロイド含有生薬（プシ、アヘン、ロートコン、オウレン、マオウ等）について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 アルカロイド医薬品とその原料生薬（薬用植物）について説明できる。エルゴメトリン、レセルピン、キニーネ、キニジン、ビンブラスチン等のアルカロイド医薬品について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 ステロイド含有生薬と強心ステロイド（配糖体）含有生薬について説明できる。

ステロイドの基本骨格と強心ステロイド含有生薬、胆汁酸含有生薬等について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 サポニン含有生薬について説明できる。

トリテルペノイドサポニン含有生薬とステロイドサポニン含有生薬について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 モノテルペノイド配糖体含有生薬と苦味配糖体含有生薬等について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 精油含有生薬について説明できる。イソプレノイド系精油、フェニルプロパノイド系精油を含む生薬について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 アントラキノン、アントロンを含む生薬について説明できる。アンスロンの基本骨格と含有生薬、フェノール配糖体ならびに青酸配糖体含有生薬について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第11回 【到達目標】 フラボノイドの基本骨格とフラボノイド含有生

薬ならびにリグナンの基本骨格とリグナン含有生薬について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第12回 【到達目標】 タンニン含有生薬と生薬成分の生合成について説明できる。タンニンの基本骨格とタンニン含有生薬ならび生薬成分の構造と生合成経路について説明できる。菌類生薬と動物生薬について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験結果に基づき評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「最新生薬学（第2版）」奥田編、廣川書店（7140円）  
「薬用植物学（改訂第6版）」野呂等、南江堂（4200円）

参考書…「第16改正日本薬局方解説書」日本公定書協会編、廣川書店

関連科目

天然物化学、天然薬用資源学、漢方処方学

担当者の研究室等

1号館4階（生薬学研究室）

生化学I Biochemistry I				
竹内健治 (タケウチ ケンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：生物系薬学を学ぶ ユニット：C9 生命をミクロに理解する 一般目標：生物をミクロなレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割についての基本的知識を修得し、併せてそれらの生体分子を取り扱うための基本的技能と態度を身につける。

(1)細胞を構成する分子 一般目標：生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。〔脂質〕〔糖質〕〔アミノ酸〕

(2)生命情報を担う分子 一般目標：生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する。〔核酸〕〔遺伝情報を担う分子〕

(3)生命活動を担う分子 一般目標：生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。〔タンパク質〕〔酵素〕

コース：化学系薬学を学ぶ ユニット：C6 生体分子・医薬品を化学で理解する：(1)生体分子のコアとパーツ 一般的目標：生体分子の機能を理解するために、生体分子の基本構造とその化学的性質に関する基本的知識を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 [イントロダクション 生化学とは]「生化学」とは、ヒトとモノの違い、生体の化学組成、水の性質について説明できる。遺伝子発現に関するセントラルドグマについて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 [糖質]グルコースの構造、性質、役割を説明できる。グルコース以外の代表的単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 [糖質]糖類および多糖類の基本構造を概説できる。代表的な多糖の構造と役割を説明できる。糖とタンパク質の代表的結合様式を示すことができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 [脂質]脂質を分類し、構造の特徴と役割を説明できる。脂肪酸の種類と役割を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 [脂質]生体膜を構成する脂質の化学構造の特徴を

説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 [アミノ酸]アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 [タンパク質]タンパク質の主要な機能を列挙できる。タンパク質の一次、二次、三次、四次構造を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 [タンパク質]タンパク質の高次構造を規定する結合（アミド基間の水素結合、ジスルフィド結合など）および相互作用について説明できる。タンパク質の機能発現に必要な翻訳後修飾について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 [核酸]核酸の立体構造を規定する化学結合、相互作用について説明できる。DNAの構造について説明できる。DNA鎖とRNA鎖の類似点と相違点を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 [核酸]RNAの構造について説明できる。

RNAの種類と働きについて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第11回 【到達目標】 [遺伝情報を担う分子]ゲノムと遺伝子の関係を説明できる。染色体の構造を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第12回 【到達目標】 [酵素]酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比させて説明できる。酵素を反応様式により分類し、代表的なものについて性質、役割を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 [酵素]酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。酵素反応速度論について説明できる。代表的な酵素活性調節機構を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「シンプル生化学（改訂第5版）」林典夫・廣野治子編 南江堂 2007（2940円）

参考書…レーニンジャーの新生化学[上][下]（第5版）中山和久編 廣川書店 2010（各8800円＋税）、スタンダード薬学シリーズ4生物系薬学II（第2版）「生命をミクロに理解する」日本薬学会編 東京化学同人 2010（5500円＋税）

関連科目

生化学II、生化学III、分子細胞生物学I、分子細胞生物学IIはさらに知識を深めるのに役立つ。

担当者の研究室等

1号館5階（生化学研究室）

生化学II Biochemistry II				
大塚正人 (オツカ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：生物系薬学を学ぶ

ユニット：C8 生命体の成り立ち（3）生体の機能調節（一般目標：ホメオスタシス（恒常性）の維持機構を個体レベルで理解するために、生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を習得する）「ホルモンによる調節機構」

ユニット：C9 生命をミクロに理解する（1）細胞を構成する分子（一般目標：生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、状態に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける）「脂質」「糖質」「アミノ酸」「ビタミン」；

（3）生命活動を担うタンパク質（一般目標：生命活動の担い

手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける)「酵素以外の機能タンパク質」;  
(4) 生体エネルギー (一般目標: 生命活動が生体エネルギーにより支えられていることを理解するために、食物成分からのエネルギーの産生および糖質、脂質、タンパク質の代謝に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける)「ATPの産生」「飢餓状態と飽食状態」;  
(5) 生理活性分子とシグナル分子 (一般目標: 生体のダイナミックな情報ネットワーク機構を物質と細胞レベルで理解するために、代表的な情報伝達物質の種類、作用発現機構などに関する基本的知識を修得する)「オータコイドなど」

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 ATPが高エネルギー化合物であることを、化学構造をもとに説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 解糖系について説明できる(1)。  
アルコール発酵、乳酸発酵の生理的役割を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 解糖系について説明できる(2)。  
水溶性ビタミンを列挙し、おのおのの構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応について説明できる。  
ペントースリン酸回路の生理的役割を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 クエン酸回路について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第5回** 【到達目標】 電子伝達系(酸化リン酸化)について説明できる。  
エネルギー産生におけるミトコンドリアの役割を説明できる。  
ATP産生阻害物質を列挙し、その阻害機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 糖新生について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 グリコーゲンの役割について説明できる。  
インスリンとグルカゴンの役割を説明できる。  
血糖の調節機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第8回** 【到達目標】 脂肪酸のβ酸化反応について説明できる。  
飢餓状態のエネルギー代謝(ケトン体の利用など)について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 脂肪酸の生合成経路を説明できる。  
糖から脂肪酸への生合成経路を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 余剰のエネルギーを蓄える仕組みを説明できる。  
代表的なエイコサノイドを挙げ、その生合成経路を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 コレステロールの生合成経路と代謝を説明できる。  
血漿リポタンパク質の種類と機能を概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)

【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)

- 第12回** 【到達目標】 アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝について説明できる。  
ケト酸性アミノ酸と糖原性アミノ酸について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第13回** 【到達目標】 生化学Ⅱ授業内容のまとめ  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

定期試験と小テストで評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…リッピンコットシリーズ イラストレイテッド生化学(丸善)

参考書…「レーニンジャーの新生化学(上)(下)」山科郁男、廣川書店。・「病態生化学」後藤佐多良、朝倉書店。・「生物系薬学Ⅱ 生命をミクロに理解する」日本薬学会編、東京化学同人。

関連科目

生化学Ⅰで習った内容を理解しておくこと。生化学Ⅲ、分子細胞生物学Ⅰ、Ⅱは、生化学Ⅱで習った知識をさらに深めるのに役立つ。

担当者の研究室等

1号館5階(生化学研究室)

備考

追加の復習講義等(1コマ程度)を行う場合があります。

生化学Ⅲ

Biochemistry III

大塚正人(オツカ マサト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース: 生物系薬学を学ぶ

ユニット: C9 生命をミクロに理解する 一般目標: 生物をミクロなレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割についての基本的知識を修得し、併せてそれらの生体分子を取り扱うための基本的技能と態度を身につける。(1) 細胞を構成する分子(一般目標: 生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、状態に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける)「ビタミン」;(2) 生命情報を担う遺伝子(一般分子: 生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する)「ヌクレオチドと核酸」「遺伝情報を担う分子」「転写と翻訳のメカニズム」「遺伝子の複製・変異・修復」;(6) 遺伝子を操作する(一般目標: バイオテクノロジーを薬学領域で応用できるようにするために、遺伝子操作に関する基本的知識、技能、態度を修得する)「遺伝子操作の基本」「遺伝子のクローニング技術」

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 核酸塩基の代謝(生合成と分解)を説明できる。  
水溶性ビタミンを列挙し、各々の構造、基本的性質、補酵素や補欠分子として関与する生体内反応について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 DNAの構造について説明できる。  
RNAの構造について説明できる。  
DNA鎖とRNA鎖の類似点と相違点を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 遺伝子発現に関するセントラルドグマについて説明できる。  
DNAの複製の過程について説明できる(1)。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業修了後の定期試験」(総括的評価)

生理解剖学

Anatomy and Physiology I

倉本展行(クラモト ノブユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	A 群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：生物系薬学を学ぶ

ユニット：C 8 生命体の成り立ち

一般目標：生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) ヒトの成り立ち 一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。  
(2) 生命体の基本単位としての細胞 一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを扱うための基本的技能を身につける。

(3) 生体の機能調節 一般目標：ホメオスタシス(恒常性)の維持機構を個体レベルで理解するために、生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。

ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。

細胞集合による組織構築について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

課題・e-learning(自習)

【評価】 小テスト・中間テスト・

e-learning(形成的評価)

定期試験(総括的評価)

第2回 【到達目標】 主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

課題・e-learning(自習)

【評価】 小テスト・中間テスト・

e-learning(形成的評価)

定期試験(総括的評価)

第3回 【到達目標】 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。

(1) 体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。(1) 自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。(1) 臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

課題・e-learning(自習)

【評価】 小テスト・中間テスト・

e-learning(形成的評価)

定期試験(総括的評価)

第4回 【到達目標】 細胞膜の構造と性質について説明できる。細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙し、その機能を説明できる。

細胞膜を介した物質移動について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

課題・e-learning(自習)

【評価】 小テスト・中間テスト・

e-learning(形成的評価)

定期試験(総括的評価)

第5回 【到達目標】 神経系の興奮と伝導の調節機構を説明できる。神経細胞に活動電位が生じるメカニズムと、生じた活動電位の伝導について解説する。

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

課題・e-learning(自習)

【評価】 小テスト・中間テスト・

e-learning(形成的評価)

定期試験(総括的評価)

第6回 【到達目標】 シナプス伝達の調節機構を説明できる。(1)

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

課題・e-learning(自習)

【評価】 小テスト・中間テスト・

e-learning(形成的評価)

定期試験(総括的評価)

第7回 【到達目標】 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。

(2) 体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。(2) 自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。(2)

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

課題・e-learning(自習)

【評価】 小テスト・中間テスト・

e-learning(形成的評価)

- 期試験)(総括的評価)
- 第4回 【到達目標】 DNAの複製の過程について説明できる(2)。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第5回 【到達目標】 ゲノムと遺伝子の関係を説明できる。  
染色体の構造を説明できる。  
体細胞分裂の機構について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第6回 【到達目標】 DNAの変異(突然変異)について説明できる(1)。  
DNAの修復の過程について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第7回 【到達目標】 DNAからRNAへの転写について説明できる。  
遺伝子の構造に関する基本的用語(プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど)を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第8回 【到達目標】 転写の調節について、例をあげて説明できる。  
RNAのプロセシングについて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第9回 【到達目標】 RNAの種類と働きについて説明できる。  
リボソームの構造と機能について説明できる。  
RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる(1)。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第10回 【到達目標】 RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる(2)。  
DNAの変異(突然変異)について説明できる(2)。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第11回 【到達目標】 遺伝子操作に用いる酵素(制限酵素、リガーゼなど)やベクターについて説明できる。  
RNAの逆転写と逆転写酵素について説明できる。  
遺伝子ライブラリーについて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第12回 【到達目標】 PCR法による遺伝子増幅の原理を説明できる。  
DNA塩基配列の決定法を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)
- 第13回 【到達目標】 生化学Ⅲ授業内容のまとめ  
【学習方法・自己学習課題】 「講義」(講義室)  
「演習」(講義室)  
【評価】 「演習問題の提出」(形成的評価)「授業終了後の定期試験」(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

定期試験と小テストで評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…リッピンコットシリーズ イラストレイテッド生化学(丸善)

参考書…生化学Ⅱで示した参考書 ・「Essential細胞生物学」中村桂子ら、南江堂(8400円) ・「生化学」田沼靖一ら、朝倉書店(5800円)

関連科目

生化学Ⅰ、Ⅱの内容を正確に理解しておくこと。分子細胞生物学Ⅰ、Ⅱを履修すると、さらに知識を深めることができる。

担当者の研究室等

1号館5階(生化学研究室)

備考

追加の復習講義等(1コマ程度)を行う場合がある。

- 定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】** 体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。  
(3)  
神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。  
シナプス伝達の調節機構を説明できる。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】** 自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。  
(3)  
シナプス伝達の調節機構を説明できる。(3)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】** 主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。体温の調節機構を説明できる。臓器、組織を構成する代表的な細胞の種類を列挙し、形態のおよび機能的特徴を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】** 筋収縮の調節機構を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】** 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。  
(3)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】** 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。  
(4)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験（用語記入(正確な漢字使用)、正誤問題、記述問題）  
100点満点中60点以上合格。小・中間テスト・e-learningの点数は総括的評価に含めない。但しe-learningの正答率が80%未満の者、受講態度や受講状況が悪い者は総括的評価から各最高10点減点することがある。

**教材等**

教科書…「トートラ・人体の解剖生理学」丸善（6,900円）  
「パートナー機能形態学」南江堂（6,000円）  
参考書…「新しい機能形態学」広川書店（5,000円）  
「動画マスター機能形態学」京都廣川書店（6,800円）  
「よくわかる生理学の基礎」メディカル・サイエンス・インターナショナル（6,500円）

**関連科目**

基盤演習V（生化学・生理解剖学）、生理解剖学II・III、生物学、  
基盤演習II（生物学）、生化学、薬理学総論、薬物治療学など

**担当者の研究室等**

1号館6階

生理解剖学II Anatomy and Physiology II				
倉本 展行(クラモト ノブユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：生物系薬学を学ぶ  
ユニット：C8生命体の成り立ち  
一般目標：生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

- (1) ヒトの成り立ち 一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。  
(2) 生命体の基本単位としての細胞 一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを扱うための基本的技能を身につける。  
(3) 生体の機能調節 一般目標：ホメオスタシス（恒常性）の維持機構を個体レベルで理解するために、生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】** 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。  
(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】** 中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。  
(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】** 眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】** 眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】** 眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。(3)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】** 皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】** 胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】** 胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。(2)  
消化、吸収における神経の役割について説明できる。  
消化、吸収におけるホルモンの役割について説明できる。  
(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】** 胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。(3)  
肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。(1)  
消化、吸収におけるホルモンの役割について説明できる。  
(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）  
**【評価】** 小テスト・中間テスト・e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】** 胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。(4)  
肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。(2)

- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）
- 【評価】 小テスト・中間テスト・  
e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】 心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。（1）
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）
- 【評価】 小テスト・中間テスト・  
e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。（2）  
血圧の調節機構を説明できる。（1）
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）
- 【評価】 小テスト・中間テスト・  
e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 血管系について機能と構造を関連づけて説明できる。  
血圧の調節機構を説明できる。（2）
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
課題・e-learning（自習）
- 【評価】 小テスト・中間テスト・  
e-learning（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験（用語記入(正確な漢字使用)、正誤問題、記述問題）  
100点満点中60点以上合格。小・中間テスト・e-learningの点数は総括的評価に含めない。但しe-learningの正答率が80%未満の者、受講態度や受講状況が悪い者は総括的評価から各最高10点減点することがある。

**教材等**

- 教科書…「トートラ・人体の解剖生理学」丸善（6,900円）  
「パートナー機能形態学」南江堂（6,000円）」
- 参考書…「感覚の地図帳」講談社（3,800円）  
「よくわかる生理学の基礎」メディカル・サイエンス・インターナショナル（6,500円）  
「新しい機能形態学」広川書店（5,000円）  
「動画マスター機能形態学」京都廣川書店（6,800円）」

**関連科目**

生理解剖学Ⅰ・Ⅲ、生物学、生化学、薬理学総論、薬物治療学など

**担当者の研究室等**

1号館6階

生理解剖学Ⅲ Anatomy and Physiology III				
倉本 展行(クラモト ノブユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：生物系薬学を学ぶ  
ユニット：C8 生命体の成り立ち  
一般目標：生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
(1) ヒトの成り立ち  
一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。  
(3) 生体の機能調節  
一般目標：ホメオスタシス（恒常性）の維持機構を個体レベルで理解するために、生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 骨髄、脾臓、胸腺などの血液・造血器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 血液凝固・線溶系の機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 肺および組織におけるガス交換を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】 体液の調節機構を説明できる。  
尿の生成機構、尿量の調節機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】 脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】 主要なホルモンの分泌機構および作用機序を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】 血糖の調節機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】 代表的なペプチド性ホルモンを挙げ、その産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】 代表的なアミノ酸誘導体ホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 代表的なステロイドホルモンを挙げ、その構造、産生臓器、生理作用および分泌調節機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 精巣、卵巣、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験もしくは再試験において、100点満点中60点以上で合格

**教材等**

- 教科書…「トートラ・人体の解剖生理学」丸善（6,900円）  
「パートナー・機能形態学」南江堂（6,000円）
- 参考書…特になし

**関連科目**

生理解剖学Ⅰ・Ⅱ、基盤講義Ⅲ（生物）、生化学、薬理学総論、薬物治療学Ⅰ～Ⅵなど

**担当者の研究室等**

1号館6階(薬理学研究室)

**備考**

薬理学の基礎となる教科ですから、講義内容をよく理解し、予習・復習するよう努めてください。

生体情報伝達学 Cellular Signal Transduction				
荻田 喜代一(オギタ キヨカズ) 大塚 正人(オオツカ マサト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

ユニット：生物系薬学を学ぶ  
コース：C8 生命体の成り立ち(一般目標：生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。)  
(5) 生理活性分子とシグナル分子(一般目標：生体のダイナミックな情報ネットワーク機構を物質や細胞レベルで理解するために、代表的な情報伝達物質の種類、作用発現機構などに関する基本的知識を修得する。)(【オートコイドなど】【神経伝達物質】【サイトカイン・増殖因子・ケモカイン】【細胞内情報伝達】  
C8 生命体の成り立ち 一般目標：生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
(2) 生命体の基本単位としての細胞 一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを扱うための基本的技能を身につける。

ユニット：C9 生命をミクロに理解する 一般目標：生物をミクロなレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割についての基本的知識を修得し、併せてそれらの生体分子を取り扱うための基本的技能と態度を身につける。  
 (3) 生命活動を担うタンパク質 一般目標：生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 細胞内情報伝達に関与するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなどを、具体例を挙げて説明できる。  
 細胞膜受容体からGタンパク系を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第2回** 【到達目標】 細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について概説できる。  
 代表的な細胞内（核内）受容体の具体例を挙げて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第3回** 【到達目標】 モノアミン系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第4回** 【到達目標】 アセチルコリンの生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第5回** 【到達目標】 アミノ酸系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。  
 ペプチド系神経伝達物質を列挙し、その生合成経路、分解経路、生理活性を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第6回** 【到達目標】 主な生理活性アミン（セロトニン、ヒスタミンなど）の生合成と役割について説明できる。  
 主な生理活性ペプチド（アンギオテンシン、ブラジキニンなど）の役割について説明できる。  
 一酸化窒素の生合成経路と生体内での役割を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第7回** 【到達目標】 エイコサノイドとはどのようなものか説明できる。  
 代表的なエイコサノイドを挙げ、その生合成経路を説明できる。  
 代表的なエイコサノイドを挙げ、その生理的意義（生理活性）を説明できる。代表的なサイトカインを挙げ、それらの役割を概説できる。  
 代表的な増殖因子を挙げ、それらの役割を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第8回** 【到達目標】 代表的な増殖因子を挙げ、それらの役割を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。
- 第9回** 【到達目標】 細胞を構成する分子について構造、性質、役割を説明できる。  
 物質の輸送を担うタンパク質の構造と機能を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

- 第10回** 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。  
 【到達目標】 血漿リポタンパク質の種類と機能を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。
- 第11回** 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。  
 【到達目標】 細胞骨格を形成するタンパク質の種類と役割について概説できる。  
 細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。
- 第12回** 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。  
 【到達目標】 体細胞分裂機構について説明できる。  
 生殖細胞の分裂機構について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。
- 第13回** 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。  
 【到達目標】 アポトーシスとネクローシスについて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
 【評価】 小テスト、定期試験により総括的評価を行う。

評価の時期・方法・基準

小テスト(30%)、定期試験(70%)により総括評価する。小テストに無断で欠席した場合には、その日の点数は「0点」とする。また、いかなる理由でも欠席が続いた場合には30点を限度に減点することがある。TBLによるレポートやテストにより評価を行うこともある。100点満点のうち、60点で合格とする。

教材等

教科書…機能形態学演習（京都廣川書店）  
 永田和宏・塩田浩平編「医学のための細胞生物学」南山堂（5,040円）

関連科目

生理解剖学、生化学、分子細胞生物学、薬理学

担当者の研究室等

萩田：薬理学研究室（1号館6階）  
 大塚：生化学研究室（1号館5階）

備考

授業時間外に補習授業や演習を行うことがあるので必ず出席すること。

微生物学  
Microbiology

渡部 一仁 (ワタベ カズヒト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：生物系薬学を学ぶ  
 ユニット：C8 生命体の成り立ち (4) 小さな生き物たち  
 一般目標：微生物の基礎的性状を理解するために、微生物の分類、構造、生活史などに関する基本的知識を修得し、併せて代表的な微生物取扱いのための基本的な技能と態度を身につける。学習内容：総論、細菌、細菌毒素、ウイルス、真菌・原虫・その他の微生物、消毒と滅菌、検出方法など。  
 ユニット：C10 生体防御 (3) 感染症にかかる 一般目標：代表的な感染症を理解するため、病原微生物に関する基本的知識を修得する。学習内容：代表的な感染症疾病名、原因微生物の特徴、感染症の予防など。  
 ユニット：C14 薬物治療 (5) 病原微生物・悪性新生物と戦う 一般目標：生体内で異常に増殖あるいは複製することにより人体に疾病を生じる細菌、ウイルスなど、および悪性新生物に対する薬物の作用機序を理解し、薬物治療へ応用できるようになるために、抗菌薬、抗悪性腫瘍薬などに関する基本的知識を修得する。学習内容：代表的な感染症、抗菌薬、抗原虫・寄生虫薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、抗生物質の耐性と副作用など。なお、本講義の内容の一部は同時期に実施する「基礎薬学実習Ⅱ（微生物学）」でも取り扱う。

「戸田・新細菌学」吉田眞一他編，南山堂（15000円）

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】微生物の位置付け，細菌の分類法，原核生物と真核生物の相違点，細菌の形態と構造について説明できる。コッホの4原則が説明できる。グラム陽性細菌とグラム陰性細菌の相違が説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】細菌細胞壁の基本構造が説明できる。細菌芽胞の形態学的・生理的特徴が説明できる。LPSとリビドAが説明できる。細菌の栄養と増殖，増殖の環境因子が説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】好気性菌，嫌気性菌，通性嫌気性菌，偏性好気性菌，偏性嫌気性菌の特徴が説明できる。ウイルスの構造と増殖の仕組みが説明できる。細菌のタンパク質合成，細胞壁合成経路の概略が説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】細菌における呼吸と発酵の概略が説明できる。滅菌と消毒の種類と方法，消毒薬の適正使用などが説明できる。院内感染対策に必要な処置と薬剤師の役割が列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】感染症の予防における免疫の役割が説明できる。主なワクチンが列挙できる。インフルエンザワクチンを例にあげて，感染予防におけるワクチンの働きが説明できる。新興感染症と再興感染症を列記し，その特徴が説明できる。主な細菌性感染症が列挙できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】代表的なグラム陽性とグラム陰性の病原性細菌が列記でき，それらの細菌学的性状と代表的な疾病が列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】病原性因子，主な外毒素と内毒素が列挙できる。真菌・原虫が原因となる感染性疾患が説明できる。DNAウイルスとRNAウイルスが原因となる主な感染性疾患が列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】抗菌薬を作用機序別に分類し，その特徴が説明できる。化学療法剤感受性試験と主な抗生物質の抗菌スペクトルが説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】代表的なβ-ラクタム系，アミノグリコシド系，マクロライド系，テトラサイクリン系抗菌薬の種類，抗菌スペクトル，作用機序，有効な感染症，副作用が説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】代表的なペブチド系，キノロン系抗菌薬，サルファ剤・葉酸拮抗薬，抗結核薬，抗原虫薬，抗真菌薬，抗ウイルス薬の種類，抗菌スペクトル，作用機序，有効な感染症，副作用が説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】分子標的治療薬の概念が概説でき，代表的な分子標的抗がん剤が説明できる。薬剤耐性の獲得機構について，遺伝的・生化学的に説明できる。MRSAとVREが説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】最近話題の感染症を列挙し，その発生要因と有効な治療法が説明できる。細菌性食中毒の種類が列挙できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】細菌性食中毒の種類と代表的な原因菌の特徴，症状を列記し，その予防法が説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
【評価】定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験（記述問題，正誤問題，総合問題）及び授業に応じて適宜課題とする「理解度確認レポート」で評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

- 教科書…「21世紀の考える薬学微生物学」池澤宏郎編 廣川書店（5800円）  
適時プリント資料を配付  
参考書…「薬科微生物学（第5版）」加藤文男他，丸善（4700円）  
「シンプル微生物学」東匡伸他編，南江堂（2900円）

関連科目

生化学，分子細胞生物学，感染症学，免疫学，薬物治療学

担当者の研究室等

1号館5階（微生物学研究室）  
Email:ag193101@bca.bai.ne.jp

備考

講義の進行状況によっては追加の演習など（2コマ程度）を行う場合がある。適時，理解度確認のためのポイント問題集を配布する。

薬理学総論  
Pharmacology

荻田 喜代一（オギタ キヨカス）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：薬と疾病

ユニット：C13薬の効くプロセス（一般目標：医薬品の作用する過程を理解するために，代表的な薬物の作用，作用機序，および体内での運命に関する基本的知識，技能，態度を修得する）

（1）薬の作用と生体内運命（一般目標：作用部位に達した薬物の量と作用により薬効が決まることを理解するために，薬物の生体内における動きと差横に関する基本的知識，技能，態度を修得する）【薬の作用】【薬の副作用】

（2）薬の効き方（一般目標：神経系，循環器系，呼吸器系に作用する薬物に関する基本的知識を修得し，その作用を検出するための基本的技能を身につける）【自律神経系に作用する薬】

【知覚神経系・運動神経系に作用する薬】

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】薬物の用量と作用の関係を説明できる。アゴニストとアンタゴニストについて説明できる。薬物の主作用と副作用（有害作用），毒性との関連について説明できる。副作用と有害事象の違いについて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
教科書，問題集等で復習して授業内容を十分に理解し，毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】薬効に個人差が生じる要因を列挙できる。代表的な薬物相互作用の機序について説明できる。薬物依存性について具体例を挙げて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
教科書，問題集等で復習して授業内容を十分に理解し，毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】薬物の作用するしくみについて，受容体，酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
教科書，問題集等で復習して授業内容を十分に理解し，毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し，活性化された場合の生理反応を説明できる。代表的な薬物受容体を列挙し，刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる（1）。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
教科書，問題集等で復習して授業内容を十分に理解し，毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】薬物の作用発現に関連する代表的な細胞内情報伝達系を列挙し，活性化された場合の生理反応を説明できる。代表的な薬物受容体を列挙し，刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる（2）。  
【学習方法・自己学習課題】講義（講義室）  
教科書，問題集等で復習して授業内容を十分に理解し，毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】交感神経系に作用し，その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ，薬理作用，機序，主な副作用について説明できる（1）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
第7回 【到達目標】 交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる（2）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
第8回 【到達目標】 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる（1）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
第9回 【到達目標】 副交感神経系に作用し、その支配器官の機能を修飾する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる（2）。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
第10回 【到達目標】 神経節に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
第11回 【到達目標】 平滑筋の機能に影響を与える薬物を挙げ、薬理作用、作用機序、副作用について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
第12回 【到達目標】 知覚神経に作用する代表的な薬物（局所麻酔薬など）を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
第13回 【到達目標】 運動神経系に作用する代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
教科書、問題集等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）  
評価の時期・方法・基準  
小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。小テストに無断で欠席した場合には、その日の点数は「0点」とする。また、いかなる理由でも欠席が続いた場合には減点することができる。100点満点のうち、60点以上で合格とする。

教材等  
教科書…機能形態学演習（京都廣川書店）、国家試験対策参考書・薬理学（薬学ゼミナール編集）  
参考書…「治療薬マニュアル」医学書院

関連科目  
生理解剖学、生化学、分子細胞生物学、病態生理学、病態生化学、薬物治療学

担当者の研究室等  
1号館6階（薬理学研究室）

備考  
授業の進行状況に応じて補習授業を行うことがあるので出席すること。なお、質問のある学生は遠慮なく研究室を訪問ください。

病態生理学  
Pathological Physiology

小崎 篤志（コサキ アツシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：薬と疾病  
ユニット：C14 薬物治療  
一般目標：疾病に伴う症状と臨床検査値の変化などの確かな患者情報を取得し、患者個々に応じた薬の選択、用法・用量の設定および各々の医薬品の「使用上の注意」を考慮した適正な薬物治療に参画できるようになるために、薬物治療に関する基礎知識と技能を修得する。  
（1）体の変化を知る  
一般目標：身体の病的変化を病理生理学的に理解するために、代表的な症候と臨床検査値に関する基礎知識を修得する。  
（2）疾患と薬物治療  
一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、呼吸器・循環器・腎・内分泌系の疾患を理解し、それらの治療に用いられる医薬品に関する基礎知識を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 呼吸と循環の相互作用を理解し、代表的な呼吸器機能検査法を説明できる。（1）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第2回 【到達目標】 呼吸と循環の相互作用を理解し、代表的な呼吸器機能検査法を説明できる。（2）

酸塩基平衡の基本的な原理を理解して、動脈血ガス分析などの検査値から示唆される臨床病態を説明できる。（1）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第3回 【到達目標】 酸塩基平衡の基本的な原理を理解して、動脈血ガス分析などの検査値から示唆される臨床病態を説明できる。（2）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第4回 【到達目標】 呼吸器系の生理と機能を理解し、代表的な呼吸器機能検査の異常から推測される疾病の病態を説明できる。（1）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第5回 【到達目標】 呼吸器系の生理と機能を理解し、代表的な呼吸器機能検査の異常から推測される疾病の病態を説明できる。（2）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第6回 【到達目標】 循環器系の構造と機能を理解し、代表的な循環器機能検査の異常から推測される疾病の病態を説明できる。（1）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第7回 【到達目標】 循環器系の構造と機能を理解し、代表的な循環器機能検査の異常から推測される疾病の病態を説明できる。（2）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第8回 【到達目標】 呼吸・循環系の代表的な症候（咳嗽、胸痛など）に関して、臨床検査によるアセスメント法を理解し、その異常から推測される主な疾患を挙げることができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第9回 【到達目標】 水・電解質平衡の異常に関する代表的な血液検査を学び、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。（1）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第10回 【到達目標】 水・電解質平衡の異常に関する代表的な血液検査を学び、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。（2）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第11回 【到達目標】 内分泌疾患に関する代表的な血液検査を学び、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。（1）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括評価）

第12回 【到達目標】 内分泌疾患に関する代表的な血液検査を学び、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。（2）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

**第13回** 【評価】 定期試験（総括評価）  
**【到達目標】** 内分泌疾患に関する代表的な血液検査を学び、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる。（3）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括評価）

**評価の時期・方法・基準**  
 合否判定は定期試験を中心に総合判定する。試験には主に客観問題を出題する。講義中の授業態度を評価の一部とする。定期試験（90%）、講義での授業態度を評価など（10%）で最終評価する。  
 100点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…後期前半：①稲田英一 監修『呼吸・循環イラストレイテッド』学研メディカル秀潤社（2,400円＋税）  
 後期後半：②河合忠 等 監修『異常値の出るメカニズム』医学書院（6,000円＋税）  
 教科書②は3学年の前期科目「病態生化学」で引き続き使用します。  
**参考書**…・福本陽平 等 監修『病気がみえる vol.1 消化器』メディックメディア（3,000円＋税）  
 ・萩原誠久 等 監修『病気がみえる vol.2 循環器』メディックメディア（3,300円＋税）  
 ・弘世貴久 等 監修『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌』メディックメディア（3,000円＋税）  
 ・滝澤始 等 監修『病気がみえる vol.4 呼吸器』メディックメディア（3,200円＋税）  
 ・土屋達行 等 監修『病気がみえる vol.5 血液』メディックメディア（3,000円＋税）  
 ・森尾友宏 等 監修『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症』メディックメディア（3,000円＋税）  
 ・尾上尚志 等 監修『病気がみえる vol.7 脳・神経』メディックメディア（3,800円＋税）  
 ・『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器』メディックメディア（3,000円＋税）

**関連科目**  
 薬物治療学、生理解剖学、免疫学、薬理学総論、病態生化学  
**担当者の研究室等**  
 枚方キャンパス7号館3階  
**備考**  
 講義には指定教科書を持参して下さい。

物理薬剤学 Physical Pharmacy				
佐久間 信 至 (サクマ シンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：物理系薬学を学ぶ  
 ユニット：C1 物質の物理的性質 一般目標：化学物質の基本的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などの基本的知識を修得し、それらを用いる技能を身につける。  
 （4）物質の変化 一般目標：物質の変換過程を理解するために、化学反応速度論、および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的知識と技能を修得する。  
 コース：医薬品をつくる  
 ユニット：C16 製剤化のサイエンス 一般目標：製剤化の方法と意義を理解するために、薬物と製剤材料の物性、医薬品への加工、および薬物送達システムに関する基本的知識と技能を修得する。  
 （1）製剤材料の性質 一般目標：薬物と製剤材料の性質を理解し、応用するために、それらの物性に関する基本的知識、および取扱いに関する基本的技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**  
**第1回** 【到達目標】 粉体の性質について説明できる。  
 沈降現象について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）  
**第2回** 【到達目標】 粉体の性質について説明できる。  
 製剤分野で汎用される高分子の物性について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）  
**第3回** 【到達目標】 粉末X線回折測定法の原理と利用法について概略を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**第4回** 【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 溶液の濃度と性質について説明できる。  
 物質の溶解に対して酸・塩基反応が果たす役割を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第5回** 【到達目標】 物質の溶解とその速度について説明できる。  
 溶解した物質の膜透過速度について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第6回** 【到達目標】 物質の溶解とその速度について説明できる。  
 拡散および溶解速度について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第7回** 【到達目標】 界面の性質について説明できる。  
 代表的な界面活性剤の種類と性質について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第8回** 【到達目標】 製剤材料としての分子集合体について説明できる。  
 代表的な分散系を列挙し、その性質について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第9回** 【到達目標】 乳剤の型と性質について説明できる。  
 分散粒子の沈降現象について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第10回** 【到達目標】 流動現象および粘度について説明できる。  
 流動と変形（レオロジー）の概念を理解し、代表的なモデルについて説明できる。  
 高分子の構造と高分子溶液の性質について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第11回** 【到達目標】 反応次数と速度定数について説明できる。  
 微分型速度式を積分型速度式に変換できる。  
 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第12回** 【到達目標】 代表的な複合反応（可逆反応、平行反応、連続反応など）の特徴について説明できる。  
 反応速度と温度との関係（Arrheniusの式）を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**第13回** 【到達目標】 代表的な触媒反応（酸・塩基触媒など）について説明できる。  
 薬物と製剤材料の安定性に影響する要因、安定化方法を列挙し、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
 授業終了後の定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。  
**教材等**  
**教科書**…「新しい図解薬剤学」改訂5版 森本雍憲 他 著 南山堂（7500円）  
 生物薬剤学（3年次前期）及び薬物動態学（3年次後期）の教科書と共通  
**参考書**…「最新薬剤学」第10版 林正弘 他 編 廣川書店（8200円）  
 製剤学（4年次前期）の教科書と共通

**早期体験学習**  
 On-the-job training of early stage

中村 三孝 (ナカムラ ミツタカ) 曾根 知道 (ソネ トモミチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	必修	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：A.ヒューマニズムについて学ぶ  
 一般目標：生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人

との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

ユニット：

(1) 生と死（一般目標：生命の尊さを認識し、人の誕生から死までの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。）

(2) 医療の担い手としてのこころ構え（一般目標：常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通じて社会に貢献できるようになるために必要な心構えを身につける。）

(3) 信頼関係の確立を目指して（一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようにするために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。）

コース：B.イントロダクション

一般目標：薬学生としてのモチベーションを高めるために、薬の専門家として身につけるべき基本的知識、技能、態度を修得し、卒業生の活躍する現場などを体験する。

ユニット：

(1) 薬学への招待（一般目標：薬の専門家として必要な基本姿勢を身につけるために、医療、社会における薬学の役割、薬剤師の使命を知り、どのように薬学が発展してきたかを理解する。）

(2) 早期体験学習（一般目標：薬学生として学習に対するモチベーションを高めるために、卒業生の活躍する現場などを体験する。）

コース：本学独自の薬学専門教育

ユニット：リメディアル教育

F (7) IT（一般目標：情報の授受に効果的なコンピューターの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようになるために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。）

F (8) プレゼンテーション（一般目標：必要な情報、意思の伝達を行うことができ、集団の意見を整理して発表できるようになるために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を修得する。）

授業スケジュールの詳細は、講義時に配付する「早期体験学習履修ガイド」等で説明する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 B.イントロダクション

(1)薬学への招待

【薬学の歴史】

・薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割を概説できる。

・薬剤師の誕生と変遷の歴史を概説できる。

【薬剤師の活動分野】

・薬剤師の活動分野（医療機関、製薬企業、衛生行政など）について概説できる。

・薬剤師と共に働く医療チームの職種を挙げ、その仕事を概説できる。

・医薬品の適正使用における薬剤師の役割について概説できる。

・医薬品の創製における薬剤師の役割について概説できる。

・疾病の予防および健康管理における薬剤師の役割について概説できる。

【薬について】

・「薬とは何か」を概説できる。

・薬の発見の歴史を具体例を挙げて概説できる。

・化学物質が医薬品として治療に使用されるまでの流れを概説できる。

・種々の剤形とその使い方について概説できる。

・一般用医薬品と医療用医薬品の違いを概説できる。

【現代社会と薬学の接点】

・麻薬、大麻、覚せい剤などを乱用することによる健康への影響を概説できる。

・薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 小グループ討議演習（90分 X 7回）  
Web 検索等による自己学習

【評価】 観察記録1（討議：ピア評価も含む、発表会）（総括的評価）  
観察記録2（発表会：学生間相互評価）（形成的評価）  
成果物（レポート、発表会用資料等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 B.イントロダクション

(2) 早期体験学習

・病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。

・開局薬剤師の業務を見聞し、その重要性について自分の意見をまとめ、発表する。

・製薬企業および保健衛生、健康に関する行政機関の業務を見聞し、社会において果たしている役割について討議する。

【学習方法・自己学習課題】 参加型体験学習（病院、薬局、各施設 X 1回）

講義（90分 X 7回）

小グループ討議演習（90分 X 6回）

発表会（90分 X 6回）

Web 検索等による自己学習

【評価】 成果物（課題、レポート、発表会用資料等）（総括的評価）

観察記録1（施設見学、グループワーク、発表会等）（総括的評価）

観察記録2（発表会：学生間相互評価）（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 A.ヒューマニズムについて学ぶ

(1) 生と死

【生命の尊厳】

・人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する。

・誕生に関わる倫理的問題（生殖技術、クローン技術、出生前診断など）の概略と問題点を説明できる。

・医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概説と問題点を説明できる。

・死に関わる倫理的問題（安楽死、尊厳死、脳死など）の概略と問題点を説明できる。

【医療の目的】

・予防、治療、延命、QOLについて説明できる。

(2) 医療の担い手としてのこころ構え

【社会の期待】

・医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。

・医療の担い手にふさわしい態度を示す。

【医療行為に関わる心構え】

・ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。

・医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる。

・インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。

【医薬品の創製と供給に関するこころ構え】

・医薬品の創製と供給が社会に及ぼす影響に常に目を向ける。

(3) 信頼関係の確立を目指して

【相手の気持ちに配慮する】

・相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。

・対立意見を尊重し、協力してよりよい解決方法を見出すことができる。

【患者の気持ちに配慮する】

・患者の心理状態を把握し、配慮する。

【チームワーク】

・チームワークの重要性を例示して説明できる。

【地域社会の人々との信頼関係】

・薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。

・薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。

【学習方法・自己学習課題】 小グループ討議演習（90分 X 7回）  
Web 検索等による自己学習

【評価】 観察記録1（討議：ピア評価も含む、発表会）（総括的評価）

観察記録2（発表会：学生間相互評価）（形成的評価）

成果物（レポート、発表会用資料等）（総括的評価）

定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 F (7) IT

【コンピューター入門】

・ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。

・ワープロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフトを用いることができる。

・インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。

【学習方法・自己学習課題】 IT課題演習（90分 X 9回）

【評価】 成果物（課題、レポート、発表会資料等）（総括的評価）

第5回 【到達目標】 F (8) プレゼンテーション

【プレゼンテーション】

・効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。

・課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。

・グループディスカッションで得られた意見を、統合して発表できる。

【学習方法・自己学習課題】 上記小グループ討議演習（90分 X 20回）、IT演習（90分 X 9回）に含まれる。

【評価】 成果物（課題、レポート、発表会資料等）（総括的評価）

観察記録1（発表、質疑応答等）（総括的評価）

観察記録2（発表：学生間相互評価）（形成的評価）

評価の時期・方法・基準

早期体験学習（病院、薬局体験）、小グループ討議演習、IT演習の取り組みに関する観察記録（40%）ならびに成果物（レポート、発表会用資料、演習課題等）の提出状況（30%）および定期試験（30%）で評価する（100点満点中60点以上で合格）。なお、修学状況（出席、受講態度等）不良の者については、40点を限度に減点することがある。発表会における学生間相互評価等に「クリッカー」を使用しますので、必ず購入すること。

教材等

教科書…「ヒューマニズム・薬学入門」スタンダード薬学シリーズ1, 日本薬学会編 東京化学同人 (4,200円+税) "

**関連科目**

1年次前期に開講される「薬剤師になるために」と密接に関連している。

また、全ての薬学専門科目を学ぶ目的の基盤となる。

**担当者の研究室等**

中村、曾根：1号館2階（薬学教育研究室、Academic Support Center（枚方キャンパス））

**備考**

- 共同担当者
- ・薬学部全教員
- ・佐野 蘭美, 橋本 はる美, 十塚 大己（情報メディアセンター）

スタートアップゼミ Startup Semina				
荻田 喜代一（オギタ キョカズ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	通年	必修	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育

ユニット：リメディアル教育

F (7) IT（一般目標：情報の授受に効果的なコンピューターの利用法を理解し、必要なデータや情報を有効活用できるようにするために、インターネットを利用した情報の収集、開示、データベースの使用方法、応用などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。）【コンピューター入門】【ネットワーク】

F (8) プレゼンテーション（一般目標：必要な情報、意思の伝達を行うことができ、集団の意見を整理して発表できるようにするために、プレゼンテーションの基本的知識、技能、態度を修得する。）【プレゼンテーション】

コース：A.ヒューマニズムについて学ぶ

ユニット：

(2) 医療の担い手としてのこころ構え（一般目標：常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようにするために必要なこころ構えを身につける。）【社会の期待】【自己学習・生涯学習】

(3) 信頼関係の確立を目指して（一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。）【コミュニケーション】【相手の気持ちに配慮する】【チームワーク】

コース：B.イントロダクション

ユニット

(1) 薬学への招待（一般目標：薬の専門家として必要な基本的姿勢を身につけるために、医療、社会における薬学の役割、薬剤師の使命を知り、どのように薬学が発展してきたかを理解する。）【薬について】【総合演習】

(2) 早期体験学習（一般目標：薬学生として学習に対するモチベーションを高めるために、卒業生の活躍する現場などを体験する。）

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 自分のことを紹介しよう！  
仲間、担任の先生、摂南大学のことを知ってみよう！  
・First Year Study Guide「第1章 摂南大学を知ろう」、「第2章 シラバスを読もう」  
【学習方法・自己学習課題】 小グループ討議  
自己研鑽  
【評価】 観察記録（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 大学生活のマナーとルールを守ろう！  
・First Year Study Guide「第3章 快適で充実した大学生生活を送るために」  
【学習方法・自己学習課題】 小グループ討議  
自己研鑽  
【評価】 観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 情報を収集する方法について学ぼう！  
・First Year Study Guide「第4章 資料収集 4.2インターネットの活用」  
【学習方法・自己学習課題】 小グループ討議  
課題演習  
自己研鑽  
【評価】 観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 薬について調べてみよう！  
・薬に関する情報を収集し、整理して発表会資料を作成する。

【学習方法・自己学習課題】 小グループ討議

課題演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）

成果物（レポート、発表用資料等）（形成的評価）

**第5回** 【到達目標】 調べたことを発表してみよう！

・薬について調べたことを、発表会資料を用いて説明する。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク

発表会

自己研鑽

【評価】 観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）

成果物（レポート、発表用資料等）（形成的評価）

**第6回** 【到達目標】 早期体験学習の発表会に向けて、練習をしよう！

・発表会に向けて、発表、質問、質問対応等の練習をする。  
（早期体験学習の発表会：医療施設（病院、薬局）で体験学習したことについて、ポスターを用いて発表する。）

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク

自己研鑽

【評価】 観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）

**第7回** 【到達目標】 早期体験学習のレポートを完成させよう！（1）

・作成した報告書の原稿を、体験したことを十分伝えられるようにするために、適切で分かりやすい表現を用いた文章にする。

（早期体験学習では、医療施設（病院、薬局）で体験学習したことについて報告書を作成し、冊子として施設に配付している。）

・First Year Study Guide「第6章 レポートの書き方とレポート作成」

【学習方法・自己学習課題】 演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（総括的評価）

成果物（レポート等）（形成的評価）

**第8回** 【到達目標】 早期体験学習のレポートを完成させよう！（2）

・作成した報告書の原稿を、体験したことを十分伝えられるようにするために、適切で分かりやすい表現を用いた文章にする。

（早期体験学習では、医療施設（病院、薬局）で体験学習したことについて報告書を作成し、冊子として施設に配付している。）

・First Year Study Guide「第6章 レポートの書き方とレポート作成」

【学習方法・自己学習課題】 演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（総括的評価）

成果物（レポート等）（形成的評価）

**第9回** 【到達目標】 になりたい自分をさがしてみよう！

・First Year Study Guide

「第7章 今までの自分を自分で分析しよう 7.1キャリアデザイン」

「第8章 各学部の進路状況とキャリアデザイン 8.4薬学部のキャリア教育」

【学習方法・自己学習課題】 演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（総括的評価）

成果物（レポート等）（形成的評価）

**第10回** 【到達目標】 課題に挑戦してみよう！（1）

・担任の先生から与えられた課題に取り組む。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク

演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（総括的評価）

成果物（レポート等）（形成的評価）

**第11回** 【到達目標】 課題に挑戦してみよう！（2）

・担任の先生から与えられた課題に取り組む。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク

演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（総括的評価）

成果物（レポート等）（形成的評価）

**第12回** 【到達目標】 課題に挑戦してみよう！（3）

・担任の先生から与えられた課題に取り組む。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク

演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（総括的評価）

成果物（レポート等）（形成的評価）

**第13回** 【到達目標】 課題に挑戦してみよう！（4）

・担任の先生から与えられた課題に取り組む。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク

演習

自己研鑽

【評価】 観察記録（総括的評価）

成果物（レポート等）（形成的評価）

評価の時期・方法・基準

成果物（レポート等）の提出状況（40%）及び授業への取り組みならびにグループワークへの貢献度等に関する観察記録（60%）で評価する。100点満点中60点以上で合格。

なお、修学状況（出席、受講態度等）不良の者については、40点を上限として減点することがある。

教材等

参考書…「First Year Study Guide」摂南大学版

関連科目

早期体験学習、薬剤師になるために、その他、薬学基礎系科目及び薬学専門科目

備考

薬学部講師以上の全教員

なお、授業スケジュールの詳細は、1回目の講義時に配付する「スタートアップゼミ日程表」で、担任教員と確認すること。

基盤実習

Basic Laboratory Practice

橋本直文（ハシモト ナオフミ）  
中西邦夫（ナカニシ クニオ）  
松浦哲郎（マツウラ テツロウ）  
曾根知道（ソネ トモミチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	必修	3

コース・ユニット・一般目標

【コース：本学独自の薬学専門教育】

・ユニット：リメディアル教育（F（3）薬学の基礎としての物理）

一般目標：薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。

・ユニット：リメディアル教育（F（4）薬学の基礎としての化学）

一般目標：薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識と技能を修得する。

・ユニット：リメディアル教育（C8 生命体の成り立ち）（1）ヒトの成り立ち、（2）生命体の基本単位としての細胞

一般目標：（1）人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。

（2）多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを扱うための基本的技能を身につける。

【コース：化学系薬学を学ぶ】

・ユニット：C2 化学物質の分析（1）化学平衡、（2）化学物質の検出と定量

一般目標：（1）水溶液中での物質の性質を理解するために、各種の化学平衡に関する基本的知識と測定的基本的スキルを修得する。

（2）試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する。

【コース：ヒューマニズムについて学ぶ】

一般目標：生命に関わる職業人になることを自覚し、それにふさわしい行動、態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

・ユニット：（2）医療の担い手としての心構え

一般目標：常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようにするために必要な心構えを身につける。

・ユニット：（3）信頼関係の確立を目指す

一般目標：医療の担い手の一員として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。

【コース：本学独自の薬学専門教育】

・ユニット：リメディアル教育 C8 生命体の成り立ち

一般目標：生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

（1）ヒトの成り立ち

一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。

補足説明：「本学独自の教育」（人体の基本構造を理解するために、遗体解剖見学を実施し、各器官の位置と構造に関する基礎知識を体得する）

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 【項目1】 基盤実習の概略説明

- ・実習に対する心構えを習得する。
- ・使用する機器・器具の名称および用途を説明できる。
- ・使用する器具をきれいに洗浄できる。
- ・衛生的な手洗いができる。

【項目2】 溶液の調製。

- ・ピペット・メスシリンダー・メスフラスコなどの器具を使用できる。

・試薬の調製と濃度の異なる溶液を調製できる。

【項目3】 薬を扱う上での基本的事項

- ・天秤を正しく使用できる。
- ・薬包紙で散剤を包むことができる。

【項目4】 水素イオン濃度の測定

- ・pHメーターを調整できる。
- ・酸・塩基のpHを試験紙とpHメーターを使って測定できる。
- ・水素イオン濃度の概念を物理化学的に説明できる。

【項目5】 緩衝液の調製と緩衝液のpH変化

- ・緩衝液が調製できる。
- ・緩衝液の概念をpHを指数として物理化学的に説明できる。

【項目6】 胃腸薬の制酸力の測定

- ・化学天秤が使える。
- ・試料を精密に秤取できる。

・pHメーターを用いて、アルカリで酸を中和滴定することができる。

【項目7】 注射剤のpH変動試験

- ・pH変動スケールを作成できる。
- ・pH変動スケールを用いて配合変化を予測できる。

【項目8】 日本薬局方の純度試験・確認試験の一般説明および取り組み方

- ・日本薬局方で使われる「試験」の定義を説明できる。
- ・純度試験および確認試験に用いる試薬・試液の調製ができる。

【項目9】 純度試験・確認試験

- ・日本薬局方の純度試験・確認試験を実施できる。
- ・純度試験・確認試験の結果から試験薬の評価ができる。

【学習方法・自己学習課題】 実習（講義室、実習室）

【評価】 実習態度（総括的評価）

レポート（総括的評価）

第2回 【到達目標】 【項目10】 解剖実習の説明および準備

- ・ラットの解剖手法、諸臓器の形態および名称を理解することができる。

【項目11】 ラットの解剖と主要臓器の肉眼的な観察

- ・腹腔内臓器、胸腔内臓器および脳の肉眼的な観察を行い、各器官系の名称を理解することができる。

【項目12】 光学顕微鏡の取扱い方と組織観察の説。

- ・光学顕微鏡を正しく取扱い、代表的な細胞および組織を観察できる。

【項目13】 血球の数の算定と形態観察

- ・赤血球および白血球数を算出し、血液塗抹標本を用い赤血球、白血球および血小板の形態を理解することができる。

【項目14・15】 生体成分の分離・定性

- ・アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。
- ・クロマトグラフィーによりアミノ酸を分離することができる。

【項目16】 生体成分の定量

- ・タンパク質を定量する原理を説明できる。
- ・血液から血清を分離し、血清タンパク質を定量することができる。

【学習方法・自己学習課題】 実習（講義室、実習室）

【評価】 実習態度（総括的評価）

レポート（総括的評価）

実習試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 【項目17】 ハンディキャップ演習

- ・三つの不自由体験（ブラインド体験、片麻痺体験、車椅子体験）を通して、医療の担い手としてふさわしい態度を示し、患者の心理状態を把握し配慮できる。
- ・不自由体験などの体験学習を通して、患者の気持ちについて討議する。
- ・病気が患者に及ぼす心理的影響を理解し、患者の気持ちについて討議する。

【学習方法・自己学習課題】 実習（講義室、実習室、他）

【評価】 実習態度（総括的評価）

レポート（総括的評価）

第4回 【到達目標】 【項目18】 実習試験・まとめ

【学習方法・自己学習課題】 試験（情報処理演習室、他）

【評価】 実習態度（総括的評価）

レポート（総括的評価）

実習試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 【項目19】 ヒトの身体を構成する臓器の名称、

- 形態および体内での位置を説明できる。
- 内容1：人体の各臓器の位置と構造を模型を用いて学習する。
- 内容2：監察医の指導のもと、人体解剖の見学をとおして、臓器の位置と構造を理解する。（学外）

【学習方法・自己学習課題】 内容1：講義、実習、自己研鑽

内容2：見学実習、自己研鑽

【評価】 内容1：チェックリスト（総括的評価）

内容2：チェックリスト（総括的評価）、レポート（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

【項目1～18】実習には全て出席し、課題（レポート等）も全て提出し、実習試験にも合格（100点満点中60点以上）していることを単位認定の必須要件とする。その上で、手技の修得に関する観察記録（45点）、レポート（45点）及び実習試験（10点）を合わせて100点とし、60点以上を合格とする。

【項目19】受講態度の評価（50点）、レポート（50点）で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**

教科書…【項目1～18】実習書、実習プリント

【項目19】なし

参考書…【項目1～18】「第16改正日本薬局方解説書」日本公定書協会編、広川書店、生物学、基盤演習IIの教科書など

【項目19】トートラ人体解剖生理学

**関連科目**

化学、物理学、生物学、物理化学、有機化学、薬品分析学、生理解剖学、基盤演習II（生物学）、基盤演習V（生化学・生理解剖）、薬剤師になるために、早期体験学習、臨床医学概論、臨床心理学、医療倫理。

**担当者の研究室等**

【項目1-18】橋本直文、片川純一、弓樹佳曜（1号館3階、薬品物性化学研究室）、中西邦夫、今井公江、岩崎綾乃（1号館4階、臨床薬理学研究室）、藤森廣幸（1号館7階、毒性学研究室）、曾根知道、柳田一夫、栗尾和佐子（1号館2階、薬学教育研究室）、松浦哲郎、尾崎清和（6号館3階、病理学研究室）、山本祐実、西川智絵（1号館2階、ASC）

【項目19】倉本展行、芝達雄、山口太郎（1号館6階、薬理学研究室）、辻塚己（1号館3階、病態医学研究室）、山室晶子（1号館3階、薬物治療学研究室）、稲富由香（1号館4階、生薬学研究室）

**基礎薬学実習I**

Laboratory Practice of Basic Pharmacy I

安藤 章 (アンドウ アキラ)

矢部 武士 (ヤベ タケシ)

野田 直規 (ノダ ナオキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	必修	3

**コース・ユニット・一般目標**

項目1：【コース：化学系薬学を学ぶ】

・ユニット：C4 化学物質の性質と反応

一般目標：化学物質（医薬品および生物物質を含む）の基本的な反応性を理解するために、代表的な反応、分離法、構造決定法などについて基本的知識と、それらを実施するための基本的技能を修得する。

(3) 官能基

一般目標：官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、カルボニル基、アミノ基などの官能基を有する有機化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得し、それらを応用するための基本的技能を身につける。

・ユニット：C5 ターゲット分子の合成

一般目標：入手容易な化合物を出発物質として、医薬品を含む目的化合物へ変換するために、有機合成法の基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 官能基の導入・変換 一般目標：個々の官能基を導入し、変換するために、それらに関する基本的知識と技能を修得する。

(2) 複雑な化合物の合成 一般目標：医薬品を含む目的化合物を合成するために、代表的な炭素骨格の構築法などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

項目2：【コース：化学系薬学を学ぶ】

・ユニット：C7 自然が生み出す薬物

一般目標：自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質の含有成分の単離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。

(2) 薬の宝庫としての天然物

一般目標：医薬品開発における天然物の重要性と多様性を理解するために、自然界由来のシーズ（医薬品の種）および抗生物質などに関する基本的知識と技能を修得する。

項目3：【コース：化学系薬学を学ぶ】

・ユニット：C7 自然が生み出す薬物

一般目標：自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質

の含有成分の単離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。

(1) 薬になる動植物

一般目標：薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の基本的性質を理解するために、それらの基原、性状、含有成分、生合成、品質評価、生産と流通、歴史的背景などについての基本的知識、およびそれらを活用するための基本的技能を修得する。すなわち、日本薬局方取載の重要生薬類を正しく鑑別・品質評価する事を目的に、生薬の外部形態と内部形態の観察ならびに生薬の確認試験と純度試験、漢方処方への作成と解析、生薬の鑑定試験、薬学部附属薬用植物園の見学および植物の外部形態の観察をおこなう。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 【到達目標】 実習全体の概略的内容を理解する。

・実習で使用する器具の名称および使用法を理解する。

・ガラス細工による簡単な実験器具の作成法を理解する。

SBO：官能基の性質を利用した分離精製を実施できる(1)。(技能)

内容：混合検体から官能基の性質により抽出操作による分離法を修得する。

SBO：代表的な官能基の定性試験を実施できる(1)。(技能)

内容：既知物質を用いた官能基の定性反応を学ぶ。

SBO：廃液を適切に処理する(1)。(技能)

内容：廃液の適切な処理の仕方を修得する。

SBO：官能基の性質を利用した分離精製を実施できる(2)。(技能)

内容：液体化合物の蒸留法および固体化合物の再結晶法の原理および精製法を修得する。

SBO：廃液を適切に処理する(2)。(技能)

SBO：官能基の性質を利用した分離精製を実施できる(3)。(技能)

内容：再結晶後の化合物について、同定のための混融試験について原理および操作法を修得する。

SBO：廃液を適切に処理する(3)。(技能)

SBO：代表的な官能基を他の官能基に変換できる(1)。(技能)

SBO：課題として与えられた医薬品を合成できる(1)。(技能)

内容：分離精製した検体について、誘導体合成法により医薬品を合成、精製後、混融試験により目的化合物の合成を確認する。

SBO：廃液を適切に処理する(4)。(技能)

SBO：代表的な官能基を他の官能基に変換できる(2)。(技能)

SBO：課題として与えられた医薬品を合成できる(2)。(技能)

内容：分離精製した検体について、誘導体合成法により医薬品を合成、精製後、混融試験により目的化合物の合成を確認する。

SBO：廃液を適切に処理する(5)。(技能)

【学習方法・自己学習課題】 実習（実習室）

講義（講義室）

【評価】 実地試験（形成的評価）

観察記録（総括的評価）

論述試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 SBO：天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる。(技能)

内容：茶葉からアルカロイドの単離

SBO：官能基の性質を利用した分離精製ができる。

内容：生薬、アンソクウから酸性芳香族化合物の単離

SBO：薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分離分析できる。(技能)

内容：HPLCによるカフェインの同定ならびに純度検定

SBO：代表的な分光スペクトルを測定し、構造との関連を説明できる。

内容：酸性芳香族化合物の紫外可視吸収スペクトルの測定

SBO：IRスペクトル上の基本的な官能基の特性吸収帯を列挙し、帰属することができる。赤外吸収スペクトルによるカフェインの同定

天然物から化合物を単離できる。

医薬品の確認試験や純度検定・定量ができる。

【学習方法・自己学習課題】 実習（実習室）、レポート作成と試験

【評価】 実地試験（形成的評価）

レポート（総括的評価）

第3回 【到達目標】 SBO：代表的な漢方製剤の配合生薬を説明できる(技能)

内容：実習全体の説明および漢方処方の調製と、処方構成生薬の解析により、漢方処方に関する手技を修得する。

SBO：代表的な生薬の確認試験と純度試験を実施できる(技能)

内容：各種生薬（ロートコンおよびセンナ等）の確認試験により、生薬の鑑別方法を修得する。

SBO：代表的な生薬の確認試験と純度試験を実施できる(技能)

内容：漢方処方構成生薬のTLCや粉末生薬の確認試験および純度試験により、生薬の鑑別方法を修得する。

SBO：代表的な薬用植物(生薬)の形態を観察する(技能)  
 内容：皮類生薬のケイヒの外、内部形態を観察することにより、生薬の鑑別方法を修得する。  
 SBO：代表的な薬用植物(生薬)の形態を観察する(技能)  
 内容：葉類生薬のウワウルシの外、内部形態を観察することにより、生薬の鑑別方法を修得する。  
 SBO：代表的な薬用植物(生薬)の形態を観察する(技能)  
 内容：根茎類生薬のオウレンの外、内部形態を観察することにより、生薬の鑑別方法を修得する。  
 粉末生薬の内部形態を観察・同定することにより、生薬の鑑別方法を修得する。  
 SBO：代表的な生薬を識別できる(技能)  
 内容：80種の重要生薬を対象に、その生薬に関する各種の事柄について試験することにより、生薬を鑑別する能力を修得する(生薬鑑定試験)。  
 SBO：代表的な薬用植物の形態を観察する(技能)  
 内容：薬学部附属薬用植物園において重要な薬用・有用植物等を実地に観察することにより、薬用植物や生薬に関する知識を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 実習講義(講義室)と実習(実習室)、課題調査(自宅等)、生薬鑑定試験(講義室)

【評価】 口頭試験(形成的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(形成的評価)

評価の時期・方法・基準

項目1:「参加態度、手技に関わる観察記録(実習中に実施)(40%)、「理解度」(実習終了時)(40%)、レポート「実習終了時」(20%)で評価する。実習期間以外に実習内容に関する補講及び実習試験を行うので必ず出席(受験)すること。無断欠席の場合、減点する。100点満点中60点以上で合格。

項目2: レポート(50%)、試験(30%)、取量(20%)。100点満点中60点以上で合格。

項目3: 実習にはすべて出席し、課題(レポート等)もすべて提出し、鑑定試験に合格することを単位認定の必須要件とする。そのうえで、実習態度・手技に関する記録、鑑定試験(70%)とレポート(30%)とし、100点満点中60点以上で合格とする。

教材等

教科書…項目1:「実習プリントによるほか、”統実験を安全に行うために”(通称青本)を購入持参せよ。

項目2:「基礎薬学実習(天然物化学・機器分析学)実習書」(300円)

項目3:「基礎薬学実習(生薬学)実習書」(約500円)

参考書…項目2:「天然薬物化学」川崎・西岡編 廣川書店、「薬学領域の機器分析学」財津ほか、廣川書店、「第十三改正日本薬局方解説書」廣川書店、「統実験を安全に行うために」編集部編、化学同人

項目3: 最新生薬学(第2版)奥田編、廣川書店、「薬用植物学 改訂第6版」野呂編、南江堂、「第16改正日本薬局方解説書」廣川書店

関連科目

項目1: 基盤講義I(化学)、有機化学、物理化学

項目2: 天然物化学、機器分析学、分子構造解析、生薬学、分析化学

項目3: 生薬学、天然物化学、天然薬用資源学、漢方処方学

担当者の研究室等

項目1: 安藤章、表雅章、佐藤和之、樽井敦(1号館3階、薬化学研究室)

項目2: 野田直規、中谷尊史、田中龍一郎(1号館4階、天然薬物構造化学研究室)

項目3: 矢部武士、邑田裕子、稲富由香、荒木良太(1号館4階、生薬学研究室・薬用植物園)

備考

保護メガネ、白衣、名札、タオル、ライター、個人持ち器具等を持参のこと。

基礎薬学実習II

Laboratory Practice of Basic Pharmacy II

大塚正人(オオツカ マサト)

秋澤俊史(アキザワ トシフミ)

高松宏治(タカマツ ヒロム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	必修	3

コース・ユニット・一般目標

【コース・ユニット・一般目標】

コース: 生物系薬学を学ぶ

ユニット: C8 生命体の成り立ち(一般目標: 生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構

造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する)。(4) 小さな生き物たち(一般目標: 微生物の基本的性状を理解するために、微生物の分類、構造、生活史などに関する基本的知識を修得し、併せて代表的な微生物取扱いのための基本的技能と態度を身につける)。

ユニット: C9 生命をミクロに理解する(一般目標: 生物をミクロなレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割についての基本的知識を修得し、併せてそれらの生体分子を取り扱うための基本的技能と態度を身につける)。

(3) 生命活動を担うタンパク質(一般目標: 生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける)。  
 [タンパク質の構造と機能][酵素][タンパク質の取り扱い](6) 遺伝子进行操作する(一般目標: パイオテクノロジーを薬学領域で応用できるようにするために、遺伝子操作に関する基本的知識、技能、態度を修得する)。  
 [遺伝子のクローニング技術]

コース: 物理系薬学を学ぶ

ユニット: C2 化学物質の分析(一般目標: 化学物質(医薬品を含む)をその性質に基づいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基本知識と技能を修得する)。(2) 化学物質の検出と定量(一般目標: 試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する)。(3) 分析技術の臨床応用(一般目標: 薬学研究や臨床現場で分析技術を適切に応用するために、代表的な分析法の基本知識と技能を修得する)。

ユニット: C3 生体分子の姿・かたちをとらえる(一般目標: 生体の機能や医薬品の働きが三次元的な相互作用によって支配されていることを理解するために、生体分子の立体構造、生体分子が関与する相互作用、およびそれらを解析する手法に関する基本知識と技能を修得する)。(1) 生体分子を解析する手法(一般目標: 生体分子、化学物質の姿、かたちをとらえるために、それらの解析に必要な方法に関する基本知識と技能を修得する)。

(2) 生体分子の立体構造と相互作用(一般目標: 生体分子の機能および医薬品の働きを立体的、動的にとらえるため、タンパク質、核酸および脂質などの立体構造やそれらの相互作用に関する基本知識を修得する)。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 SBO: おもな消毒薬を適切に使用できる(技能・態度)

SBO: おもな滅菌法を実施できる(技能)

内容: アルコールなどの消毒薬の使用、白金耳・白金線などの火炎滅菌と使用

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

実習(実習室)

課題についての自己研磨(図書館、自宅等)

【評価】 観察記録(総括的評価)

レポート(総括的評価)

第2回 【到達目標】 SBO: 無菌操作を実施できる(技能)

内容: 開放系における無菌操作

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

実習(実習室)

課題についての自己研磨(図書館、自宅等)

【評価】 観察記録(総括的評価)

レポート(総括的評価)

第3回 【到達目標】 SBO: グラム染色を実施できる(技能)

内容: 細菌のグラム染色と顕微鏡観察

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

実習(実習室)

課題についての自己研磨(図書館、自宅等)

【評価】 観察記録(総括的評価)

レポート(総括的評価)

第4回 【到達目標】 SBO: 代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる(技能)

内容: 環境中からの細菌の分離と純培養

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

実習(実習室)

課題についての自己研磨(図書館、自宅等)

【評価】 観察記録(総括的評価)

レポート(総括的評価)

第5回 【到達目標】 SBO: 代表的な細菌を同定できる(技能)

内容: 酵素活性を指標とした同定・検査

まとめ講義

【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)

実習(実習室)

課題についての自己研磨(図書館、自宅等)

【評価】 観察記録(総括的評価)

レポート(総括的評価)

第6回 【到達目標】 SBO: タンパク質の主要な機能を列挙できる

SBO: 酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比して説明できる

SBO: タンパク質の定性、定量試験法を実施できる(技能)

内容: 器具洗浄および導入講義、タンパク質の定量・検量

- 線の作成
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】** SBO：代表的な酵素の活性を測定できる－1（技能）  
SBO：酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる  
内容：酵素活性測定（反応時間と酵素活性）
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】** SBO：代表的な酵素の活性を測定できる－2（技能）  
SBO：酵素反応速度論について説明できる  
内容：酵素活性測定（ミカエリス－メンテン式、ラインウイパー－パークプロット）
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】** SBO：代表的な酵素の活性を測定できる－3（技能）  
SBO：タンパク質の一次、二次、三次、四次構造を説明できる  
内容：酵素活性測定（最適pHおよび最適温度）
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】** SBO：コンピューターを用いて特徴的な塩基配列を検索できる（技能）  
SBO：酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比して説明できる  
内容：酵素遺伝子の塩基配列の検索  
まとめ講義
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】** SBO：薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分析できる（知識・技能）  
SBO：実験値を用いた計算および統計処理ができる（技能）  
内容：導入講義、器具洗浄およびガラス細工など実験器具の作成、タンパク質のエドマン分解と標品のPTH－アミノ酸のHPLC分析
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】** SBO：薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分析できる（知識・技能）  
SBO：実験値を用いた計算および統計処理ができる（知識・技能）  
内容：タンパク質のエドマン分解とPTH－アミノ酸のHPLCによる回収率の計算
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】** SBO：薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分析できる（知識・技能）  
SBO：酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実地できる（知識・技能）  
内容：タンパク質の蛍光標識と酸加水分解により得たアミノ酸のTLCによる同定、タンパク質の酵素処理
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）

- 第14回 【到達目標】** SBO：代表的な生体試料について、目的に即した前処理と適切な取り扱いができる（技能）  
SBO：酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実地できる（知識・技能）  
SBO：電気泳動の原理を説明し、実地できる（知識・技能）  
内容：タンパク質の酵素分解物の固相法抽出、タンパク質の酵素分解物のSDS電気泳動
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）
- 第15回 【到達目標】** スモールグループディスカッションとプレゼンテーション  
内容：与えられた課題に対して班で調べ、まとめたうえで、全員の前で発表  
まとめ講義
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
実習（実習室）  
課題についての自己研磨（図書館、自宅等）
- 【評価】** 観察記録（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
すべての講義、実習、実習試験に出席することと、すべてのレポートや課題などの提出を必須条件として、「参加態度、理解度、手技に関わる観察記録」(実習中に実施)(40%)、「レポート、課題」(実習終了時)(40%)、「実習試験」(実習終了時)(20%)により評価する。100点満点中60点で合格とする。

**教材等**  
**教科書**…生化学研究室作成実習書「微生物」(厚生会で販売)、生化学研究室作成実習書「Biochemistry」(配布)、臨床分析化学研究室作成プリント(配布)と薬剤師に必要な臨床機器分析(廣川書店、4000円)  
**参考書**…生化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに示した教科書・参考書、「21世紀の考える薬学微生物学」池澤宏郎編 廣川書店(5800円)、「今日の治療薬」浦部昌夫他編、南江堂(4600円)；「治療薬マニュアル」高久史麻、医学書院(5000円)、日本薬局方、分析化学Ⅰ(定量編)、分析化学Ⅱ(機器分析編)

**関連科目**  
微生物学、感染症学、分子細胞生物学Ⅰ・Ⅱ、生化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬品分析学、臨床分析学、先端医療Ⅱ

**担当者の研究室等**  
1号館4階(臨床分析化学研究室)  
1号館5階(生化学研究室・微生物学研究室)

**備考**  
共同担当者：小西元美、竹内健治、桑名利津子、合田光寛  
薬剤師に必要な臨床機器分析(廣川書店、4000円)は薬品分析学(1年)、臨床分析学(2年)、先端医療Ⅱ(2年)でも使用する。

**基盤演習Ⅰ(物理・化学計算)**  
Fundamental Practice I (Physics and Chemistry Calculation)

**安原 智久(ヤスハラ トモヒサ)**  
**小西 元美(コニシ モトミ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	必修	1

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：本学独自の薬学専門教育  
ユニット：リメディアル教育(F(3)薬学の基礎としての物理、(4)薬学の基礎としての化学)  
一般目標：薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識を修得する。  
コース：物理系薬学を学ぶ  
ユニット：C1 物質の物理的性質  
(1) 物質の物理的性質  
一般目標：物質を構成する基本単位である原子および分子の性質を理解するために、原子構造、分子構造および化学結合に関する基本的知識と技能を修得する。  
コース：化学系薬学を学ぶ  
ユニット：C4 化学物質の性質と反応  
(1) 化学物質の基本的性質  
一般目標：基本的な無機および有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**  
**第1回 【到達目標】** チーム基盤型学習(TBL)の目的と手法を説明

できる。

TBLにチームとして取り組むことができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 物理量と単位、有効数字、分数計算に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 指数計算、対数計算に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 原子の構造や原子軌道、電子の充填に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 化学分析の基礎に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 周期表に基づく各原子の性質や化学結合、双極子モーメントに関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 混成軌道に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 炭素原子反応中間体や非共有電子対、空軌道に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 化学結合を構成する軌道に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 共鳴と共鳴が化合物に及ぼす影響に関する問題が解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第11回 【到達目標】 酸・塩基に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第12回 【到達目標】 立体配座に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 シクロヘキサンの立体配座に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）

演習内試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

授業中に行う演習内試験（個人テスト、グループテスト、ピア評価を総合して70%）、及び定期試験（30%）で評価を行う。100点満点中、60点以上で合格。再試験も同様の評価基準で行う。

教材等

教科書…「ブルース有機化学（上）」富岡清他訳、化学同人(6500円)

予習用演習冊子・・・「バサバ薬学演習シリーズ7 薬学計算演習」黒澤隆夫他、京都廣川書店（2800円）

関連科目

化学（1年前期）、物理（1年前期）、有機化学I（1年後期）、薬品分析学（1年後期）、有機化学II（2年前期）、有機化学III（2年後期）

担当者の研究室等

小西：1号館4階 臨床分析化学研究室

安原：1号館2階 薬学教育研究室・Academic Support Center（枚方キャンパス）

備考

本演習は、参加型学習法であるチーム基盤型学習（TBL）により行う。毎回の個人テストとグループテストを成績に反映させる。必ず毎回参加すること。尚、関連科目の進行に合わせて、開催日程を変更や追加を行う場合があるので注意すること。

基盤演習II（生物学）

Fundamental Practice II (Biology)

曾根 知道 (ソネ トモミチ)

松浦 哲郎 (マツウラ テツロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	必修	1

コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育

ユニット：リメディアル教育

F (5) 薬学の基礎としての生物

一般目標：薬学を学ぶ上で必要な生物学の基礎力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体、集団レベルでの生命現象と、誕生から死への過程に関する基本的知識を修得する。

F (2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と技能を身につける。

また、下記、生物系薬学 C8 生命体の成り立ち、C9 生命をミクロに理解するを効果的に学習するために必要な基本的知識を修得する。

C8 (1) ヒトの成り立ち（一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。）

C8 (2) 生命体の基本単位としての細胞（一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。）

C9 (1) 細胞を構成する分子（一般目標：生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。）

C9 (2) 生命情報を担う遺伝子（一般目標：生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する。）

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 ・ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。

・ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。

・細胞集合による組織構築について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、自己研鑽

自己学習課題：プリントの予習、復習

【評価】 到達度確認試験（総括的評価）

演習課題（総括的評価）

観察記録（課題への取り組み等）（総括的評価）

定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 【消化器系】

・胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。

・肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽

自己学習課題：プリントの予習、復習

【評価】 到達度確認試験（総括的評価）

演習課題（総括的評価）

観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）

定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 【循環器系】

・心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽

自己学習課題：プリントの予習、復習

【評価】 到達度確認試験（総括的評価）

演習課題（総括的評価）

観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）

定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 【呼吸器系】

・肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。

【泌尿器系】

・腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽

自己学習課題：プリントの予習、復習

【評価】 到達度確認試験（総括的評価）

演習課題（総括的評価）

観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）

- 第5回** 【到達目標】 定期試験（総括的評価）  
【到達目標】 【内分泌系】  
・脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【生殖系系】  
・精巣、卵巣、子宮などの生殖系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 ・動物細胞の成り立ちに関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 ・細胞膜の機能ならびに細胞膜を構成する代表的な生体分子の名称とそれらの機能等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 ・細胞小器官（核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ペロキシソームなど）の構造と機能等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 ・アミノ酸の構造と性質等に関する問題を解ける。  
・タンパク質の主要な機能に関する問題を解ける。  
・ペプチドの構造に関する問題が解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 ・グルコースの構造、性質、役割等に関する問題が解ける。  
・グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割等に関する問題が解ける。  
・代表的な多糖の構造と役割等に関する問題が解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 ・脂質ならびに脂肪酸の構造、役割等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 ・核酸（DNA、RNA）の構造、役割等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、

- 自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 ・まとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験（総括的評価）  
演習課題（総括的評価）  
観察記録（課題への取り組み、グループワークへの貢献度等）（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
毎回、演習ならびに到達度確認試験を実施するので、演習に全て出席し、演習課題も全て提出していることを単位認定の要件とする。その上で、演習課題の評点とグループワークへの貢献度に関する観察記録（40%）、到達度確認試験（毎回の個人試験ならびに適時行うグループ試験）（30%）、定期試験（30%）で評価する（100点満点中60点以上で合格）。  
なお、修学状況（出席、受講態度）不良の者については、40点を限度に減点することがある。

**教材等**  
**教科書**…自己学習用演習ノート  
「医歯薬系学生のための illustrated 基礎生命科学」竹島浩編、京都廣川書店（2,800円＋税）  
\*1年次前期開講の生物学の教科書  
「ニューステージ 新生物図表」浜島書店（870円税込み）  
\*高校で使用した同様な教材、例えば「生物図録 数研出版」でもよい  
「トートラ・人体の解剖生理学」丸善（6,900円＋税）  
\*1年次後期開講の生理解剖学Iの教科書

**関連科目**  
生物学、生理解剖学、生化学、基盤演習V（生化学・生理解剖学）、基盤実習など

**担当者の研究室等**  
曾根：1号館2階（薬学教育研究室、Academic Support Center（枚方キャンパス））  
松浦：6号館3階（病理学研究室）

**備考**  
本演習を効果的に学習するために、自己学習（予習ならび復習）をしていることが必須となる。

**基盤演習III（化学）**  
Fundamental Practice III (Chemistry)

**安原 智久** (ヤスハラ トモヒサ)  
**小西 元美** (コニシ モトミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1・2・3・4	後期	必修	1

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：本学独自の薬学専門教育  
ユニット：リメディアル教育 (F(3) 薬学の基礎としての物理、(4) 薬学の基礎としての化学)  
一般目標：薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識を修得する。  
コース：物理系薬学を学ぶ  
ユニット：C1 物質の物理的性質  
(1) 物質の物理的性質  
一般目標：物質を構成する基本単位である原子および分子の性質を理解するために、原子構造、分子構造および化学結合に関する基本的知識と技能を修得する。  
コース：化学系薬学を学ぶ  
ユニット：C4 化学物質の性質と反応  
(1) 化学物質の基本的性質  
一般目標：基本的な無機および有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**  
**第1回** 【到達目標】 後期演習を行うチームメンバーと十分なコミュニケーションを行うことができ、合意形成を円滑に行える。TBLにチームとして取り組むことができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義・TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 化学平衡と質量作用の法則に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 酸・塩基および酸・塩基平衡に関する問題が解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 緩衝液のpHに関する問題が解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 沈澱平衡に関する問題を解ける。

ピア評価を適切に行える。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 酸化・還元平衡に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 反応速度式に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 複合反応、反応速度と温度に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 酸・塩基・酵素触媒反応に関する問題を解ける。

ピア評価を適切に行える。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 希薄溶液の束一的性質に関する問題を解ける。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第11回 【到達目標】 他科目と連携した総合的演習を行う。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第12回 【到達目標】 他科目と連携した総合的演習を行う。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 他科目と連携した総合的演習を行う。

ピア評価を適切に行える。

【学習方法・自己学習課題】 TBL

【評価】 定期試験（総括的評価）  
演習内試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

授業中に行う演習内試験（個人テスト、グループテスト、ピア評価を総合して70%）、及び定期試験（30%）で評価を行う。100点満点中、60点以上で合格。再試験も同様の評価基準で行う。

教材等

教科書…「ブルース有機化学（上）」富岡清他訳 化学同人(6500円)

「Innovated 物理化学大義－事象と理論の融合－」青木宏光他 京都廣川書店（6000円）

予習用演習冊子・・・「バサパ薬学演習シリーズ7 薬学計算演習」黒澤隆夫他 京都廣川書店（2800円）

参考書…「バサパ薬学演習シリーズ2 物理化学演習」三輪嘉尚他 京都廣川書店（2800円）

関連科目

化学（1年前期）、物理（1年前期）、有機化学I（1年後期）、薬品分析学（1年後期）、物理化学I（1年後期）、有機化学II（2年前期）、有機化学III（2年後期）

担当者の研究室等

小西：1号館4階 臨床分析化学研究室

安原：1号館2階 薬学教育研究室・Academic Support Center（枚方キャンパス）

備考

本演習は、参加型学習法であるチーム基盤型学習（TBL）により行う。毎回の個人テストとグループテストを成績に反映させる。必ず毎回参加すること。尚、関連科目の進行に合わせて、開催日程の変更や追加を行う場合があるので注意すること。

## 基盤演習IV（有機化学）

Fundamental Practice IV (Organic Chemistry)

表 雅 章 (オモテ マサアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	必修	1

コース・ユニット・一般目標

コース：化学系薬学を学ぶ

ユニット：C4 化学物質の性質と反応

一般目標：化学物質（医薬品および生体物質を含む）の基本的な反応性を理解するために、代表的な反応、分離法、構造決定法などについての基本的知識と、それらを実施するための基本的技能を修得する。

（1）化学物質の基本的性質

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 基本的な化合物を命名し、ルイス構造式で書くことができる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

レポート

【評価】 小テスト（形成的評価）

レポート（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 演習

- レポート  
【評価】小テスト（形成的評価）  
レポート（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習  
レポート  
【評価】小テスト（形成的評価）  
レポート（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習  
レポート  
【評価】小テスト（形成的評価）  
レポート（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】有機反応を、電子の動きを示す矢印を用いて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習  
レポート  
【評価】小テスト（形成的評価）  
レポート（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
修学状況（出席、受講態度）、レポート、中間試験（3回）および定期試験を総合し、100点満点に換算。  
（修学状況（出席、受講態度）10点、レポートおよび中間試験30点、定期試験60点）  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…「有機化学」ワークブック 奥山格著 丸善（¥780）  
参考書…「ブルース 有機化学」(上) (第5版) P. Y. Bruice 著 富岡・他監訳 化学同人（¥6,500）

**関連科目**  
化学、有機化学Ⅰ、有機化学Ⅱ、有機化学Ⅲ、天然薬用資源学、天然物化学、医薬品化学Ⅰ、医薬品化学Ⅱ

**担当者の研究室等**  
1号館3階（薬化学研究室）

- 【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 第6回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 人の身体を構成する臓器の名称、形態および役割について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 第7回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 アミノ酸の構造、性質、役割を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 第8回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 感覚の伝達調節機構を説明できる（1）。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 第9回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 感覚の伝達調節機構を説明できる（2）。  
【学習方法・自己学習課題】 討議、演習とレポート作成  
発表
- 第10回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 タンパク質の構造、性質、役割（酵素を除く）を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 第11回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 DNA、RNAの構造、性質、役割を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 第12回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 体内の神経系の構成と機能を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 第13回 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）  
【到達目標】 酵素の役割、反応速度論について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）
- 【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
演習態度（30%）、課題レポート（40%）、定期試験（30%）で評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…「シンプル生化学（改訂第5版）」林典夫・廣野治子編 南江堂 2007（2940円）  
「トートラ・人体の解剖生理」丸善（6900円）

**関連科目**  
生化学Ⅰ、生理解剖学Ⅰ、生物学の基礎

**担当者の研究室等**  
竹内健治：1号館5階（生化学研究室）  
中村三孝：1号館2階（薬学教育研究室）

**基盤演習Ⅴ（生化学・生理解剖学）**  
"Fundamental Practice V (Biochemistry, Anatomy and Physiology)"  
中村三孝(ナカムラ ミツタカ)  
竹内健治(タケウチ ケンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1・2・3・4	後期	必修	1

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：本格独自の薬学専門教育。生物系薬学を学ぶ  
ユニット：  
C8生命体の成り立ち  
一般目標：生命体の基本単位としての固体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
C9生命のミクロを理解する  
一般目標：生物をミクロなレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割についての基本的知識を修得する。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回 【到達目標】 イントロダクション  
生化学、生理解剖学についての基礎的な考えを理解できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）  
【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）  
【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 グルコースを含む糖質の構造、性質、役割を理解できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）  
【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 神経系の構造、性質、役割を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習・レポート作成  
課題について調査（自宅）  
【評価】 演習態度、レポート（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 脂質の構造、性質、役割を理解できる。

**生物学の基礎**  
Introduction to Biology

曾根知道(ソネ トモミチ)  
松浦哲郎(マツウラ テツロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	必修	1

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：本学独自の薬学専門教育  
ユニット：リメディアル教育  
F(5) 薬学の基礎としての生物  
一般目標：薬学を学ぶ上で必要な生物学の基礎力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体、集団レベルでの生命現象と、誕生から死への過程に関する基本的知識を修得する。  
F(2) 薬学英語入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と技能を身につける。  
また、下記、生物系薬学 C8生命体の成り立ち、C9生命をミクロに理解するを効果的に学習するために必要な基本的知識を修得する。  
C8(1) ヒトの成り立ち（一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。）  
C8(2) 生命体の基本単位としての細胞（一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。）  
C9(1) 細胞を構成する分子（一般目標：生命の活動単位として

の細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。  
C9 (2) 生命情報を担う遺伝子 (一般目標: 生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する。)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 ・ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置を説明できる。  
・ヒトの身体を構成する各臓器の役割分担について概説できる。  
・細胞集合による組織構築について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題、演習自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 【消化器系】  
・胃、小腸、大腸などの消化管について機能と構造を関連づけて説明できる。  
・肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 【循環器系】  
・心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 【呼吸器系】  
・肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【泌尿器系】  
・腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第5回** 【到達目標】 【内分泌系】  
・脳下垂体、甲状腺、副腎などの内分泌系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【生殖器系】  
・精巣、卵巣、子宮などの生殖器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 ・動物細胞の成り立ちに関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 ・細胞膜の機能ならびに細胞膜を構成する代表的な生体分子の名称とそれらの機能等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)

- 演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第8回** 【到達目標】 ・細胞小器官 (核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ペロオキシソームなど) の構造と機能等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 ・アミノ酸の構造と性質等に関する問題を解ける。  
・タンパク質の主要な機能に関する問題を解ける。  
・ペプチドの構造に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 ・グルコースの構造、性質、役割等に関する問題が解ける。  
・グルコース以外の代表的な単糖、および二糖の種類、構造、性質、役割等に関する問題が解ける。  
・代表的な多糖の構造と役割等に関する問題が解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 ・脂質ならびに脂肪酸の構造、役割等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第12回** 【到達目標】 ・核酸 (DNA、RNA) の構造、役割等に関する問題を解ける。  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)
- 第13回** 【到達目標】 ・まとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義、課題演習、グループワーク、自己研鑽  
自己学習課題：プリントの予習、復習  
【評価】 到達度確認試験 (総括的評価)  
演習課題 (総括的評価)  
観察記録 (課題への取り組み、グループワークへの貢献度等) (総括的評価)  
定期試験 (総括的評価)

評価の時期・方法・基準

毎回、演習ならびに到達度確認試験を実施するので、演習に全て出席し、演習課題も全て提出していることを単位認定の要件とする。その上で、演習課題の評点とグループワークへの貢献度に関する観察記録 (40%)、到達度確認試験 (毎回の個人試験ならびに適時行うグループ試験) (30%)、定期試験 (30%) で評価する (100点満点中60点以上で合格)。  
なお、修学状況 (出席、受講態度) 不良の者については、40点を限度に減点することがある。

教材等

教科書…自己学習用演習ノート  
「医歯薬系学生のための illustrated 基礎生命科学」竹島浩編、京都廣川書店 (2,800円+税)  
\*1年次前期開講の生物学の教科書  
「ニューステージ 新生物図表」浜島書店 (870円税)

込み)  
 \* 高校で使用した同様な教材, 例えば「生物図録  
 数研出版」でもよい  
 「トートラ・人体の解剖生理学」丸善 (6,900円+税)  
 \* 1年次後期開講の生理解剖学Iの教科書

**関連科目**

生物学, 生理解剖学, 生化学, 基盤演習V (生化学・生理解剖学),  
 基盤実習など

**担当者の研究室等**

曾根: 1号館2階 (薬学教育研究室, Academic Support Center (枚  
 方キャンパス))  
 松浦: 6号館3階 (病理学研究室)

**備考**

本演習を効果的に学習するために, 自己学習 (予習ならび復習)  
 をしていることが必須となる。

物理学の基礎 Introduction to Physics				
柳 田 一 夫 (ヤナダ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	必修	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース: 本学独自の薬学専門教育  
 ユニット: リメディアル教育 (F(3)薬学の基礎としての物理)  
 一般目標: 薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につける  
 ために, 物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識  
 を修得する。  
 ユニット: 薬学専門教育(物理系薬学を学ぶ)C1物質の物理的性質  
 (1)物質の構造  
 一般目標: 化学物質の基本的性質を理解するために, 原子・  
 分子の構造, 熱力学, 反応速度論などの基本知識を習得し, そ  
 れらを応用する技術を身につける。  
 ユニット: 薬学専門教育(物理系薬学を学ぶ)C1物質の物理的性質  
 (2)物質の状態I  
 一般目標: 物質の状態および相互変換過程を解析できるよう  
 になるために, 熱力学の基本的知識と技能を習得する

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 F(3) [基本概念] 1~4.  
 物理量の基本単位およびそれを組み合わせた組立単位を  
 説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 F(3) [基本概念] 1~4.  
 物理量の基本単位およびそれを組み合わせた組立単位を  
 説明できる。(単位と計算の練習)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 F(3) [電荷と電流]  
 1. 電荷と電流, 電圧, 電力, オームの法則などを説明で  
 きる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 F(3) [電場と磁場]  
 1. 電場と磁場の関係を説明できる。(クーロンの法則, フ  
 レミングの左手の法則)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第5回** 【到達目標】 F(3) [電場と磁場]  
 2. 電場, 磁場の中における荷電粒子の運動を説明できる。  
 (真空中での電子の動き, 溶液中でのイオンの動き)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 F(3) [波動]  
 1. 光, 音, 電磁波などの波の性質を理解し, 反射, 屈折,  
 干渉などの特性を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)

- 定期試験 (総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 F(3) [波動]  
 1. 光, 音, 電磁波などの波の性質を理解し, 反射, 屈折,  
 干渉などの特性を説明できる。(光の屈折率・分散, 光子の  
 エネルギー)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第8回** 【到達目標】 C1(1) [原子・分子]  
 1. 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。  
 2. 分子の振動, 回転, 電子遷移について説明できる。  
 C1(2) [総論]  
 3. エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明で  
 きる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 F(3) [運動の法則]  
 2. 直線運動, 円運動, 単振動などの運動を, 数式を用い  
 て説明できる。(力は運動の状態を変化させる原因である)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 F(3) [運動の法則]  
 1. 運動の法則について理解し, 力, 質量, 加速度, 仕事  
 などの相互関係を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 F(3) [エネルギー]  
 1. 運動エネルギー, ポテンシャルエネルギー, 熱エネル  
 ギー, 化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて  
 説明できる。(仕事, 運動エネルギー, ポテンシャルエネ  
 ルギー)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第12回** 【到達目標】 F(3) [エネルギー]  
 1. 運動エネルギー, ポテンシャルエネルギー, 熱エネル  
 ギー, 化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて  
 説明できる。(運動エネルギー, ポテンシャルエネルギー)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第13回** 【到達目標】 F(3) [エネルギー]  
 1. 運動エネルギー, ポテンシャルエネルギー, 熱エネル  
 ギー, 化学エネルギーなどの相互変化について例をあげて  
 説明できる。(熱エネルギー, 化学エネルギー)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義と演習 (講義室)  
 練習問題による自己研鑽 (図書室, 自宅など)  
**【評価】** レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**  
 講義中適宜提出するレポート (50%) および定期試験 (50%) で  
 評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

**教科書** ①青木宏光, 長田俊治, 橋本直文, 三輪嘉尚著 「物  
 理化学大義-事象と理論の融合-」京都廣川書店 (6000円+税)。  
 ②「ニューサポート 新編 物理 I」東京書籍 (524円+  
 消費税)

**関連科目**

物理化学 I, 機器分析学, 分子構造解析学

**担当者の研究室等**

1号館2階 薬学教育研究室, ASC (Academic Support Center)  
 (枚方キャンパス)

**備考**

物理学は, いろいろな科目を勉強するときの基礎になります。  
 特に, 単位には早く慣れた方が良いと思います。そのために,  
 測定値のような物理量には, 必ず単位を付けることを心がけま  
 しょう。

**基盤講義I (化学)**  
Fundamental Chemistry

安原 智久 (ヤスハラ トモヒサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育  
 ユニット：リメディアル教育 (F (4) 薬学の基礎としての化学)  
 一般目標：薬学を学ぶ上で必要な化学の基礎力を身につけるために、原子の構成から分子の成り立ちなどに関する基本的知識を修得する。  
 コース：化学系薬学を学ぶ  
 ユニット：C4 化学物質の性質と反応  
 (1) 化学物質の基本的性質  
 一般目標：基本的な無機および有機化合物の構造、物性、反応性を理解するために、電子配置、電子密度、化学結合の性質などに関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 導入講義 (本学における化学系授業科目、化学と薬)  
 原子の電子配置と原子軌道について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 電子のスピンとパウリの排他律について説明できる。  
 周期表に基づいて原子の諸性質 (イオン化エネルギー、電気陰性度など) を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 化学結合 (イオン結合、共有結合、配位結合など) について説明できる。分子の極性および双極子モーメントについて概説できる。分子をルイス構造式で書くことができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 薬学領域で用いられる代表的化合物を慣用名で記述できる。  
 基本的な化合物を簡単なIUPAC則に従い命名できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第5回** 【到達目標】 分子構造模型を使用して、簡単な分子を組み立てることができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 軌道の混成について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 炭素原子を含む反応中間体 (カルボカチオン、カルバニオン、ラジカル、カルベン) の構造と性質を説明できる。  
 非共有電子対、空軌道を分子軌道の視点から説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第8回** 【到達目標】 共役や共鳴の概念を説明できる。  
 有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 酸と塩基の基本的な性質および強弱の指標を説明できる。  
 ルイス酸・塩基を定義することができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。  
 イオウ、リン、ハロゲンの酸化物、オキソ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 立体配座をエネルギーの視点から説明できる。  
 Newman投影式を用いて立体配座の説明ができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 定期・小テスト (総括的評価)

- 第12回** 【到達目標】 シクロアルカンの立体的な歪を説明できる。シクロヘキサンの立体配座、立体配置を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)
- 第13回** 【到達目標】 分子構造模型を使用して、立体配座を説明することができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期・小テスト (総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**

講義中に行う小テスト (10%) および定期 (中間・期末) 試験 (90%) で評価を行う。100点満点中、60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「ブルース有機化学 (上)」富岡清 他訳、化学同人(6500円)  
 HGS分子構造模型 C (有機化学 学生実習用セット)、丸善(4200円)  
 参考書…「薬学の基礎としての化学 I 定量的取扱い」日本薬学会編、東京化学同人(2400円)

**関連科目**

本講義は有機化学 I (1年後期)、有機化学 II (2年前期)、有機化学 III (2年後期) に続き、共通して下記の教科書「ブルース有機化学(上、下)」を使用する。

**担当者の研究室等**

1号館2階 薬学教育研究室・Academic Support Center (枚方キャンパス)

**備考**

受講者の理解度に合わせて補講を行う場合がある。授業と同様に出席すること。

**基盤講義II (物理)**  
Fundamental Physics

柳田 一夫 (ヤナダ カズオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育  
 ユニット：リメディアル教育 (F(3)薬学の基礎としての物理)  
 一般目標：薬学を学ぶ上で必要な物理学の基礎力を身につけるために、物質および物体間の相互作用などに関する基本的知識を修得する。  
 ユニット：薬学専門教育(物理系薬学を学ぶ)C1物質の物理的性質  
 (1)物質の構造  
 一般目標：化学物質の基本的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などの基本知識を修得し、それらを応用する技術を身につける。  
 ユニット：薬学専門教育(物理系薬学を学ぶ)C1物質の物理的性質  
 (2)物質の状態I  
 一般目標：物質の状態および相互変換過程を解析できるようになるために、熱力学の基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 F(3) [基本概念] 1.~4.  
 物理量の基本単位およびそれを組み合わせた組立単位を説明できる。  
 F(3) [運動の法則] 1.~2.  
 運動の法則について理解し、力について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
 【評価】 レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 F(3) [運動の法則]  
 1. 運動の法則について理解し、力、質量、加速度、仕事などの相互関係を説明できる。  
 2. 直線運動、円運動、単振動などの運動を、数式を用いて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)  
 【評価】 レポート (総括的評価)  
 定期試験 (総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 F(3) [エネルギー]  
 1. 運動エネルギー、ポテンシャルエネルギー、熱エネルギー、化学エネルギーなどの相互作用について例をあげて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 演習問題による自己研鑽 (図書室、自宅など)

- 第4回** 【評価】 レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** F(3) [波動]  
 1. 光、音、電磁波などの波の性質を理解し、反射、屈折、干渉などの特性を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 F(3) [波動]  
 1. 光の性質を理解し、屈折率、偏光について説明できる。（光の振動数や波長から光子のエネルギーを計算できる。）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 F(3) [電荷と電流]  
 1. 電荷と電流、電圧、オームの法則などを説明できる。  
 F(3) [電場と磁場]  
 1. 電場と磁場の相互関係を説明できる。  
 2. 電場、磁場の中における荷電粒子の運動を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 C1(1) [原子・分子]  
 1. 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。  
 2. 分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。  
 C1(2) [総論]  
 3. エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 F(4) [化学結合と分子]  
 3. 分子間およびイオン間相互作用と融点や沸点などとの関係を説明できる。  
 C1(2) [総論]  
 1. ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。  
 2. 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 C1(2) [エネルギー] 1~6.  
 仕事および熱の概念を説明できる。定容熱容量及び定圧熱容量について説明できる。熱力学第一法則について式を用いて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 C1(2) [エネルギー]  
 7. エンタルピーについて説明できる。  
 8. 代表的な物理変化、化学変化に伴う標準エンタルピー変化を説明し、計算できる。  
 9. 標準生成エンタルピーについて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 C1(2) [自発変化]  
 1. エントロピーについて説明できる。  
 2. 熱力学第二法則について説明できる。  
 3. 代表的な物理変化、化学変化に伴うエントロピー変化を計算できる。  
 4. 熱力学第三法則について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 C1(2) [自発変化]  
 5. 自由エネルギーについて説明できる。  
 6. 熱力学関数の計算結果から、自発的な変化の方向と程度を予測できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 C1(2) [自発変化]  
 7. 自由エネルギーの圧力と温度による変化を、式を用いて説明できる。

8. 自由エネルギーと平衡定数の温度依存性（van't Hoffの式）について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 演習問題による自己研鑽（図書室、自宅など）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 評価の時期・方法・基準**  
 講義中適宜提出するレポート（20%）および定期試験（80%）で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…1) 青木宏光、長田俊治、橋本直文、三輪嘉尚著 「物理化学大義-事象と理論の融合-」 京都廣川書店（6000円+税）。  
 2) 「ニューサポート 新編 物理 I」 東京書籍（524円+消費税）

**関連科目**  
 物理化学 I、機器分析学

**担当者の研究室等**  
 1号館2階 薬学教育研究室、ASC (Academic Support Center) (枚方キャンパス)

**備考**  
 物理学は、いろいろな科目を勉強するときの基礎になります。特に、単位には早く慣れた方が良いと思います。そのためにも、測定値のような物理量には、必ず単位を付けることを心がけましょう。

### 基盤講義III (生物)

Fundamental Biology

曾根 知 道 (ソネ トモミチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

#### コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育  
 ユニット：リメディアル教育  
 F (5) 薬学の基礎としての生物

一般目標：薬学を学ぶ上で必要な生物学の基礎力を身につけるために、細胞、組織、器官、個体、集団レベルでの生命現象と、誕生から死への過程に関する基本的知識を修得する。  
 また、下記、生物系薬学 C8 生命体の成り立ち、C9 生命をミクロに理解する、C10 生体防御を効果的に学習するために、必要な基本的知識を修得する。

C8 (1) ヒトの成り立ち（一般目標：人体の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得する。）  
 C8 (2) 生命体の基本単位としての細胞（一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。）  
 C8 (3) 生体の機能調節（一般目標：ホメオスタシス（恒常性）の維持機構を個体レベルで理解するために、生体のダイナミックな調整機構に関する基本的知識を修得する。）

C9 (1) 細胞を構成する分子（一般目標：生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、その構成分子の構造、生合成、性状、機能に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。）  
 C9 (2) 生命情報を担う遺伝子（一般目標：生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する。）  
 C9 (3) 生命活動を担うタンパク質（一般目標：生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。）  
 C9 (4) 生体エネルギー（一般目標：生命活動が生体エネルギーにより支えられていることを理解するために、食物成分からのエネルギーの産生、および糖質、脂質、タンパク質の代謝に関する基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。）

C10 (1) 身をまもる（一般目標：ヒトの主な生体防御反応について、その機構を組織、細胞、分子レベルで理解するために、免疫系に関する基本的知識を修得する。）

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** 【到達目標】 ・動物、植物、微生物の細胞について、それらの構造の違いを説明できる。  
 ・細胞内小器官の構造と働きについて概説できる。  
 ・細胞膜の構造と性質について概説できる。  
 ・多細胞生物である高等動物の成り立ちを、生体高分子、細胞、組織、器官、個体に関係づけて概説できる (1)。  
 (内容：第1章-細胞、第2章-多細胞動物の構成について)

**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
 自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。

- 【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** ・多細胞生物である高等動物の成り立ちを、生体高分子、細胞、組織、器官、個体に関係づけて概説できる(2)。  
(内容：第4章－生体高分子のタンパク質について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第3回** **【到達目標】** 多細胞生物である高等動物の成り立ちを、生体高分子、細胞、組織、器官、個体に関係づけて概説できる(3)。  
(内容：第4章－生体高分子の糖質、脂質、核酸について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第4回** **【到達目標】** ・独立栄養生物、従属栄養生物について説明できる。  
・代謝（異化・同化）について説明できる(1)。  
・嫌気呼吸、好気呼吸について概説できる(1)。  
(内容：第2章－主要器官の構成、第5章－酵素反応、糖代謝について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第5回** **【到達目標】** ・代謝（異化・同化）について説明できる(2)。  
・嫌気呼吸、好気呼吸について概説できる(2)。  
(内容：第5章－アミノ酸代謝、脂質代謝、核酸代謝について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第6回** **【到達目標】** ・細胞の増殖、死について概説できる。  
・減数分裂について概説できる。  
(内容：第3章－体細胞分裂、生殖細胞の形成について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第7回** **【到達目標】** ・遺伝の基本法則（メンデルの法則など）を説明できる。  
・性染色体による性の決定と伴性遺伝を説明できる。  
(内容：第6章－遺伝形質を伝える規則性、常染色体と性染色体の遺伝情報について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第8回** **【到達目標】** ・遺伝とDNAについて概説できる(1)。  
(内容：第7章－遺伝子の本体DNAと複製について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第9回** **【到達目標】** ・遺伝とDNAについて概説できる(2)。  
・進化の基本的な考え方を説明できる。  
(内容：第7章－形質発現の仕組み、遺伝子の突然変異と進化について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第10回** **【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス（恒常性）について概説できる(1)。  
・生体の情報伝達系、防御機構（神経系、内分泌系、免疫系）について概説できる(1)。  
(内容：第8章－内部環境と神経系について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回** **【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス（恒常性）について概説できる(2)。  
・生体の情報伝達系、防御機構（神経系、内分泌系、免疫系）について概説できる(2)。  
(内容：第8章－内部環境と内分泌系について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第12回** **【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス（恒常性）につい

- て概説できる(3)。  
・生体の情報伝達系、防御機構（神経系、内分泌系、免疫系）について概説できる(3)。  
(内容：第8章－内分泌系と神経系の協調作用について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第13回** **【到達目標】** ・生体の持つホメオスタシス（恒常性）について概説できる(4)。  
・生体の情報伝達系、防御機構（神経系、内分泌系、免疫系）について概説できる(4)。  
(内容：第9章－体液性免疫と細胞性免疫について)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：講義の復習。講義中に到達度の確認を行う。  
**【評価】** 課題（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

課題の取り組み状況（10%）、定期試験（90%）で評価する。また、上位学年の科目履修が優先する再履修学生は、定期試験（100%）で評価する。何れの場合も100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**

**教科書**…「医歯薬系学生のための illustrated 基礎生命科学」竹島浩編、京都廣川書店（2,800円＋税）  
**参考書**…「ニューステージ 新生物図表」浜島書店（870円税込み）  
(高校で使用した同様な教材、例えば「生物図録 数研出版」でもよい)

**関連科目**

基盤演習II（生物学）、基盤演習V（生化学・生理解剖学）、基盤実習、生化学、生理解剖、免疫学、分子細胞生物学など

**担当者の研究室等**

1号館2階（薬学教育研究室、Academic Support Center（枚方キャンパス））

**基盤講義IV（数学）**

Fundamental Mathematics

島田 伸一（シマダ シンイチ）  
田畑 謙二（タバタ ケンジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1・2・3・4	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

**コース**：本学独自の薬学専門教育  
**ユニット**：リメディアル教育（F（6）薬学の基礎としての数学・統計）  
**一般目標**：薬学を学ぶ上で基礎となる数学・統計学に関する基礎知識を習得し、それらの薬学領域で応用するための基本的技能を身につける。  
**補足説明**：理工学薬学等で使われる微分積分の基礎を講義する。高校の数学の数IIIは仮定せずに講義を進める。数学IIの範囲で十分である。道具としての数学を目指すので、厳密さは時には犠牲にしても、直観的なわかり易い説明を優先する。また時間の許す限り様々な応用も例示したい。  
**到達目標** (1) 微積分の基本的計算の習得 (2) 簡単な微分方程式の解法の習熟

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** **【到達目標】** [微分法の基本]  
微分、積分の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。  
(知識・技能)  
・接線と微分係数 ・導関数  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 定期テスト（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** [微分法の基本]  
微分、積分の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。  
(知識・技能)  
・微分計算の公式 ・1次近似式  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 1, 2の小テスト（総括的評価）
- 第3回** **【到達目標】** [微分法の基本]  
微分、積分の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。  
(知識・技能)  
・関数の増減 ・速度と加速度  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 定期テスト（総括的評価）
- 第4回** **【到達目標】** [指数関数と対数関数]  
指数関数、対数関数の基本概念を理解し、それをを用いた計算ができる。(知識・技能)

・指数法則と対数法則 ・グラフ  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 3, 4の小テスト  
 (総括的評価)

**第5回** **【到達目標】** [指数関数と対数関数]  
 指数関数、対数関数の基本概念を理解し、それを用いた計算ができる。(知識・技能)  
 ・簡単な微分方程式  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 定期テスト(総括的評価)

**第6回** **【到達目標】** [3角関数]  
 三角関数の基本概念を理解し、それを用いた計算ができる。  
 (知識・技能)  
 ・3角関数の復習 ・グラフ  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 定期テスト(総括的評価)

**第7回** **【到達目標】** [3角関数]  
 三角関数の基本概念を理解し、それを用いた計算ができる。  
 (知識・技能)  
 ・加法定理 ・3角関数の微分  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 5, 6, 7の小テスト  
 (総括的評価)

**第8回** **【到達目標】** 不定積分  
 ・基礎的な公式  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 定期テスト(総括的評価)

**第9回** **【到達目標】** 不定積分  
 ・置換積分  
 ・部分積分  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 8, 9の小テスト  
 (総括的評価)

**第10回** **【到達目標】** 定積分  
 ・不定積分と定積分  
 ・面積と定積分  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 定期テスト(総括的評価)

**第11回** **【到達目標】** 定積分  
 ・定積分の計算  
 ・置換積分と部分積分  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 10, 11の小テスト  
 (総括的評価)

**第12回** **【到達目標】** 定積分  
 ・表面積と回転体の体積  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 定期テスト(総括的評価)

**第13回** **【到達目標】** [微分方程式]  
 基本的な微分方程式の計算ができる。(技能) ・変数分離型 ・1階線型  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 12, 13の小テスト  
 (総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**  
 小テスト20%、定期テスト(期末)で80%で判定し評価する。小テストは約2週毎に実施するが、講義の進度によって前後する場合もある。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…数学(摂南大学数学教室編)  
**参考書**…"微分積分, 微分方程式と名前のついている本。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。"

**関連科目**  
 "物理, 化学等"

**担当者の研究室等**  
 島田: 寝屋川学舎3号館3階(数学研究室) shimada@mpg.setsunan.ac.jp

本的知識と技能を修得する。  
 (1) 化学平衡  
 一般目標: 水溶液中での物質の性質を理解するために、各種の化学平衡に関する基本的知識と測定的基本的技能を修得する。  
 (2) 化学物質の検出と定量  
 一般目標: 試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基礎的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** **【到達目標】** 酸・塩基平衡を説明できる。溶液の水素イオン濃度(pH)を説明できる。溶液のpHを計算できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第2回** **【到達目標】** 緩衝作用について具体例をあげて説明できる。代表的な緩衝液の特徴とその調整法を説明できる。化学物質のpHによる分子形、イオン形の変化を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第3回** **【到達目標】** 錯体・キレート生成平衡について説明できる。沈殿平衡(溶解度と溶解度積)について説明できる。酸化還元電位について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第4回** **【到達目標】** 酸化還元平衡について説明できる。分配平衡について説明できる。イオン交換について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第5回** **【到達目標】** 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。日本薬局方収載の代表的な確認試験を列挙し、その内容を説明できる。日本薬局方収載の代表的な純度試験を列挙し、その内容を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第6回** **【到達目標】** 実験値を用いた計算および統計処理ができる。医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。日本薬局方収載の重量分析の原理及び操作法を説明できる。日本薬局方収載の容量分析法について列挙できる。日本薬局方収載の生物学的定量法の特徴を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第7回** **【到達目標】** 中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第8回** **【到達目標】** 非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第9回** **【到達目標】** キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第10回** **【到達目標】** 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第11回** **【到達目標】** 酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第12回** **【到達目標】** 電気滴定(電位差滴定、電気伝導度滴定など)の原理、操作法および応用例を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**第13回** **【到達目標】** まとめ  
 重要点のまとめと質疑応答  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**  
 定期試験(80点)、レポート(10点)および受講態度(10点)で評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…分析化学I(定量分析編)(朝倉書店、3800円)  
 薬剤師に必要な臨床機器分析(廣川書店、4000円)  
**参考書**…日本薬局方解説書(38000円)  
 分析化学II(機器分析編)(朝倉書店、3800円)

**関連科目**  
 基礎薬学実習Ic、臨床分析学、薬局方概論

**担当者の研究室等**  
 1号館4階(臨床分析化学研究室)

**備考**  
 薬剤師に必要な臨床機器分析(廣川書店、4000円)は基礎薬学実習Ic(2年生)、臨床分析学(3年生)、先端医療II(5年生)

薬品分析学 Analytical Chemistry				
秋澤俊史(アキザ トシフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース: 物理系薬学を学ぶ  
 ユニット: C2 化学物質の分析  
 一般目標: 化学物質(医薬品を含む)をその性質に基づいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基

でも使用する。

臨床分析学 Clinical Analysis				
秋澤俊史 (アキザフ トシフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：物理系薬学を学ぶ  
 ユニット： C2 化学物質の分析  
 一般目標： 化学物質（医薬品を含む）をその性質に基づいて分析できるようにするために、物質の定性、定量などに必要な基本知識と技能を修得する。  
 (2) 化学物質の検出と定量（一般目標：試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する。  
 (3) 分析技術の臨床応用（一般目標：薬学研究や臨床現場で分析技術を適切に応用するために、代表的な分析法の基本的知識と技能を修得する。）  
 ユニット： C3 生体分子の姿・かたちをとらえる  
 一般目標： 生体の機能や医薬品の働きが三次元的な相互作用によって支配されていることを理解するために、代表的な生体分子の立体構造、生体分子が関与する相互作用、およびそれらを解析する手法に関する基本的知識と技能を修得する。  
 (1) 生体分子を解析する手法（一般目標：生体分子、化学物質の姿、かたちをとらえるために、それらの解析に必要な方法に関する基本的知識と技能を修得する。）  
 (2) 生体分子の立体構造と相互作用（一般目標：生体分子の機能および医薬品の働きを立体的、動的にとらえるために、タンパク質、核酸および脂質などの立体構造やそれらの相互作用に関する基本的知識を修得する。）

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 原子吸光光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。  
 発光分析法の原理、操作法および応用例を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 クロマトグラフィーの種類を列挙し、それぞれの特徴と分離機構を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 クロマトグラフィーで用いられる代表的な検出法と装置を説明できる。  
 薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分離分析できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 代表的な生体試料について、目的に即した前処理と適切な取扱いができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】 臨床分析の分野で用いられる代表的な分析法を列挙できる。免疫反応を用いた分析法の原理、実施法および応用例を説明できる。代表的なドライケミストリーについて概説できる。電気泳動の原理を説明し、実施できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】 代表的なセンサーを列挙し、原理および応用例を説明できる。代表的な画像診断法（X線検査、CTスキャン、MRI、超音波、核医学検査など）について解説できる。薬学領域で繁用されるその他の分析技術（バイオイメージング、マイクロチップなど）について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】 毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。  
 代表的な中毒原因物質を分析できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】 代表的な中毒原因物質（乱用薬物）のスクリーニング法を列挙し、説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。  
 蛍光光度法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】 赤外吸収スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。  
 旋光度測定法（旋光分散）、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 核磁気共鳴スペクトル測定法の原理を説明できる。  
 生体分子の解析への核磁気共鳴スペクトル測定法の応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 質量分析法の原理を説明できる。生体分子の解析への質量分析法の応用例について説明できる。X線結晶解析の原理を説明できる。生体分子の解析へのX線結晶解析の応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験（80点）、レポート（10点）および受講態度（10点）で評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…"分析化学 II（朝倉書店、4,800円）  
 薬剤師に必要な臨床機器分析（廣川書店、4000円）"  
 "日本薬局方解説書（38,000円）  
 分析化学 I（朝倉書店、3,500円）"

関連科目

基礎薬学実習 IIc、薬品分析学、薬局方概論、機器分析学

担当者の研究室等

1号館4階(臨床分析化学研究室)

備考

薬剤師に必要な臨床機器分析（廣川書店、4000円）は基礎薬学実習IIc（2年生）、薬品分析学（2年生）、先端医療II（5年生）でも使用する。

天然薬用資源学 Medicinal Natural Products				
中谷尊史 (ナカタニ タカフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	B群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：化学系薬学を学ぶ  
 ユニット：C7 自然が生み出す薬物  
 一般目標：自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質の含有成分の単離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。  
 (2) 薬の宝庫としての天然物  
 一般目標：医薬品開発における天然物の重要性と多様性を理解するために、自然由来のシーズ（医薬品の種）および抗生物質などに関する基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 抗生物質とは何かを説明し、化学構造に基づいて分類できる(1)。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 抗生物質とは何かを説明し、化学構造に基づいて分類できる(2)。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 抗生物質とは何かを説明し、化学構造に基づいて分類できる(3)。  
 微生物による抗生物質（ペニシリン、ストレプトマイシンなど）生産の過程を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 シーズ探索に貢献してきた伝統医学、民族植物学を例示して概説できる。  
 医薬原料としての天然物質の資源確保に関して問題点を列

- 挙できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第5回 **【到達目標】** 天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる (1)。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第6回 **【到達目標】** 天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる (2)。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第7回 **【到達目標】** 代表的な天然有機化合物の構造決定法について具体例を挙げて概説できる (1)。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第8回 **【到達目標】** 代表的な天然有機化合物の構造決定法について具体例を挙げて概説できる (2)。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第9回 **【到達目標】** X線結晶解析の原理を概説できる。生体分子の解析へのX線結晶解析の応用例について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第10回 **【到達目標】** 動物、鉱物由来の医薬品について具体例を挙げて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第11回 **【到達目標】** 天然物質の農薬、化粧品などの原料としての有用性について、具体例を挙げて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第12回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる (1) 生物間相互作用物質。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第13回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる (2) 海洋天然物質、食品中の機能成分。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

授業終了後の定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…資源天然物化学、共立出版株式会社(3700円)

参考書…“医薬品天然物化学、南江堂(6800円)”“薬学の機器分析学、廣川書店(5300円)”“ブルース有機化学 上・下、化学同人(各6500円)”

**関連科目**

有機化学、生薬学、機器分析学、分子構造解析学、天然物化学

**担当者の研究室等**

1号館4階 天然薬物構造化学研究室

天然物化学 Natural Product Chemistry				
中谷 尊史(ナカタニ タカフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：化学系薬学を学ぶ

ユニット：C7 自然が生み出す薬物

一般目標：自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質の含有成分の単離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。

(2) 薬の宝庫としての天然物

一般目標：医薬品開発における天然物の重要性と多様性を理解するために、自然界由来のシーズ(医薬品の種) および抗生物質などに関する基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 **【到達目標】** はじめに：薬の宝庫としての天然物構造異性体と立体異性体について説明できる。キラリティーと光学活性について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第2回 **【到達目標】** エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。

ラセミ体とメソ化合物について説明できる。  
 絶対配置の表示法を説明できる。

- 第3回 **【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** Fischer投影式とNewman投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。エタンおよびブタンの立体配座と安定性について説明できる。代表的な生薬成分を化学構造から分類し、それらの生合成経路を概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第4回 **【到達目標】** 糖類および多糖類の基本構造を概説できる (1)。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第5回 **【到達目標】** 糖類および多糖類の基本構造を概説できる (2)。脂質を分類し、構造の特徴を説明できる。アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第6回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる (1) ポリケチド、フェニルプロパノイド。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第7回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例を挙げて説明できる (2) フラボノイド。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第8回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例をあげて説明できる (3) テルペノイド。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第9回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例をあげて説明できる (4) テルペノイド。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第10回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例をあげて説明できる (5) ステロイド、強心配糖体。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第11回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例をあげて説明できる (6) アミノ酸、ペプチド、アルカロイド。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第12回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例をあげて説明できる (7) アルカロイド。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

- 第13回 **【到達目標】** 医薬品として使われている天然有機化合物およびその誘導体を、具体例をあげて説明できる (8) アルカロイド。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

授業終了後の定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…資源天然物化学、共立出版株式会社(3700円)

参考書…“医薬品天然物化学、南江堂(6800円)”“ブルース有機化学 上・下、化学同人(各6500円)”

**関連科目**

有機化学、生化学、機器分析学、生薬学、分子構造解析学、天然薬用資源学

**担当者の研究室等**

1号館4階 天然薬物構造化学研究室

機器分析学 Instrumental Analysis				
野田 直規(ノダ ナオキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：物理系薬学を学ぶ  
 ユニット：C3生体分子の姿・かたちをとらえる  
 一般目標：生体の機能や医薬品の働きが三次元的な相互作用によって支配されていることを理解するために、生体分子の立体構造、生体分子が関与する相互作用、およびそれらを解析する手法に関する基本的知識と技能の修得する。  
 (1) 生体分子を解析する手法  
 一般目標：生体分子、化学物質の姿、かたちをとらえるために、それらの解析に必要な方法に関する基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 電磁波の性質および物質との相互作用について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（パワーポイントによる説明を含む）講義室。  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる（1）。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 紫外可視吸光度測定法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる（2）。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 蛍光光度法の原理を説明し、生体分子の解析への応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 IRスペクトルの概要と測定法を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 IRスペクトル上の基本的な官能基の特定吸収帯を列挙し、帰属することができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 赤外・ラマン分光スペクトルの原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 キラリティーと光学活性について概説できる。エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。ラセミ体とメソ化合物について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 比旋光度測定法の概略について説明できる。偏光および旋光性について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 旋光度測定法（旋光分散）、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる（1）。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 旋光度測定法（旋光分散）、円偏光二色性測定法の原理と、生体分子の解析への応用例について説明できる（2）。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 原子吸光光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 発光分析の原理、操作法および応用例を説明できる。  
 これまでの講義内容に対する質問。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験(100%) で評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…財津潔編「薬学領域の機器分析学」(4800円) 廣川書店  
 参考書…泉美治ら監修「機器分析のてびき」(3900円) その他各セクションに関する参考書は教科書に記載

関連科目

物理学, 有機化学, 分析化学

担当者の研究室等

1号館4階(天然薬物構造化学研究室)

分子構造解析学

Organic Structure Analysis

野田直規(ノダ ナオキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：化学系薬学を学ぶ  
 ユニット：C4化学物質の性質と反応  
 一般目標：化学物質（医薬品および生体物質を含む）の基本的な反応性を理解するために、代表的な反応、分離法、構造決定などについての基本的知識と、それらを実施するための基本的技能を修得する。  
 (4) 化学物質の構造決定  
 一般目標：基本的な化学物質の構造決定ができるようになるために、核磁気共鳴（NMR）スペクトル、赤外吸収（IR）スペクトル、マススペクトルなどの代表的な機器分析法の基本的知識と、データ解析のための基本的技能を修得する。  
 ユニット：C2化学物質の分析  
 一般目標：化学物質（医薬品を含む）をその性質に基づいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基本的知識と技能を修得する。  
 (3) 分析技術の臨床応用  
 一般目標：薬学研究や臨床現場で分析技術を適切に応用するために、代表的な分析法の基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 【<sup>1</sup>H-NMR】  
 スピンと磁気共鳴について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 NMRスペクトルの概要と測定法を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 化学シフトに及ぼす構造的要因を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 有機化合物中の代表的水素原子について、おおよその化学シフト値を示すことができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 重水添加による重水素置換の方法と原理を説明できる。  
<sup>1</sup>H-NMRの積分値の意味を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 <sup>1</sup>H-NMRシグナルが近接プロトンにより分裂（カップリング）する理由と、分裂様式を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 <sup>1</sup>H-NMRのスピン結合定数から得られる情報を列挙し、その内容を説明できる。  
 代表的化合物の部分構造を<sup>1</sup>H-NMRから決定できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 【<sup>13</sup>C-NMR】  
<sup>13</sup>C-NMR測定により得られる情報の概略を説明できる。  
 代表的な構造中の炭素について、おおよその化学シフト値を示すことができる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 【マススペクトル】  
 マススペクトルの概要と測定法を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

- 【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】 イオン化の方法を列挙し、それらの特徴を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】 ピークの種類（基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク）を説明できる。  
塩素原子や臭素原子を含む化合物のマススペクトルの特徴を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 代表的なフラグメンテーションについて概説できる。  
高分解能マススペクトルにおける分子式の決定法を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 代表的な画像診断技術（X線検査、CTスキャン、MRI、超音波、核医学検査など）について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 評価の時期・方法・基準  
定期試験で評価する。  
100点満点中60点以上で合格。
- 教材等  
教科書…財津潔編「薬学領域の機器分析学」(4800円) 廣川書店  
参考書…泉美治ら監修「機器分析のてびき」(3900円)  
その他各セクションに関する参考書は教科書に記載
- 関連科目  
物理学、有機化学、量子力学、分析化学
- 担当者の研究室等  
1号館4階(天然薬物構造化学研究室)

医薬品化学 Medicinal Chemistry				
安原 智久 (ヤスハラ トモヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

- コース・ユニット・一般目標  
コース：化学系薬学を学ぶ ユニット：C6 生体分子・医薬品を化学で理解する、一般目標：生体分子の機能と医薬品の作用を化学構造と関連づけて理解するために、それらに関連する基本的知識と技能を修得する。(2) 医薬品のコアとパーツ、一般目標：医薬品の作用を化学構造と関連づけて理解するために、医薬品に含まれる代表的な構造とその性質に関する基本的知識と技能を修得する。  
コース：医薬品をつくる ユニット：C17 医薬品の開発と生産、一般目標：将来、医薬品開発と生産に参画できるようになるために、医薬品開発の各プロセスについての基本的知識を修得し、併せてそれらを実施する上で求められる適切な態度を身につける。  
(2) リード化合物の創製と最適化、一般目標：ドラッグデザインの科学的な考え方を理解するために、標的生体分子との相互作用および基盤となるサイエンスと技術に関する基本的知識と技能を修得する。  
G 薬学アドバンスト教育ガイドライン  
(3) 定量的構造活性相関、一般目標：ドラッグデザインの実践方法を理解するために、構造活性相関の基本的知識と技能を修得し、併せて具体例に基づいた最適化に関する基本的知識を修得する。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価
- 第1回 【到達目標】 医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第2回 【到達目標】 医薬品に含まれる代表的な官能基を、その性質によって分類し、医薬品の効果と結びつけて説明できる。  
立体異性体と生物活性の関係について具体例を挙げて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第3回 【到達目標】 医薬品の構造と相互作用の関係について具体例

- を挙げて説明できる。  
生物学的等価性（バイオアイソスター）の意義について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第4回 【到達目標】 交感神経系に作用する医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第5回 【到達目標】 副交感神経系に作用する医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第6回 【到達目標】 体性神経系に作用する医薬品（骨格筋弛緩薬、局所麻酔薬）を列挙し、それらの化学構造を比較できる。  
【学習方法・自己学習課題】 演習  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第7回 【到達目標】 中枢神経系に作用する医薬品（麻薬性鎮痛薬）を列挙し、それらの化学構造を比較できる（1）。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第8回 【到達目標】 中枢神経系に作用する医薬品（催眠鎮静薬、抗てんかん薬）を列挙し、それらの化学構造を比較できる（2）。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第9回 【到達目標】 中枢神経系に作用する医薬品（抗不安薬、抗精神薬、抗うつ薬）を列挙し、それらの化学構造を比較できる（3）。  
【学習方法・自己学習課題】 演習  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第10回 【到達目標】 オータコイド（ヒスタミン、セロトニン）関連医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第11回 【到達目標】 抗ウイルス薬関連医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第12回 【到達目標】 抗がん剤関連医薬品を列挙し、それらの化学構造を比較できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)
- 第13回 【到達目標】 代表的な医薬品のコア構造（ファーマコフォア）を指摘し、分類できる。  
医薬品開発の標的となる代表的な生体分子を列挙できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期・小テスト  
(総括的評価)

評価の時期・方法・基準  
講義中に行う小テスト（20%）および定期試験（80%）で評価を行う。100点満点中、60点以上で合格。

教材等  
参考書…「創薬科学・医薬化学」橘高敦史編、化学同人（4700円）  
「治療薬マニュアル」医学書院（5000円）

関連科目  
有機化学、薬理学総論、薬物治療学 I

担当者の研究室等  
1号館2階 薬学教育研究室・Academic Support Center（枚方キャンパス）

医薬品合成化学 Organic Synthetic Chemistry				
表 雅章 (オモテ マサアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	B群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標  
コース：化学系薬学を学ぶ

ユニット：C5 ターゲット分子の合成  
 一般目標：入手容易な化合物を出発物質として、医薬品を含む目的化合物へ化学変換するために、有機合成法の基本的知識、技能、態度を修得する。  
 (1) 官能基の導入・変換  
 一般目標：個々の官能基を導入、変換するために、それらに関する基本的知識と技能を修得する。  
 (2) 複雑な化合物の合成  
 一般目標：医薬品を含む目的化合物を合成するために、代表的な炭素骨格の構築法などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 アルケンの代表的な合成法について説明できる。  
 アルコールの代表的な合成法について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 アルデヒドおよびケトンの代表的な合成法について説明できる。  
 カルボン酸の代表的な合成法について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 カルボン酸誘導体（酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミド、ニトリル）の代表的な性質と反応を列挙し、説明する。エーテルの代表的な合成法について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 アミンの代表的な合成法について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 Diels-Alder 反応の特徴を具体例を用いて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 転位反応を用いた代表的な炭素骨格の構築法を列挙できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 代表的な炭素-炭素結合生成反応（アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル合成、Michael 付加、Mannich 反応、Grignard 反応、Wittig 反応など）について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 代表的な炭素-炭素結合生成反応（アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル合成、Michael 付加、Mannich 反応、Grignard 反応、Wittig 反応など）について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 代表的な炭素-炭素結合生成反応（アルドール反応、マロン酸エステル合成、アセト酢酸エステル合成、Michael 付加、Mannich 反応、Grignard 反応、Wittig 反応など）について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 代表的な位置選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）

【評価】 e-learning（形成的評価）

- 第12回** 【到達目標】 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 代表的な立体選択的反応を列挙し、その機構と応用例について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 e-learningによる自己研鑽（情報処理演習室、自宅）  
 【評価】 e-learning（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験の結果で評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…"「ブルース 有機化学」(下) (第5版) P. Y. Bruice 著  
 富岡・他監訳 化学同人 (¥6,500)  
 プリント"  
 参考書…"「有機化学 explorer」(初版) 竹本佳司編, 京都廣川書店 (3,900 円) "

関連科目

基盤講義 I, 有機化学 I, II, III

担当者の研究室等

1号館3階(薬化学研究室)

免疫学

Immunology

河野 武幸 (コノ タケユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A 群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：生物系薬学を学ぶ  
 ユニット：C10 生体防御  
 一般目標：内的、外的要因によって生体の恒常性が崩れた時に生ずる変化を理解するために、生体防御機構とその破綻による疾患、および代表的な外的要因としての病原微生物に関する基本的知識と技能を修得する。  
 (1) 身体をまもる  
 一般目標：ヒトの主な生体防御反応について、その機構を組織、細胞、分子レベルで理解するために、免疫系に関する基本的知識を修得する。  
 (2) 免疫系の破綻・免疫系の応用  
 一般目標：免疫反応に基づく生体の異常を理解するために、代表的な免疫関連疾患についての基本的知識を修得する。併せて、免疫反応の臨床応用に関する基本的知識と技能を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 体液性免疫と細胞性免疫を比較して説明できる。  
 自然免疫と獲得免疫の特徴とその違いを説明できる(1)。  
 免疫反応の特徴（自己と非自己、特異性、記憶）を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義（講義室）  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施（宿題）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 自然免疫と獲得免疫の特徴とその違いを説明できる(2)。  
 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアーについて説明できる。  
 食細胞が自然免疫で果たす役割を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義（講義室）  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施（宿題）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 クローン選択説を説明できる。  
 免疫に関与する組織と細胞を列挙できる。  
 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる(1)。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義（講義室）  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施（宿題）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる(2)。  
 免疫反応におけるおもな細胞間ネットワークについて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義（講義室）  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施（宿題）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 抗体分子の種類、構造、役割を説明できる(1)。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義（講義室）

**分子細胞生物学I**  
Molecular Cell Biology I

大塚 正人 (オオツカ マサト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：生物系薬学を学ぶ  
 ユニット：C8 生命体の成り立ち 一般目標：生命体の成り立ちを個体、器官、細胞レベルで理解するために、生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
 (2) 生命体の基本単位としての細胞 一般目標：多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために、細胞の増殖、分化、死の制御と組織構築に関する基本的知識を修得し、それらを扱うための基本的技能を身につける。  
 ユニット：C9 生命をミクロに理解する 一般目標：生物をミクロなレベルで理解するために、細胞の機能や生命活動を支える分子の役割についての基本的知識を修得し、併せてそれらの生体分子を取り扱うための基本的技能と態度を身につける。  
 (3) 生命活動を担うタンパク質 一般目標：生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。  
 (5) 生理活性分子とシグナル分子 一般目標：生体のダイナミックな情報ネットワーク機構を物質や細胞レベルで理解するために、代表的な情報伝達物質の種類、作用発現機構などに関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 分子細胞生物学Iで身につけるべきことについて説明できる。  
 血漿リポタンパク質の種類と機能を概説できる。  
 物質の輸送を担うタンパク質の構造と機能を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 細胞内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質(受容体、チャネルなど)の構造と機能を概説できる。  
 物質の輸送を担うタンパク質の構造と機能を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 物質の輸送を担うタンパク質の構造と機能を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 細胞骨格を形成するタンパク質とその役割について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第5回** 【到達目標】 細胞内外の物質や情報の授受に必要なタンパク質(受容体、チャネルなど)の構造と機能を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 細胞内情報伝達に関与するセカンドメッセンジャーおよびカルシウムイオンなどを、具体例を挙げて説明できる。  
 代表的な細胞内(核内)受容体の具体例を挙げて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 細胞内で情報を伝達するタンパク質を列挙し、とその機能を概説できる。  
 細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について概説できる。  
 細胞膜受容体からGタンパク質を介して細胞内へ情報を伝達する主な経路について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第8回** 【到達目標】 細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介して情報を伝達する主な経路について概説できる。  
 体細胞と生殖細胞について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 主な細胞外マトリックス分子の種類、分布、性質を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 体細胞分裂の機構について説明できる。  
 生殖細胞の分裂機構について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

- 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第6回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 抗体分子の種類、構造、役割を説明できる(2)。  
 補体について、その活性化経路と機能を説明できる(1)。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第7回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 補体について、その活性化経路と機能を説明できる(2)。  
 抗体分子およびT細胞抗原受容体の多様性を生み出す機構(遺伝子再編成)を概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第8回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる(1)。  
 T細胞による抗原の認識について説明できる(1)。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第9回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 MHC抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる(2)。  
 T細胞による抗原の認識について説明できる(2)。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第10回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 免疫系にかかわるおもなサイトカイン、ケモカインをあげ、その作用を説明できる。  
 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第11回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 アレルギーについて分類し、担当細胞および反応機構を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第12回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 代表的な自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。  
 代表的な免疫不全症候群をあげ、その特徴と成因を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**第13回** 【評価】 定期試験(総括的評価)  
 【到達目標】 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。  
 代表的な免疫賦活療法について概説できる。  
 臓器移植と免疫反応のかかわり(拒絶反応、免疫抑制薬など)について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義(講義室)  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
 【評価】 定期試験(総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**

定期試験(100点満点)で評価し、60点以上を合格とします。定期試験不合格者を対象に実施する再試験(満点100点)及び不受験者を対象に実施する追試験(満点100点)の合否判定には、定期試験の結果は加味せず、60点以上を合格とします。

**教材等**

教科書…「免疫学」山元弘編、化学同人(4,000円)、プリント(講義中に配付します) ”  
 参考書…「スタンダード薬学シリーズ(生物系薬学3 生体防御)」日本薬学会編、東京化学同人(3,570円)、「医系免疫学(改訂12版)」矢田純一著、中外医学社(8,400円)、「スタンダード薬学シリーズ(生物系薬学IV 演習編)」日本薬学会編、東京化学同人(4,410円) ”

**関連科目**

生理解剖学、生化学、微生物学、感染症学、薬理学総論、薬物治療学

**担当者の研究室等**

1号館3階(病態医科学研究室)

**備考**

免疫学では、コース：ヒューマニズムについて学ぶ ユニット(2) 医療の担い手としてのこころ構え；SBO3「医療の担い手にふさわしい態度を示す。」も到達目標の一つとします。従って、学ぶ姿勢が良好ではない者については、定期試験、再試験、追試験の結果から30点を限度に減点することがあります。

- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 アポトーシスとネクローシスについて説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）
- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 正常細胞とガン細胞の違いを対比して説明できる。
- 分子細胞生物学Iで身につけたことに基づいて考えることができる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）
- 【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

授業評価および小テストと定期試験で評価する。なお、それらの割合については初回授業時に指示する。

100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「永田和宏・塩田浩平編「医学のための細胞生物学」南山堂（5,040円）」

参考書…「生物系薬学II第二版」日本薬学会編、東京化学同人（5,500円）、

「知っておきたい薬学用語（生物系薬学）」日本薬学会編、東京化学同人、

「図解分子細胞生物学」、浅島誠、駒崎伸二共著、裳華房（5,200円）、

関連科目

生化学I・生化学II・生化学III

担当者の研究室等

1号館5階（生化学研究室）

分子細胞生物学II Molecular Cell Biology II				
渡部 一 仁 (ワタベ カズヒト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	B群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：生物系薬学を学ぶ

ユニット：C9 生命をミクロに理解する (2) 生命情報を担う遺伝子 一般目標：生命のプログラムである遺伝子を理解するために、核酸の構造、機能および代謝に関する基本的知識を修得する。

(3) 生命活動を担うタンパク質 一般目標：生命活動の担い手であるタンパク質、酵素について理解するために、その構造、性状、代謝についての基本的知識を修得し、それらを取り扱うための基本的技能を身につける。

(6) 遺伝子进行操作する 一般目標：バイテクノロジーを薬学領域で応用できるようにするために、遺伝子操作に関する基礎的知識、技能、態度を修得する。

コース：医薬品をつくる ユニット：C17 医薬品の開発と生産

(3) バイオ医薬品とゲノム情報 一般目標：医薬品としてのタンパク質、遺伝子、細胞を適正に利用するために、それらを用いる治療に関する基本的知識を修得し、倫理的態度を身につける。併せて、ゲノム情報の利用に関する基本的知識を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 遺伝情報を担う分子や遺伝子を構成する物質が説明できる。DNAとRNAの構造が説明できる。染色体の構造と遺伝子の基本構造が説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）
- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 遺伝子の複製と組換え機構について説明できる。DNAの損傷、変異とその影響が説明できる。変異の修復機構について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）
- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 原核生物における遺伝子の基本的な配列構造が説明できる。遺伝情報発現の流れについて、転写と翻訳を中心として説明できる。大腸菌を例に挙げて転写調節の詳細が説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）
- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 ラクトースオペロンを具体例として転写制御の分子機構が説明できる。転写調節におけるカタボライト抑制が説明できる。転写因子の機能ドメインを具体例を挙げて説明できる。翻訳のプロセスが説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）
- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 細菌の遺伝に関して、形質転換、接合、形質導入が説明できる。プラスミド、トランスポゾンについて説

明できる。薬剤耐性を具体例として遺伝情報の伝達方法が説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

- 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】 細胞機能の調節に関して、細胞内シグナル伝達の分子機構、細胞増殖、分化とアポトーシスについて説明できる。ゲノムと遺伝子について、ヒトゲノムのサイズ、遺伝子の種類について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

理解度確認レポート

- 第7回 【到達目標】 遺伝子操作の基本操作であるDNAの抽出、電気泳動、核酸の検出方法が説明できる。制限酵素、DNA連結酵素、ベクターなどが説明できる。遺伝子ライブラリーについて説明できる。cDNAとゲノミックDNAの違いが説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第8回 【到達目標】 遺伝子クローニングの概略が説明できる。外来遺伝子の宿主細胞への導入方法が説明できる。DNA塩基配列の決定法が説明できる。特定のDNAやRNA、タンパク質の検出法が説明できる。プロモーターと調節配列の機能解析について具体例をあげて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第9回 【到達目標】 病原遺伝子の解析や一塩基多型（SNPs）の研究など、ゲノム情報の医療面への応用が概説できる。トランスジェニックマウスやノックアウトマウス作成の概略とその創薬分野における応用が概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第10回 【到達目標】 組換え医薬品とゲノム創薬について説明できる。従来の創薬とゲノム創薬の違いが説明できる。代表的な組換え医薬品が列記できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第11回 【到達目標】 分子標的医薬品が説明できる。主な分子標的抗がん薬を挙げ、その作用機序が説明できる。代表的な疾患（がん、糖尿病など）関連遺伝子について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第12回 【到達目標】 ヒトゲノムの構造と多様性が説明できる。パイオインフォマティクスについて概説できる。また、そのゲノム創薬への応用が概説できる。トランスクリプトーム、DNAマイクロアレイ、プロテオームが概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第13回 【到達目標】 遺伝子治療の原理、手法、現状、倫理的問題点が概説できる。再生医療の原理、方法と手順が概説できる。胚の発生と分化や、胚盤胞について概説できる。ES細胞やiPS細胞の調製の原理と再生医療への応用、倫理的問題点が概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

理解度確認レポート

評価の時期・方法・基準

定期試験（記述問題、正誤問題、総合問題）及び授業に応じて適宜課題とする「理解度確認レポート」で評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「コンパス分子生物学」荒巻弘範著 南江堂（4200円）

適時プリント資料を配布

参考書…「医薬分子生物学」野島博著 南江堂（3800円）

「エッセンシャル細胞生物学 第2版」中村桂子他監修 南江堂（8000円）

「新遺伝子工学ハンドブック」村松正實他編 羊土社（7600円）

「ブルーバックス アメリカ版 大学生物学の教科書 第1巻～3巻」講談社（1300円～1500円）

関連科目

分子細胞生物学 I、微生物学、生化学

担当者の研究室等

1号館5階（微生物学研究室）

Email:ag193101@bca.bai.ne.jp

**放射線生物学**  
Radiobiology

木村 朋 紀 (キムラ トモキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：健康と環境  
 ユニット：C12 環境 一般目標：人の健康にとってより良い環境の維持と向上に貢献できるようになるために、化学物質の人への影響、および生活環境や地球生態系と人の健康との関わりについての基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 化学物質の生体への影響 一般目標：有害な化学物質などの生体への影響を回避できるようになるために、化学物質の毒性などに関する基本的知識を修得し、これに関連する基本的技能と態度を身につける。

コース：物理系薬学を学ぶ  
 ユニット：C1 物質の物理的性質 一般目標：化学物質の基本的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などの基本的知識を修得し、それらを応用する技能を身につける。

(1) 物質の構造 一般目標：物質を構成する基本単位である原子および分子の性質を理解するために、原子構造、分子構造および化学結合に関する基本的知識と技能を修得する。  
 このほか、C2-(3)、C18-(1)に該当する内容も含まれる。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 原子の構造と放射壊変について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 原子の構造と放射壊変について説明できる。  
 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 原子の構造と放射壊変について説明できる。  
 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。  
 核反応および放射平衡について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 人に影響を与える電離放射線の種類を列挙できる。  
 非電離放射線の種類を列挙できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 電離放射線の種類を列挙し、それらの物質との相互作用について説明できる。  
 放射線の測定原理について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 電離放射線被曝における線量と生体損傷の関係を体外被曝と体内被曝に分けて説明できる。  
 電離放射線および放射性核種の標的臓器・組織を挙げ、その感受性の差異を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 電離放射線被曝における線量と生体損傷の関係を体外被曝と体内被曝に分けて説明できる。  
 電離放射線および放射性核種の標的臓器・組織を挙げ、その感受性の差異を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 電離放射線の生体影響に変化を及ぼす因子（酸素効果など）について説明できる。  
 電離放射線を防御する方法について概説できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 環境中に存在する主な放射性核種（天然、人工）を挙げ、人の健康への影響について説明できる。  
 紫外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。  
 赤外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 電離放射線の医療への応用について概説できる。  
 免疫反応を用いた分析法の原理、実施法および応用例を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 代表的な画像診断技術（X線検査、CTスキャン、MRI、超音波、核医学検査など）について概説できる。  
 代表的な放射性医薬品を列挙し、その品質管理に関する試

験法を概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）

**第12回** 【到達目標】 代表的な画像診断技術（X線検査、CTスキャン、MRI、超音波、核医学検査など）について概説できる。  
 画像診断薬（造影剤、放射性医薬品など）について概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）

**第13回** 【到達目標】 画像診断薬（造影剤、放射性医薬品など）について概説できる。  
 放射性医薬品の管理、取扱いに関する基準（放射性医薬品基準など）および制度について概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 【評価】 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書・・・"五郎丸・堀江 編、「放射化学・放射薬品学（第2版）」  
 廣川書店（4,000円）"  
 参考書・・・"日本放射線技術学会 監、「放射線生物学（改訂2版）」  
 オーム社出版局（5,250円）"

**関連科目**

生物学の基礎、基盤講義I（化学）、基盤講義III（生物学）、臨床分析学

**担当者の研究室等**

1号館7階(毒性学研究室)

**備考**

第一種放射線取扱主任者の資格取得には、講義内容の理解以外に、下記の参考書及び問題集等による自主学習が必要。  
 「放射線概論」通商産業研究社、「第1種放射線取扱主任者問題集」通商産業研究社

**公衆衛生学I**

Public Health Science I

奥野 智史 (オクノ トモフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：健康と環境  
 ユニット：C12環境  
 一般目標：人の健康にとってより良い環境の維持と向上に貢献できるようになるために、化学物質の人への影響、および生活環境や地球生態系と人の健康との関わりについての基本的知識、技能、態度を修得する。  
 (2) 生活環境と環境  
 一般目標：生態系や生活環境を保全、維持するために、それらに影響を及ぼす自然現象、人為的活動を理解し、環境汚染物質などの成因、人体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的知識と技能を修得し、環境の改善に向かって努力する態度を身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 地球環境の成り立ちについて概説できる。  
 生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 自己学習課題：生態系とは何か。独立栄養生物と従属栄養生物の違いは何か。  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 食物連鎖を介した化学物質の生物濃縮について具体例を挙げて説明できる。  
 化学物質の環境内動態と人の健康への影響について例を挙げて説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 自己学習課題：食物連鎖とは何か。生物濃縮とは何か。バイオレメディエーションとは何か。内分泌攪乱化学物質とは何か。  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。  
 環境基本法の理念を説明できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
 自己学習課題：四大公害とは何か。典型七公害とは何か。環境基準とは何か。  
 【評価】 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）

- 第4回** 【到達目標】 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：オゾン層とは何か。特定フロンや代替フロンとは何か。温室効果ガスとは何か。京都議定書とは何か。酸性雨とは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。  
水の浄化法について説明できる。  
水の塩素処理の原理と問題点について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：普通沈殿-緩速ろ過法と薬品沈殿-急速ろ過法の違いは何か。塩素消毒の長所と短所は何か。トリハロメタンとは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：水道水の水質基準で「検出されないこと」となっている項目は何か。従農業方式とは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：下水とは何か。活性汚泥法とは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：溶存酸素とは何か。生物学的酸素要求量と化学的酸素要求量の違いは何か。水域の自浄作用とは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。  
水質汚濁を防止するための法規制について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：富栄養化とは何か。赤潮とは何か。一律排水基準と上乘せ基準の違いは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 空気の成分を説明できる。  
主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。  
主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：窒素酸化物、硫黄酸化物および一酸化炭素の主な発生源と健康影響は何か。光化学オキシダントとは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 大気汚染に影響する気象要因（逆転層など）を概説できる。  
大気汚染を防止するための法規制について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：逆転層とは何か。有効煙突高さとは何か。K値規制とは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。  
室内環境と健康との関係について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：感覚温度とは何か。必要換気量とは何か。レジオネラ症（在郷軍人病）とは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 室内環境の保全のために配慮すべき事項について説明できる。  
シックハウス症候群について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
自己学習課題：健康増進法とは何か。受動喫煙とは何か。シックハウス症候群とは何か。  
【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

小テストの試験結果（点数）は総括的評価（合否判定）には加えない。総括的評価は定期試験で行う。100点満点中60点以上で合格とする。ただし、就学状況（出席、受講態度等）が不良の学

生については定期試験（本試験）の素点から最大10点を減点する。

**教材等**

教科書…「最新公衆衛生学（第5版）」佐谷戸安好監修 中室克彦他編、廣川書店（5,670円）、「必携・衛生試験法」日本薬学会編、金原出版（4,200円）

参考書…「スタンダード薬学シリーズ5 健康と環境（第2版）」日本薬学会編、東京化学同人（6,405円）、「コアカリ ポケット問題集6 健康と環境」ファーマプロダクト(1,575円)、「衛生試験法注解・2010」日本薬学会編、金原出版（27,300円）

**関連科目**

公衆衛生学Ⅱ、職業保健学、実践衛生試験法概論

**担当者の研究室等**

1号館5階（公衆衛生学研究室）

**備考**

小テストは理解度の確認を目的とし、講義開始時に行う。

**公衆衛生学Ⅱ**

Public Health Science II

上野 仁 (ウエノ ヒトシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：健康と環境

ユニット：C11 健康

(2)社会・集団と健康 一般目標：社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計と疫学に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(3)疾病の予防 一般目標：公衆衛生の向上に貢献するために、感染症、生活習慣病、職業病についての現状とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** 【到達目標】 健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。  
疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

自己学習課題：疾病の自然史とそれに対応する疾病予防の概念は何か。

【評価】 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第2回** 【到達目標】 疾病の予防における疫学の役割を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

自己学習課題：疫学とは何か、何のために行うのか。

【評価】 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第3回** 【到達目標】 疫学の三要因（病因、環境要因、宿主要因）について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

自己学習課題：疫学の三要因とは具体的にどのようなものか。

【評価】 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第4回** 【到達目標】 疫学の種類（記述疫学、分析疫学など）とその方法について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

自己学習課題：記述疫学、分析疫学の定義と症例・対照研究、コホート研究とは何か。

【評価】 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第5回** 【到達目標】 症例・対照研究の方法の概要を説明し、オッズ比を計算できる。（知識・技能）コホート研究の方法の概要を説明し、相対危険度、寄与危険度を計算できる。（知識・技能）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

自己学習課題：演習問題で2×2分割表を書いてオッズ比、相対危険度、寄与危険度を計算してみる。

【評価】 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第6回** 【到達目標】 医薬品の作用・副作用の調査における疫学的手法の有用性を概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

自己学習課題：演習問題で感度、特異度、相対リスク減少、絶対リスク減少、必要治療数などを計算してみる。介入研究、真のエンドポイントと代用エンドポイント、メタアナリシスとは何か。

【評価】 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第7回** 【到達目標】 疫学データを解釈する上での注意点を列挙でき

る。  
集団の健康と疾病の現状を把握する上での人口統計の意義を概説できる。

人口静態と人口動態について説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
自己学習課題：疫学における因果関係の判定基準、人口静態統計と人口動態統計の違いとそれぞれの目的、自然増加率とは何か。

**【評価】** 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第8回** **【到達目標】** 国勢調査の目的と意義を説明できる。  
日本における人口の推移と将来予測について説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
自己学習課題：年齢三区分別人口とその指標とは何か。

**【評価】** 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第9回** **【到達目標】** 人口の将来予測に必要な指標を列挙し、その意義について説明できる。  
死亡に関する様々な指標の定義と意義について説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
自己学習課題：人口の再生産とその指標、死亡統計の指標とは何か。

**【評価】** 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第10回** **【到達目標】** 死因別死亡率の変遷について説明できる。  
高齢化と少子化によりもたらされる問題点を列挙し、討議する。（知識・態度）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
自己学習課題：死亡率の高い死因、生命表と平均余命、健康寿命とは何か。

**【評価】** 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第11回** **【到達目標】** 新生児マスキリングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
自己学習課題：母子保健の意義とその内容とは何か。

**【評価】** 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第12回** **【到達目標】** 生活習慣病の種類とその動向について説明できる。  
生活習慣病のリスク要因を列挙できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
自己学習課題：わが国の生活習慣病のリスクとその動向の特徴とは何か。

**【評価】** 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**第13回** **【到達目標】** 食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
自己学習課題：健康日本21からみた生活習慣病予防対策とは何か。

**【評価】** 小テスト（形成的評価）

定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
小テストの解答結果は総括的評価(合否判定)には加えない。総括的評価は、定期試験(100点満点中60点以上で合格)によって評価する。ただし、再受験対象者を除き、出席率が極めて悪い学生は定期試験（本試験）の素点から最大10点を減点する。

**教材等**  
**教科書**…「最新公衆衛生学」第5版、佐谷戸安好 監、中室克彦 編、廣川書店(5,400円)、**「コアカリ ポケット問題集6 健康と環境」**ファーマプロダクト【衛生系6科目で使用する】(1,575円)  
**参考書**…「国民衛生の動向・厚生指標」臨時増刊2012/2013年版、(財)厚生統計協会(2,400円)「疫学 基礎から学ぶために」日本疫学会編、南江堂(2,800円)

**関連科目**  
感染症学、食品衛生学Ⅰ・Ⅱ、社会薬学、職業保健学、公衆衛生学Ⅰ、薬剤疫学

**担当者の研究室等**  
1号館5階(公衆衛生学研究室) TEL/FAX 072-866-3123  
email: ueno@pharm.setsunan.ac.jp

**備考**  
小テストの目的は理解度の確認であり、必要に応じて授業開始時に行う。

**食品衛生学**  
Food Hygienic Sciences I

太田 壮一 (オオタ ソウイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：健康と環境  
ユニット：C11 健康  
一般目標：人とその集団の健康の維持、向上に貢献できるようにするために、栄養と健康、現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 栄養と健康  
一般目標：健康維持に必要な栄養を科学的に理解するために、栄養素、代謝、食品の安全性と衛生管理などに関する基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** **【到達目標】** 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる（1）。内容：タンパク質、脂質

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第2回** **【到達目標】** 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる（2）。内容：脂質、糖質

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第3回** **【到達目標】** 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる（3）。内容：水溶性ビタミン

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第4回** **【到達目標】** 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる（4）。内容：脂溶性ビタミン

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第5回** **【到達目標】** 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる（5）。内容：ミネラル、食物繊維

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第6回** **【到達目標】** 食品が腐敗する機構について説明できる。  
油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第7回** **【到達目標】** 食品の褐変を引き起こす主な反応とその機構を説明できる。  
食品の変質を防ぐ方法（保存法）を説明できる。  
食中毒の種類を列挙し、発生状況を説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第8回** **【到達目標】** 代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品及び予防法について説明できる（1）。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第9回** **【到達目標】** 代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品及び予防法について説明できる（2）。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第10回** **【到達目標】** 代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる（1）。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第11回** **【到達目標】** 代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる（2）。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第12回** **【到達目標】** 代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる（3）。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第13回** **【到達目標】** 食品添加物の法的規制と問題点について説明できる。  
遺伝子組み換え食品の現状を説明し、その問題点について

討議する。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。また、追・再試験の場合も、同様な形式で評価する。

教材等

教科書…講義プリントを用いて行う。

参考書…"「薬学生のための栄養と健康」伊藤順子編、金谷健一郎他共著、三共出版(2,800円)"

関連科目

食品衛生学II、臨床栄養学、生化学I・II、衛生薬学実習

担当者の研究室等

1号館5階（環境保健学研究室）

食品衛生学II Food Hygienic Sciences II				
中尾 晃 幸 (ナカオ テルユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A 群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

C11健康

一般目標：人とその集団の健康の維持、向上に貢献できるようになるために、栄養と健康、現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(1)栄養と健康 一般目標：一般目標：健康維持に必要な栄養を科学的に理解するために、栄養素、代謝、食品の安全性と衛生管理などに関する基礎的知識と技能を修得する。

C12環境

一般目標：人の健康にとってより良い環境の維持と向上に貢献できるようになるために、化学物質の人への影響、および生活環境や地球生態系と人と健康との関わりについての基本的知識、技能、態度を修得する。(1)化学物質の生体への影響 一般目標：有害な化学物質などの生体への影響を回避できるようになるために、化学物質の代謝変換、活性化、毒性などに関する基本的知識を修得し、これに関連する基本的技能と態度を身につける。(2)生活環境と健康 一般目標：生態系や生活環境を保全、維持するために、それらに影響を及ぼす自然現象、人為的活動を理解し、環境汚染物質などの成因、人体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的知識と技能を修得し、環境の改善に向かって努力する態度を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 毒性評価に必要な指標（量-反応関係、閾値、NOAELなど）について概説できる。化学物質の安全摂取量（1日許容摂取量など）について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 化学物質の毒性を評価する主な試験法を列挙し、概説できる。有害化学物質の人への影響を防ぐための法的規制について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄のプロセスについて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 第I相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。  
（酸化反応とP450の異物代謝機構）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 第I相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。  
（還元反応、加水分解反応）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 第II相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。  
（グルクロン酸抱合、グルコース抱合、硫酸抱合など）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 第II相反応が関わる代謝、代謝的活性化について概説できる。  
（アセチル抱合、アミノ酸抱合、グルタチオン抱合など）  
異物代謝に影響を及ぼす因子について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 発がんのイニシエーションとプロモーションに

ついて概説できる。

代表的ながん遺伝子、がん抑制遺伝子をあげ、その異常とがん化との関連を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第9回

【到達目標】 発がん性物質などの代謝的活性の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。変異原性試験（Ames試験など）の原理と実施法について概説できる。  
食品成分由来の発癌物質を列挙し、その生成機構を説明できる。

代表的なマイコトキシンを列挙し、それによる健康障害について概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第10回

【到達目標】 代表的な有害化学物質（PCB、ダイオキシン類など）の急性・慢性毒性の特徴について説明できる。  
内分泌攪乱物質がヒトの健康に及ぼす影響を説明し、その予防策を提案する。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第11回

【到達目標】 代表的な有害化学物質（重金属、農薬など）の急性・慢性毒性の特徴について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第12回

【到達目標】 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質について列挙できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第13回

【到達目標】 食中毒の原因となる自然毒を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…配布プリント

参考書…"ベーシック薬学教科書シリーズ「健康」化学同人(4,400円)

「衛生薬学」改訂第2版 南江堂(7,000円)"

関連科目

食品衛生学I、衛生化学、衛生薬学実習

担当者の研究室等

1号館5階（環境保健学研究室）

衛生化学 Hygienic Chemistry				
木村 朋 紀 (キムラ トモキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	B 群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：健康と環境

ユニット：C11 健康

一般目標：人とその集団の健康の維持、向上に貢献できるようになるために、栄養と健康、現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 栄養と健康 一般目標：健康維持に必要な栄養を科学的に理解するために、栄養素、代謝、食品の安全性と衛生管理などに関する基本的知識と技能を修得する。

ユニット：C12 環境

一般目標：人の健康にとってより良い環境の維持と向上に貢献できるようになるために、化学物質の人への影響、および生活環境や地球生態系と人の健康との関わりについての基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 化学物質の生体への影響 一般目標：有害な化学物質などの生体への影響を回避できるようになるために、化学物質の毒性などに関する基本的知識を修得し、これに関連する基本的技能と態度を身につける。

コース：物理系薬学を学ぶ

ユニット：C2化学物質の分析

一般目標：化学物質（医薬品を含む）をその性質に基づいて分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要な基本的知識と技能を修得する。

(3) 分析技術の臨床応用 一般目標：薬学研究や臨床現場で分析技術を適切に応用するために、代表的な分析法の基本的知識と技能を修得する

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。

- 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第3回** **【到達目標】** 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。  
 毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。  
 代表的な中毒原因物質（乱用薬物を含む）のスクリーニング法を列挙し、説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [シアン化水素など]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第4回** **【到達目標】** 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。  
 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [重金属など1]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第5回** **【到達目標】** 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。  
 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [重金属など2]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第6回** **【到達目標】** 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。  
 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [重金属など3]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第7回** **【到達目標】** 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [農薬1]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第8回** **【到達目標】** 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [農薬2]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第9回** **【到達目標】** 重金属、農薬、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [家庭用品]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第10回** **【到達目標】** 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す主な化学物質を列挙できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [医薬品]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第11回** **【到達目標】** 毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。  
 代表的な中毒原因物質（乱用薬物を含む）のスクリーニング法を列挙し、説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [覚せい剤、大麻など2]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第12回** **【到達目標】** 毒物中毒における生体試料の取扱いについて説明できる。  
 代表的な中毒原因物質（乱用薬物を含む）のスクリーニング法を列挙し、説明できる。  
 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。  
 [覚せい剤、大麻など2]
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第13回** **【到達目標】** 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制（化審法など）を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 評価の時期・方法・基準**  
 定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。
- 教材等**  
**教科書**…配布プリント  
**参考書**…武田・太田 編、「ベーシック薬学教科書シリーズ12 環境」化学同人（4,620円）  
 伊藤 編、「薬学生のための栄養と健康（第2版）」三共出版（2,940円）  
 日本薬学会 編、「薬毒物試験法と注解2006 -分析・毒性・対処法-」東京化学同人（7,000円）  
 佐藤・川嶋・鍛冶・名取・中川、「衛生薬学（改訂第3版）」南江堂（7,350円）”
- 関連科目**  
 食品衛生学I、食品衛生学II、公衆衛生学I、公衆衛生学II、職業保健学、食品分析学
- 担当者の研究室等**  
 1号館7階（毒性学研究室）

職業保健学 Industrial Health Science				
		上野 仁 (ウエノ ヒトシ)		
		奥野 智史 (オクノ トモフミ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	B群選択	1.5

- コース・ユニット・一般目標**  
 コース：健康と環境  
 ユニット：C11健康  
 (3) 疾病の予防  
 一般目標：公衆衛生の向上に貢献するために、感染症、生活習慣病、職業病についての現状とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
 ユニット：C12環境  
 (2) 生活環境と環境  
 一般目標：生態系や生活環境を保全、維持するために、それらに影響を及ぼす自然現象、人為的活動を理解し、環境汚染物質などの成因、人体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的知識と技能を修得し、環境の改善に向かって努力する態度を身につける。  
 コース：薬学と社会  
 ユニット：C18薬学と社会  
 (3) コミュニティーファーマシー 一般目標：コミュニティーファーマシー（地域薬局）のあり方と業務を理解するために、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を修得する。（授業担当回数：上野7回、奥野6回）
- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回** **【到達目標】** 世界保健機構（WHO）の役割について概説できる。  
 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（定義と法規制）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（上野）  
 自己学習課題：職業病とは何か、労働安全衛生法と作業環境測定とは何か  
**【評価】** 小テスト（形成的評価）  
 定期試験（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** 毒性試験の結果を評価するのに必要な量・反応関係、閾値、無毒性量（NOAEL）などについて概説できる。

化学物質の安全摂取量（1日許容摂取量など）について説明できる。

主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（産業保健管理）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（上野）  
自己学習課題：NOEL、NOAEL、TLV、ADI、TDI、VSDとは何か、演習課題によるリスク評価を行ってみる

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（水銀・鉛・カドミウムによる中毒）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（上野）  
自己学習課題：水銀、鉛、カドミウムによる職業曝露とそれによる健康障害は何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（ヒ素・クロム・ニッケル等による中毒）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（上野）  
自己学習課題：ヒ素、クロム、ニッケルなどによる職業曝露とそれによる健康障害は何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（有害ガスによる中毒）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（上野）  
自己学習課題：有害ガスにはどのようなものがあるか、それらの健康障害とは何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（有機溶剤による中毒）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（上野）  
自己学習課題：有機溶剤にはどのようなものがあるか、それらの健康障害とは何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（じん肺症・アスベスト肺）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（上野）  
自己学習課題：じん肺症とは何か、アスベストの定義とそれによる健康障害とは何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（職業がん）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（奥野）  
自己学習課題：WHOが提唱する職業がんにはどのようなものがあり、その発がん機序はどうなっているのか

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（熱中症、減圧症、振動障害、騒音性難聴、酸素欠乏症、頸肩腕障害など）

紫外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。  
赤外線の種類を列挙し、その特徴と生体に及ぼす影響について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（奥野）  
自己学習課題：職業病による健康障害にはどのようなものがあるか、紫外線・赤外線による生体影響は何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 主な職業病を列挙し、その原因と症状を説明できる。（産業保健管理）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（奥野）  
自己学習課題：労働災害とは何か、労働衛生管理とは何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第11回 【到達目標】 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制（化審法など）を説明できる。

PRTR法について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（奥野）  
自己学習課題：第一種・第二種特定化学物質や監視化学物質とは何か、第一種指定化学物質とは何か、PRTR制度とは何か、MSDS制度とは何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第12回 【到達目標】 廃棄物の種類を列挙できる。

廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。  
マニフェスト制度について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（奥野）  
自己学習課題：一般廃棄物と産業廃棄物の違いは何か、感染性廃棄物とは何か、マニフェストとは何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 学校薬剤師の役割を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（奥野）  
自己学習課題：学校薬剤師の業務とは何か

【評価】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準  
小テストの解答結果は総括的評価(合否判定)には加えない。総括的評価は、定期試験(100点満点中60点以上で合格)によって評価する。ただし、出席率が極めて悪い学生は定期試験（本試験）の素点から最大10点を減点する。

教材等  
教科書…「最新公衆衛生学」第5版、佐谷戸安好 監、中室克彦 編、廣川書店 (5,400円)、日本薬学会編「必携・衛生試験法」(金原出版)

関連科目  
公衆衛生学Ⅰ、公衆衛生学Ⅱ、食品衛生学Ⅱ、衛生化学

担当者の研究室等  
1号館5階(公衆衛生学研究室)

備考  
小テストの目的は理解度の確認であり、必要に応じて適宜行う。

実践衛生試験法概論 Introduction to Hygienic Test				
		太田 壮一 (オオタ ソウイチ)		
		上野 仁 (ウエノ ヒトシ)		
		中尾 晃幸 (ナカオ テルユキ)		
		奥野 智史 (オクノ トモフミ)		
		木村 朋紀 (キムラ トモキ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5,6	A B C D E F	前期	C 群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：健康と環境  
ユニット：C11 健康  
一般目標：人とその集団の健康の維持、向上に貢献できるようにするために、栄養と健康、現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 栄養と健康  
一般目標：健康維持に必要な栄養を科学的に理解するために、栄養素、代謝、食品の安全性と衛生管理などに関する基本的知識と技能を修得する。  
ユニット：C12 環境

一般目標：人の健康にとってより良い環境の維持と向上に貢献できるようになるために、化学物質の人への影響、および生活環境や地球生態系と人の健康との関わりについての基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 化学物質の生体への影響  
一般目標：有害な化学物質などの生体への影響を回避できるようにするために、化学物質の毒性などに関する基本的知識を修得し、これに関連する基本的技能と態度を身につける。

(2) 生活環境と環境  
一般目標：生態系や生活環境を保全、維持するために、それらに影響を及ぼす自然現象、人為的活動を理解し、環境汚染物質などの成因、人体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的知識と技能を修得し、環境の改善に向かって努力する態度を身につける。

尚、本講義は、以下の5名の教員が分担して担当する：第1～2回：上野、第3～4回：木村、第5～6回：中尾、第7～9回：太田、第10～13回：奥野

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。（知識・技能）

試験法：残留塩素、アンモニア態窒素、硝酸態窒素及び硝酸態窒素の定量〔水質試験法1〕 【上野】

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)

定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。（知識・技能）

試験法：硬度、鉄、全有機炭素（TOC）、シアン化合物、トリハロメタン、非イオン界面活性剤、陰イオン界面活性剤の定量〔水質試験法2〕 【上野】

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)

定期試験（総括的評価）

- 第3回** 【到達目標】 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
試験法：水銀、カドミウム、ヒ素、クロム、スズ、鉛の定量〔食品汚染物試験法2〕  
【木村】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。  
変異原性試験（Ames試験など）の原理を説明し、実施できる。（知識・技能）〔変異原性試験法〕 【木村】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 主な食品添加物の試験法を実施できる。（技能）  
試験法：保存料、防カビ剤、発色剤、着色料、酸化防止剤、甘味料の定量〔食品添加物試験法〕 【中尾】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
試験法：農薬、PCBs、ダイオキシン類の定量〔食品汚染物試験法1〕 【中尾】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる。  
試験法：アミノ酸・タンパク質、糖類の定量〔食品成分試験法1〕 【太田】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験法を実施できる。（知識・技能）  
栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる。  
試験法：脂質・脂肪酸の定量〔食品成分試験法2〕 【太田】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる。  
試験法：ビタミン、食物繊維の定量〔食品成分試験法3〕 【太田】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。  
DO、BOD、CODを測定できる。（技能）〔水質試験法3〕 【奥野】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 水質汚濁の主な指標を水域ごとに列挙し、その意味を説明できる。  
試験法：浮遊物質、全窒素・りん、n-ヘキサン抽出物質、大腸菌群数、全亜鉛の定量〔水質試験法4〕 【奥野】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源について説明できる。  
主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。（知識・技能）  
試験法：窒素酸化物、硫酸酸化物、オキシダント、粒子状物質、一酸化炭素の定量〔空気試験法1〕 【奥野】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。（知識・技能）  
試験法：気温、気湿、カタ冷却力、気動、感覚温度、照度、必要換気量、二酸化炭素、ホルムアルデヒドの測定〔空気試験法2〕 【奥野】  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 小テスト(形成的評価)  
定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**  
教科書…「衛生試験法・要説」日本薬学会編、金原出版（5,040円）  
参考書…「衛生試験法・注解2005」日本薬学会編、金原出版

**関連科目**  
食品衛生学I・II、公衆衛生学I・II、衛生化学、職業保健学

**担当者の研究室等**  
太田、中尾：1号館5階(環境保健学研究室)  
上野、奥野：1号館5階(公衆衛生学研究室)  
木村：1号館7階(毒性学研究室)

**備考**  
その他講義担当者： 中尾晃幸（ナカオテルユキ）、奥野智史（オクノトモフミ）、木村朋紀（キムラトモキ）

薬物治療学 Pharmacotherapeutics I				
荻田 喜代一（オギタ キヨカス）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

- コース・ユニット・一般目標**  
コース：薬と疾患 ユニット：C1 3薬の効くプロセス（一般目標：医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識と態度を修得し、それらに応用する基本的技能を身につける）（2）薬の効き方（一般目標：神経系に作用する薬物に関する基本的知識を修得し、その作用を検出するための基本的技能を身につける）  
C1 4薬物治療（一般目標：疾病に伴う症状と臨床検査値の変化などの確かな患者情報を取得し、患者個々に応じた薬の選択、用法・用量の設定および各々の医薬品の「使用上の注意」を考慮した適正な薬物治療に参画できるようになるために、薬物治療に関する基本的知識と技能を修得する）（3）疾患と薬物治療（一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、神経・筋疾患およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける）〔神経・筋の疾患〕（4）疾患と薬物治療（一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、精神疾患、耳鼻咽喉の疾患、皮膚の疾患、眼疾患およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける）
- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回** 【到達目標】 眼に関する代表的な疾患を挙げることができる。  
結膜炎、網膜症を概説できる。  
緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げ、概説することができる。  
めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 代表的な全身麻酔薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
代表的な催眠薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。  
【評価】 小テスト・定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 代表的な鎮痛薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第5回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 代表的な精神疾患を挙げることができる。うつ病、躁うつ病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第6回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 代表的な精神疾患（統合失調症、うつ病など）の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第7回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 以下の疾患を概説できる。神経症、心身症、薬物依存症、アルコール依存症  
 神経・筋に関する代表的な疾患を挙げることができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第8回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** てんかんの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
 パーキンソン病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第9回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 以下の疾患について概説できる。重症筋無力症、脳炎・髄膜炎、熱性けいれん、脳腫瘍、一過性脳虚血発作、脳血管性痴呆  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第10回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 代表的な中枢神経疾患（てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など）の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第11回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** アルツハイマー病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第12回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 代表的な中枢神経疾患（てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病など）の治療薬を挙げ、その薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**第13回**  
**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 脳血管疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 テキスト、参考書等で復習して授業内容を十分に理解し、毎回の小テストに備えてください。小テストの対策を通して学習習慣をつけること。

**【評価】** 小テスト・定期試験（総括的評価）  
**評価の時期・方法・基準**  
 小テスト（30%）、定期試験（70%）により総括評価する。小テストに無断で欠席した場合には、その日の点数は「0点」とする。また、いかなる理由でも欠席が続いた場合には30点を限度に減点することができる。100点満点のうち、60点で合格とする。

**教材等**  
**教科書**…薬物治療学Iテキスト（問題集付）、薬剤師国家試験対策参考書・薬理学（薬学ゼミナール編集）  
**参考書**…「治療薬マニュアル」医学書院、病気がみえる「脳・

神経」MEDIC MEDIA

**関連科目**  
 生理解剖学、病態生理学、病態生化学、薬理学総論  
**担当者の研究室等**  
 1号館6階（薬理学研究室）

**備考**  
 授業の進行状況に応じて補習授業を行うことがあるので出席すること。質問がある場合には直接研究室を訪問ください。

薬物治療学II Pharmacotherapeutics II				
前田 定秋 (マエダ サダアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：薬と疾病  
 ユニット：C13 薬の効くプロセス（2）薬の効き方I（3）薬の効き方II 一般目標：（2）神経系、循環器系、呼吸器系、（3）内分泌系、消化器系、腎、血液・造血器系、代謝系、炎症、アレルギーに作用する薬物に関する基本的知識を修得する。  
 ユニット：C14 薬物治療（1）体の変化を知る 一般目標：身体の病的変化を病態生理学的に理解するために、代表的な症候（呼吸困難、発熱など）と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。（2）疾患と薬物治療（心臓疾患等）、（3）同（腎臓疾患等） 一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、（2）心臓と血管系疾患、血液・造血器疾患、消化器系疾患、（3）腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、内分泌系の疾患、代謝性疾患、神経・筋疾患、およびこれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**  
**第1回** **【到達目標】** 心臓および血管系における代表的な疾患を挙げることができる。  
 代表的な心臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第2回** **【到達目標】** 心不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第3回** **【到達目標】** 代表的な心不全治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第4回** **【到達目標】** 不整脈の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第5回** **【到達目標】** 代表的な抗不整脈薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第6回** **【到達目標】** 虚血性心疾患の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第7回** **【到達目標】** 代表的な虚血性心疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。以下の疾患について概説できる。  
 閉塞性動脈硬化症、心原性ショック  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第8回** **【到達目標】** 高血圧の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第9回** **【到達目標】** 代表的な高血圧治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**第10回** **【到達目標】** 腎臓および尿路における代表的な疾患を挙げることができる。  
 代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

- 第11回** 【到達目標】 以下の疾患について概説できる。  
糸球体腎炎、糖尿病性腎症、尿路感染症、薬剤性腎症、尿路結石  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 ネフローゼ症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 腎不全の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。利尿薬を作用機序別に分類し、臨床応用および主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…新薬理学テキスト（廣川書店）、プリント

参考書…"治療薬マニュアル（医学書院）、NEW薬理学（南江堂）

**関連科目**

生理解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学総論、薬物治療学Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ

**担当者の研究室等**

1号館3階(薬物治療学研究室)

薬物治療学Ⅲ Pharmacotherapeutics Ⅲ				
前田 定秋 (マエダ サダアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：薬と疾病 ユニット：C13 薬の効くプロセス (3) 薬の効き方Ⅱ 一般目標：内分泌系、消化器系、腎、血液・造血器系、代謝系、炎症、アレルギーに作用する薬物に関する基本的知識を修得する。

ユニット：C14 薬物治療 (1) 体の変化を知る 一般目標：身体の病的変化を病態生理学的に理解するために、代表的な症候（呼吸困難、発熱など）と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。(2) 疾患と薬物治療（心臓疾患等）、(3) 同（腎臓疾患等） 一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようにするために、(2) 心臓と血管系疾患、血液・造血器疾患、消化器系疾患、(3) 腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、内分泌系の疾患、代謝性疾患、神経・筋疾患、およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。(5) 病原微生物・悪性新生物と戦う 一般目標：生体内で異常に増殖あるいは複製することにより人体に疾患を生じる細菌、ウイルスなど、および悪性新生物に対する薬物の作用機序を理解し、薬物治療へ応用できるようにするために、抗菌薬、抗悪性腫瘍薬などに関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 消化器系の部位別（食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、胆道、肝臓、膵臓）に代表的な疾患を挙げることができる。代表的な疾患における薬物治療と非薬物治療（外科手術、食事療法など）の位置づけを説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 消化性潰瘍の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。代表的な胃・十二指腸潰瘍治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 腸炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。代表的な催吐薬と制吐薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 その他の消化性疾患に対する代表的治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 肝炎・肝硬変の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。代表的な肝臓疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。薬剤性肝障害、胆石症、虫垂炎、クローン病に

ついて概説できる。

- 【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 膝炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。代表的な膝関節疾患治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査を列挙し、推測される腫瘍部位を挙げるができる。主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる。代表的なアルキル化薬を列挙し、作用機序を説明できる。代表的な代謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、作用機序を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。代表的な白金錯体を挙げ、作用機序を説明できる。代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。副作用軽減のための対処法を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 男性および女性生殖器に関する代表的な疾患を挙げることができる。前立腺肥大症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験により評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…新薬理学テキスト（廣川書店）、プリント

参考書…治療薬マニュアル（医学書院）、NEW薬理学（南江堂）

**関連科目**

生理解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学総論、薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ

**担当者の研究室等**

1号館3階(薬物治療学研究室)

薬物治療学Ⅳ Pharmacotherapeutics Ⅳ				
吉岡 靖啓 (ヨシオカ ヤスヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：薬と疾病  
ユニット：C13 薬の効くプロセス  
(3) 薬の効き方Ⅱ 一般目標：内分泌系、消化器系、腎、血液・造血器系、代謝系、炎症、アレルギーに作用する薬物に関する基本的知識を修得する。  
ユニット：C14 薬物治療  
(1) 体の変化を知る 一般目標：身体の病的変化を病態生理学的に理解するために、代表的な症候（呼吸困難、発熱など）と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。  
(2) 疾患と薬物治療（心臓疾患等） 一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようにするために、心臓と血管系疾患、血液・造血器疾患、消化器系疾患、およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、

薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 血液・造血器における代表的な疾患を挙げることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 白血病の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 貧血の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 代表的な造血系を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】 代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】 代表的な止血薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】 代表的な抗血栓薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】 以下の疾患について概説できる。  
血友病、悪性リンパ腫、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】 以下の疾患について概説できる。  
血友病、悪性リンパ腫、紫斑病、白血球減少症、血栓・塞栓  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】 播種性血管内凝固症候群（DIC）の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 代表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 代表的な炎症治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

- 教科書…新薬理学テキスト（廣川書店）  
参考書…治療薬マニュアル（医学書院）、NEW薬理学（南江堂）、  
知っておきたい病気100（東京化学同人）

関連科目

生理解剖学 I・II・III、薬理学総論、薬物治療学 I・II

担当者の研究室等

1号館3階(薬物治療学研究室)

薬物治療学V Pharmacotherapeutics V				
吉岡靖啓(ヨシオカ ヤスヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：薬と疾病  
ユニット：C13 薬の効くプロセス (3) 薬の効き方II 一般目

標：内分泌系、消化器系、腎、血液・造血器系、代謝系、炎症、アレルギーに作用する薬物に関する基本的知識を修得する。  
ユニット：C14 薬物治療 (1) 体の変化を知る 一般目標：身体の病的変化を病態生理学的に理解するために、代表的な症候（呼吸困難、発熱など）と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。(2) 疾患と薬物治療（心臓疾患等）、(3) 同（腎臓疾患等）、(4) 同（精神疾患等） 一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、(2) 心臓と血管系疾患、血液・造血器疾患、消化器系疾患、(3) 腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、内分泌系の疾患、代謝性疾患、神経・筋疾患、(4) 精神疾患、耳鼻咽喉の疾患、皮膚の疾患、眼疾患、感染症、アレルギー・免疫疾患、骨・関節疾患、およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 ホルモンの産生臓器別に代表的な疾患を挙げることができる。  
ホルモンの分泌異常に用いられる代表的治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 代表的な糖質コルチコイド剤の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 代表的な性ホルモン剤の薬理作用、機序、臨床応用および主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 以下の疾患について概説できる。  
上皮小体機能異常症、アルドステロン症、アジソン病  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】 甲状腺機能異常症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】 クッシング症候群の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
尿崩症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】 高脂血症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】 代表的な高脂血症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】 高尿酸血症・痛風の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】 代表的な高尿酸血症・痛風治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 骨、関節に関する代表的な疾患を挙げることができる。  
以下の疾患を概説できる。  
変形性関節症、骨軟化症  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 カルシウム代謝調節・骨代謝に関連する代表的な治療薬をあげ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
骨粗鬆症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

- 教科書…新薬理学テキスト（廣川書店）  
参考書…治療薬マニュアル（医学書院）、NEW薬理学（南江堂）、  
知っておきたい病気100（東京化学同人）

**関連科目**

生理解剖学 I・II・III, 薬理学総論, 薬物治療学 I・II・III・IV

**担当者の研究室等**

1号館3階(薬物治療学研究室)

薬物治療学VI Pharmacotherapeutics VI				
河野 武 幸 (コウノ タケユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：薬と疾病 ユニット：C13 薬の効くプロセス (2) 薬の効き方I、(3) 薬の効き方II 一般目標：(2) 神経系、循環器系、呼吸器系に作用する薬物に関する基本的知識を修得し、その作用を検出するための基本的技能を身につける。(3) 内分泌系、消化器系、腎、血液・造血器系、代謝系、炎症、アレルギーに作用する薬物に関する基本的知識を修得する。  
 ユニット：C14 薬物治療 (3) 疾患と薬物治療(腎臓疾患等)、(4) 疾患と薬物治療(精神疾患等)、(5) 病原微生物・悪性新生物と戦う 一般目標：(3)、(4) 将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、腎臓と尿路の疾患、生殖器疾患、呼吸器・胸部疾患、内分泌系の疾患、代謝性疾患、神経・筋疾患(3)、精神疾患、耳鼻咽喉の疾患、皮膚の疾患、眼疾患、感染症、アレルギー・免疫疾患、骨・関節疾患(4) およびそれらの治療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。併せて、薬物治療実施に必要な情報を自ら収集するための基本的技能を身につける。(5) 生体内で異常に増殖あるいは複製することにより人体に疾患を生じる細菌、ウイルスなど、および悪性新生物に対する薬物の作用機序を理解し、薬物治療へ応用できるようになるために、抗菌薬、抗悪性腫瘍薬などに関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ◇代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる(1)。  
 ◇アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる(1)。  
 アレルギーのしくみについて論述するとともに、抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、免疫抑制薬の作用機序、臨床応用、主な副作用について論述する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第2回** 【到達目標】 ◇アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる(2)。  
 抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬、免疫抑制薬の作用機序、臨床応用、主な副作用について論述する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第3回** 【到達目標】 ◇代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる(2)。  
 アレルギー疾患の病因と病態を概説する。  
 ◇以下の疾患を概説できる(アレルギー性鼻炎、花粉症、蕁麻疹、接触性皮膚炎、光線過敏症、アレルギー性結膜炎)(1)。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第4回** 【到達目標】 ◇以下の疾患を概説できる(アレルギー性鼻炎、花粉症、蕁麻疹、接触性皮膚炎、光線過敏症、アレルギー性結膜炎)(2)。  
 ◇皮膚に関する代表的な疾患を挙げることができる。  
 ◇アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
 ◇アナフィラキシーショックの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)

- 第5回** 【到達目標】 ◇肺と気道に関する代表的な疾患を挙げることができる。  
 ◇代表的な鎮咳・去痰薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
 ◇代表的な呼吸興奮薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「新薬理学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第6回** 【到達目標】 ◇代表的な気管支喘息治療薬を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。  
 ◇閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる(1)。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」、「新薬理学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第7回** 【到達目標】 ◇閉塞性気道疾患(気管支喘息、肺気腫)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる(2)。  
 ◇以下の疾患について概説できる(上気道炎(かぜ症候群)、肺炎、肺結核)  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第8回** 【到達目標】 ◇代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる(3)。自己免疫疾患の病因と病態を概説する。  
 ◇アレルギーの代表的な治療薬を挙げ、作用機序、臨床応用、および主な副作用について説明できる(3)。  
 免疫抑制剤の作用機序、臨床応用、主な副作用について論述する。  
 ◇関節リウマチの代表的な治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 ◇関節リウマチの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
 ◇自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる(1)。  
 全身性エリテマトーデスの病因、病態、薬物治療について論述する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 ◇自己免疫疾患(全身性エリテマトーデスなど)の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる(2)。  
 全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚炎、シェーグレン症候群、特発性血小板減少性紫斑病、重症筋無力症等の病因、病態、薬物治療について論述する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 ◇移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
 ◇後天性免疫不全症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。  
 ◇代表的な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。  
 ◇抗ウイルス薬の併用療法において、考慮すべき点を挙げ、説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義(講義室)、教材：プリント、教科書「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」  
 自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施(宿題)  
**【評価】** 定期試験(総括的評価)
- 第12回** 【到達目標】 ◇糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる(1)。  
 ◇代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる(1)。

【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）、教材：プリント、教科書「糖尿病治療ガイド」  
自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施（宿題）  
【**評価**】 定期試験（総括的評価）  
第13回 【**到達目標**】 ◇糖尿病とその合併症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる（2）。  
◇代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる（2）。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）、教材：プリント、教科書「糖尿病治療ガイド」  
自己学習課題：復習と「到達度確認試験」の実施（宿題）  
【**評価**】 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

総括的評価は、定期試験で実施します。100点中60点以上を合格とします。定期試験不合格者を対象に実施する再試験（満点100点）及び不受験者を対象に実施する追試験（満点100点）の可否判定には、定期試験の結果は加味せず、60点以上を合格とします。

**教材等**

教科書…「新薬理学テキスト」廣川書店、佐藤進 編（6,800円）、「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」薬事日報社、大野勲他 編（3,990円）、「感染症学」診断と治療社、谷田憲俊 著（9,975円）、以上は3年次までに購入済、「糖尿病治療ガイド2012」日本糖尿病学会編、分光堂（735円）、プリント（講義中に配付します）

参考書…「シナリオ症例解析」高山明 編、京都廣川書店（4,625円）、「ファーマシューティカルノート」百瀬弥寿徳 編、医学評論社（7,980円）、「臨床薬学ハンドブック」羊土社、越前宏俊、鈴木孝 編（3,675円）

**関連科目**

生化学、生理解剖学、微生物学、感染症学、薬理学総論、薬物治療学、病態生化学、病態生理学、臨床医学概論

**担当者の研究室等**

1号館3階（病態医科学研究室）

**備考**

薬物治療学VIでは、コース：ヒューマニズムについて学ぶ ユニット（2）医療の担い手としてのこころ構え；SBO3「医療の担い手にふさわしい態度を示す。」も到達目標の一つとします。従って、学ぶ姿勢が良好ではない者については、定期試験、再試験、追試験の結果から30点を限度に減点することがあります。多種類の教科書とプリントを使います。事前に用いる教科書を指示しますので、間違えないように持って来て下さい。

**生物薬剤学**  
Biopharmacy

曾根 知 道（ソネ トモミチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：薬と疾病

ユニット：C13 薬の効くプロセス

一般目標：医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識と態度を修得し、それらを応用する基本的技能を身につける。

（1）薬の作用と生体内運命

一般目標：作用部位に達した薬物の量と作用により薬効が決まることを理解するために、薬物の生体内における動きと作用に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

【薬の運命】

（4）薬物の臓器への到達と消失

一般目標：薬物の生体内運命を理解するために、吸収、分布、代謝、排泄の過程に関する基本的知識とそれらを解析するための基本的技能を修得する。

【吸収】、【分布】、【代謝】、【排泄】、【相互作用】

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【**到達目標**】 【薬の運命】  
・薬物の体内動態（吸収・分布・代謝・排泄）と薬効発現の関わりについて説明できる。  
・生体内の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。  
【**吸収**】  
・薬物の主な吸収部位を挙げて説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第2回 【**到達目標**】 【**吸収**】  
・受動拡散（単純拡散）、促進拡散の特徴を説明できる（1）。  
・能動輸送の特徴を説明できる（1）。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）

自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第3回 【**到達目標**】 【**吸収**】  
・受動拡散（単純拡散）、促進拡散の特徴を説明できる（2）。  
・能動輸送の特徴を説明できる（2）。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第4回 【**到達目標**】 【**吸収**】  
・消化管の構造、機能と薬物吸収の関係を説明できる。  
・薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる（1）。  
【**薬の運命**】  
・経口投与された製剤が吸収されるまでに受ける変化（崩壊、分散、溶解など）を説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第5回 【**到達目標**】 【**吸収**】  
・薬物の吸収に影響する因子を列挙し説明できる（2）。  
・非経口投与後の薬物吸収について部位別に説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第6回 【**到達目標**】 【**分布**】  
・薬物が生体内に取り込まれた後、組織間で濃度差が生じる要因を説明できる。  
・薬物の体液中での存在状態（血漿タンパク結合など）を組織への移行と関連づけて説明できる。  
・薬物分布の変動要因（血流量、タンパク結合性、分布容積など）について説明できる。（1）  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第7回 【**到達目標**】 【**分布**】  
・薬物分布の変動要因（血流量、タンパク結合性、分布容積など）について説明できる（2）。  
・分布容積が著しく大きい代表的な薬物を挙げて説明できる。  
・薬物の脳への移行について、その機構と血液-脳関門の意義を説明できる。  
・薬物の胎児への移行について、その構造と血液-胎盤関門の意義を説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第8回 【**到達目標**】 【**代謝**】  
・薬物代謝が薬効に及ぼす影響について説明できる。  
・初回通過効果について説明できる。  
・薬物分子の体内での化学的変化とそれが起こる部位を列挙して説明できる。  
・薬物代謝様式とそれに関わる代表的な酵素を挙げて説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第9回 【**到達目標**】 【**代謝**】  
・薬物の酸化反応について具体的な例を挙げて説明できる。  
・薬物の還元・加水分解・抱合について具体的な例を挙げて説明できる。  
・シトクロムP450の構造、性質、反応様式について説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第10回 【**到達目標**】 【**代謝**】  
・薬物代謝酵素の変動要因（誘導、阻害、加齢、SNPsなど）について説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）  
定期試験（総括的評価）

第11回 【**到達目標**】 【**排泄**】  
・生体内の薬物の主要な排泄経路を、例を挙げて説明できる。  
・腎における排泄機構について説明できる。  
・糸球体ろ過速度について説明できる。  
【**学習方法・自己学習課題**】 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習  
【**評価**】 小テスト（形成的評価）

- 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 【排泄】**
- 腎クリアランスについて説明できる。
  - 尿中排泄率の高い代表的な薬物を列挙できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習
- 【評価】** 小テスト（形成的評価）
- 定期試験（総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 【排泄】**
- 胆汁中排泄について説明できる。
  - 腸肝循環を説明し、代表的な腸肝循環の薬物を列挙できる。
  - 唾液・乳汁中への排泄について説明できる。
- 【相互作用】**
- 薬物動態に起因する相互作用の代表的な例を挙げ、回避のための方法を説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：e-learningによる予習ならびに復習
- 【評価】** 小テスト（形成的評価）
- 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**

**教科書**…「図解薬剤学」改訂5版 森本雍憲 他著 南山堂 (7,500円+税)

※物理薬理学、薬物動態学の教科書と共通

**参考書**…「生物薬剤学」林正弘・谷川原祐介編 南江堂 (5,000円+税)。

「薬剤学」瀬崎仁・木村聰城郎・橋田充編 廣川書店 (5,800円+税)

**関連科目**

物理薬剤学、生物学、生化学など1, 2年次に習ってきた科目および3年次後期開講の薬物動態学

**担当者の研究室等**

1号館2階(薬学教育研究室, Academic Support Center (枚方キャンパス))

**備考**

講義では、重要事項をまとめたプリントを使ってわかりやすく説明するとともに、適宜、薬剤師国家試験問題をを用いた演習を行う。また、練習問題（自己学習課題）を Moodle (e-learning) に公開するので、各自予習ならびに復習を行うこと。

病院薬学 Hospital Pharmacy				
今井公江 (イマイ キミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：薬と疾病 ユニット：C15 薬物治療に役立つ情報

(1) 医薬品情報 一般目標：医薬品の適正使用に必要な医薬品情報を理解し、正しく取り扱うことができるようになるために、医薬品情報の収集、評価、加工、提供、管理に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(2) 患者情報 一般目標：個々の患者への適正な薬物治療に貢献できるようになるために、患者からの情報の収集、評価に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

コース：病院・薬局実務実習 ユニット：D1 病院・薬局に行く前に

(1) 処方せんと調剤 一般目標：医療チームの一員として調剤を正確に実施できるようになるために、処方せん授受から服薬説明までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する

(2) 疑義照会 一般目標：処方せん上の問題点が指摘できるようになるために、用法、用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき事項に関する基本的知識、技能、態度を身につける。

(3) 医薬品の管理と供給 一般目標：病院・薬局における医薬品の管理と供給を正しく行うために、内服薬、注射剤などの取扱い、および院内製剤に関する基本的知識と技能を修得する。

(5) 服薬説明と患者接遇 一般目標：薬物療法の適正化を通して、患者の安全確保とQOL向上に貢献できるようになるために、服薬説明、在宅医療などに関する基本的知識と技能を修得し、併せて医療チームの一員としての協調的態度を身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】** 医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。
- 医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。
- チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）

- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】** 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬、輸血用血液製剤などの管理と取扱いについて説明できる。など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】** 医薬品として必須の情報を列挙できる。医薬品情報に関係する代表的な法律と制度について概説できる。
- 医薬品情報源の一次資料、二次資料、三次資料について説明できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】** 厚生労働省、製薬企業などの発行する資料を列挙し、それらの特徴を説明できる。
- 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけと用途を説明できる。
- 医薬品インタビューフォームの位置づけと用途を説明できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】** 処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。
- 処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。調剤を法的根拠に基づいて説明できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】** 患者に適した剤形を選択できる。
- 代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。
- 患者の特性に適した用法・用量について説明できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】** 処方せん（外来、入院患者を含む）の受付から患者への医薬品交付、服薬指導に至るまでの流れを概説できる。
- 薬袋、薬札に記載すべき事項を列挙できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】** 患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。
- 服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。
- 代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】** 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。
- 処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。錠剤、カプセル剤などの計数調剤ができる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】** 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。
- 代表的な半固形製剤の種類と性質について説明できる。処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】** 処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。
- 代表的な液状製剤の種類と性質について説明できる。散剤、液剤などの計量調剤ができる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】** 注射剤調剤の流れを概説できる。
- 処方せんの記載に従って正しく注射剤の取りそろえができる。
- 注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。 など
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
課題について調査する自己研鑽（自宅）

- 第13回** 【評価】 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。  
 細胞毒性のある医薬品の調剤について説明できる。  
 細胞毒性のある注射剤の調剤について説明できる。 など  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
 課題について調査する自己研鑽（自宅）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験の成績により評価する。  
 100点満点の60点以上で合格。  
 詳細は第1回目の講義の最初に説明する。

**教材等**

**教科書**…プリント、「第十三改訂調剤指針」 日本薬剤師会編  
 薬事日報社（4,800円＋税）  
**参考書**…「図解臨床調剤学」一川暢宏、中嶋幹朗編集 南山堂  
 （5,400円＋税）、「調剤学総論」第11版 堀岡正義著 南山堂（6,800円＋税）

**関連科目**

薬剤師業務を理解するためには、化学、生物学、物理学を基礎として、薬理学、薬理学、微生物学等、多くの科目が関連する。

**担当者の研究室等**

1号館4階 臨床薬理学研究室  
 1号館3階 今井准教授室

薬物動態学 Pharmacokinetics and Dynamics				
山下伸二(ヤマシタ シンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：薬と疾病  
 ユニット：C13 薬の効くプロセス  
 一般目標：医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識と態度を修得し、それらを応用する基本的技能を身につける。  
 (5) 薬物動態の解析  
 一般目標：薬効や副作用を体内の薬物動態から定量的に理解できるようになるために、薬物動態の理論的解析に関する基本的知識と技能を修得する。  
 ユニット：C15 薬物治療に役立つ情報  
 一般目標：薬物治療に必要な情報を医療チームおよび患者に提供するために、医薬品情報ならびに患者から得られる情報の収集、評価、加工などに関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的技能と態度を身につける。  
 (3) テーラーメイド薬物治療を目指して  
 一般目標：個々の患者に応じた投与計画を立案できるようになるために、薬物治療の個別化に関する基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ・線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
 ・薬物動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 ・線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
 ・生物学的半減期を説明し、計算できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 ・線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
 ・生物学的半減期を説明し、計算できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 ・線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
 ・全身クリアランスについて説明し、計算できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 ・線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
 ・薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 ・点滴静注の血中濃度計算ができる  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

- 第7回** 【評価】 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** ・点滴静注の血中濃度計算ができる  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）
- 第8回** 【評価】 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** ・連続投与における血中濃度計算ができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 ・連続投与における血中濃度計算ができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 ・薬物の生物学的利用能の意味とその計算方法を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 ・薬物の生物学的利用能の意味とその計算方法を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 ・線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 ・線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

期末試験（本試験、再試験、追試験）で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

**教科書**…「新しい図解薬理学」杉林堅次・山下伸二他著 南山堂（7,500円）  
**参考書**…「生物薬理学」林正弘・谷川原祐介編 南江堂（5,500円）  
 「薬理学I」瀬崎仁・木村聰城郎・橋田充編 広川書店（4,500円）

**関連科目**

生物薬理学、物理薬理学および数学

**担当者の研究室等**

1号館4階（薬理学研究室）

**備考**

講義では、重要事項をまとめたプリントを使ってわかりやすく説明するとともに、適宜、薬剤師国家試験問題をを用いた演習を行う。

薬剤疫学 Epidemiology in Pharmacy				
山下伸二(ヤマシタ シンジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：薬と疾病  
 ユニット：C13 薬の効くプロセス  
 一般目標：医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識と態度を修得し、それらを応用する基本的技能を身につける。  
 (5) 薬物動態の解析  
 一般目標：薬効や副作用を体内の薬物動態から定量的に理解できるようになるために、薬物動態の理論的解析に関する基本的知識と技能を修得する。  
 ユニット：C15 薬物治療に役立つ情報  
 一般目標：薬物治療に必要な情報を医療チームおよび患者に提供するために、医薬品情報ならびに患者から得られる情報の収集、評価、加工などに関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的技能と態度を身につける。  
 (3) テーラーメイド薬物治療を目指して  
 一般目標：個々の患者に応じた投与計画を立案できるようになるために、薬物治療の個別化に関する基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ・薬物動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、概説できる。  
 ・線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
 ・線形2-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 ・線形コンパートメントモデルと非線形コンパ

ートメントモデルの違いを説明できる。  
・非線形性の薬物動態について具体例を挙げて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第3回** 【到達目標】 ・モデルによらない薬物動態の解析法を列挙し説明できる

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第4回** 【到達目標】 ・治療的薬物モニタリング（TDM）の意義を説明できる。  
・TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。  
・薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第5回** 【到達目標】 ・至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動的パラメーターを用いて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第6回** 【到達目標】 ・代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第7回** 【到達目標】 ・薬物の作用発現に及ぼす代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。  
・薬物動態に影響する代表的な遺伝的素因について、例を挙げて説明できる。  
・遺伝的素因を考慮した薬物治療について、例を挙げて説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第8回** 【到達目標】 ・新生児、乳児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。  
・幼児、小児に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。  
・高齢者に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第9回** 【到達目標】 ・生殖、妊娠時における薬物治療で注意すべき点を説明できる。  
・授乳婦に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。  
・栄養状態の異なる患者（肥満など）に対する薬物治療で注意すべき点を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第10回** 【到達目標】 ・腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。  
・肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。  
・心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第11回** 【到達目標】 ・患者固有の薬動的パラメーターを用いて投与設計ができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第12回** 【到達目標】 ・ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用について概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**第13回** 【到達目標】 ・薬物力学的パラメーターを用いて投与設計ができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験の成績により判定する（総括的評価）。  
100点満点中60点以上を合格とする。

**教材等**  
教科書…「新しい図解薬剤学」杉林堅次・山下伸二他著 南山堂 (7500円)  
参考書…「生物薬剤学」林正弘・谷川原祐介編 南江堂 (5500円)  
「薬剤学衡」瀬崎仁・木村聰城郎・橋田充編 広川書店 (4500円)

**関連科目**  
生物薬剤学、薬物動態学  
**担当者の研究室等**  
1号館4階（薬剤学研究室）

**備考**  
本科目は3年次後期に履修した薬物動態学の理論を基盤として、実際の臨床での応用方法に関して学ぶ。したがって、講義には動態学の授業で用いたプリントを必ず持参すること。また適宜、薬剤師国家試験問題を用いた演習を行う。

**製剤学**  
Pharmaceutical Technology

佐久間 信 至 (サクマ シンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：医薬品をつくる  
ユニット：C16 製剤化のサイエンス 一般目標：製剤化の方法と意義を理解するために、薬物と製剤材料の物性、医薬品への加工、および薬物送達システムに関する基本的知識と技能を修得する。  
(2) 剤形をつくる 一般目標：医薬品の用途に応じた適切な剤形を調製するために、製剤の種類、有効性、安全性、品質などに関する基本的知識と、調製を行う際の基本的技能を修得する。  
(3) DDS (Drug Delivery System: 薬物送達システム) 一般目標：薬物治療の有効性、安全性、信頼性を高めるために、薬物の投与形態や薬物体内動態の制御などを工夫したDDSに関する基本的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 代表的な剤形の種類と特徴を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。  
代表的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。  
製剤化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。  
汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 代表的な固形製剤の種類と性質について説明できる。  
腸溶性製剤の特徴と利点について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 放出制御型製剤（徐放性製剤を含む）の利点について説明できる。代表的な放出制御型製剤を列挙できる。  
代表的な徐放性製剤における徐放化の手段について説明できる。徐放性製剤に用いられる製剤材料の種類と性質について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 代表的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。  
代表的な製剤添加物の種類と性質について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 代表的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。  
製剤化の単位操作および汎用される製剤機械について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 代表的な無菌製剤の種類と性質について説明できる。  
汎用される容器、包装の種類や特徴について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 代表的な半固形製剤の種類と性質について説明できる。  
経皮投与製剤の特徴と利点について説明できる。  
代表的な生体膜透過促進法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 エアゾール剤とその類似製剤について説明できる。  
代表的な液状製剤の種類と性質について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 従来の医薬品製剤の有効性、安全性、信頼性における主な問題点を列挙できる。  
代表的な製剤の有効性と安全性評価法について説明できる。

DD S の概念と有用性について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 ターゲティングの概要と意義について説明できる。  
代表的なドラッグキャリアーを列挙し、そのメカニズムを説明できる。  
代表的なプロドラッグを列挙し、そのメカニズムと有用性について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 授業終了後の定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

授業終了後の定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「最新薬剤学」第10版 林正弘 他 編、廣川書店（8200円）

参考書…「新しい図解薬剤学」改訂5版 森本雍憲 他 著、南山堂（7500円）、

物理薬剤学（2年次後期）、生物薬剤学（3年次前期）及び薬物動態学（3年次後期）の教科書と共通

関連科目

物理薬剤学、生物薬剤学、薬物動態学、病院薬学

担当者の研究室等

1号館4階（薬剤学研究室）

備考

病気になるのと誰でも目にする製剤であるが、その製剤がどのように製造されているかを知る機会はほとんどないのが現状である。講義では、製剤の製造工程をビデオで見ることで、まず、その概要をつかみ、教科書、プリント等を使ってわかりやすく解説する。さらに、適宜、薬剤師国家試験問題を用いた演習を行う。

臨床医学概論 Introduction to Clinical Medicine				
辻 琢 己 (ツジ タクミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	B群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：薬と疾病

ユニット：C14 薬物治療

一般目標：疾病に伴う症状と臨床検査値の変化などの確かな患者情報を取得し、患者個々に応じた薬の選択、用法・用量の設定および各々の医薬品の「使用上の注意」を考慮した適正な薬物治療に参画できるようになるために、薬物治療に関する基本的知識と技能を修得する。

(1) 体の変化を知る

一般目標：身体の病的変化を病理生理学的に理解するために、代表的な症候（呼吸困難、発熱など）と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。

(2) 疾患と薬物治療（心臓疾患など）(3) 同（腎臓疾患など）

(4) 同（精神疾患など）

一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、(2) 心臓・血管系の疾患、血液・造血器の疾患、(3) 呼吸器・胸部の疾患、神経・筋の疾患、(4) 精神疾患、耳鼻咽喉の疾患、皮膚疾患、がん疾患、およびそれらの治療に用いられる医薬品に関する基本的知識を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 代表的な症候と、それが生じる原因および代表的な疾患を挙げることができる。  
代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される疾病を挙げることができる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 代表的な心臓・血管系疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (1)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第3回 【到達目標】 代表的な心臓・血管系疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (2)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第4回 【到達目標】 代表的な呼吸器疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (1)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第5回 【到達目標】 代表的な呼吸器疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (2)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第6回 【到達目標】 代表的な消化器疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第7回 【到達目標】 代表的な血液・造血器疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第8回 【到達目標】 代表的な内分泌疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (1)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第9回 【到達目標】 代表的な内分泌疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (2)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第10回 【到達目標】 代表的な代謝疾患および骨・関節疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第11回 【到達目標】 代表的な自己免疫・アレルギー疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (1)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第12回 【到達目標】 代表的な自己免疫・アレルギー疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる (2)。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

第13回 【到達目標】 代表的な皮膚疾患を列挙し、その病態および代表的な治療について説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験によって評価します（100%）。100点満点中60点以上を合格とします。

教材等

教科書…「やさしい臨床医学テキスト」大野勲 他 編、薬事日報社（4620円）

参考書…「内科学」杉本恒明 他 編、朝倉書店（29,925円）

関連科目

薬物治療学、生理解剖学、免疫学、薬理学総論、病態生化学

担当者の研究室等

1号館3階（病態医科学研究室）

備考

出席、受講態度不良の者については20点を限度に減点することがあります。

病態生化学 Pathological Biochemistry				
辻 琢 己 (ツジ タクミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：薬と疾病

ユニット：C14 薬物治療

一般目標：疾病に伴う症状と臨床検査値の変化などの確かな患者情報を取得し、患者個々に応じた薬の選択、用法・用量の設定および各々の医薬品の「使用上の注意」を考慮した適正な薬物治療に参画できるようになるために、薬物治療に関する基本的知識と技能を修得する。

(1) 体の変化を知る

一般目標：身体の病的変化を病態生理学的に理解するために、代表的な症候（呼吸困難、発熱など）と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 尿および糞便を用いた代表的な臨床検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(1)。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント

自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。

【評価】 定期試験（総括的評価）

第2回 【到達目標】 同上(2)。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント

自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達

- 度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第3回** **【到達目標】** 代表的な血液および血液凝固検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(1)。<血球検査> 感染時および炎症時に認められる代表的な臨床検査値の変動を述べることができる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第4回** **【到達目標】** 同上(2)。<血液凝固検査>
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第5回** **【到達目標】** 同上(3)。<含窒素化合物検査> 代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(1)。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第6回** **【到達目標】** 同上(4)。<血清タンパク> 代表的な腎臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(2)。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第7回** **【到達目標】** 同上(5)。<糖代謝検査> 代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(1)。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第8回** **【到達目標】** 同上(6)。<血清脂質・アポリポタンパク検査> 代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(2)。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第9回** **【到達目標】** 同上(7)。<血清電解質検査> 動脈血ガス分析の検査項目を列挙し、その検査値の臨床的意義を説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第10回** **【到達目標】** 同上(8)。<酵素検査> 代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(1)。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第11回** **【到達目標】** 同上(9)。<酵素検査>、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
代表的な肝臓機能検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(2)。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第12回** **【到達目標】** 同上(10)。<腫瘍マーカー> 悪性腫瘍に関する代表的な臨床検査を列挙し、推測される腫瘍部位を挙げることができる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）

- 第13回** **【到達目標】** 同上(11)。<内分泌検査> 代表的な内分泌・代謝疾患に関する検査を列挙し、その検査値の異常から推測される主な疾病を挙げることができる(2)。
- 【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）、教材：教科書「異常値の出るメカニズム」、プリント  
自己学習課題：復習をした上で、講義中に配付する「到達度確認試験」で到達度を確認して下さい。
- 【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験で評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

**教材等**  
教科書…"「異常値の出るメカニズム」河合忠 他 編、医学書院(6,300円)、プリント(講義中に配付します)"  
参考書…"「内科学」朝倉書店、杉本恒明 他 編(29,925円)、「スタンダード薬学教科書シリーズ(薬と疾病Ⅱ)」日本薬学会編、東京化学同人(5,565円)"

**関連科目**  
生理解剖学、生化学、臨床医学概論、薬物治療学、微生物学、感染症学、病態生理学など

**担当者の研究室等**  
1号館3階(病態医学研究室)

**備考**  
出席、受講態度不良の者については20点を限度に減点することがあります。

病態生理学 Pathological Physiology				
中 村 三 孝(ナカムラ ミツタカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：薬と疾病  
ユニット：C14 薬物治療  
一般目標：疾病に伴う症状と臨床検査値の変化などの確かな患者情報を取得し、患者個々に応じた薬の選択、用法・用量の設定および各々の医薬品の「使用上の注意」を考慮した適正な薬物治療に参画できるようにするために、薬物治療に関する基礎知識と技能を修得する。  
(1) 体の変化を知る  
一般目標：身体の病的変化を病理生理学的に理解するために、代表的な症候(呼吸困難、発熱など)と臨床検査値に関する基礎知識を修得する。  
(2) 疾患と薬物治療(心臓疾患など)(3) 同(腎臓疾患など)  
(4) 同(精神疾患など)  
一般目標：将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、(2) 心臓・血管系の疾患、血液・造血器の疾患、(3) 呼吸器・胸部の疾患、神経・筋の疾患、(4) 精神疾患、耳鼻咽喉の疾患、皮膚疾患、がん疾患、およびそれらの治療に用いられる医薬品に関する基礎知識を修得する。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回** **【到達目標】** 種々の症候について、生じる原因とそれらに伴う代表的疾患を説明できる。  
代表的な機能検査を列挙し、その測定値の異常から推測される疾病を挙げることができる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** 中枢神経系に関する代表的な疾患を挙げることができる(1)。  
脳出血、脳梗塞、クモ膜下出血などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第3回** **【到達目標】** 中枢神経系に関する代表的な疾患を挙げることができる(2)。  
パーキンソン病、アルツハイマー病、てんかんなどの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第4回** **【到達目標】** 代表的な精神疾患を挙げることができる(1)。  
統合失調症や気分障害などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

- 小テスト（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 代表的な精神疾患を挙げることができる（2）。不安障害や睡眠障害などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 気道と肺に関する代表的な疾患を挙げることができる（1）。かぜ症候群、気管支炎、気管支喘息などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 気道と肺に関する代表的な疾患を挙げることができる（2）。慢性閉塞性肺疾患、肺炎、肺結核などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 代表的な代謝性疾患を挙げることができる（1）。糖尿病とその合併症の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 代表的な代謝性疾患を挙げることができる（2）。高脂血症、高尿酸血症、高血圧などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 代表的なアレルギー・免疫に関する疾患を挙げることができる。関節リウマチや自己免疫疾患などの病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 眼に関する代表的な疾患を挙げることができる。緑内障、白内障、網膜症などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第12回** 【到達目標】 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げることができる。アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、メニエール病などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）
- 第13回** 【到達目標】 悪性腫瘍に関する代表的な疾患を挙げることができる。胃癌、大腸癌、肺癌、肝癌、子宮癌、乳癌などの疾患の病態生理、臨床検査法、診断法および適切な治療法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験の結果（90％）に平常点（小テスト）（10％）を加味し、総合的に判定する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「薬剤師・薬学生のための臨床医学テキスト」薬事日報社（3800円）  
参考書…「疾病と病態生理」南江堂（6000円）  
「薬と疾病：Ⅱ. 薬物治療(I)」東京化学同人（5300円）

**関連科目**

薬物治療学、生理解剖学、免疫学、薬理学総論、病態生化学

**担当者の研究室等**

1号館2階（Academic Support Center（枚方キャンパス））

**備考**

「疾病を理解すること」は薬物治療の基本となります。また、病院、薬局、企業などで医療の仕事に携わる者として必ず身につけておくべき内容です。疾病がどのようにして起こるのかわかりやすく説明します。

**感染症学**  
Infectious Diseases

高松 宏 治（タカマツ ヒロム）  
上野 仁（ウエノ ヒトシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	A 群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：生物系薬学を学ぶ  
ユニット：C10生体防御（3）感染症にかかる 一般目標：代表的な感染症を理解するため、病原微生物に関する基本的知識を修得する。  
ユニット：C11健康（3）疾病の予防 一般目標：公衆衛生の向上に貢献するため、感染症、生活習慣病、職業病についての現状とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
（10回：高松担当、3回：上野担当）

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 病原体の基本的な分類と、それらが引き起こす感染症について概説できる。プリオン感染症の病原体の特徴と発症機序について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 主なDNA ウイルスが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 主なDNA ウイルスが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 主なRNA ウイルスが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 主なRNA ウイルスが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 グラム陰性球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
グラム陰性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 グラム陰性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
グラム陰性スピリillum属病原菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
グラム陽性球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 グラム陽性桿菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
抗酸菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 代表的な原虫、寄生虫の代表的な疾患について概説できる。  
真菌の微生物学的特徴とそれが引き起こす代表的な疾患について概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（高松）  
課題（自習）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 現代における感染症（日和見感染、院内感染、国際感染症など）の特徴について説明できる。

予防接種法の定める定期予防接種の種類を挙げ、接種時期などを説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（上野）  
課題（自習）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第12回** **【到達目標】** 新興感染症および再興感染症について代表的な例を挙げて説明できる。  
母子感染する疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（上野）  
課題（自習）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第13回** **【到達目標】** 性行為感染症を列挙し、その予防対策と治療について説明できる。  
一、二、三類感染症および代表的な四類感染症を列挙し、分類の根拠を説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（上野）  
課題（自習）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
総括的評価は、定期試験(100点満点中60点以上で合格)によって評価する。

**教材等**  
教科書…1～10回：診断と治療社「感染学」改訂第四版（9500円＋税）。必要に応じて印刷物を配布したり、PowerPointを用いて解説する。11～13回：廣川書店「最新公衆衛生学」第5版（5400円＋税）（公衆衛生学I、IIで共用）  
参考書…日本薬学会編「生物系薬学」、廣川書店「考える薬学微生物学」

**関連科目**  
微生物学、免疫学、公衆衛生学II

**担当者の研究室等**  
高松：1号館5階（微生物学研究室）、上野：1号館5階（公衆衛生学研究室）

漢方処方学 "Introduction to ""Kanpo"" Prescription"				
矢部 武士 (ヤベ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
コース： 化学系薬学を学ぶ  
ユニット： C7自然が生み出す薬物  
一般目標：自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質の含有成分の分離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。  
(3) 現代医療の中の生薬・漢方薬  
一般目標：現代医療で使用される生薬・漢方薬について理解するために、漢方医学の考え方、代表的な漢方処方の適用、薬効評価法についての基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** **【到達目標】** 漢方医学の特徴について説明できる。  
漢方薬と民間薬との相違ならびに西洋薬との基本的な利用法の違いを概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第2回** **【到達目標】** 漢方医学の歴史について説明できる。  
漢方医学と中医学の歴史的背景について概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第3回** **【到達目標】** 漢方処方（医学）の特徴について説明できる。  
漢方医学の基本概念について概説できる。(証とは)

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第4回** **【到達目標】** 漢方処方（医学）の特徴について説明できる。  
漢方医学の基本概念について概説できる。(気血水、八綱弁証)

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第5回** **【到達目標】** 漢方処方（医学）の特徴について説明できる。  
漢方医学の基本概念について概説できる。(六病位、五臟論)

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第6回** **【到達目標】** 代表的な漢方処方と配合生薬について説明できる。  
漢方処方の配合原則と応用について概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第7回** **【到達目標】** 代表的な漢方処方と配合生薬について説明できる。  
呼吸器疾患に用いる漢方処方と生薬について概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第8回** **【到達目標】** 代表的な漢方処方と配合生薬について説明できる。  
消火器系疾患に用いる漢方処方と生薬について概説できる。  
循環器系疾患に用いる漢方処方と生薬について概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第9回** **【到達目標】** 代表的な漢方処方と配合生薬について説明できる。  
脳・精神神経科系疾患に用いる漢方処方と生薬について概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第10回** **【到達目標】** 代表的な漢方処方と配合生薬について説明できる。  
腎・泌尿器科系疾患に用いる漢方処方と生薬について概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第11回** **【到達目標】** 代表的な漢方処方と配合生薬について説明できる。  
産婦人科系疾患（婦人更年期障害）に用いる漢方処方と生薬について概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第12回** **【到達目標】** 代表的な漢方処方と配合生薬について説明できる。  
皮膚科系疾患に用いる漢方処方と生薬について説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第13回** **【到達目標】** 漢方処方の代表的な副作用や注意事項を説明できる。  
小柴胡湯や麻黄、甘草、地黄などを含む漢方処方の使用上の注意事項を概説できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験に基づき評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…「薬学生のための漢方医学 改訂第2版」 山田、花輪、金編、南江堂（価格 4,800円＋税）  
参考書…「最新生薬学」 奥田編、廣川書店  
「漢方診療のレッスン」 花輪壽彦著、金原出版

**関連科目**  
生薬学、天然物化学、天然薬用資源学

**担当者の研究室等**  
1号館4階（生薬学研究室）

臨床栄養学 Clinical Dietetics				
太田 壮一 (オオタ ソウイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：健康と環境（第1回～7回）  
ユニット：C11 健康  
一般目標：人とその集団の健康の維持、向上に貢献できるようになるために、栄養と健康、現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
(1) 栄養と健康  
一般目標：健康維持に必要な栄養を科学的に理解するために、栄養素、代謝、食品の安全性と衛生管理などに関する基本的知識と技能を修得する。  
コース：本学独自の薬学専門教育（第8回～13回）  
一般目標：食習慣等に起因する生活習慣病や各種疾患患者に対する種々の栄養補給法の実践を学習し、将来、病院等のチーム医療の現場で活躍できる薬剤師としての種々の病態下における栄養ケア対策に関する基礎的知識を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** **【到達目標】** 各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる(1)。  
内容：糖質、脂質

- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる（2）。  
 内容：脂質、アミノ酸・タンパク質
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 脂質の体内運搬における血漿リポタンパク質の栄養学的意義を説明できる。  
 食品中のタンパク質の栄養的な価値（栄養価）を説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、エネルギー所要量の意味を説明できる。  
 栄養素の栄養所要量の意義について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 食事摂取基準について説明できる。  
 日本における栄養摂取の現状と問題点について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。  
 代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる（1）。  
 内容：総論、法規制
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 代表的な保健機能食品を列挙し、その特徴を説明できる（2）。  
 内容：各論、機能性食品成分等
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** [本学独自の薬学専門教育（1）]  
 臨床栄養管理の意義を説明できる。  
 栄養アセスメント・スクリーニングの意義について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** [本学独自の薬学専門教育（2）]  
 栄養ケア計画・クリニカルパスの概要について説明できる。  
 食事療法や栄養補給法について説明できる（1）。  
 内容：経口・経腸栄養補給法
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** [本学独自の薬学専門教育（3）]  
 食事療法や栄養補給法について説明できる（2）。  
 内容：経静脈栄養補給法
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** [本学独自の薬学専門教育（4）]  
 薬物と食物の相互作用について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** [本学独自の薬学専門教育（5）]  
 チーム医療・栄養サポートチーム(NST)について説明できる。  
 高齢者のタンパク・エネルギー栄養障害(PEM)と褥瘡対策について説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** [本学独自の薬学専門教育（6）]  
 在宅医療・訪問栄養指導について説明できる。  
 在宅高齢者の食生活の現状を説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験100点満点中、60点以上で合格とする。また、追・再試験の場合も、同様な形式で評価する。

**教材等**

教科書…"はじめて学ぶ「臨床栄養管理」－薬学生・薬剤師からのアプローチ－、鈴木彰人編、南江堂(3,000円) 及び配布プリント"

参考書…"「臨床栄養学」栄養管理とアセスメント編 [第2版]、下田妙子編、化学同人(3,000円)"

**関連科目**

食品衛生学I、生化学I・II、生理解剖学II、クリニカルパス演習

**担当者の研究室等**

1号館5階（環境保健学研究室）

**薬局方概論**

Principles of Pharmacopoeia

小西元美(コニシ モトミ)  
 佐久間信至(サクマ シンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：B イントロダクション

ユニット：(1) 薬学への招待

一般目標：薬の専門家として必要な基本姿勢を身につけるために、医療、社会における薬学の役割、薬剤師の使命を知り、どのように薬学が発展してきたかを理解する。

コース：物理系薬学を学ぶ C2 化学物質の分析

ユニット：(2) 化学物質の検出と定量

一般目標：試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために、代表的な医薬品、その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する。

コース：医薬品をつくる C16 製剤化のサイエンス

ユニット：(2) 剤形をつくる

一般目標：医薬品の用途に応じた適切な剤形を調製するために、製剤の種類、有効性、安全性、品質などに関する基本的知識と、調製を行なう際の基本的技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回 【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。

身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる。

内容：日本薬局方の位置づけ、構成、通則

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）(担当：佐久間)

課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第2回 【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。

内容：一般通則 化学的試験法（1）定性試験

代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）(担当：小西)

課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第3回 【到達目標】** 代表日本薬局方の意義と内容について概説できる。

内容：一般通則 化学的試験法（2）確認試験

日本薬局方掲載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を列挙できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）(担当：小西)

課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第4回 【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。

内容：一般通則 化学的試験法（3）純度試験

日本薬局方掲載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を列挙できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）(担当：小西)

課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第5回 【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。

内容：一般通則 物理的試験法（1）重量分析法、クロマトグラフィー

日本薬局方掲載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。

クロマトグラフィーの種類を列挙し、それぞれの特徴と分離機構を説明できる。

クロマトグラフィーで用いられる代表的な検出法と装置を説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）(担当：小西)

課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第6回 【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。

日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。

内容：主に経口剤（錠剤、顆粒剤、カプセル剤など）に関する試験法の内容を学習する。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）(担当：佐久間)

課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第7回 【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。

日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。

内容：主に無菌製剤（注射剤、点眼剤など）に関する試験法の内容を学習する。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）(担当：佐久間)

課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第8回 【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。

内容：一般通則 物理的試験法（2）分光学的測定法  
 日本薬局方掲載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。

日本薬局方記載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を説明できる。

原子吸光度法の原理、操作法および応用例を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（担当：小西）  
 課題について調査する自己研鑽（自宅）

**第9回** **【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。  
 内容：一般通則 物理的試験法 (3) その他、生物学的試験法

日本薬局方記載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。

日本薬局方記載の代表的な医薬品の純度試験を列挙し、その内容を説明できる。

日本薬局方記載の生物学的定量法の特徴を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（担当：小西）  
 課題について調査する自己研鑽（自宅）

**第10回** **【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。  
 内容：日本薬局方医薬品の定量法 (1)  
 医薬品分析法のバリデーションについて説明できる。  
 日本薬局方記載の容量分析法について列挙できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（担当：小西）  
 課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第11回** **【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。  
 内容：日本薬局方医薬品の定量法 (2)  
 中和滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。非水滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
 キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（担当：小西）  
 課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第12回** **【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。  
 日本薬局方の製剤に関連する試験法を列挙できる。  
 内容：主に外用剤（軟膏剤、坐剤など）に関する試験法の内容を学習する。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（担当：佐久間）  
 課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第13回** **【到達目標】** 日本薬局方の意義と内容について概説できる。  
 内容：日本薬局方医薬品の定量法 (3)  
 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。  
 電気滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。身近な医薬品を日本薬局方などを用いて調べる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（担当：小西）  
 課題について調査する自己研鑽（自宅）

**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
 授業終了後の定期試験の成績により評価する。  
 100点満点の60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…「第16改正日本薬局方解説書学生版」(39,900円) 廣川書店 (「第15改正日本薬局方解説書学生版」)  
 「最新薬剤学」第10版 林正弘 他 編、廣川書店 (8200円)、製剤学 (4年次前期) の教科書と共通

**参考書**…各教科で使用する教科書・参考書

**関連科目**  
 基礎科目を含め、これまでに学習した、また、学習中のほとんどの科目が関連する。

**担当者の研究室等**  
 佐久間：1号館4階（薬剤学研究室） 小西：1号館4階（臨床分析化学研究室）

**処方解析**  
 Understanding of Prescription

中西邦夫 (ナカニシ クニオ)  
 今井公江 (イマイ キミエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：病院・薬局実務実習（実務実習事前教育）  
 一般目標：卒業後、医療、健康保険事業に参画できるようになるために、病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。  
 ユニット：  
 (2) 処方せんと調剤 一般目標：医療チームの一員として調

剤を正確に実施できるようになるために、処方せん授受から服薬指導までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。

(3) 疑義照会 一般目標：処方せん上の問題点が指摘できるようになるために、用法・用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき事項に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(5) リスクマネージメント 一般目標：薬剤師業務が人命にかかわる仕事であることを認識し、患者が被る危険を回避できるようになるために、医薬品の副作用、調剤上の危険因子とその対策、院内感染などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**  
**第1回** **【到達目標】** SBO：処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。

SBO：処方オーダーリングシステムを概説できる。  
 SBO：処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（中西）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第2回** **【到達目標】** SBO：代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。

SBO：患者の特性（新生児、小児、高齢者、妊婦など）に適した用法・用量について説明できる。  
 SBO：病態（腎、肝疾患など）に適した用量設定について説明できる。

SBO：不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。  
 SBO：代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。

SBO：代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。  
 SBO：代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。

SBO：代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。  
 循環器系疾患（狭心症など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（今井）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第3回** **【到達目標】** SBO：同上  
 循環器系疾患（急性心筋梗塞など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（中西）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第4回** **【到達目標】** SBO：同上  
 循環器系疾患（高血圧など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（今井）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第5回** **【到達目標】** SBO：同上  
 循環器系疾患（動脈硬化症など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（中西）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第6回** **【到達目標】** SBO：同上  
 呼吸器系疾患（かぜ症候群〈インフルエンザ含〉など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（今井）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第7回** **【到達目標】** SBO：同上  
 呼吸器系疾患（急性気管炎、細菌性肺炎など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（中西）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第8回** **【到達目標】** SBO：同上  
 消化器系疾患（胃炎、胃、十二指腸潰瘍など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（今井）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第9回** **【到達目標】** SBO：同上  
 消化器系疾患（肝炎、肝硬変など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（中西）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第10回** **【到達目標】** SBO：同上  
 腎臓疾患（浮腫、糸球体腎炎、腎不全など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（今井）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第11回** **【到達目標】** SBO：同上  
 神経系疾患（頭痛、脳梗塞、パーキンソン病など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（中西）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第12回** **【到達目標】** SBO：同上  
 神経系疾患（てんかんなど）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（今井）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**第13回** **【到達目標】** SBO：同上  
 感染症（細菌性食中毒、コレラ、MRSA感染症など）

**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）（中西）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
 定期試験の成績により判定する（総括的評価）。  
 100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**

教科書…「薬の処方ハンドブック 改訂第3版」 奈良信雄編  
羊土社 (6,600円+税)  
参考書…「第十三改訂調剤指針」 日本薬剤師会編 薬事日報社 (4,800円+税)、「臨床薬学ハンドブック」 越後宏俊、鈴木孝編 羊土社 (3,500円+税)

関連科目

基礎科目を含め、これまでに学習したほとんどの科目が関連する。

担当者の研究室等

1号館4階 (臨床薬理学研究室)

プレファーマシー講義  
Pre-study of Clinical Pharmacy

埴 由美子 (ハネ ユミコ)  
山本 淑子 (ヤマモト トシコ)  
首藤 誠 (シュトウ マコト)  
高田 雅弘 (タカダ マサヒロ)  
菊田 真穂 (キクタ マホ)  
小森 浩二 (コモリ コウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	後期	必修	1

コース・ユニット・一般目標

コース：病院・薬局実務実習  
ユニット：D1 実務実習事前学習  
一般目標：卒業後、医療に参画できるようになるために、病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

(1)事前学習を始めるにあたって (2)処方せんと調剤 (3)疑義照会 (4)医薬品の管理と供給 (5)リスクマネジメント (6)服薬指導と患者情報 (7)事前学習のまとめ

\* (1)～(7)の一般目標はプレファーマシー実習 (1/2)～(2/2)の項を参照のこと。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 処方せんの基礎、医薬品の用法・用量、調剤室業務入門 SBO：処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。調剤を法的根拠に基づいて説明できる。代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (首藤誠)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第2回 【到達目標】 処方せんの基礎、医薬品の用法・用量、服薬指導の基礎、調剤室業務入門 SBO：病態(腎疾患など)に適した用量設定について説明できる。服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (菊田真穂)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第3回 【到達目標】 疑義照会の意義と根拠、疑義照会入門 SBO：疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (首藤誠)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第4回 【到達目標】 服薬指導に必要な技能と態度、患者情報の重要性に注目する、服薬指導入門 SBO：患者の基本的権利、自己決定権、インフォームドコンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (小森浩二)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第5回 【到達目標】 製剤化の基礎、注射剤と輸液、消毒薬 SBO：院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (菊田真穂)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第6回 【到達目標】 安全管理に注目する、副作用に注目する、リスクマネジメント入門 SBO：薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (山本淑子)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第7回 【到達目標】 医薬品の安定性に注目する、特別な配慮を要す

る医薬品 SBO：医薬品管理の意義と必要性について説明できる。代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。実際の患者例に基づきTDMのデータを解析し薬物治療の適正化について討議する。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (高田雅弘)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第8回 【到達目標】 薬剤師業務に注目する、チーム医療に注目する、医薬分業に注目する SBO：医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。医薬分業の仕組みと意義を概説できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (埴由美子)

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第9回 【到達目標】 実務実習を受けるために必要な基本的知識を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第10回 【到達目標】 実務実習を受けるために必要な基本的知識を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第11回 【到達目標】 実務実習を受けるために必要な基本的知識を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第12回 【到達目標】 実務実習を受けるために必要な基本的知識を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 筆記試験(総括的評価)

第13回 【到達目標】 実務実習を受けるために必要な基本的知識を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 筆記試験(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

筆記試験(100%)で評価する。但し、受講態度不良、レポート未提出で減点することがある。  
臨時試験：40点、定期試験：60点。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…実習テキスト(2000円程度)、「ビジュアル薬剤師実務シリーズ1～4」羊土社(計12400円)「治療マニュアル」医学書院(5000円)

関連科目

薬剤師になるために、製剤学、生物薬剤学、物理薬剤学、薬物動態学、薬物治療学、病院薬学、臨床医学概論など

担当者の研究室等

6号館3階 (医療薬学研究室)

先端医療!  
Advanced Medical Sciences I

小崎 篤志 (コサキ アツシ)  
米山 雅紀 (ヨネヤマ マサノリ)  
辻 琢己 (ツジ タクミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5,6	A B C D E F	前期	C群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育 ユニット：未来型薬剤師  
一般目標：社会保障審議会医療部会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議されている「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、技術、態度を身につける。

(8) 先端医療

一般目標：医薬品に関する社会のニーズに応え、疾病の治療と医療の発展に貢献できる薬剤師になるために、代表的な疾患の最新医療の現状と今後の展望についての知識、技能、態度を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 救急医療体制の現状と将来展望を知り、薬剤師の役割について考察する。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (外部講師)

【評価】 定期試験 (総括的評価)

第2回 【到達目標】 心臓・血管系疾患の病態と薬物治療の現状と将来展望を知り、薬剤師の役割について考察する。

【学習方法・自己学習課題】 講義 (小崎)

【評価】 定期試験 (総括的評価)

第3回 【到達目標】 腎臓疾患の病態と薬物治療の現状と将来展望を

- 知り、薬剤師の役割について考察する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（小崎）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第4回 **【到達目標】** 代謝性疾患の病態と薬物治療の現状と将来展望を知り、薬剤師の役割について考察する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（小崎）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第5回 **【到達目標】** 悪性腫瘍の治療の現状と将来展望を知り、薬剤師の役割について考察する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第6回 **【到達目標】** 脳血管障害の慢性期治療の現状と将来展望を知り、薬剤師の役割について考察する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第7回 **【到達目標】** 法医学と薬物の現状と将来展望を知り、薬剤師の視点から考察する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第8回 **【到達目標】** 循環器疾患の薬物治療の最前線について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（辻）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第9回 **【到達目標】** 腎臓疾患の薬物治療の最前線について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（辻）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第10回 **【到達目標】** 感覚器系疾患の薬物治療の最前線について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（辻）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第11回 **【到達目標】** 中枢神経系疾患の薬物治療の最前線について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（米山）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第12回 **【到達目標】** 脳血管障害疾患・神経変性疾患の薬物治療の最前線について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（米山）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第13回 **【到達目標】** 内分泌系疾患の薬物治療の最前線について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（米山）  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**

教科書…なし  
 参考書…治療薬マニュアル

**関連科目**

薬理学総論、病態生理学、病態生化学、薬物治療学

**担当者の研究室等**

1号館6階(薬理学研究室)

**備考**

外部講師の関係で授業順序及び時間割が変更となる可能性があります。掲示等で案内しますのでご注意ください。

**先端医療II**

Advanced Medical Sciences II

河野 武 幸 (コウノ タケユキ)  
 辻 琢 己 (ツジ タクミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5,6	A B C D E F	前期	C群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育 ユニット：未来型薬剤師  
 一般目標：社会保障審議会医療部会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議された「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、技術、態度を身につける。

(9) 先端医療II

一般目標：医薬品に関する社会のニーズに応え、疾病の治療と医療の発展に貢献できる薬剤師になるために、代表的な疾患の最新医療の現状と今後の展望についての知識、技能、態度を身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 **【到達目標】** ・アレルギー疾患の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる（1）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（河野）、441教室

- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第2回 **【到達目標】** ・アレルギー疾患の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる（2）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、メディックスホール  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第3回 **【到達目標】** ・救急医療体制の現状と将来展望を概説できる。  
 ・救急認定薬剤師（仮称）の役割を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、メディックスホール  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第4回 **【到達目標】** ・感染症の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる（1）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（河野）、441教室  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第5回 **【到達目標】** ・NICUを含めた小児診療で求められる薬剤師の役割を概説できる。  
 ・小児薬物療法認定薬剤師（仮称）の役割を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、メディックスホール  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第6回 **【到達目標】** ・肝・胆・膵疾患の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、メディックスホール  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第7回 **【到達目標】** ・感染症の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる（2）。  
 ・感染症治療における薬剤師の役割を概説できる（1）  
 ・TDMの基礎とPK-PD理論の応用をシミュレートできる。（1）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、441教室  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第8回 **【到達目標】** ・感染症の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる（3）。  
 ・感染症治療における薬剤師の役割を概説できる（2）  
 ・TDMの基礎とPK-PD理論の応用をシミュレートできる（2）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、441教室  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第9回 **【到達目標】** ・TDMの基礎とPK-PD理論の応用をシミュレートできる（3）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、441教室  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第10回 **【到達目標】** ・TDMの基礎とPK-PD理論の応用をシミュレートできる（4）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、441教室  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第11回 **【到達目標】** ・麻酔の考え方と手技の最先端について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（外部講師）、メディックスホール  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第12回 **【到達目標】** ・感染症と免疫疾患の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる（1）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（辻）、441教室  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第13回 **【到達目標】** ・感染症と免疫疾患の薬物治療について、現状の最先端と将来展望を概説できる（2）。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（辻）、441教室  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

総括的評価は、定期試験で実施します。100点満点中60点以上を合格とします。

**教材等**

教科書…プリント等、購入済みの教科書を用いる場合には予め口頭あるいは掲示等で指示します。  
 参考書…「治療薬マニュアル」医学書院（5,250円）、他”

**関連科目**

薬物治療学、病態生理学、病態生化学、薬理学総論

**担当者の研究室等**

河野、辻：1号館3階（病態医学研究室）

**備考**

【共同担当者】辻琢己、外部講師、他  
 先端医療IIでは、コース：ヒューマニズムについて学ぶ ユニット（2）医療の担い手としてのこころ構え；SBO3「医療の担い手にふさわしい態度を示す。」も到達目標の一つとします。従って、学ぶ姿勢が良好ではない者については、30点を限度に減点することがあります。  
 外部講師の関係等で開講日時、内容、教室等を変更することがあります。掲示等で案内しますので注意して下さい。

一般用医薬品概論 Introduction to Over-The-Counter Drug				
首藤 誠 (シュトウ マコト) 小森 浩二 (コモリ コウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	C 群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：C 薬学と社会

ユニット：C18 薬学と社会

一般目標：社会において薬剤師が果たすべき責任、義務等を正しく理解できるようにするために、薬学を取り巻く法律、制度、経済および薬局業務に関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的技能と態度を身につける。

(3) コミュニティーファーマシー

一般目標：コミュニティファーマシー（地域薬局）のあり方と業務を理解するために、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を修得する。[OTC薬・セルフメディケーション]

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（OTC総論、目薬）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（首藤）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（鎮痛薬）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（小森）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（鼻炎・花粉症）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（小森）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（風邪1）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（小森）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（風邪2）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（小森）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（水虫）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（小森）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（皮膚疾患・スキンケア）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（小森）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（胃腸薬）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（首藤）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第9回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（便秘薬）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（首藤）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第10回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（整腸薬・下痢止め、痔用薬）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（首藤）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第11回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（外用消炎鎮痛薬、口内炎治療薬、ビタミン）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（首藤）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（睡眠改善薬、乗り物酔い予防薬、漢方薬）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（首藤）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第13回 【到達目標】 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。  
（その他、特別な配慮の必要な薬）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（首藤）  
【評価】 定期試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

定期試験期間に実施する定期試験により評価する。  
100点満点中60点以上で合格とする。  
但し、受講態度不良の場合、減点することがある。

教材等

教科書…薬の選び方を学び実践するOTC薬入門 薬効別イメージマップ付き  
（薬ゼミ教育情報センター 1890円）

参考書…「OTCメディケーション」虎の巻（日経BP社）  
病態知識を基礎とした一般用医薬品販売ハンドブック（じほう）  
39のケースで考えるOTC薬販売の実践問題集（じほう）  
64のケースで考えるOTC薬販売の実践問題集（じほう）

関連科目

薬局経営学、薬物治療薬I～VI、漢方処方学、臨床栄養学、生薬学

担当者の研究室等

6号館3階 医療薬学研究室1

病理学 Pathology				
小崎 篤志 (コサキ アツシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5,6	A B C D E F	前期	C 群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：薬と疾病

ユニット：C14 薬物治療

(1) 身体の病的変化を理解するために、代表的な症候と臨床検査値に関する基本的知識を修得する。

(2) 各々の症候に対する鑑別疾患を列挙し、その病態生理および鑑別法を概説できる。

(3) 各々の疾患の薬物治療を学ぶ。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 「発熱」「低体温」「全身倦怠感」「けいれん」「ショック」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第2回 【到達目標】 「チアノーゼ」「脱水」「浮腫」「リンパ節腫脹」「発疹」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第3回 【到達目標】 「掻痒感」「褥瘡」「肥満」「やせ」「貧血」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第4回 【到達目標】 「出血傾向」「易感染症」「頭痛」「失神」「意識障害」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第5回 【到達目標】 「言語障害」「不眠」「不安」「感覚障害」「視覚障害」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第6回 【到達目標】 「耳鳴」「めまい」「咳嗽・喀痰」「血痰・咯血」「呼吸困難」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第7回 【到達目標】 「喘鳴」「嗝声」「胸水」「胸痛」「動悸」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第8回 【到達目標】 「高血圧」「低血圧」「腹痛」「嚥下困難」「食欲不振」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 授業終了後の定期試験
- 第9回 【到達目標】 「悪心・嘔吐」「口渇」「腹部膨満」「吐血」「下血」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。

- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験
- 第10回 **【到達目標】** 「下痢」「便秘」「黄疸」「排尿痛」「乏尿・無尿・尿閉」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験
- 第11回 **【到達目標】** 「多尿・頻尿」「尿失禁」「膿尿・細菌尿」「血尿」「タンパク尿」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験
- 第12回 **【到達目標】** 「腰痛」「レイノー現象」「関節痛」「四肢のしびれ」「運動麻痺・運動失調」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験
- 第13回 **【到達目標】** 「筋委縮」「不随意運動」の病態生理、鑑別法および各々の疾患の薬物治療を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 授業終了後の定期試験

**評価の時期・方法・基準**

合否判定は定期試験を中心に総合判定する。試験には主に客観問題を出題する。講義中の授業態度を評価の一部とする。定期試験（90%）、講義での授業態度を評価など（10%）で最終評価する。100点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「イメージできる病態生理学」メディカ出版(2,520円)  
 参考書…「よくわかる内科」福山裕三 / 高杉佑一著 金原出版(6,825円)  
 「内科学」河合忠 他編、朝倉書店(28,500円)

**関連科目**

生理解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬物治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、臨床医学概論、微生物学、病態生化学、病態生理学、免疫学、感染症学

**担当者の研究室等**

枚方キャンパス7号館3階

**備考**

講義には指定教科書を持参して下さい。

- 【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第4回 **【到達目標】** 実務実習を履修するにあたって薬局薬剤師からの期待（1）  
 ・薬の専門家と地域社会の関わりを列挙できる。  
 ・薬の専門家に対する地域社会のニーズを収集し、討議する。（態度）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第5回 **【到達目標】** 実務実習を履修するにあたって薬局薬剤師からの期待（2）  
 ・地域薬局の役割を列挙できる。  
 ・かかりつけ薬局の意義を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第6回 **【到達目標】** 実務実習を履修するにあたって行政からの期待  
 ・医療の担い手として、社会のニーズに常に目を向ける。（態度）  
 ・国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）

- 第7回 **【到達目標】** チーム医療（1）：看護師  
 ・病気が患者に及ぼす心理的影響について説明できる。  
 ・患者の心理状態を把握し、配慮する。（知識・態度）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第8回 **【到達目標】** チーム医療（2）：看護師  
 ・医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。  
 ・医師法、歯科医師法、保助看護法などの関連法規と薬剤師の関わりを説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第9回 **【到達目標】** 汎用される処方薬の商品名と一般名が一致する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** 試験（総括的評価）
- 第10回 **【到達目標】** 薬害（1）・薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。・代表的な薬害の例（サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど）について、その原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。（知識・態度）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第11回 **【到達目標】** 薬害（2）・薬害について具体例を挙げ、その背景を概説できる。・代表的な薬害の例（サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど）について、その原因と社会的背景を説明し、これらを回避するための手段を討議する。（知識・態度）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）

- 第12回 **【到達目標】** 臨床研究（1）・公正な治験の推進を確保するための制度を説明できる。・治験における被験者の人権の保護と安全性の確保、および福祉の重要性について討議する。（態度）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第13回 **【到達目標】** 臨床研究（2）・治験における薬剤師の役割を説明できる。・治験コーディネーターの業務と責任を説明できる。・治験に際し、被験者に説明すべき項目を列挙できる。・インフォームド・コンセントと治験情報に関する守秘義務の重要性について討議する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第14回 **【到達目標】** 病院・薬局実務実習準備（1）  
 注意事項等の伝達  
 実務実習記録の作成  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習（講義室）  
**【評価】** 実務実習記録の準備（総括的評価）
- 第15回 **【到達目標】** 病院・薬局実務実習準備（2）  
 注意事項等の伝達  
 実務実習記録の作成

医療薬学統合講義 Intensive Course of Clinical Pharmacy				
埴 由美子 (ハネ ユミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	前期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

コース：ヒューマニズムについて学ぶ ユニット：(2) 医療の担い手としてのこころ構え (3) 信頼関係の確立を目指して  
 コース：イントロダクション ユニット：(1) 薬学への招待  
 コース：医薬品をつくる ユニット：C17 医薬品の開発と生産  
 (1) 医薬品開発と生産のながれ (4) 治験  
 コース：薬学と社会 ユニット：C18 薬学と社会 (1) 薬剤師を取り巻く法律と制度、(2) 社会保障制度と薬剤経済、(3) コミュニティファーマシー  
 コース：病院・薬局実務実習 ユニット：(1) 事前学習を始めるにあたって  
 一般目標は講義開始時に周知する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 **【到達目標】** ガイダンス  
 ・医療の担い手にふさわしい態度を示す。（態度）  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第2回 **【到達目標】** 実務実習を履修するにあたって病院薬剤師からの期待(1)  
 ・医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。  
 ・医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）
- 第3回 **【到達目標】** 実務実習を履修するにあたって病院薬剤師からの期待(2)  
 ・チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。  
 ・自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。（態度）

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習（講義室）

【評価】 実務実習記録の準備  
(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

レポートおよび実務実習記録の準備（40%）、試験（60%）で評価し、60%以上を合格とする。

教材等

教科書…薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2013年度版、病院・薬局実務実習近畿地区調整機構監、じほう  
参考書…治療薬マニュアル（医学同人）

関連科目

プレファーマシー講義、プレファーマシー実習、病院実務実習、薬局実務実習、薬剤師になるために

担当者の研究室等

6号館3階（臨床薬学教育研究センター）

備考

共同担当者：山本淑子、首藤誠、高田雅弘、菊田真穂、小森浩二、外部講師

薬事関連法規

Law in Pharmaceutical Fields

場 由美子 (ハネ ユミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	前期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：薬学と社会

ユニット：C18 薬学と社会

一般目標：社会において薬剤師が果たすべき責任、義務等を正しく理解できるようになるために、薬学を取り巻く法律、制度、経済および薬局業務に関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的技能と態度を身につける。

(1) 薬剤師を取り巻く法律と制度 一般目標：患者の権利を考慮し、責任をもって医療に参画できるようになるために、薬事法、薬剤師法などの医療および薬事関係法規、制度の精神とその施行に関する基本的知識を修得し、それらを遵守する態度を身につける。(2) 社会保障制度と薬剤経済 一般目標：公平で質の高い医療を受ける患者の権利を保障するしくみを理解するために、社会保障制度と薬剤経済の基本的知識と技能を修得する。(3) コミュニティーファーマシー 一般目標：コミュニティファーマシー（地域薬局）のあり方と業務を理解するために、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 薬剤師に関連する法令の構成を説明できる。  
薬剤師法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（形成的評価）
- 第2回 【到達目標】 薬剤師に関わる医療法の内容を説明できる。  
医薬品による副作用が生じた場合の被害救済について、その制度と内容を概説できる。  
製造物責任法を概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（形成的評価）
- 第3回 【到達目標】 薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(1)  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（形成的評価）
- 第4回 【到達目標】 薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(2)  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（形成的評価）
- 第5回 【到達目標】 薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(3)  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（形成的評価）
- 第6回 【到達目標】 薬事法の重要な項目を列挙し、その内容を説明できる。(4)  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（形成的評価）
- 第7回 【到達目標】 麻薬及び向精神薬取締法を概説し、規制される

代表的な医薬品を列挙できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第8回 【到達目標】 覚せい剤取締法を概説し、規制される代表的な医薬品を列挙できる。  
大麻取締法およびあへん法を概説できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）  
小テスト（形成的評価）

- 第9回 【到達目標】 毒物及び劇物取締法を概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第10回 【到達目標】 日本における社会保障制度の仕組みを説明できる。社会保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。介護保険制度の仕組みを説明できる。高齢者医療保険制度の仕組みを説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第11回 【到達目標】 医療保険の成り立ちと現状を説明できる。保険医療と薬価制度の関係を概説できる。保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第12回 【到達目標】 まとめ

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 第13回 【到達目標】 まとめ

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

- 小テスト（形成的評価）

【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）

【評価】 定期試験（総括的評価）

小テスト（形成的評価）

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

社会薬学

Social Pharmacy

高田雅弘 (タカダ マサヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	後期	A群選択	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：医薬品をつくる

ユニット：C18 社会と薬学

一般目標：社会において薬剤師が果たすべき責任、義務等を正しく理解できるようになるために、薬学を取り巻く法律、制度、経済および薬局業務に関する基本的知識を修得し、それらを活用するための基本的技能と態度を身につける。

(1) 薬剤師を取り巻く法律と制度 一般目標：患者の権利を考慮し、責任をもって医療に参画できるようになるために、薬剤師の医療の担い手としての倫理的責任を自覚し、医療過誤・リスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務に関する基本的知識を修得し、それらを遵守する態度を身につける。

(2) 社会保障制度と薬剤経済 一般目標：公平で質の高い医療を受ける患者の権利を保障するしくみを理解するために、社会保障制度と薬剤経済の基本的知識と技能を修得する。

(3) コミュニティーファーマシー 一般目標：コミュニティファーマシー（地域薬局）のあり方と業務を理解するために、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 概要  
薬剤師の医療の担い手としての倫理的責任を自覚する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

- 【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** 医療過誤、リスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を果たす。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第3回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 日本における社会保障制度の仕組みを説明できる。  
社会保障制度の中での医療保険制度の役割を概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第4回** **【到達目標】** 介護保険制度の仕組みを説明できる。  
高齢者医療保険制度の仕組みを説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第5回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 医療保険の成り立ちと現状を説明できる。  
医療保険の仕組みを説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第6回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 医療保険の種類を列挙できる。  
国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第7回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 国民医療費の動向を概説できる。  
保険医療と薬価制度の関係を概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第8回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 診療報酬と薬価基準について説明できる。  
医療費の内訳を概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第9回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 地域薬局の役割を列挙できる。  
在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第10回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 学校薬剤師の役割を説明できる。  
医療分業のしくみと意義を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第11回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。  
かかりつけ薬局の意義を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第12回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。  
薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習
- 第13回** **【評価】** 定期試験（総括的評価）  
**【到達目標】** 医薬品の流通の仕組みを概説できる。  
調剤報酬および調剤報酬明細書（レセプト）について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習

**評価の時期・方法・基準**

定期試験で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…プリント

「薬学と社会」第3版 日本薬学会編、東京化学同人 (3,600円)

参考書…「薬事衛生六法 学生版」薬事日報社 (3,200円)

**関連科目**

薬事関連法規、病院薬学

**担当者の研究室等**

6号館3階（医療薬学研究室）

薬局経営学 Business administration in Pharmacy				
砂川 雅之(スナカワ マサユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5,6	A B C D E F	前期	C群選択	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育 ユニット：キャリア形成  
一般目標：医療人として相手（患者）を思いやる心を持ち、情熱と責任ある態度で積極的かつ協動的に行動できるようになるために、倫理観と奉仕・慈愛の心、円滑な対人力、協調的精神、情熱と責任感及び豊かな人間性など、医療人に相応しい知識、技能、態度を身につける。

- (7) 薬局経営学（なりたい自分をきめる）  
一般目標：自らがその能力及び適性、志望に応じて主体的に進路を選択できるようになるために、薬局経営学に関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
補足説明：薬学部では、1、2年次：「なりたい自分をさがす」、3、4年次：「なりたい自分をきめる」、5、6年次：「なりたい自分にむかう」を到達目標と定め、全学年にわたるキャリア形成教育を展開している。「薬局経営学」では、将来、開局を目指している学生を対象に、保険薬局やドラッグストア等を経営及び管理するために必要な経営学を学ぶ。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** **【到達目標】** 経営学総論（1）  
経営学の基本的考え方を説明できる「経営学とは何か」。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第2回** **【到達目標】** 経営学総論（2）  
組織を動かす場合の原則的な考え方を列挙できる「組織行動論・組織理論」。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第3回** **【到達目標】** 経営学総論（3）  
経営の戦略を総合的に述べる「経営戦略論」。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第4回** **【到達目標】** 医療経済学（価格の決定）  
経済学における医療価格の決定を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：社会薬学で修得した知識を確認（予習）した上で受講し、受講後、講義ノートを作成する。  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第5回** **【到達目標】** 経済学と哲学・心理学  
経済学と哲学、心理学の関係について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第6回** **【到達目標】** マネジメント  
ドラッカー理論についてのマネジメントを説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第7回** **【到達目標】** グローバル及びマクロ経済から見たこれからの日本の薬局・薬剤師の役割を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノート作成の作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第8回** **【到達目標】** 薬局経営に必要な法律を説明できる「保険（調剤）薬局とは（経営に必要な関係法規）」。保険（調剤）薬局の形態と運営を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：薬事関連法規で修得した知識を確認（予習）した上で受講し、受講後、講義ノートを作成する。  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第9回** **【到達目標】** 保険（調剤）薬局の市場規模を測定できる。医薬分業の歴史を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第10回** **【到達目標】** 薬局の会計の特色を説明できる「バランスシート・損益計算書の読み方」。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第11回** **【到達目標】** 売り上げと売上原価の関連性を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第12回** **【到達目標】** 薬局の開設に係る設備投資と諸費用を列挙し試算できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）
- 第13回** **【到達目標】** 薬局運営にかかる諸経費を列挙し損益計算と税を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 学習方法：講義（講義室）  
自己学習課題：復習と講義ノートの作成  
**【評価】** 定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

総括的評価は、定期試験で実施します。100点満点中60点以上で合格とします。

**教材等**

教科書…砂川雅之 「薬局経営学-薬局とマネジメント-」(800

円)

関連科目

薬剤師になるために、薬系キャリア形成、薬系インターンシップ・ボランティア、ビジネスマナー、応用薬学実習、薬事関連法規、社会薬学、病院実務実習、薬局実務実習等

担当者の研究室等

1号館2階（非常勤講師室）

備考

薬局経営学では、コース：ヒューマニズムについて学ぶ ユニット（2）医療の担い手としてのこころ構え；SBO3「医療の担い手にふさわしい態度を示す。」も到達目標の一つとします。従って、修学状況（出席、受講態度）不良の者については20点を限度に減点することがあります。

薬学英語 English for Pharmacist I				
		中西邦夫 (ナカニシ クニオ) 戸村芳 (トムラ カオル)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ABCDE F	前期	選択必修	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育

ユニット：未来型薬剤師

一般目標：社会保障審議会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議されている「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、技能、態度を身につける。

（1）薬学英語 I（F（2）薬学英語入門）

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と技能を修得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 やさしい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。（知識、技能）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（中西）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 薬の剤形に関する英語の専門用語のうち経口的に投与による代表的なものを列挙し、内容を説明できる。（知識、技能）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（中西）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 薬の剤形に関する英語の専門用語のうち非経口的に投与による代表的なものを列挙し、内容を説明できる。（知識、技能）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（中西）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 英語で書かれた薬の投与方法、特に経口的に吸収される薬に関する記述の内容を正確に説明できる（1）。（知識、技能）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（中西）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第5回 【到達目標】 薬の投与方法、特に注射剤、経皮吸収剤や坐剤等で投与される薬に関する記述の内容を正確に説明できる（2）。（知識、技能）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（中西）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第6回 【到達目標】 臨床現場で遭遇する患者と薬剤師との簡単な会話（質問、服薬指導など）についての理解と内容について正確に説明できる。（知識、技能）  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）（中西）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第7回 【到達目標】 薬学分野のうち数学物理と関連の深い分野についての解説英語文を理解できる。自然科学各分野における現象の英語表現を列記できる。担当者の英語会話を（補助板書もみて）概略理解できる。（知識、技能）  
【学習方法・自己学習課題】（戸村担当1回め）  
講義：担当者の英語会話による講義、日本語による講義（講義室）  
テキストpp1-14,122-123（言語と数学）、14-25,123-124（指数対数関数）の予習。  
【評価】 提出物での応答について評価する。（総括的評価）  
講義内容にそった内容の定期試験で評価する。（総括的評価）
- 第8回 【到達目標】 薬学分野のうち数学物理と関連の深い分野についての解説英語文を理解できる。自然科学各分野における現象の英語表現を列記できる。担当者の英語会話を（補助板書もみて）概略理解できる。（知識、技能）

【学習方法・自己学習課題】（戸村担当2回め）

講義：担当者の英語会話による講義、日本語による講義（講義室）

テキストpp26-40,124-126（確率統計）の予習。

講義を受けて得た知識などを用紙に手書きして講義終了時に提出する。返却される前回の提出物に対しての講義担当者の書き込みを熟読する。

【評価】 提出物での応答について評価する。（総括的評価）

講義内容にそった内容の定期試験で評価する。（総括的評価）

第9回

【到達目標】 薬学分野のうち数学物理と関連の深い分野についての解説英語文を理解できる。

自然科学各分野における現象の英語表現を列記できる。担当者の英語会話を（補助板書もみて）概略理解できる。（知識、技能）

【学習方法・自己学習課題】（戸村担当3回め）

講義：担当者の英語会話による講義、日本語による講義（講義室）

テキストpp40-54,126-129（エントロピー）を予習する。

講義を受けて得た知識などを用紙に手書きして講義終了時に提出する。返却される前回の提出物に対しての講義担当者の書き込みを熟読する。

【評価】 提出物での応答について評価する。（総括的評価）

講義内容にそった内容の定期試験で評価する。（総括的評価）

第10回

【到達目標】 薬学分野のうち数学物理と関連の深い分野についての解説英語文を理解できる。

自然科学各分野における現象の英語表現を列記できる。担当者の英語会話を（補助板書もみて）概略理解できる。（知識、技能）

【学習方法・自己学習課題】（戸村担当4回め）

講義：担当者の英語会話による講義、日本語による講義（講義室）

テキストpp55-75,129-132（代数式による現象説明 pH分配説 混成軌道）を予習する。

講義を受けて得た知識などを用紙に手書きして講義終了時に提出する。返却される前回の提出物に対しての講義担当者の書き込みを熟読する。

【評価】 提出物での応答について評価する。（総括的評価）

講義内容にそった内容の定期試験で評価する。（総括的評価）

第11回

【到達目標】 薬学分野のうち数学物理と関連の深い分野についての解説英語文を理解できる。

自然科学各分野における現象の英語表現を列記できる。担当者の英語会話を（補助板書もみて）概略理解できる。（知識、技能）

【学習方法・自己学習課題】（戸村担当5回め）

講義：担当者の英語会話による講義、日本語による講義（講義室）

テキストpp75-84,132-133（関数による現象記述）を予習する。

講義を受けて得た知識などを用紙に手書きして講義終了時に提出する。返却される前回の提出物に対しての講義担当者の書き込みを熟読する。

【評価】 提出物での応答について評価する。（総括的評価）

講義内容にそった内容の定期試験で評価する。（総括的評価）

第12回

【到達目標】 薬学分野のうち数学物理と関連の深い分野についての解説英語文を理解できる。

自然科学各分野における現象の英語表現を列記できる。担当者の英語会話を（補助板書もみて）概略理解できる。（知識、技能）

【学習方法・自己学習課題】（戸村担当6回め）

講義：担当者の英語会話による講義、日本語による講義（講義室）

テキストpp85-106,133-136（反応速度論 コンパートメントモデル）を予習する。

講義を受けて得た知識などを用紙に手書きして講義終了時に提出する。返却される前回の提出物に対しての講義担当者の書き込みを熟読する。

【評価】 提出物での応答について評価する。（総括的評価）

講義内容にそった内容の定期試験で評価する。（総括的評価）

第13回

【到達目標】 薬学分野のうち数学物理と関連の深い分野についての解説英語文を理解できる。

自然科学各分野における現象の英語表現を列記できる。担当者の英語会話を（補助板書もみて）概略理解できる。（知識、技能）

【学習方法・自己学習課題】（戸村担当7回め）

講義：担当者の英語会話による講義、日本語による講義（講義室）

テキストpp107-121,136-138（TDM modelなどへのLaplac変換の利用）を予習する。

講義を受けて得た知識などを用紙に手書きして講義終了時に提出する。返却される前回の提出物に対しての講義担当者の書き込みを熟読する。

【評価】 提出物での応答について評価する。（総括的評価）

講義内容にそった内容の定期試験で評価する。（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

（戸村担当部分）提出物で28点、定期試験で72点満点とします。

提出物は課題やレポートではありません。  
(中西担当部分) 定期試験の成績により評価する(総合的評価)。  
合計100満点で60点以上を合格とする。

**教材等**

教科書…プリントを使用(中西)

教科書を使用(戸村) 戸村芳著 アイピーシー出版  
"Mathematical Models & Pharmaceutical Sciences".  
ISBN 978-4-901493-13-0 C3243, (1200円)  
英和英辞書も可ですが、授業中にはなく事前自己  
学習で活用なさることをお願いいたします。  
毎回担当者の英会話に関するプリントを配布します。

参考書…(戸村担当部分)

「新数理物理化学」戸村 芳著、アイピーシー出版(3800  
円)

**関連科目**

教養科目の英語および1から2年次までの専門科目(数学を含む)  
の知識があると理解しやすい。

**担当者の研究室等**

中西:1号館4階(臨床薬剤学研究室)、戸村:1号館2階(医薬情  
報処理担当)

**備考**

4クラス編成の具体的なローテーションは別途掲示にてお知らせ  
します。

(戸村担当部分) 事前に講義ごとのテキスト範囲を明示してい  
ます。あらかじめこの範囲を事前学習してください。提出物は  
次回に書き込みを入れて返却します。教科書と関連する参考書  
の範囲を明示してあります。事前学習をして受講中では全力を  
出してください。試験があるからしかたなく学習するのではなく  
興味を持って受講してください。試験前の一夜漬はやめまし  
ょう。返却物に対する書き込みも含めて授業時間外でも質問対  
応します。

**薬学英語II**  
English for Pharmacist II

藤 森 廣 幸(フジモリ ヒロユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	選択必修	1.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース: 本学独自の薬学専門教育  
ユニット: 未来型薬剤師

一般目標: 社会保障審議会医療部会の「安心と希望の医療確保  
ビジョン」で討議されている「医療職の役割分担と連携」にお  
いて、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した  
薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、  
技術、態度を身につける。(2) 薬学英語II

一般目標: 薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および  
医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力  
を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、  
生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 薬学英語とは  
英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)  
【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)
- 第2回** 【到達目標】 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用  
できる。薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義(講義室)  
【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)  
課題の提出(総合的評価)
- 第3回** 【到達目標】 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明でき  
る。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述で  
きる。代表的な接頭辞の用法について説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)  
【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)  
課題の提出(総合的評価)
- 第4回** 【到達目標】 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明でき  
る。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述で  
きる。体の臓器に関する英語を修得する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)  
【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)  
課題の提出(総合的評価)
- 第5回** 【到達目標】 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明でき  
る。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述で  
きる。薬学関連化学用語を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

**第6回**

【到達目標】 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明でき  
る。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述で  
きる。物質の状態に関する英単語を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

**第7回**

【到達目標】 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明でき  
る。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述で  
きる。無機化合物の英語名を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

**第8回**

【到達目標】 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明でき  
る。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述で  
きる。基本単位と補助単位に関する英単語を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

小テスト

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

課題の提出(総合的評価)

**第9回**

【到達目標】 英語で書かれた医薬品の添付文書の内容を説明  
できる。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記  
述できる。薬学に関連する英語の専門用語の内容を説明で  
きる。溶解度に関する表現を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

課題の提出(総合的評価)

**第10回**

【到達目標】 英語で書かれた医薬品の添付文書の内容を説明  
できる。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記  
述できる。グラフに関する英単語を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 中間試験(総合的評価)

課題の提出(総合的評価)

**第11回**

【到達目標】 英語で書かれた医薬品の添付文書の内容を説明  
できる。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記  
述できる。略語と記号に関する英単語を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

課題の提出(総合的評価)

**第12回**

【到達目標】 英語で書かれた医薬品の添付文書の内容を説明  
できる。薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記  
述できる。病気の症状を表わす英単語を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

課題の提出(総合的評価)

**第13回**

【到達目標】 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に  
記述できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義および学生による英文音読後  
の内容説明(講義室)

【評価】 授業終了後の定期試験(総合的評価)

課題の提出(総合的評価)

**評価の時期・方法・基準**

課題の提出状況(10%)、小テスト(10%)、定期試験(80%)で評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「話しながら学ぶ化学英語」福馬淳子著 廣川書店  
(1575円)

参考書…「薬剤師のための実践英会話」小宮山貴子著、薬業時  
報社(3000円+税)

**関連科目**

教養科目の英語および1年次から3年次までの専門科目の知識  
があると理解しやすい。

**担当者の研究室等**

1号館7階(毒性学研究室)

基礎薬学実習I

Laboratory Practice of Basic Pharmacy I

安藤 章 (アンドウ アキラ)  
矢部 武士 (ヤベ タケシ)  
野田 直規 (ノダ ナオキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	必修	4

コース・ユニット・一般目標

項目1:【コース:化学系薬学を学ぶ】

・ユニット:C4 化学物質の性質と反応

一般目標:化学物質(医薬品および生物物質を含む)の基本的な反応性を理解するために、代表的な反応、分離法、構造決定法などについて基本的知識と、それらを実施するための基本的技能を修得する。

(3)官能基

一般目標:官能基が有機化合物に与える効果を理解するために、カルボニル基、アミノ基などの官能基を有する有機化合物について、反応性およびその他の性質に関する基本的知識を修得し、それらを応用するための基本的技能を身につける。

・ユニット:C5 ターゲット分子の合成

一般目標:入手容易な化合物を出発物質として、医薬品を含む目的化合物へ変換するために、有機合成法の基本的知識、技能、態度を修得する。

(1)官能基の導入・変換 一般目標:個々の官能基を導入し、変換するために、それらに関する基本的知識と技能を修得する。

(2)複雑な化合物の合成 一般目標:医薬品を含む目的化合物を合成するために、代表的な炭素骨格の構築法などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

項目2:【コース:化学系薬学を学ぶ】

・ユニット:C7 自然が生み出す薬物

一般目標:自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質の含有成分の単離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。

(2)薬の宝庫としての天然物

一般目標:医薬品開発における天然物の重要性と多様性を理解するために、自然界由来のシズ(医薬品の種)および抗生物質などに関する基本的知識と技能を修得する。

項目3:【コース:化学系薬学を学ぶ】

・ユニット:C7 自然が生み出す薬物

一般目標:自然界に存在する物質を医薬品として利用するために、代表的な天然物質の起源、特色、臨床応用および天然物質の含有成分の単離、構造、物性、生合成系などについての基本的知識と、それらを活用するための基本的技能を修得する。

(1)薬になる動植物

一般目標:薬として用いられる動物・植物・鉱物由来の生薬の基本的性質を理解するために、それらの基原、性状、含有成分、生合成、品質評価、生産と流通、歴史的背景などについての基本的知識、およびそれらを活用するための基本的技能を修得する。すなわち、日本薬局方収載の重要生薬類を正しく鑑別・品質評価する事を目的に、生薬の外部形態と内部形態の観察ならびに生薬の確認試験と純度試験、漢方処方への作成と解析、生薬の鑑定試験、薬学部附属薬用植物園の見学および植物の外部形態の観察をおこなう。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 実習全体の概略の内容を理解する。

・実習で使用する器具の名称および使用法を理解する。

・ガラス細工による簡単な実験器具の作成法を理解する。

SBO:官能基の性質を利用した分離精製を実施できる(1)。(技能)

内容:混合検体から官能基の性質により抽出操作による分離法を修得する。

SBO:代表的な官能基の定性試験を実施できる(1)。(技能)

内容:既知物質を用いた官能基の定性反応を学ぶ。

SBO:廃液を適切に処理する(1)。(技能)

内容:廃液の適切な処理の仕方を修得する。

SBO:官能基の性質を利用した分離精製を実施できる(2)。(技能)

内容:液体化合物の蒸留法および固体化合物の再結晶法の原理および精製法を修得する。

SBO:廃液を適切に処理する(2)。(技能)

SBO:官能基の性質を利用した分離精製を実施できる(3)。(技能)

内容:再結晶後の化合物について、同定のための混融試験について原理および操作法を修得する。

SBO:廃液を適切に処理する(3)。(技能)

SBO:代表的な官能基を他の官能基に変換できる(1)。(技能)

SBO:課題として与えられた医薬品を合成できる(1)。(技能)

内容:分離精製した検体について、誘導体合成法により医

薬品を合成、精製後、混融試験により目的化合物の合成を確認する。

SBO:廃液を適切に処理する(4)。(技能)

SBO:代表的な官能基を他の官能基に変換できる(2)。(技能)

SBO:課題として与えられた医薬品を合成できる(2)。(技能)

内容:分離精製した検体について、誘導体合成法により医薬品を合成、精製後、混融試験により目的化合物の合成を確認する。

SBO:廃液を適切に処理する(5)。(技能)

【学習方法・自己学習課題】 実習(実習室)

講義(講義室)

【評価】 実地試験(形成的評価)

観察記録(総括的評価)

論述試験(総括的評価)

第2回 【到達目標】 SBO:天然物質の代表的な抽出法、分離精製法を列挙し、実施できる。(技能)

内容:茶葉からアルカロイドの単離

SBO:官能基の性質を利用した分離精製ができる。

内容:生薬、アンソッコウから酸性芳香族化合物の単離

SBO:薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分離分析できる。(技能)

内容:HPLCによるカフェインの同定ならびに純度検定

SBO:代表的な分光スペクトルを測定し、構造との関連を説明できる。

内容:酸性芳香族化合物の紫外可視吸収スペクトルの測定

SBO:IRスペクトル上の基本的な官能基の特性吸収帯を列挙し、帰属することができる。赤外吸収スペクトルによる

カフェインの同定

天然物から化合物を単離できる。

医薬品の確認試験や純度検定・定量ができる。

【学習方法・自己学習課題】 実習(実習室)、レポート作成と

試験

【評価】 実地試験(形成的評価)

レポート(総括的評価)

第3回 【到達目標】 SBO:代表的な漢方製剤の配合生薬を説明できる(技能)

内容:実習全体の説明および漢方処方の調製と、処方構成生薬の解析により、漢方処方に関する手技を修得する。

SBO:代表的な生薬の確認試験と純度試験を実施できる(技能)

内容:各種生薬(ロートコンおよびセンナ等)の確認試験により、生薬の鑑別方法を修得する。

SBO:代表的な生薬の確認試験と純度試験を実施できる(技能)

内容:漢方処方構成生薬のTLCや粉末生薬の確認試験および純度試験により、生薬の鑑別方法を修得する。

SBO:代表的な薬用植物(生薬)の形態を観察する(技能)

内容:皮類生薬のケイヒの外、内部形態を観察することにより、生薬の鑑別方法を修得する。

SBO:代表的な薬用植物(生薬)の形態を観察する(技能)

内容:葉類生薬のウワウルシの外、内部形態を観察することにより、生薬の鑑別方法を修得する。

SBO:代表的な薬用植物(生薬)の形態を観察する(技能)

内容:根茎類生薬のオウレンの外、内部形態を観察することにより、生薬の鑑別方法を修得する。

粉末生薬の内部形態を観察・同定することにより、生薬の鑑別方法を修得する。

SBO:代表的な生薬を識別できる(技能)

内容:80種の重要生薬を対象に、その生薬に関する各種の事柄について試験することにより、生薬を鑑別する能力を修得する(生薬鑑定試験)。

SBO:代表的な薬用植物の形態を観察する(技能)

内容:薬学部附属薬用植物園において重要な薬用・有用植物等を実地に観察することにより、薬用植物や生薬に関する知識を修得する。

【学習方法・自己学習課題】 実習講義(講義室)と実習(実習室)、課題調査(自宅等)、生薬鑑定試験(講義室)

【評価】 口頭試験(形成的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(形成的評価)

評価の時期・方法・基準

項目1:「参加態度・手技に関わる観察記録」(実習中に実施)(40%)、「理解度」(実習終了時)(40%)、レポート「実習終了時」(20%)で評価する。実習期間以外に実習内容に関する補講及び実習試験を行うので必ず出席(受験)すること。無断欠席の場合、減点する。100点満点中60点以上で合格。

項目2:レポート(50%)、試験(30%)、収量(20%)。100点満点中60点以上で合格。

項目3:実習にはすべて出席し、課題(レポート等)もすべて提出し、鑑定試験に合格することを単位認定の必要条件とする。そのうえで、実習態度・手技に関する記録、鑑定試験(70%)とレポート(30%)とし、100点満点中60点以上で合格とする。

教材等

教科書…項目1:実習プリントによるほか,“統実験を安全に行うために”(通称青本)を購入持参せよ。

項目2:「基礎薬学実習(天然物化学・機器分析学)実習書」(300円)

項目3:「基礎薬学実習(生薬学)実習書」(約500円)

参考書…項目2:「天然薬物化学」川崎・西岡編 廣川書店、「薬学領域の機器分析学」財津ほか、廣川書店、「第十三改正日本薬局方解説書」廣川書店、「統実験を安全に行うために」編集部編、化学同人

項目3:最新生薬学(第2版)奥田編、廣川書店、「薬用植物学 改訂第6版」野呂編、南江堂、「第16改正日本薬局方解説書」廣川書店

**関連科目**

項目1: 基盤講義 I (化学), 有機化学, 物理化学

項目2: 天然物化学, 機器分析学, 分子構造解析, 生薬学, 分析化学

項目3: 生薬学, 天然物化学, 天然薬用資源学, 漢方処方学

**担当者の研究室等**

項目1: 安藤章, 表雅章, 佐藤和之, 樽井敦 (1号館3階, 薬化学研究室)

項目2: 野田直規, 中谷尊史, 田中龍一郎 (1号館4階, 天然薬物構造化学研究室)

項目3: 矢部武士, 邑田裕子, 稲富由香, 荒木良太 (1号館4階, 生薬学研究室・薬用植物園)

**備考**

保護メガネ, 白衣, 名札, タオル, ライター, 個人持ち器具等を持参のこと。

**基礎薬学実習II**  
Laboratory Practice of Basic Pharmacy II

大 塚 正 人 (オオツカ マサト)  
秋 澤 俊 史 (アキザワ トシフミ)  
高 松 宏 治 (タカマツ ヒロム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	必修	4

**コース・ユニット・一般目標**

【コース・ユニット・一般目標】

コース: 生物系薬学を学ぶ

ユニット: C 8 生命体の成り立ち (一般目標: 生命体の成り立ちを個体, 器官, 細胞レベルで理解するために, 生命体の構造と機能調節などに関する基本的知識, 技能, 態度を修得する)。

(4) 小さな生き物たち (一般目標: 微生物の基本的性状を理解するために, 微生物の分類, 構造, 生活史などに関する基本的知識を修得し, 併せて代表的な微生物取扱いのための基本的技能と態度を身につける)。

ユニット: C 9 生命をミクロに理解する (一般目標: 生物をミクロなレベルで理解するために, 細胞の機能や生命活動を支える分子の役割についての基本的知識を修得し, 併せてそれらの生体分子を取り扱うための基本的技能と態度を身につける)。

(3) 生命活動を担うタンパク質 (一般目標: 生命活動の担い手であるタンパク質, 酵素について理解するために, その構造, 性状, 代謝についての基本的知識を修得し, それらを取り扱うための基本的技能を身につける)。  
[タンパク質の構造と機能] [酵素] [タンパク質の取り扱い] (6) 遺伝子进行操作する (一般目標: バイオテクノロジーを薬学領域で応用できるようになるために, 遺伝子操作に関する基本的知識, 技能, 態度を修得する)。  
[遺伝子のクローニング技術]

コース: 物理系薬学を学ぶ

ユニット: C 2 化学物質の分析 (一般目標: 化学物質(医薬品を含む)をその性質に基づいて分析できるようになるために, 物質の定性, 定量などに必要な基本知識と技能を修得する)。(2) 化学物質の検出と定量 (一般目標: 試料中に存在する物質の種類および濃度を正確に知るために, 代表的な医薬品, その他の化学物質の定性・定量法を含む各種の分離分析法の基本的知識と技能を修得する)。(3) 分析技術の臨床応用 (一般目標: 薬学研究や臨床現場で分析技術を適切に応用するために, 代表的な分析法の基本知識と技能を修得する)。

ユニット: C 3 生体分子の姿・かたちをとらえる (一般目標: 生体の機能や医薬品の働きが三次元的な相互作用によって支配されていることを理解するために, 生体分子の立体構造, 生体分子が関与する相互作用, およびそれらを解析する手法に関する基本知識と技能を修得する)。(1) 生体分子を解析する手法 (一般目標: 生体分子, 化学物質の姿, かたちをとらえるために, それらの解析に必要な方法に関する基本知識と技能を修得する)。(2) 生体分子の立体構造と相互作用 (一般目標: 生体分子の機能および医薬品の働きを立体的, 動的にとらえるため, タンパク質, 核酸および脂質などの立体構造やそれらの相互作用に

関する基本知識を修得する)。

**毎回の到達目標, 学習方法・自己学習課題, 評価**

第1回 【到達目標】 SBO: おもな消毒薬を適切に使用できる (技能・態度)  
SBO: おもな滅菌法を実施できる (技能)

内容: アルコールなどの消毒薬の使用, 白金耳・白金線などの火災滅菌と使用

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第2回 【到達目標】 SBO: 無菌操作を実施できる (技能)

内容: 開放系における無菌操作

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第3回 【到達目標】 SBO: グラム染色を実施できる (技能)

内容: 細菌のグラム染色と顕微鏡観察

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第4回 【到達目標】 SBO: 代表的な細菌または真菌の分離培養, 純培養を実施できる (技能)

内容: 環境中からの細菌の分離と純培養

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第5回 【到達目標】 SBO: 代表的な細菌を同定できる (技能)

内容: 酵素活性を指標とした同定・検査

まとめ講義

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第6回 【到達目標】 SBO: タンパク質の主要な機能を列挙できる

SBO: 酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比して説明できる  
SBO: タンパク質の定性, 定量試験法を実施できる (技能)

内容: 器具洗浄および導入講義, タンパク質の定量・検量線の作成

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第7回 【到達目標】 SBO: 代表的な酵素の活性を測定できる - 1 (技能)

SBO: 酵素反応における補酵素, 微量金属の役割を説明できる  
内容: 酵素活性測定 (反応時間と酵素活性)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第8回 【到達目標】 SBO: 代表的な酵素の活性を測定できる - 2 (技能)

SBO: 酵素反応速度論について説明できる

内容: 酵素活性測定 (ミカエリス-メンテン式, ラインウイバー-バークプロット)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第9回 【到達目標】 SBO: 代表的な酵素の活性を測定できる - 3 (技能)

SBO: タンパク質の一次, 二次, 三次, 四次構造を説明できる  
内容: 酵素活性測定 (最適pHおよび最適温度)

【学習方法・自己学習課題】 講義 (講義室)

実習 (実習室)

課題についての自己研磨 (図書館, 自宅等)

【評価】 観察記録 (総括的評価)

レポート (総括的評価)

第10回 【到達目標】 SBO: コンピューターを用いて特徴的な塩基

配列を検索できる(技能)  
 SBO: 酵素反応の特性を一般的な化学反応と対比して説明できる  
 内容: 酵素遺伝子の塩基配列の検索  
 まとめ講義  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
 実習(実習室)  
 課題についての自己研磨(図書館、自宅等)  
**【評価】** 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)

**第11回 【到達目標】** SBO: 薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分析できる(知識・技能)  
 SBO: 実験値を用いた計算および統計処理ができる(技能)  
 内容: 導入講義、器具洗浄およびガラス細工など実験器具の作成、タンパク質のエドマン分解と標品のPTH-アミノ酸のHPLC分析  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
 実習(実習室)  
 課題についての自己研磨(図書館、自宅等)  
**【評価】** 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)

**第12回 【到達目標】** SBO: 薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分析できる(知識・技能)  
 SBO: 実験値を用いた計算および統計処理ができる(知識・技能)  
 内容: タンパク質のエドマン分解とPTH-アミノ酸のHPLCによる回収率の計算  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
 実習(実習室)  
 課題についての自己研磨(図書館、自宅等)  
**【評価】** 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)

**第13回 【到達目標】** SBO: 薄層クロマトグラフィー、液体クロマトグラフィーなどのクロマトグラフィーを用いて代表的な化学物質を分析できる(知識・技能)  
 SBO: 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実地できる(知識・技能)  
 内容: タンパク質の蛍光標識と酸加水分解により得たアミノ酸のTLCによる同定、タンパク質の酵素処理  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
 実習(実習室)  
 課題についての自己研磨(図書館、自宅等)  
**【評価】** 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)

**第14回 【到達目標】** SBO: 代表的な生体試料について、目的に即した前処理と適切な取り扱いができる(技能)  
 SBO: 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明し、実地できる(知識・技能)  
 SBO: 電気泳動の原理を説明し、実地できる(知識・技能)  
 内容: タンパク質の酵素分解物の固相法抽出、タンパク質の酵素分解物のSDS電気泳動  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
 実習(実習室)  
 課題についての自己研磨(図書館、自宅等)  
**【評価】** 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)

**第15回 【到達目標】** スモールグループディスカッションとプレゼンテーション  
 内容: 与えられた課題に対して班で調べ、まとめたうえで、全員の前で発表  
 まとめ講義  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
 実習(実習室)  
 課題についての自己研磨(図書館、自宅等)  
**【評価】** 観察記録(総括的評価)  
 実習試験(総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**  
 すべての講義、実習、実習試験に出席することと、すべてのレポートや課題などの提出を必須条件として、「参加態度、理解度、手技に関わる観察記録」(実習中に実施)(40%)、「レポート、課題」(実習終了時)(40%)、「実習試験」(実習終了時)(20%)により評価する。100点満点中60点で合格とする。

**教材等**  
**教科書**…生化学研究室作成実習書「微生物」(厚生会で販売)、生化学研究室作成実習書「Biochemistry」(配布)、臨床分析化学研究室作成プリント(配布)と薬剤師に必要な臨床機器分析(廣川書店、4000円)  
**参考書**…生化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに示した教科書・参考書、「21世紀の考える薬学微生物学」池澤宏郎編 廣川書店(5800円)、「今日の治療薬」浦部昌夫他編、南江堂(4600円)、「治療薬マニュアル」高久史麻、医学書院(5000円)、日本薬局方、分析化学Ⅰ(定

量編)、分析化学Ⅱ(機器分析編)

**関連科目**  
 微生物学、感染症学、分子細胞生物学Ⅰ・Ⅱ、生化学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬品分析学、臨床分析学、先端医療Ⅱ  
**担当者の研究室等**  
 1号館4階(臨床分析化学研究室)  
 1号館5階(生化学研究室・微生物学研究室)

**備考**  
 共同担当者: 小西元美、竹内健治、桑名利津子、合田光寛、谷口将済、渡部一仁  
 薬剤師に必要な臨床機器分析(廣川書店、4000円)は薬品分析学(1年)、臨床分析学(2年)、先端医療Ⅱ(2年)でも使用する。

衛生薬学実習 Laboratory Practice of Hygienic Pharmacy				
上野 仁(ウエノ ヒトシ) 太田 壮一(オオタ ソウイチ) 木村 朋紀(キムラ トモキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	必修	4

**コース・ユニット・一般目標**  
 "コース: 健康と環境  
 ユニット: C11 健康  
 一般目標: 人とその集団の健康の維持、向上に貢献できるようになるために、栄養と健康、現代社会における疾病とその予防に関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
 (1) 栄養と健康  
 一般目標: 健康維持に必要な栄養を科学的に理解するために、栄養素、代謝、食品の安全性と衛生管理などに関する基本的知識と技能を修得する。  
 (2) 社会・集団と健康  
 一般目標: 社会における集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計と疫学に関する基本的知識、技能、態度を修得する。  
 ユニット: C12 環境  
 一般目標: 人の健康にとってより良い環境の維持と向上に貢献できるようになるために、化学物質の人への影響、および生活環境や地球生態系と人の健康との関わりについての基本的知識、技能、態度を修得する。  
 (1) 化学物質の生体への影響  
 一般目標: 有害な化学物質などの生体への影響を回避できるようになるために、化学物質の毒性などに関する基本的知識を修得し、これに関連する基本的技能と態度を身につける。このほか、C2-(3)、C9-(6)、C13-(1)、C13-(5)、C17-(5)に該当する実習内容も含まれる。  
 (2) 生活環境と健康  
 一般目標: 生態系や生活環境を保全、維持するために、それらに影響を及ぼす自然現象、人為的活動を理解し、環境汚染物質などの成因、人体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的知識と技能を修得し、環境の改善に向かって努力する態度を身につける。"

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**  
**第1回 【到達目標】** 水質試験法、空気試験法の測定意義や測定原理を説明できる。  
 内容: 導入講義(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 実習試験(総括的評価)  
**第2回 【到達目標】** 食品成分試験法、食品添加物試験法、食品汚染物試験法の測定意義や測定原理を説明できる。  
 内容: 導入講義(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 実習試験(総括的評価)  
**第3回 【到達目標】** 変異原性試験法の測定意義や測定原理を説明できる。代表的な中毒原因物質の測定原理を説明できる。  
 内容: 導入講義(3)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義(講義室)  
**【評価】** 実習試験(総括的評価)  
**第4回 【到達目標】** 第4~6回  
 SBO: 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。(知識・技能)  
 内容: 水道水の水温、pH、残留塩素、塩素消費量、塩素要求量、アンモニア性窒素、硝酸性窒素量、総硬度、過マンガン酸カリウム消費量の測定に関する手技を修得する。提供試料水の大腸菌の検出に関する手技を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習(実習室)  
 到達目標関連課題に関する自己研鑽(自宅等)  
**【評価】** 口頭試験(形成的評価)

観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第5回 【到達目標】** 第7回  
SBO: 水質汚濁の指標を列挙し、その意味を説明できる。  
SBO: DO、BOD、CODを測定できる。(技能)  
内容: 提供試料水の水温、透視度、溶存酸素、化学的酸素要求量、生物化学的酸素要求量の測定に関する手技を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第6回 【到達目標】** 第8回  
SBO: 室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、それらに関連する項目を測定できる。(知識・技能)  
内容: 気温、気湿、から冷却力、気動、感覚温度、照度、二酸化炭素、ホルムアルデヒドの測定に関する手技を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第7回 【到達目標】** 第9回  
SBO: 主な大気汚染物質の濃度を測定し、健康影響について説明できる。(知識・技能)  
内容: 窒素酸化物、二酸化硫黄に関する手技を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第8回 【到達目標】** 第10～12回  
SBO: 栄養素（三大栄養素、ビタミン、ミネラル）を列挙し、それぞれの役割について説明できる。  
内容: 酵素法を用いたグルコース、フルクトースおよびスクロースの定量法を修得する。セミマイクロケルダール法を用いたタンパク質の定量法を修得する。ジニトロフェニルヒドラジン法を用いたビタミンCの定量法を修得する。油脂の化学的試験である酸価、ケン化価、エステル価に関する手技を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第9回 【到達目標】** 第13回  
SBO: 化学物質（重金属、残留農薬など）による食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。  
内容: ジエチルジチオカルバミン酸銀法を用いたヒ素の定量法を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第10回 【到達目標】** 第14回  
SBO: 油脂が変化する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。(知識・技能)  
内容: 変質試験の過酸化価、カルボニル価およびチオバルビツール酸価に関する手技を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第11回 【到達目標】** 第15回  
SBO: 主な食品添加物の試験法を実施できる。(技能)  
内容: ジアゾ化法を用いた発色剤（亜硝酸）の定量法を修得する。紫外吸収スペクトル法による酸型保存料の定量法を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）

実習試験（総括的評価）

**第12回 【到達目標】** 第16回  
SBO: 変異原性試験の原理を説明し、実施できる。(知識・技能)  
内容: Ames 試験を実施し、その原理と無菌操作法を修得する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第13回 【到達目標】** 第17回  
SBO: 代表的な中毒原因物質を分析できる。(技能)  
SBO: 化学物質の中毒量、作用器官、中毒症状、救急処理法、解毒法を検索することが出来る。(技能)  
内容: 飲酒後の呼気中エタノール及びアセトアルデヒド濃度をガスクロマトグラフィーで測定し、代謝動態を解析する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 実習（実習室）  
到達目標関連課題に関する自己研鑽（自宅等）  
**【評価】** 口頭試問（形成的評価）  
観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第14回 【到達目標】** 第18、19回  
演習1（必要換気量の算出、化学物質の中毒量や救急処置法などの検索）、実習試験  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室、情報処理演習室）  
**【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**第15回 【到達目標】** 第20、21回  
演習2（統計）、実習まとめ  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室、情報処理演習室）  
**【評価】** 観察記録（総括的評価）  
レポート（総括的評価）  
実習試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
「参加態度、理解度、手技に関わる観察記録」(実習中に実施) (50%)、「レポート」(実習終了時)(20%)、「実習試験」(実習終了時)(30%)で評価を行う。100点満点中60点で合格とする。ただし、実習試験は18%（実習試験として100点満点中60点）以上を獲得しなければならない。なお、すべての講義、実習等に出席し、レポートなどの提出物をすべて提出すること。また、実習試験に合格すること。

**教材等**  
教科書…「衛生薬学実習」テキスト  
「必携・衛生試験法」日本薬学会編、金原出版(予価4,410円)  
参考書…「衛生試験法注解・2010」日本薬学会編、金原出版(27,300円)

**関連科目**  
公衆衛生学Ⅰ、公衆衛生学Ⅱ、食品衛生学Ⅰ、食品衛生学Ⅱ、職業保健学、衛生化学、臨床栄養学、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、生化学Ⅲ、生物薬剤学、臨床分析学、微生物学

**担当者の研究室等**  
1号館5階（公衆衛生学研究室）TEL 072-866-3123  
1号館5階（環境保健学研究室）TEL 072-866-3119  
1号館7階（毒性学研究室）TEL 072-866-3107

**備考**  
共同担当者：中尾晃幸、奥野智史、角谷秀樹、秋山恵麻、荒川友博、保坂卓臣、荻野泰史  
実習（第4回～第17回）は、14グループに分け、それぞれの試験項目をローテーションで行う。実習器具の準備や収納は適時行う。

**医療薬学実習**  
Laboratory Practice of Clinical Pharmacy  
前田 定秋 (マエダ サダアキ)  
山下 伸二 (ヤマシタ シンジ)  
倉本 展行 (クラモト ノブユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	後期	必修	4

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：実務実習事前学習 ユニット：D1 病院・薬局に行く前に 一般目標：卒業後、医療に参画できるようになるために、「病院・薬局で学ぶ」に先立って、大学内で調剤および

製剤、服薬説明などの薬剤師職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

(2) 処方せんと調剤 (一般目標: 医療チームの一員として調剤を正確に実施できるようになるために、処方せん授受から服薬説明までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。)

(6) 服薬説明と患者接遇 (一般目標: 薬物療法の適正化を通して、患者の安全確保とQOL向上に貢献できるようになるために、服薬説明、在宅医療などに関する基本的知識と技能を修得し、併せて医療チームの一員としての協動的態度を身につける。)

コース: 薬と疾病 ユニット: C13 薬の効くプロセス  
一般目標: 医薬品の作用する過程を理解するために、代表的な薬物の作用、作用機序、および体内での運命に関する基本的知識と態度を修得し、それらを応用する基本的技能を身につける。

(1) 薬の作用と生体内運命 (一般目標: 作用部位に達した薬物の量と作用により薬効が決まることを理解するために、薬物の生体内における動きと作用に関する基本的知識、技能、態度を修得する。)

(2) 薬の効き方I (一般目標: 神経系、循環器系、呼吸器系に作用する薬物に関する基本的知識を修得し、その作用を検出するための基本的技能を身につける。)

(5) 薬物動態の解析 (一般目標: 薬効や副作用を体内の薬物動態から定量的に理解できるようになるために、薬物動態の理論的解析に関する基本的知識と技能を修得する。)

到達目標

薬剤学

SBOs: 処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。

SBOs: 代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。

SBOs: 患者に適した剤形を選択できる。

SBOs: 処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。

SBOs: 処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。

SBOs: 調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。

内容: 調剤の流れ、服薬指導、器具の扱い方、散剤、カプセル剤、内・外用液剤および軟膏剤の調製、注射剤および点眼剤の浸透圧の調整等を行う。

SBOs: 患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。

SBOs: 代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。

SBOs: 代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。

SBOs: 適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。(技能・態度)

SBOs: 医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。(知識・態度)

SBOs: 患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。

SBOs: 服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。

SBOs: 患者背景、情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など)を把握できる。(技能)

SBOs: 代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。(知識・技能)

SBOs: 共感的態度で患者インタビューを行う。(技能・態度)

SBOs: 患者背景に配慮した服薬指導ができる。(技能)

SBOs: 代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。(技能)

内容: 模擬患者に対する服薬指導業務をロールプレイング実習として体験する。

SBOs: 薬物動態に関わる代表的なパラメーターを列挙し、概説できる。

SBOs: 薬物の生物学的利用能の意味とその計算法を説明できる。

SBOs: 線形1-コンパートメントモデルを説明し、これに基づいた計算ができる。(知識・技能)

SBOs: 生物学的半減期を説明し、計算できる。(知識・技能)

SBOs: 全身クリアランスについて説明し、計算できる。(知識・技能)

SBOs: 薬物の肝および腎クリアランスの計算ができる。(技能)

内容: 実験動物を用いて薬物の体内動態を調べ、種々の動態パラメータを算出する。さらに、腎排泄に及ぼす併用薬物の影響について検討する。

SBOs: 治療的薬物モニタリング(TDM)の意義を説明できる。

SBOs: TDMが必要とされる代表的な薬物を列挙できる。

SBOs: 薬物血中濃度の代表的な測定法を実施できる。(技能)

SBOs: 至適血中濃度を維持するための投与計画について、薬動的パラメーターを用いて説明できる。

SBOs: 代表的な薬物についてモデルデータから投与計画をシミュレートできる。(技能)

内容: ウシの血清に薬物を溶解したものを試料とし、競合免疫反応を用いて薬物の濃度測定を行う。TDM解析ソフトを用いて最適投与計画の作成を行う。

薬理学

SBOs: 動物実験における倫理について配慮する。(態度)

SBOs: 代表的な実験動物を適正に取り扱うことができる。(技能)

SBOs: 実験動物での代表的な薬物投与法を実施できる。(技能)

SBOs: 薬物の用量と作用の関係の説明ができる。

SBOs: アゴニストとアンタゴニストについて説明できる。

SBOs: 薬物の作用するしくみについて、受容体、酵素およびチャネルを例に挙げて説明できる。

SBOs: 代表的な薬物受容体を列挙し、刺激あるいは阻害された場合の生理反応を説明できる。

SBOs: 薬物依存性について具体例を挙げて説明できる。

SBOs: 代表的な薬物を挙げ、薬理作用、機序、主な副作用について説明できる。

SBOs: 中枢神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能)

SBOs: 知覚神経、運動神経に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能)

SBOs: 自律神経系に作用する代表的な薬物の効果を測定できる。(技能)

内容: 実験動物に薬物を投与、あるいは組織に薬物を適用しその薬理作用を観察、解析、評価する。

学習方法・自己学習課題

実習(実習室・情報処理演習室)

実習前講義・演習(各教室)

課題について調査する自己研鑽(自宅等)

評価

実地試験(形成的評価)

観察記録(形成的評価・総括的評価)

レポート(総括的評価)

実習試験(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

実習には全て出席し、課題(レポート等)も全て提出し、実習試験にも合格していることを単位認定の必須要件とする。

形成的評価: 随時、実地試験および観察記録で評価する。

総括的評価: 薬剤学・薬理学ともに、実習試験およびレポートで評価し、100点満点中60点以上で合格。

ただし、薬剤学実習試験(25点)、薬剤学レポート(25点)、薬理学実習試験(25点)、薬理学レポート(25点)とし、それぞれ60%以上で合格とする。また、観察記録をつけ、実施態度や実施状況が悪い者は総括的評価から減点することがある。

教材等

教科書…薬剤学: 「医療薬学実習(薬剤学)テキスト」

薬理学: 「医療薬学実習(薬理学)テキスト」

参考書…「関連科目での使用教科書」

関連科目

薬剤学: 病院薬学、生物薬剤学、薬物動態学、製剤学

薬理学: 薬理学総論、薬物治療学

担当者の研究室等

1号館3階(薬物治療学研究室)

1号館4階(薬剤学研究室)

1号館6階(薬理学研究室)

備考

共同担当者:

薬剤学: 佐久間 信至、戸村 芳、吉岡 靖啓、片岡 誠、石丸 侑希、政岡 祥江

薬理学: 芝 達雄、山口 太郎、相澤 秀樹

実習内容を整理した実習テキストを用いて、それぞれの実習項目の初めにその内容を細かく講義してから実習を行う。関連科目で学習した内容を十分に復習して実習に望むことが大切。

応用薬学実習

Laboratory Practice of Pharmaceutical Sciences

荻田 喜代一(オギタ キヨカス)

河野 武幸(コノ タケユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	通年	B群選択	3

コース・ユニット・一般目標

コース: 本学独自の薬学専門教育 ユニット: キャリア形成

一般目標: 医療人として相手(患者)を思いやる心を持ち、情熱と責任ある態度で積極的かつ協動的に行動できるようになるために、倫理観と奉仕・慈愛の心、円滑な対人力、協力的精神、情熱と責任感及び豊かな人間性など、医療人に相応しい知識、技能、態度を身につける。

(5) 応用薬学実習(なりたい自分をきめる)

一般目標: 自らがその能力及び適性、志望に応じて主体的に進路を選択できるようになるために、卒業研究に先立って研究室での創薬研究や臨床研究などの体験を通し、薬学研究者あるいは研究マインドを持った薬剤師に必要な基本的素養を身につける。

補足説明: 薬学部では、1、2年次:「なりたい自分をさがす」、3、

4年次：「なりたい自分をきめる」、5、6年次：「なりたい自分にむかう」を到達目標と定め、全学年にわたるキャリア形成教育を展開している。「応用薬学実習」では、創薬研究や臨床研究に従事することによって、自らの研究者としての適性を知り、問題発見力・問題解決力を身につけるとともに、研究推進に必要な情報の収集方法を修得する【問題解決能力の醸成】。

**到達目標**

- (1) 研究活動に求められる態度
  1. 課題を理解し、その達成に向けて積極的に取り組む。(態度)
  2. 問題点を自ら進んで解決しようと努力する。(態度)
  3. 課題の達成を目指して論理的思考を行い、生涯にわたって醸成する。(態度)
  4. 課題達成のために、他者の意見を理解し、討論する能力を醸成する。(態度)
  5. 研究活動に関わる諸規則を遵守し、倫理に配慮して研究に取り組む。(態度)
  6. 環境に配慮して、研究に取り組む。(態度)
  7. チームの一員としてのルールやマナーを守る。(態度)

(2) 研究活動を学ぶ

1. 課題に関連するこれまでの研究成果を調査し、評価できる。(知識・技能)
2. 課題に関連するこれまでの発表論文(英文、邦文)を読解できる。
3. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出できる。(技能)
4. 実験計画を立案できる。(知識・技能)
5. 実験系を組み、実験を実施できる。(技能)
6. 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、管理する。(技能・態度)
7. 研究活動中に生じたトラブルを指導者に報告する。(態度)
8. 研究の各プロセスを正確に記録する。(技能・態度)
9. 研究の結果をまとめることができる。(技能)
10. 研究の結果を考察し、評価できる。(技能)
11. 研究の成果を発表し、適切に質疑応答ができる。(技能・態度)
12. 研究の成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)
13. 自らの研究成果に基づいて、次の研究課題を提案する。(知識・技能)

(3) 未知との遭遇

1. 研究課題を通して、現象を的確に捉える観察眼を養う。(知識・技能・態度)
2. 新規な課題に常にチャレンジする研究者としての創造的精神を醸成する。(態度)
3. 科学の発展におけるセレンディピティについて説明できる。(知識・態度)

(4) 各種実験手技の修得

**学習方法・自己学習課題**

研究室での実験・演習

**評価**

観察記録・レポート

**評価の時期・方法・基準**

実習態度(50点)、レポート(50点)で評価します。100点満点中60点以上で合格とします。

**教材等**

教科書…なし  
参考書…なし

**関連科目**

企業薬学専門科目

**担当者の研究室等**

各研究室

プレファーマシー実習 (1/2) Pre-training of Clinical Pharmacy				
場 由美子 (ハネ ユミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	後期	必修	4

**コース・ユニット・一般目標**

コース：病院・薬局実務実習

ユニット：D1 実務実習事前学習

一般目標：卒業後、医療に参画できるようになるために、病院実務実習・薬局実務実習に先立って、大学内で調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師職務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。

(1)事前学習を始めるにあたって 一般目標：事前学習に積極的に取り組むために、病院と薬局での薬剤師業務の概要と社会的使命を理解する。

(2)処方せんと調剤 一般目標：医療チームの一員として調剤を正確に実践できるようになるために、処方せん受授から服薬指

導までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。  
(3)疑義照会 一般目標：処方せん上の問題点が指摘できるようになるために、用法・用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき事項に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** 【到達目標】 処方せん受付① SBO：服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。患者背景、情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など)を把握できる。代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。疑義照会をシミュレートする。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第2回** 【到達目標】 処方せん受付② SBO：処方せん例に従って、薬袋・薬札に記載すべき事項(患者氏名・用法・用量・注意事項・貯法など)を列挙し、記入できる。薬袋・薬札の記載事項の鑑査ができる。処方せん例に従って、調剤報酬の算定をシミュレートする。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第3回** 【到達目標】 散剤調剤 SBO：処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。患者の特性に適した用量を計算できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第4回** 【到達目標】 錠剤調剤 SBO：処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。患者に適した剤形を選択できる。患者の特性に適した用量を計算できる。患者の特性(新生児、小児、高齢者、妊婦など)に適した用法・用量について説明できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第5回** 【到達目標】 液剤調剤 SBO：処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。患者の特性に適した用量を計算できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第6回** 【到達目標】 外用剤・製剤 SBO：処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。患者に適した剤形を選択できる。患者の特性に適した用量を計算できる。代表的な院内製剤を調製できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第7回** 【到達目標】 調剤薬鑑査 SBO：調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第8回** 【到達目標】 服薬指導 SBO：代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。共感的態度で患者インタビューを行う。代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習(実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)

観察記録(総括的評価)

実地試験(総括的評価)

**第9回** 【到達目標】 入院初回訪問 SBO：インフォームドコンセント、守秘義務などに配慮する。共感的態度で患者インタビューを行う。患者背景、情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など)を把握できる。代表的な症例についての服薬指

導の内容を適切に記録できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第10回 【到達目標】 入院2回目以降訪問 SBO: 適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。共感的態度で患者インタビューを行う。医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

実習には全て出席し、課題(レポート等)も全て提出し、実習試験にも合格していることを単位認定の必須要件とする。その上で、手技の修得に関する観察記録(50点)、レポート(20点)及び実習試験(30点)を合わせ100点とし、60点以上を合格とする。なお、レポートは随時提出。実地試験は全実習終了時に行う。

教材等

教科書…実習テキスト(2000円程度)、「ビジュアル薬剤師実務シリーズ1~4」羊土社(計12400円)、「治療薬マニュアル」医学書院(5000円)

関連科目

薬剤師になるために、製剤学、生物薬剤学、物理薬剤学、薬物動態学、薬物治療学、病院薬学、臨床医学概論など

担当者の研究室等

6号館3階(医療薬学研究室)

備考

追加の実習等(2コマ程度)を行う場合があるので出席すること。共同担当者:首藤 誠、高田 雅弘、菊田 真穂、小森 浩二、山本 淑子、宮崎 珠美、中野 祥子、三田村 しのぶ、他学内教員、学外薬剤師

プレファーマシー実習 (2/2) Pre-training of Clinical Pharmacy				
場 由美子 (ハネ ユミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	後期	必修	4

コース・ユニット・一般目標

(4)医薬品の管理と供給 一般目標: 病院・薬局における医薬品の管理と供給を正しく行うために、内服薬、注射剤などの取扱い、および院内製剤・薬局製剤に関する基本的知識と技能を修得する。

(5)リスクマネジメント 一般目標: 薬剤師業務が人命にかかわる仕事であることを認識し、患者が被る危険を回避できるようになるために、医薬品の副作用、調剤上の危険因子とその対策、院内感染などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(6)服薬指導と患者情報 一般目標: 患者の安全確保とQOL向上に貢献できるようになるために、服薬指導などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(7)事前学習のまとめ 一般目標: 病院実務実習、薬局実務実習に先立って大学内で行った事前学習の効果を高めるために、調剤および服薬指導などの薬剤師職務を総合的に実習する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 退院時指導 SBO: 患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。患者背景に配慮した服薬指導ができる。代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第2回 【到達目標】 注射剤業務 SBO: 注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。代表的な配合変化を検出できる。代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。体内電解質の過不足を判断して補正できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第3回 【到達目標】 無菌調製 SBO: 無菌操作の原理を説明し、基本

的な無菌操作を実施できる。抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第4回 【到達目標】 DI業務、医薬品管理 SBO: 医薬品の基本的な情報の収集をシミュレートする。麻薬の取扱いをシミュレートできる。毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。麻薬、向精神薬などの管理と取扱い(投薬、廃棄など)について説明できる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第5回 【到達目標】 健康相談、OTC薬 SBO: 顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。疾病の予防および健康管理についてのアドバイスをシミュレートする。セルフメディケーションのための一般用医薬品および医療用具、健康食品などの選択・供給がシミュレートする。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第6回 【到達目標】 まとめ① SBO: 代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。疑義照会をシミュレートする。処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。患者背景に配慮した服薬指導ができる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第7回 【到達目標】 まとめ② SBO: 代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。疑義照会をシミュレートする。処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。患者背景に配慮した服薬指導ができる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第8回 【到達目標】 まとめ③ SBO: 代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。疑義照会をシミュレートする。処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。患者背景に配慮した服薬指導ができる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第9回 【到達目標】 まとめ④ SBO: 代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。疑義照会をシミュレートする。処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。患者背景に配慮した服薬指導ができる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

第10回 【到達目標】 まとめ⑤ SBO: 代表的な処方せん例の鑑査を行うことができる。疑義照会をシミュレートする。処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。患者背景に配慮した服薬指導ができる。等

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習 (実習室)

【評価】 レポート(総括的評価)  
観察記録(総括的評価)  
実地試験(総括的評価)

評価の時期・方法・基準

実習には全て出席し、課題(レポート等)も全て提出し、実習試験にも合格していることを単位認定の必須要件とする。その上で、手技の修得に関する観察記録(50点)、レポート(20点)及び実習試験(30点)を合わせ100点とし、60点以上を合格とする。なお、レポートは随時提出。実地試験は全実習終了時に行う。

**教材等**

教科書…実習テキスト (2000円程度)、「ビジュアル薬剤師実務シリーズ1~4」羊土社 (計12400円)、「治療薬マニュアル」医学書院 (5000円)

**関連科目**

薬剤師になるために、製剤学、生物薬剤学、物理薬剤学、薬物動態学、薬物治療学、病院薬学、臨床医学概論など

**担当者の研究室等**

6号館3階 (医療薬学研究室)

**備考**

追加の実習等 (2コマ程度) を行う場合があるので出席すること。共同担当者: 首藤 誠、高田 雅弘、菊田 真穂、小森 浩二、山本 淑子、宮崎 珠美、中野 祥子、三田村しのぶ、他学内教員、学外薬剤師

病院実務実習 Practical Training at Hospital Pharmacy				
場 由美子 (ハネ ユミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	前期	必修	10

**コース・ユニット・一般目標**

コース: D 病院・薬局実務実習 ユニット: D2 病院実習 一般目標: 病院薬剤師の業務と責任を理解し、チーム医療に参画できるようにするために、調剤および製剤、服薬指導などの薬剤師業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。(1) 病院調剤を実践する 一般目標: 病院において調剤を通して患者に最善の医療を提供するために、調剤、医薬品の適正な使用ならびにリスクマネージメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。(2) 医薬品を動かす・確保する 一般目標: 医薬品を正確かつ円滑に供給し、その品質を確保するために、医薬品の管理、供給、保存に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。(3) 情報を正しく使う 一般目標: 医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようにするために、薬剤部門における医薬品情報管理 (DI) 業務に必要な基本的知識、技能、態度を修得する。(4) ベッドサイドで学ぶ 一般目標: 入院患者に有効性と安全性の高い薬物治療を提供するために、薬剤師病棟業務の基本的知識、技能、態度を修得する。(5) 薬剤を造る・調べる 一般目標: 患者個々の状況に応じた適切な剤形の医薬品を提供するため、院内製剤の必要性を認識し、院内製剤の調製ならびにそれらの試験に必要とされる基本的知識、技能、態度を修得する。(6) 医療人としての薬剤師 一般目標: 常に患者の存在を念頭におき、倫理観を持ち、かつ責任感のある薬剤師となるために、医療の担い手としてふさわしい態度を修得する。

**到達目標**

- (1)《病院調剤業務の全体の流れ》○患者の診療過程に同行し、その体験を通して診療システムを概説できる。○病院内の患者情報の流れを図式化できる。○病院に所属する医療スタッフの職種名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明できる。等《計数・計量調剤》○処方せんの形式、種類および記載事項について説明できる。《注射剤調剤》○注射剤調剤の流れを概説できる。○注射処方せんの記載事項が整っているか確認できる。(技能)○代表的な注射剤処方せんについて、処方内容が適正であるか判断できる。(技能)等
- (2)《医薬品の管理・供給・保存》○医薬品管理の流れを概説できる。○納品から使用までの医薬品の動きに係わる人達の仕事を見学し、薬剤師業務と関連づけて説明できる。○医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。等《特別な配慮を要する医薬品》○血漿分画製剤の取扱いを体験する。(技能)《医薬品の採用・使用中止》○医薬品の採用と使用中止の手続きを説明できる。○代表的な同種・同効薬を列挙できる。
- (3)《病院での医薬品情報》○医薬品情報源のなかで、当該病院で使用しているものの種類と特徴を説明できる。○院内への医薬品情報提供の手段、方法を概説できる。○患者、医療スタッフへの情報提供における留意点を列挙できる。《情報の入手・評価・加工》○DIニュースなどを作成するために、医薬品情報の評価、加工を体験する。(技能)《情報提供》○医療スタッフからの質問に対する適切な報告書の作成を体験する。(知識・技能)○医療スタッフのニーズに合った情報提供を体験する。(技能・態度)○患者のニーズに合った情報の収集、加工および提供を体験する。(技能・態度)等
- (4)《病棟業務の概説》○病棟業務における薬剤師の業務 (薬剤管理、与薬、リスクマネージメント、供給管理など) を概説できる。○薬剤師の業務内容について、正確に記録をとり、報告することの目的を説明できる。○病棟における薬剤の管理と取扱いを体験する。(知識・技能・態度)《医療チームへの参加》○医療スタッフが日常使っている専門用語を適切に使用できる。(技能)○病棟において医療チームの一員として他の医療ス

ッフとコミュニケーションする。(技能・態度)《薬剤管理指導業務》○診療録、看護記録、重要な検査所見など、種々の情報源から必要な情報を収集できる。(技能)○報告に必要な要素 (5W1H) に留意して、収集した情報を正確に記載できる。(技能)○収集した情報ごとに誰に報告すべきか判断できる。(技能)等《処方支援への関与》○治療方針決定のプロセスおよびその実施における薬剤師の関わりを見学し、他の医療スタッフ、医療機関との連携の重要性を感じとる。(態度)○適正な薬物治療の実施について、他の医療スタッフと必要な意見を交換する。(態度)

(5)《院内で調製する製剤》○院内製剤の必要性を理解し、以下に例示する製剤のいずれかを調製できる。(軟膏、坐剤、散剤、液状製剤など) (技能)○無菌製剤の必要性を理解し、以下に例示する製剤のいずれかを調製できる。(点眼液、注射液など) (技能)《薬物モニタリング》○実際の患者例に基づきTDMのデータを解析し、薬物治療の適正化について討議する。(技能・態度)《中毒医療への貢献》○薬物中毒患者の中毒原因物質の検出方法と解毒方法について討議する。(知識・態度)

(6) 医療人としての薬剤師○患者および医薬品に関連する情報の授受と共有の重要性を感じとる。(態度)○患者にとって薬に関する窓口である薬剤師の果たすべき役割を討議し、その重要性を感じとる。(態度)○患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討議する。(態度)等

**学習方法・自己学習課題**

病院での実習

**評価**

観察記録・レポート等

**評価の時期・方法・基準**

実習には全て出席し、課題 (レポート等) も全て提出していることを単位認定の必須要件とする。観察記録、レポート等を総合的に評価し、100点満点中60点以上を合格とする。

**教材等**

教科書…薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2013年度版、病院・薬局実務実習近畿地区調整機構監、じほう (3000円) 参考書…「ビジュアル薬剤師実務シリーズ1~4」羊土社 (計12400円)「治療薬マニュアル」医学書院 (5000円) 他

**関連科目**

薬剤師になるために、製剤学、生物薬剤学、物理薬剤学、薬物動態学、薬物治療学、病院薬学、臨床医学概論、プレファーマシー講義、プレファーマシー実習など

**担当者の研究室等**

6号館3階 (医療薬学研究室) 他

**備考**

訪問指導は、全教員が担当する

薬局実務実習 Practical Training at Community Pharmacy				
場 由美子 (ハネ ユミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	前期	必修	10

**コース・ユニット・一般目標**

コース: D 病院・薬局実務実習 ユニット: D3 薬局実習 一般目標: 薬局の社会的役割と責任を理解し、地域医療に参画できるようにするために、保険調剤、医薬品などの供給・管理、情報提供、健康相談、医療機関や地域との関わりについての基本的な知識、技能、態度を修得する。(1) 薬局アイテムと管理 一般目標: 薬局で取り扱うアイテム (品目) の医療、保健・衛生における役割を理解し、それらの管理と保存に関する基本的知識と技能を修得する。(2) 情報のアクセスと活用 一般目標: 医薬品の適正使用に必要な情報を提供できるようにするために、薬局における医薬品情報管理業務に関する基本的知識、技能、態度を修得する。(3) 薬局調剤を実践する 一般目標: 薬局調剤を適切に行うために、調剤、医薬品の適正な使用、リスクマネージメントに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。(4) 薬局カウンターで学ぶ 一般目標: 地域社会での健康管理における薬局と薬剤師の役割を理解するために、薬局カウンターでの患者、顧客の接遇に関する基本的知識、技能、態度を修得する。(5) 地域で活躍する薬剤師 一般目標: 地域に密着した薬剤師として活躍できるようにするために、在宅医療、地域医療、地域福祉、災害時医療、地域保健などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。(6) 薬局業務を総合的に学ぶ 一般目標: 調剤、服薬指導、患者・顧客接遇などの薬局薬剤師の職務を総合的に実習する。

**到達目標**

- (1)《薬局アイテムの流れ》○薬局で取り扱うアイテムが医療の中で果たす役割について説明できる。○薬局で取り扱うアイテムの保健・衛生、生活の質の向上に果たす役割を説明できる。○薬局アイテムの流通機構に係わる人達の仕事を見学し、薬剤師業務と関連づけて説明できる。《薬局製剤》○代表的な薬局

製剤・漢方製剤について概説できる。○代表的な薬局製剤・漢方製剤を調製できる。《薬局アイテムの管理と保存》○薬局におけるアイテムの管理、配列の概要を把握し、実務を体験する。

(知識・技能)

(2)《薬剤師の心構え》○医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守する。(態度)○職務上知り得た情報について守秘義務を守る。(態度)《情報の入手と加工》○処方内容から得られる患者情報を的確に把握できる。(技能)○薬歴簿から得られる患者情報を的確に把握できる。(技能)《情報の提供》○入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)○入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供できる。(技能・態度)

(3)《保険調剤業務の全体の流れ》○保険調剤業務の全体の流れを理解し、処方せんの受付から調剤報酬の請求までの概要を説明できる。○保険薬局として認定される条件を、薬局の設備と関連づけて具体的に説明できる。《処方せんの受付》○処方せんの形式および記載事項について説明できる。○処方せん受付時の対応および注意事項について説明できる。○初来局患者への対応と初回質問表の利用について説明できる。等《処方せんの鑑査と疑義照会》○薬歴簿を参照して処方内容の妥当性を判断できる。(知識・技能)○疑義照会の行い方を身につける。(知識・態度)○疑義照会事例を通して、医療機関との連携、患者への対応をシミュレートする。(技能・態度)《服薬指導の基礎》○薬歴管理の意義と重要性を説明できる。○薬歴簿の記載事項を列挙し、記入できる。(知識・技能)○薬歴簿の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。《服薬指導入門実習》○薬歴簿を活用した服薬指導ができる。(技能)○お薬手帳、健康手帳を使用した服薬指導ができる。(技能)《調剤録と処方せんの保管・管理》○調剤録の法的規制について説明できる。○調剤録への記入事項について説明できる。○調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。等《調剤報酬》○調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる。(技能)○薬剤師の技術評価の対象について説明できる。《安全対策》○代表的な医療事故訴訟あるいは調剤過誤事例について調査し、その原因について指導薬剤師と話し合う。(知識・態度)

(4)《患者・顧客との接遇》○かかりつけ薬局・薬剤師の役割について指導薬剤師と話し合う。(態度)○患者、顧客に対して適切な態度で接する。(態度)○疾病の予防および健康管理についてアドバイスできる。(技能・態度)等《一般用医薬品・医療用具・健康食品》○セルフメディケーションのための一般用医薬品、医療用具、健康食品などを適切に選択・供給できる。(技能)○顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。《カウンター実習》○顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。(技能・態度)○顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)○顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる。(技能・態度)等

(5)《在宅医療》○訪問薬剤管理指導業務について説明できる。○在宅医療における医療廃棄物の取り扱いについて説明できる。○薬剤師が在宅医療に関わることの意義を指導薬剤師と話し合う。(態度)《地域医療・地域福祉》○病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる。○当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる。○当該地域での居宅介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の状況を把握できる。(知識・技能)《災害時医療と薬剤師》○緊急災害時における、当該薬局および薬剤師の役割について説明できる。《地域保健》○学校薬剤師の職務を見聞し、その役割を説明できる。○地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割を説明できる。○麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる。等

(6)《総合実習》○薬局業務を総合的に実践する。○患者の健康の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を感じとる。(態度)○薬が病気の治癒、進行防止を通して、病気の予後とQOLの改善に貢献していることを感じとる。(態度)

学習方法・自己学習課題

薬局での実習

評価

観察記録・レポート等

評価の時期・方法・基準

実習には全て出席し、課題(レポート等)も全て提出していることを単位認定の必須要件とする。観察記録、レポート等を総合的に評価し、100点満点中60点以上を合格とする。

教材等

教科書…薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2013年度版、病院・薬局実務実習近畿地区調整機構監、じほう(3000円)  
参考書…「ビジュアル薬剤師実務シリーズ1~4」羊土社(計12400円)「治療マニュアル」医学書院(5000円)他

関連科目

薬剤師になるために、製剤学、生物薬剤学、物理薬剤学、薬物動態学、薬物治療学、病院薬学、臨床医学概論、プレファーマシー講義、プレファーマシー実習など

担当者の研究室等

6号館3階(医療薬学研究室)他

備考

訪問指導は、全教員が担当する

臨床実務実習

Practical Exercise of Clinical Pharmacy

河野 武幸(コウノ タケユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	A B C D E F	後期	必修	1

コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育

ユニット：未来型薬剤師

一般目標：社会保障審議会医療部会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議された「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、技術、態度を身につける。

(3) 臨床実務実習(フィジカルアセスメント実習)

一般目標：社会保障審議会医療保険部会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議された「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、検査値やバイタルサインの評価等に関する新しい臨床スキルを身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 SBO：心電図を正しく測定・評価し、所見を正確に述べる。

〈内容〉：携帯型心電計及び12誘導心電計を用い、心電図を測定し、所見を述べる。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
自己学習課題：レポート作成

【評価】 観察記録(総括的評価)  
レポート(総括的評価)

第2回 【到達目標】 SBO：頸動脈、腹部超音波画像を正しく測定・評価し、所見を正確に述べる(1)。

〈内容〉：超音波画像診断装置(エコー)を用い、  
・頸動脈の硬化病変(プラーク)を評価し、所見を述べる。  
・シミュレーターによる腹部病変を評価し、所見を述べる。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
自己学習課題：レポート作成

【評価】 観察記録(総括的評価)  
レポート(総括的評価)

第3回 【到達目標】 SBO：頸動脈、腹部超音波画像を正しく測定・評価し、所見を正確に述べる(2)。

〈内容〉：超音波画像診断装置(エコー)を用い、  
・頸動脈の硬化病変(プラーク)を評価し、所見を述べる。  
・シミュレーターによる腹部病変を評価し、所見を述べる。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
自己学習課題：レポート作成

【評価】 観察記録(総括的評価)  
レポート(総括的評価)

第4回 【到達目標】 SBO：血圧を正確かつ速やかに測定・評価し、所見を正確に述べる。

〈内容〉：血圧計を用い、非観血的に血圧を測定・評価し、所見を述べる。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
自己学習課題：レポート作成

【評価】 観察記録(総括的評価)  
レポート(総括的評価)

第5回 【到達目標】 SBO：肘窩部静脈から正しく採血できる。

〈内容〉：採血・静注シミュレータを用い、静脈血の採血及び静脈注射を行う。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
自己学習課題：レポート作成

【評価】 観察記録(総括的評価)  
レポート(総括的評価)

第6回 【到達目標】 SBO：筋肉内に正しく注射できる。

〈内容〉：上腕筋肉注射シミュレーターを用い、筋肉注射を行う。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
自己学習課題：レポート作成

【評価】 観察記録(総括的評価)  
レポート(総括的評価)

第7回 【到達目標】 SBO：Basic Life Support(一次救命処置)を正しく実施する。

SBO：AED(自動体外式除細動器)を安全に使用できる。  
〈内容〉：BLSシミュレーターを用い、AEDを使用する。

【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
自己学習課題：レポート作成

【評価】 観察記録(総括的評価)  
レポート(総括的評価)

- 第8回** 【到達目標】 SBO：血糖値を正しく測定・評価し、所見を正確に述べる。  
 〈内容〉：自己血糖測定装置を用い、血糖値を測定・評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)
- 第9回** 【到達目標】 SBO：血圧脈波を正しく測定・評価し、所見を正確に述べる。  
 〈内容〉：血圧脈波検査装置を用い、脳心血管リスクを評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)
- 第10回** 【到達目標】 SBO：バイタルサインを正しく測定・評価し、所見を正確に述べる(1)。  
 〈内容〉：ベッドサイドモニターを用い、バイタルサインを測定・評価し、所見を述べる。  
 〈内容〉：パルスオキシメーターを用い、脈拍、動脈血酸素分圧を測定・評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)
- 第11回** 【到達目標】 SBO：バイタルサインを正しく測定・評価し、所見を正確に述べる(2)。  
 〈内容〉：ベッドサイドモニターを用い、バイタルサインを測定・評価し、所見を述べる。  
 〈内容〉：パルスオキシメーターを用い、脈拍、動脈血酸素分圧を測定・評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)
- 第12回** 【到達目標】 SBO：皮下に正しく注射できる。  
 〈内容〉：スキンパットを用い、皮下注射を行う。  
 SBO：神経機能を正しく測定・評価し、所見を正しく述べる。  
 〈内容〉：打鍵器、音叉、モノフィラメントを用い、アキレス腱反射、振動覚、痛覚を測定・評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)
- 第13回** 【到達目標】 SBO：バイタルサインを正しく測定・評価し、所見を正しく述べる(3)。  
 〈内容〉：シミュレーターを用い、脈拍、心音、呼吸音を聴診・評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)
- 第14回** 【到達目標】 SBO：バイタルサインを正しく測定・評価し、所見を正しく述べる(4)。  
 〈内容〉：シミュレーターを用い、脈拍、心音、呼吸音を聴診・評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)
- 第15回** 【到達目標】 SBO：呼吸機能を正しく測定・評価し、所見を正確に述べる。  
 〈内容〉：ピークフロー計及びスパイロメーターを用い呼吸機能を測定・評価し、所見を述べる。  
 【学習方法・自己学習課題】 学習方法：実習、教材：実習書  
 自己学習課題：レポート作成  
 【評価】 観察記録(総括的評価)  
 レポート(総括的評価)

**評価の時期・方法・基準**  
 実習には全て出席し、課題(レポート等)も全て提出していることを単位認定の必須要件とします。その上で、手技の修得に関する観察記録(50点)およびレポート(50点)を合わせ100点とし、60点以上を合格とします。

**教材等**  
 教科書…実習書  
 参考書…「内科学」朝倉書店、杉本恒明 他 編 (29,925円)、「医学大辞典」医学書院、伊藤正男 他 編 (18,900円)、「他」

**関連科目**  
 臨床医学概論、病態生化学、病態生理学、薬物治療学、他

**担当者の研究室等**  
 河野、辻、吉田：1号館3階(病態医学研究室)、山室：1号館3階(薬物治療学研究室)

**備考**

【共同担当者】 辻琢己、吉田侑矢、山室晶子、看護学部教員、外部講師、他  
 臨床実務実習では、コース：ヒューマニズムについて学ぶユニット(2)医療の担い手としてのこころ構え；SBO3「医療の担い手にふさわしい態度を示す。」も到達目標の一つとします。従って、学ぶ姿勢が良好ではない者については、30点を限度に減点することがあります。

E BM演習 Tutorial on Evidence-Based Medicine				
		首藤 誠 (シュトウ マコト)		
		中村 三孝 (ナカムラ ミツタカ)		
		米山 雅紀 (ヨネヤマ マサノリ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	前期	必修	1.5

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：本学独自の薬学専門教育 ユニット：未来型薬剤師  
 一般目標：社会保障審議会医療部会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議されている「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、技術、態度を身につける。  
 (5) E BM演習  
 一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけ、医療人としてE BM (evidence-based medicine) を実践するために、医療英語を理解するための知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回** 【到達目標】 課題医薬品に関する論文を検索できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 レポート
- 第2回** 【到達目標】 課題医薬品に関する適切な論文を選択できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 【評価】 レポート
- 第3回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第4回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第5回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第6回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第7回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第8回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第9回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第10回** 【到達目標】 処方せんの問題点を見出し、解決のためにエビデンスを検索する。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第11回** 【到達目標】 論文の内容を簡潔にまとめる  
 【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
 【評価】 レポート
- 第12回** 【到達目標】 処方せんの問題点の解決のために必要なエビデンスをまとめて発表する。  
 【学習方法・自己学習課題】 発表会  
 【評価】 観察記録
- 第13回** 【到達目標】 処方せんの問題点の解決のために必要なエビデンスをまとめて発表する。  
 【学習方法・自己学習課題】 発表会

【評価】 観察記録

評価の時期・方法・基準

受講・取り組み態度・確認試験（60点）、レポート・発表（40点）で評価。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…プリント  
参考書…なし

関連科目

英語、薬学英語、情報処理・統計学演習

担当者の研究室等

首藤：医療薬学研究室（6号館3階）  
中村：中村准教授室（1号館2階）  
米山、山口：薬理学研究室（1号館6階）

### クリニカルパス演習

Tutorial on Clinical Path

埴 由美子 (ハネ ユミコ)  
菊 田 真 穂 (キクタ マホ)  
小 森 浩 二 (コモリ コウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	前期	必修	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育 ユニット：未来型薬剤師  
一般目標：社会保障審議会医療部会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議されている「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、技術、態度を身につける。

（6）クリニカルパス演習  
一般目標：各種疾患に対して計画的かつ安定した医療に参画できるようにするために、検査・治療計画の標準化の必要性和クリニカルパス作成に対する薬剤師の関与を理解し、クリニカルパス作成に必要な基本的知識と技能を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 各種疾患に対する検査・治療計画の標準化を理解できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第2回 【到達目標】 クリニカルパス作成への薬剤師としての関与を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第3回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第4回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第5回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第6回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を説明できる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第7回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を簡潔にまとめる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第8回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を簡潔にまとめる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第9回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を簡潔にまとめる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第10回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を簡潔にまとめる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第11回 【到達目標】 クリニカルパスの内容を簡潔にまとめる。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク

【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第12回 【到達目標】 作成したクリニカルパスの内容を簡潔にプレゼンテーションする。

【学習方法・自己学習課題】 発表会

【評価】 観察記録（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第13回 【到達目標】 作成したクリニカルパスの内容を簡潔にプレゼンテーションする。

【学習方法・自己学習課題】 発表会

【評価】 観察記録（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

受講態度（50点）、レポート・発表（50点）で評価します。  
100点満点中60点以上で合格。

関連科目

プレファーマシー実習・講義、病院実務実習、病院薬学

担当者の研究室等

医療薬学研究室（6号館3階）

### 臨床研究立案演習

Tutorial on Clinical Research Planning

中 村 三 孝 (ナカムラ ミツタカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	前期	必修	1.5

コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育

ユニット：未来型薬剤師

（7）臨床研究立案演習

一般目標：信頼性の高いエビデンスを得るために実施される臨床開発研究を理解するため、臨床試験の基本的知識、実施方法、倫理的な考え方を修得する。

補足説明：科学的で適切な薬物治療を行うためには、医薬品の有効性や安全性、ならびに適正な使用方法に関する信頼できる臨床試験成績（エビデンス）が必要である。臨床試験の中核となる臨床試験実施計画書（プロトコル）の作成を行い、臨床試験の論理や倫理に関して、総合的な能力を身につける。さらに、将来、医薬品開発と生産に参画できるようにするために、医薬品開発の各プロセスについての基本的知識を修得し、併せてそれらを実施する上で求められる適切な態度を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 医薬品開発とそのプロセス  
臨床試験の目的

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第2回 【到達目標】 臨床試験実施の手続き

臨床試験の倫理性

【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第3回 【到達目標】 課題医薬品に関する情報を入手する。

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第4回 【到達目標】 課題医薬品に関する情報を入手する

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第5回 【到達目標】 課題医薬品に関する情報を整理する

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第6回 【到達目標】 課題医薬品に関する情報を整理する

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第7回 【到達目標】 実施計画書を立案する

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第8回 【到達目標】 実施計画書を立案する

【学習方法・自己学習課題】 グループワーク  
【評価】 レポート（総括的評価）  
受講態度（総括的評価）

第9回 【到達目標】 実施計画書を立案する

- 【学習方法・自己学習課題】** グループワーク  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 受講態度（総括的評価）
- 第10回 **【到達目標】** 実施計画書を立案する  
**【学習方法・自己学習課題】** グループワーク  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 受講態度（総括的評価）
- 第11回 **【到達目標】** 実施計画書を立案する  
**【学習方法・自己学習課題】** グループワーク  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
 受講態度（総括的評価）
- 第12回 **【到達目標】** 実施計画書の内容を簡潔にプレゼンテーションする  
**【学習方法・自己学習課題】** 発表会  
**【評価】** 観察記録（総括的評価）  
 受講態度（総括的評価）
- 第13回 **【到達目標】** 実施計画書の内容を簡潔にプレゼンテーションする  
**【学習方法・自己学習課題】** 発表会  
 確認試験  
**【評価】** 確認試験（総括的評価）  
 観察記録（総括的評価）  
 受講態度（総括的評価）
- 評価の時期・方法・基準**  
 受講態度・確認試験（50点）、レポート・発表（50点）で評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。

**関連科目**

臨床医学概論、薬物治療学、薬理学総論

**担当者の研究室等**

1号館2階（薬学教育研究室・Academic Support Center（枚方キャンパス））

**臨床薬学演習**  
 Tutorial on Clinical Pharmacy

河野 武 幸 (コウノ タケユキ)  
 前田 定 秋 (マエダ サダアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	前期	必修	4.5

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育 ユニット：未来型薬剤師  
 一般目標：社会保障審議会医療保険部会の「安心と希望の医療確保ビジョン」で討議された「医療職の役割分担と連携」において、6年制薬剤師に期待される「社会のニーズ」を具備した薬剤師になるために、薬剤師の新しいスキルに関する基本的知識、技術、態度を身につける。  
 (4) 臨床薬学演習 (C14 薬物治療、C15 薬物治療に役立つ情報、セルフメディケーション)  
 一般目標：(C14、C15) 疾病に伴う症状と臨床検査値の変化などの確かな患者情報を取得し、患者個々に応じた薬の選択、用法・用量の設定および各々の医薬品の「使用上の注意」を考慮した適正な薬物治療に参画できるようにするために、薬物治療に関する基本的知識と技能を修得する。  
 一般目標：(セルフメディケーション) 国民の未病・予防・健康維持に貢献できる薬剤師になるために、セルフメディケーションに関する基本的知識と技能を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 **【到達目標】** 1回～12回 セルフメディケーション演習（担当：吉田、小森、辻、安原、吉岡、石丸、西川、山本祐、河野、外部講師、他）  
 SBO：顧客の症状に応じて、適切なOTCを選択できる。  
 SBO：顧客のニーズに応じて、適切なサプリメント等を選択できる。  
 内容＞発熱、頭痛、胃痛等の軽微な症状に対するOTCの適切な選択、およびサプリメント等の薬局アイテムに関する小グループ討論を行う。受診勧告アセスメントに関するグループ討論も行う。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、小グループ討論、自己学習、ロールプレイ、発表会  
**【評価】** 成果物（発表用資料、レポート等）、観察記録（発表、質疑応答、ロールプレイ及びグループワークへの貢献度等）（総括的評価）
- 第2回 **【到達目標】** 13回～20回 カルテ読解演習（1）（担当：辻、吉岡、安原、石丸、吉田、前田、河野、他）  
 SBO：指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる（心臓疾患、腎臓疾患、呼吸器疾患等）。  
 SBO：薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。  
 SBO：得られた患者情報から医薬品の効果および副作用な

- どを評価し、対処法を提案する。  
 内容＞心臓疾患、腎臓疾患、呼吸器疾患等に関する患者情報を模擬電子カルテから読み取り、小グループ討論によって病因・病態、診断、治療経過を推考する。また、より適切な薬物治療計画を立案する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、小グループ討論、自己学習  
**【評価】** 成果物（レポート等）、観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）
- 第3回 **【到達目標】** 21回～28回 カルテ読解演習（2）（担当：吉岡、辻、安原、石丸、吉田、前田、河野、他）  
 SBO：指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる（精神疾患、免疫疾患、代謝疾患等）。  
 SBO：薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。  
 SBO：得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。  
 内容＞精神疾患、免疫疾患、代謝疾患等に関する患者情報を模擬電子カルテから読み取り、小グループ討論によって病因・病態、診断、治療経過を推考する。また、より適切な薬物治療計画を立案する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 小グループ討論、自己学習  
**【評価】** 成果物（レポート等）、観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）
- 第4回 **【到達目標】** 29回～36回 カルテ読解演習（3）（担当：辻、吉岡、安原、石丸、吉田、前田、河野、他）  
 SBO：指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬物治療法を考案することができる（感染症、緩和療法、がん化学療法等）。  
 SBO：薬物治療に必要な患者基本情報を列挙できる。  
 SBO：得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。  
 内容＞感染症、緩和療法、がん化学療法等に関する患者情報を模擬電子カルテから読み取り、小グループ討論によって病因・病態、診断、治療経過を推考する。また、より適切な薬物治療計画を立案する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 小グループ討論、自己学習  
**【評価】** 成果物（レポート等）、観察記録（グループワークへの貢献度等）（総括的評価）
- 第5回 **【到達目標】** 37回～42回 カルテ読解演習（4）（担当：吉岡、辻、小森、安原、石丸、吉田、前田、河野、外部講師、他）  
 取り上げた全症例について討議結果にかかわる全体発表会を行い、知識の共有化を図る。コメンテーターとして非常勤講師（医師）をお招きする。  
**【学習方法・自己学習課題】** 発表会  
**【評価】** 成果物（発表用資料等）、観察記録（発表、質疑応答及びグループワークへの貢献度）（総括的評価）
- 評価の時期・方法・基準**  
 演習には全て出席し、課題（レポート等）も全て提出していることを単位認定の必須要件とします。その上で、レポートや発表用資料等の成果物の評点と発表、質疑応答及びロールプレイ等での観察記録（以上60点）及びグループワークへの貢献度に関する観察記録（40点）をあわせ100点とし、60点以上を合格とします。
- 教材等**  
**参考書**…"「内科学」朝倉書店、杉本恒明 他 編 (29,925円)、「医学大辞典」医学書院、伊藤正男 他 編 (18,900円)、「治療薬マニュアル」医学書院 (5,250円)、他（購入済みの教科書）"
- 関連科目**  
 薬物治療学、病態生化学、病態生理学、感染症学、プレファーマシー講義、プレファーマシー実習、病院実務実習、薬局実務実習、他
- 担当者の研究室等**  
 河野、辻、吉田：1号館3階（病態医学研究室）、前田、吉岡、石丸：1号館3階（薬物治療学研究室）、小森：6号館3階（医療薬学研究室）、安原、西川、山本祐：1号館2階（薬学教育研究室）、他
- 備考**  
**【共同担当者】** 吉岡靖啓、小森浩二、安原智久、辻琢己、吉田侑矢、石丸侑希、西川智絵、山本祐実、外部講師、他  
 臨床薬学演習では、コース：ヒューマニズムについて学ぶ ユニット（2）医療の担い手としてのこころ構え；SBO3「医療の担い手にふさわしい態度を示す。」も到達目標の一つとします。従って、学ぶ姿勢が良好ではない者については、30点を上限に減点することがあります。

**総合薬学演習**

Integrated Pharmaceutical Semina

荻田 喜代一 (オギタ キヨカス)

河野 武幸 (コウノ タケユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
6	A B C D E F	後期	必修	3

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育

一般目標：卒業研究とは別に後期に配当されている演習科目で、薬剤師となるための基礎から実践までの知識・技能・態度及び問題解決能力を総合的に身につけるために、6年間の薬学専門科目を横断的に学習する。

**到達目標**

薬学に係る専門的知識・技能・態度を統合的に振り返ることで、薬剤師に必須な資質を定着させる。

**学習方法・自己学習課題**

授業とその復習を中心に学習する。  
問題集を用いて自己学習すること。

**評価**

定期試験、臨時試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

定期試験及び臨時試験で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格とします。ただし、修学状況（出席、受講態度）が悪い場合、減点することがあります。

**教材等**

教科書…別途案内  
参考書…なし

**関連科目**

薬学専門科目全般

**担当者の研究室等**

講師以上の教員が担当します（予定）。

**備考**

授業時間割、臨時試験、定期試験等については、説明会等で別途案内する予定ですので、掲示板等に注意して下さい。

**特別研究I**

Graduation Research I

荻田 喜代一 (オギタ キヨカス)

河野 武幸 (コウノ タケユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
5	A B C D E F	通年	必修	6

**コース・ユニット・一般目標**

コース：E 卒業実習教育【問題解決能力の醸成】

E1 総合薬学研究（一般目標：薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、研究課題を通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得し、それを生涯にわたって高め続ける態度を養う）

（1）研究活動に求められる態度（一般目標：将来、研究活動に参画できるようになるために、必要な基本的理念および態度を修得する）

（2）研究活動を学ぶ（一般目標：将来、研究を自ら実施できるようになるために、研究課題の達成までの研究プロセスを体験し、研究活動に必要な基本的知識、技能、態度を修得する）

（3）未知との遭遇（一般目標：研究活動を通して、創造の喜びと新しいことを発見する研究の醍醐味を知り、感動する）

E2 総合薬学演習（新しい医薬品が社会のニーズに応え、医療の発展にいかに関与しているかを理解するために、代表的な疾患あるいは画期的な現代医薬品を取り上げて調査し、考察する。その過程を通して医薬品を多面的に評価する能力を身につける。）

**到達目標**

（1）研究活動に求められる態度

1. 課題を理解し、その達成に向けて積極的に取り組む。（態度）
2. 問題点を自ら進んで解決しようと努力する。（態度）
3. 課題の達成を目指して論理的思考を行い、生涯にわたって醸成する。（態度）
4. 課題達成のために、他者の意見を理解し、討論する能力を醸成する。（態度）
5. 研究活動に関わる諸規則を遵守し、倫理に配慮して研究に取り組む。（態度）
6. 環境に配慮して、研究に取り組む。（態度）
7. チームの一員としてのルールやマナーを守る。（態度）

（2）研究活動を学ぶ

1. 課題に関連するこれまでの研究成果を調査し、評価できる。（知識・技能）

2. 課題に関連するこれまでの発表論文を読解できる。
3. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出できる。（技能）
4. 実験計画を立案できる。（知識・技能）
5. 実験系を組み、実験を実施できる。（技能）
6. 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、管理する。（技能・態度）
7. 研究活動中に生じたトラブルを指導者に報告する。（態度）
8. 研究の各プロセスを正確に記録する。（技能・態度）
9. 研究の結果をまとめることができる。（技能）
10. 研究の結果を考察し、評価できる。（技能）
11. 研究の成果を発表し、適切に質疑応答ができる。（技能・態度）
12. 研究の成果を報告書や論文としてまとめることができる。（技能）
13. 自らの研究成果に基づいて、次の研究課題を提案する。（知識・技能）

（3）未知との遭遇

1. 研究課題を通して、現象を的確に捉える観察眼を養う。（知識・技能・態度）
2. 新規な課題に常にチャレンジする研究者としての創造的精神を醸成する。（態度）
3. 科学の発展におけるセレンディピティについて説明できる。（知識・態度）

**学習方法・自己学習課題**

医療機関での研究  
研究室等での研究

**評価**

観察記録  
卒業研究論文  
レポート

**評価の時期・方法・基準**

卒業研究への取り組み態度＜発表含む＞（50%）、卒業研究論文・レポート（50%）  
60%以上で合格

**教材等**

教科書…なし  
参考書…なし

**関連科目**

全薬学専門科目

**担当者の研究室等**

全研究室、教育担当

**特別研究II**

Graduation Research II

荻田 喜代一 (オギタ キヨカス)

河野 武幸 (コウノ タケユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
6	A B C D E F	通年	必修	6

**コース・ユニット・一般目標**

コース：E 卒業実習教育【問題解決能力の醸成】

E1 総合薬学研究（一般目標：薬学の知識を総合的に理解し、医療社会に貢献するために、研究課題を通して、新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題点を解決する能力を修得し、それを生涯にわたって高め続ける態度を養う）

（1）研究活動に求められる態度（一般目標：将来、研究活動に参画できるようになるために、必要な基本的理念および態度を修得する）

（2）研究活動を学ぶ（一般目標：将来、研究を自ら実施できるようになるために、研究課題の達成までの研究プロセスを体験し、研究活動に必要な基本的知識、技能、態度を修得する）

（3）未知との遭遇（一般目標：研究活動を通して、創造の喜びと新しいことを発見する研究の醍醐味を知り、感動する）

E2 総合薬学演習（新しい医薬品が社会のニーズに応え、医療の発展にいかに関与しているかを理解するために、代表的な疾患あるいは画期的な現代医薬品を取り上げて調査し、考察する。その過程を通して医薬品を多面的に評価する能力を身につける。）

**到達目標**

（1）研究活動に求められる態度

1. 課題を理解し、その達成に向けて積極的に取り組む。（態度）
2. 問題点を自ら進んで解決しようと努力する。（態度）
3. 課題の達成を目指して論理的思考を行い、生涯にわたって醸成する。（態度）
4. 課題達成のために、他者の意見を理解し、討論する能力を醸成する。（態度）
5. 研究活動に関わる諸規則を遵守し、倫理に配慮して研究に取り組む。（態度）
6. 環境に配慮して、研究に取り組む。（態度）
7. チームの一員としてのルールやマナーを守る。（態度）

(2) 研究活動を学ぶ

1. 課題に関連するこれまでの研究成果を調査し、評価できる。(知識・技能)
2. 課題に関連するこれまでの発表論文を読解できる。
3. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出できる。(技能)
4. 実験計画を立案できる。(知識・技能)
5. 実験系を組み、実験を実施できる。(技能)
6. 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、管理する。(技能・態度)
7. 研究活動中に生じたトラブルを指導者に報告する。(態度)
8. 研究の各プロセスを正確に記録する。(技能・態度)
9. 研究の結果をまとめることができる。(技能)
10. 研究の結果を考察し、評価できる。(技能)
11. 研究の成果を発表し、適切に質疑応答ができる。(技能・態度)
12. 研究の成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)
13. 自らの研究成果に基づいて、次の研究課題を提案する。(知識・技能)

(3) 未知との遭遇

1. 研究課題を通して、現象を的確に捉える観察眼を養う。(知識・技能・態度)
2. 新規な課題に常にチャレンジする研究者としての創造的精神を醸成する。(態度)
3. 科学の発展におけるセレンディピティについて説明できる。(知識・態度)

**学習方法・自己学習課題**

医療機関での研究  
研究室等での研究

**評価**

観察記録  
卒業研究論文  
レポート

**評価の時期・方法・基準**

卒業研究への取り組み態度 (50%)、卒業研究論文・レポート (50%)  
60%以上で合格

**教材等**

教科書…なし  
参考書…なし

**関連科目**

全薬学専門科目

**担当者の研究室等**

全研究室、教育担当



英語Ia (Aクラス)  
English Ia

箕田正開(ミタ マサル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC Bridgeで140点以上を狙える力を身につける。)  
 ・本授業では、実社会で注目されているTOEICの対策テキストを使用して、英語の総合力を高めることを目指す。  
 ・2回の授業でテキスト1章のペースで進める。  
 ・又、プリントを配布して、リスニング、読解、語彙などの様々な練習問題を行う。  
 ・予定する授業内容は授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Unit 1: Transportation and Information (交通と情報案内)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第2回 【到達目標】 Unit 1: Transportation and Information (交通と情報案内)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第3回 【到達目標】 Unit 2: Instructions and Explanations (指示と説明)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第4回 【到達目標】 Unit 2: Instructions and Explanations (指示と説明)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第5回 【到達目標】 Unit 3: Eating and Drinking (飲食)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第6回 【到達目標】 Unit 3: Eating and Drinking (飲食)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第7回 【到達目標】 Unit 4: Buisness Scene (ビジネス)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第8回 【到達目標】 Unit 4: Buisness Scene (ビジネス)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第9回 【到達目標】 Unit 5: Communication (通信)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第10回 【到達目標】 Unit 5: Communication (通信)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第11回 【到達目標】 Unit 6: Socializing (社交)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第12回 【到達目標】 Unit 6: Socializing (社交)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第13回 【到達目標】 Unit 7: Invitation (招待・案内)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第14回 【到達目標】 Unit 7: Invitation (招待・案内)  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験

- 第15回 【到達目標】 総復習  
 【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験

評価の時期・方法・基準

TOEIC Bridge (20%)、平常点(毎回の提出物を採点したもの(単語テスト(Level 1) (10%)を含む)) (40%)、定期試験 (40%)で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…Start-up Course for the TOEIC Test 成美堂、2000円  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円  
 参考書…特になし

関連科目

英語 I

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

英語Ia (Bクラス)

English Ia

村木美紀子(ムラキ ミキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC Bridgeで140点以上を狙える力を身につける。)  
 【読む】: 優しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)  
 【書く】: 短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)  
 【聞く・話す】: 英語の基本的音声聞き分けができる。(知識・技能)  
 ・本授業では教科書に加え、実社会から得られる資料を利用して、実践的な英語能力の習得を目指す。  
 ・予定する授業内容は授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Unit 1 Listening  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第3回 【到達目標】 Unit 6 Reading  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第4回 【到達目標】 Unit 2 Listening  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第5回 【到達目標】 Unit 7 Reading  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第6回 【到達目標】 Unit 3 Listening  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第7回 【到達目標】 Unit 8 Reading  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第8回 【到達目標】 Unit 4 Listening  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第9回 【到達目標】 Unit 9 Reading  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第10回 【到達目標】 Unit 5 Listening  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第11回 【到達目標】 総合復習 (listening/reading)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第12回 【到達目標】 総合復習 (listening/reading)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

- 第13回 **【到達目標】** 総合復習 (listening/reading)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第14回 **【到達目標】** 総合復習 (listening/reading)  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第15回 **【到達目標】** 総合復習 (listening/reading)・定期試験対策  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 提出物、クラス演習、単語テスト
- 評価の時期・方法・基準**  
 TOEIC Bridge (20%)、単語テスト (Level 1) (10%)、定期試験 (20%)、クラス演習・提出物 (50%) で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
**教科書**…TOEIC Bridge 公式ワークブック 国際ビジネスコミュニケーション協会 1575円  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円  
**参考書**…特になし
- 関連科目**  
 なし
- 担当者の研究室等**  
 1号館2階 (非常勤講師室)
- 備考**  
 辞書必携。

英語Ia (Cクラス) English Ia				
ダンカン マイルズ ホワイト				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	選択	1

- コース・ユニット・一般目標**  
 コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
**【読む】、【書く】、【聞く・話す】** (TOEIC Bridgeで140点以上を狙える力を身につける。)  
 TOEIC Bridge, vocabulary, comprehension
- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第2回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第3回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第4回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第5回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第6回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.

- 【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第7回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第8回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第9回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第10回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第11回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第12回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第13回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第14回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第15回 **【到達目標】** TOEIC Bridge proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based practice for listening, reading, comprehension  
**【評価】** Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 評価の時期・方法・基準**  
 Class tasks, quizzes, mini-tests 45% Final exam 25% TOEIC Bridge 20%, Vocabulary (Level 1) 10%  
 100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
**教科書**…SCD Revised, Richard Rowat, Weissman Press, ISBN: 978-4-9905671-1-8  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円  
**参考書**…特になし
- 関連科目**  
 なし
- 担当者の研究室等**  
 1号館2階 非常勤講師室
- 備考**  
 All students must attend every class.

英語Ia (Dクラス)  
English Ia

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC Bridgeで140点以上を狙える力を身につける。  
 ・本授業では、実社会で注目されているTOEICの対策テキストを使用して、英語の総合力を高めることを目指す。  
 ・毎回の授業でテキスト1章のペースで進める。  
 ・又、プリントを配布して、読解、語彙などの様々な練習問題を行う。  
 ・予定する授業内容は授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Orientation  
 TOEIC Bridge 説明  
 Unit 1  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第2回 【到達目標】 Vocabulary quiz 1  
 Unit 2  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第3回 【到達目標】 Vocabulary quiz 2  
 Unit 3  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第4回 【到達目標】 V. quiz 3  
 Unit 4  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第5回 【到達目標】 V. quiz 4  
 Unit 5  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第6回 【到達目標】 V. quiz 5  
 Unit 6  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第7回 【到達目標】 V. quiz 6  
 Unit 7  
 Review quiz  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第8回 【到達目標】 V. quiz 7  
 Unit 8  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第9回 【到達目標】 V. quiz 8  
 Unit 9  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第10回 【到達目標】 V. quiz 9  
 Unit 10  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第11回 【到達目標】 V. quiz 10  
 Unit 11  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第12回 【到達目標】 V. quiz 11  
 Unit 12  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"

【評価】 小テスト、提出物、定期試験

- 第13回 【到達目標】 V. quiz 12  
 Unit 13  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第14回 【到達目標】 V. quiz 13  
 Unit 14  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第15回 【到達目標】 V. quiz 14  
 Unit 15  
 Preparation for Final Exam.  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験

評価の時期・方法・基準

TOEIC Bridge (20%)、単語テスト (Level 1) (10%)、小テスト等の提出物 (30%)、定期試験 (40%) で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…TOEIC Bridge: Training Tips (南雲堂)  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円  
 参考書…授業内で必要に応じて紹介します。

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

辞書必携

英語Ia (Eクラス)  
English Ia

米田 繭子 (ヨネダ マユコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC Bridgeで140点以上を狙える力を身につける。  
 【読む】：優しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)  
 【書く】：短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)  
 【聞く・話す】：英語の基本的音声聞き分けができる。(知識・技能)  
 ・1回の授業につき1ユニット進む。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Unit 1  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (1) pp.2-7  
 小テスト  
 演習発表
- 第3回 【到達目標】 Unit 2  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (2) pp.8-13  
 小テスト  
 演習発表
- 第4回 【到達目標】 Unit 3  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (3) pp.14-19  
 小テスト  
 演習発表
- 第5回 【到達目標】 Unit 4  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (4) pp.20-25  
 小テスト  
 演習発表
- 第6回 【到達目標】 Unit 5  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (5) pp.26-31  
 小テスト

- 演習発表
- 第7回 **【到達目標】** Unit 6  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (6) pp.32-37  
 小テスト  
 演習発表
- 第8回 **【到達目標】** Unit 7  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (7) pp.38-43  
 小テスト  
 演習発表
- 第9回 **【到達目標】** Unit 8  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (8) pp.44-49  
 小テスト  
 演習発表
- 第10回 **【到達目標】** Unit 9  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (9) pp.50-55  
 小テスト  
 演習発表
- 第11回 **【到達目標】** Unit 10  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (10) pp.56-61  
 小テスト  
 演習発表
- 第12回 **【到達目標】** Unit 11  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (11) pp.62-67  
 小テスト  
 演習発表
- 第13回 **【到達目標】** Unit 12  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (12) pp.68-73  
 小テスト  
 演習発表
- 第14回 **【到達目標】** Unit 13  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (13) pp.74-79  
 小テスト  
 演習発表
- 第15回 **【到達目標】** Unit 14  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (14) pp.80-87  
 小テスト  
 演習発表

**評価の時期・方法・基準**

TOEIC Bridgeテスト (20%)、単語テスト (Level 1) (10%)、小テスト (10%)、授業態度 (20%)、定期試験 (40%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…Yuri Wada・Michele R. Steele (著) TOEIC Bridge: First Step to Success 「TOEIC Bridgeから学ぶ実用英語の基礎」 南雲堂 (1,900+税)  
 西谷恒志 (著) The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**

辞書必携。  
 出席日数は平常点としない。  
 予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

**英語Ia (Fクラス)**

English Ia				
岩永道子 (イワナガ ミチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
**【読む】、【書く】、【聞く・話す】** (TOEIC Bridgeで140点以上を狙える力を身につける。)  
 ・テキストはTOEICの問題集を使用する。

- ・Part1~Part7までの問題例を含む一つのユニットを2回の授業で進む。
- ・文法の復習は適宜プリント教材にて行う。
- ・なお、TOEICの問題集のテキストとは別に、自然科学の話題である英文教材を適宜配布し、読解と問題演習を行う。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 **【到達目標】** 授業方針の説明と テキスト Unit 1前半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第2回 **【到達目標】** Unit 1 後半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第3回 **【到達目標】** Unit 2 前半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第4回 **【到達目標】** Unit 2 後半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第5回 **【到達目標】** プリント教材によるリーディング演習  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第6回 **【到達目標】** Unit 3 前半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第7回 **【到達目標】** Unit 3 後半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第8回 **【到達目標】** Unit 4 前半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第9回 **【到達目標】** Unit 4 後半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第10回 **【到達目標】** プリント教材によるリーディング演習  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第11回 **【到達目標】** Unit 5 前半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第12回 **【到達目標】** Unit 5 後半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第13回 **【到達目標】** Unit 6 前半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第14回 **【到達目標】** プリント教材によるリーディング演習  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第15回 **【到達目標】** Unit 6 後半  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 演習発表

**評価の時期・方法・基準**

定期試験 (60%)、TOEIC Bridge (20%)、授業内での単語のテスト (Level 1) (10%)、課題・発表点 (10%) で評価する。出席は評価の中には入らないが、全授業回数の半分以上出席していることが評価の最低条件である。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…Welcome to the TOEIC Test, Yoshio Kitahara, Asahi Press, 1800円  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円  
 参考書…特になし

**関連科目**

日本で発行されている科学雑誌

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**英語Ib (Aクラス)**  
English I

岩永道子 (イワナガ ミチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける)。  
 ・テキストは、科学技術に焦点をあて最新のテーマを取り上げた読解用のものを使用する。  
 ・22章ある本文のうち10章を選んで毎回1章分を演習し、あとの5回の授業では、TOEICの問題のプリント教材を用いて演習を行う。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 授業方針の説明と テキスト Unit 1 The Origin of Life on Earth  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第2回 【到達目標】 Unit 2 Fossils  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第3回 【到達目標】 Unit 3 The Diversity of Life  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第4回 【到達目標】 プリント教材にて TOEIC の問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第5回 【到達目標】 Unit 4 Endangered and Extinct Species  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第6回 【到達目標】 Unit 5 Ancient DNA  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第7回 【到達目標】 Unit 6 Little People  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第8回 【到達目標】 プリント教材による TOEIC 問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第9回 【到達目標】 Unit 7 Waste Disposal  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第10回 【到達目標】 Unit 8 The Biggest Challenge  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第11回 【到達目標】 Unit 9 Stem Cells  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第12回 【到達目標】 プリント教材による TOEIC 問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第13回 【到達目標】 Unit 10 Malaria  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第14回 【到達目標】 Unit 11 Superconductivity  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第15回 【到達目標】 プリント教材による TOEIC 問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表

評価の時期・方法・基準

定期試験 (70%)、単語の単語テスト (Level 2) (20%)、課題・発表点 (10%) で総合的に評価する。出席は評価の中には入らないが、全授業回数数の半分以上出席していることが評価の最低条件である。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…Our Unique Planet, IAN BOWRING, RUTH URBOM  
 著 成美堂 ¥1800

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

参考書…特になし

**関連科目**

日本で発行されている科学雑誌

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

基礎科目

**英語Ib (Bクラス)**  
English I

米田 繭子 (ヨネダ マユコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける)。  
 【読む】：易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)  
 【書く】：短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)  
 【聞く・話す】：英語の基礎的音声聞き分けができる。(知識・技能)  
 「テキストは、環境と健康に関する7分野の話題を取り上げたものである。この授業では、英文を丁寧に読み進めていくことで読解力を高め、各章に用意されている確認問題を使って内容理解の力を養う。さらに、リスニングの練習問題を活用することによって、聴解力の向上を図る。」

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Unit 1: A Good Night's Sleep: How Sleep Improves Learning「よく寝てよく学べ」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (1) : pp.90-95  
 小テスト  
 演習発表
- 第3回 【到達目標】 Unit 1: A Good Night's Sleep: How Sleep Improves Learning「よく寝てよく学べ」  
 Unit 2: Walking Your Way to Better Health「散歩は健康の第一歩」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (2) : pp.96-101  
 小テスト  
 演習発表
- 第4回 【到達目標】 Unit 2: Walking Your Way to Better Health「散歩は健康の第一歩」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (3) : pp.102-107  
 小テスト  
 演習発表
- 第5回 【到達目標】 Unit 3: An Unhealthy Choice: Smoking「喫煙は不健康な選択」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (4) : pp.108-113  
 小テスト  
 演習発表
- 第6回 【到達目標】 Unit 3: An Unhealthy Choice: Smoking「喫煙は不健康な選択」  
 Unit 4: I'm Stressed Out! Stress and Illness「ストレスは病気のもと」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (5) : pp.114-119  
 小テスト  
 演習発表
- 第7回 【到達目標】 Unit 4: I'm Stressed Out! Stress and Illness「ストレスは病気のもと」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (6) : pp.120-123

小テスト  
演習発表

第8回 【到達目標】 Unit 5: Hahhhhhchu! Allergies 「もういや! アレルギーよ!、さらば」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (7) : pp.124-127

小テスト  
演習発表

第9回 【到達目標】 Unit 5: Hahhhhhchu! Allergies 「もういや! アレルギーよ!、さらば」  
Unit 6: Preventing Cancer: Knowing the Warning Signs 「がんの徴候を見逃すな」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (8) : pp.128-131

小テスト  
演習発表

第10回 【到達目標】 Unit 6: Preventing Cancer: Knowing the Warning Signs 「がんの徴候を見逃すな」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (9) : pp.132-135

小テスト  
演習発表

第11回 【到達目標】 Unit 7: Is a Little Alcohol Healthy? 「酒は百薬の長って本当だった?」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (10) : pp.136-139

小テスト  
演習発表

第12回 【到達目標】 Unit 7: Is a Little Alcohol Healthy? 「酒は百薬の長って本当だった?」

Unit 8: Playing Mother Nature: Genetically Engineering Crops 「自然の摂理はどうなる? 遺伝子組み換え作物」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (11) : pp.140-143

小テスト  
演習発表

第13回 【到達目標】 Unit 8: Playing Mother Nature: Genetically Engineering Crops 「自然の摂理はどうなる? 遺伝子組み換え作物」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (12) : pp.144-147

小テスト  
演習発表

第14回 【到達目標】 Unit 9: What's Really in My Food? Organic Food Labeling 「この中に何が入っているの? 変わる有機食品表示」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (13) : pp.148-151

小テスト  
演習発表

第15回 【到達目標】 Unit 9: What's Really in My Food? Organic Food Labeling 「この中に何が入っているの? 変わる有機食品表示」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 単語テスト (14) : pp.152-155

小テスト  
演習発表

評価の時期・方法・基準

単語テスト (Level 2) (20%)、小テスト (20%)、授業態度 (20%)、定期試験 (40%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…小林 敏彦、Shawn M. Clankie (著) The Earth and Our Health 「私たちの地球と健康」 成美堂 (1,800円+税)  
西谷 恒志 (著) The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

参考書…なし

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

辞書必携。  
出席日数は平常点としない。  
予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

英語Ib (Cクラス)

English I

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース : (F) 薬学準備教育

ユニット : (2) 薬学英语入門

一般目標 : 薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)

・科学記事を想定して書かれたテキストを使用します。

・「環境、健康、宇宙、科学技術」など、幅広い分野にわたっての科学英語習得を目指します。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Orientation  
Unit 1  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第2回 【到達目標】 Vocabulary quiz 1  
Unit 2  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第3回 【到達目標】 Vocabulary quiz 2  
Unit 3  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第4回 【到達目標】 V. quiz 3  
Unit 4  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第5回 【到達目標】 V. quiz 4  
Review 1~4  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第6回 【到達目標】 V. quiz 5  
Unit 5  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第7回 【到達目標】 V. quiz 6  
Unit 6  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第8回 【到達目標】 V. quiz 7  
Unit 7  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第9回 【到達目標】 V. quiz 8  
Unit 8  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第10回 【到達目標】 V. quiz 9  
Review 5~8  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第11回 【到達目標】 V. quiz 10  
Unit 9  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第12回 【到達目標】 V. quiz 11  
Unit 10  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第13回 【到達目標】 V. quiz 12  
Unit 11  
【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
【評価】 小テスト、提出物、

- 定期試験  
**第14回** 【到達目標】 V. quiz 13  
 Unit 12  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、  
 定期試験  
**第15回** 【到達目標】 V. quiz 14  
 Review and Preparation for Final Exam.  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、  
 定期試験

**評価の時期・方法・基準**

単語テスト (Level 2) (20%)、小テスト等の提出物 (30%)、定期試験 (50%) で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

**教科書**…Science Insight 科学の今を探る (成美堂)  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

**参考書**…授業内で必要に応じて紹介します。

**関連科目**

英語全般

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

辞書必携

英語Ib (Dクラス) English I				
村木 美紀子 (ムラキ ミキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)  
 (講義概要) 近年話題の幹細胞研究の変遷に関する話題を中心として、医薬品の開発の現状と課題、今後発展する新しい医療について取り上げる。その中から、製薬企業や医療業界で就業する際に必要となる実践的な英語コミュニケーション能力や語彙形成を目指す。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について  
 【学習方法・自己学習課題】 1. A Tale of Two Fathers (p1-10)  
**第2回** 【到達目標】 1. A Tale of Two Fathers (p1-10)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第3回** 【到達目標】 2. It Began with Dolly (P11-34)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第4回** 【到達目標】 2. It Began with Dolly (P11-34)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第5回** 【到達目標】 3. Politics Intrudes (p35-56)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第6回** 【到達目標】 3. Politics Intrudes (p35-56)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第7回** 【到達目標】 4. From Mouse to Man (p57-86)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第8回** 【到達目標】 4. From Mouse to Man (p57-86)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第9回** 【到達目標】 5. A President, a Policy, and a Predicament (p86-108)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第10回** 【到達目標】 5. A President, a Policy, and a Predicament (p86-108)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第11回** 【到達目標】 6. Fighting Back (p109-134)

- 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第12回** 【到達目標】 6. Fighting Back (p109-134)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第13回** 【到達目標】 7. California Dreamin' (p135-160)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第14回** 【到達目標】 7. California Dreamin' (p135-160)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
**第15回** 【到達目標】 復習・まとめ  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

**評価の時期・方法・基準**

単語テスト (Level 2) (20%)、定期試験 (20%)、クラス演習・提出物 (60%) で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

**教科書**…The Stem Cell Hope, Alice Park, Penguin Group (ISBN 9780452297968)  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

**参考書**…なし

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**

辞書必携。

英語Ib (Eクラス) English I				
ダンカン マイルズ ホワイト				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)  
 To identify, practise and comprehend functional patterns and structures within authentic cultural communicative contexts

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 Introduction, lists and categories  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
 【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes  
**第2回** 【到達目標】 Adding extra information in writing, creating appropriate questions in conversation and discussion.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
 【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes  
**第3回** 【到達目標】 Order of importance, initial comparison in reading, writing, conversation.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
 【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes  
**第4回** 【到達目標】 Habits and routines by self-reflection and observation.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
 【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes  
**第5回** 【到達目標】 Considering the future via probability and speculation.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
 【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes  
**第6回** 【到達目標】 Instructions as a process  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with

- listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第7回** **【到達目標】** Instructions in various formats  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第8回** **【到達目標】** Position and relative location: spatial description  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第9回** **【到達目標】** Giving directions solely via language  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第10回** **【到達目標】** Past tense in diaries, making speculative questions  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第11回** **【到達目標】** Simple story formats and structures in reading, writing, speech  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第12回** **【到達目標】** Multi-sensory description  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第13回** **【到達目標】** Conversation patterns, gambits and strategies  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第14回** **【到達目標】** Expanded stories and questions combining conversation, description, action and speculation.  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第15回** **【到達目標】** Functional patterns and phrases of advice  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes

**評価の時期・方法・基準**

In-class tasks, quizzes, mini-tests 55%, Final exam 25%, Vocabulary (Level 2) 20%  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…SCD Revised, Richard Rowat, Weissman Press, ISBN: 978-4-9905671-1-8

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

参考書…特になし

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

All students must attend every class.

**【読む】、【書く】、【聞く・話す】** (英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)  
 (講義概要)薬に関する基礎知識や病気の治療のための医薬品の特徴と開発の歴史、そして副作用の問題、薬剤師の役割などについて書かれた文章を読む。構文は単純であるが、語彙にはやや見慣れないものがあるかもしれない。その後、内容理解、リスニング、語彙形成などの練習問題(教科書付属のもの以外も含む)を行う。特に医学用語の習得に重点を置く。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** **【到達目標】** Unit 1: Receptors as Drug Targets  
**【学習方法・自己学習課題】** 授業方針の説明、演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第2回** **【到達目標】** Unit 1: Receptors as Drug Targets  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第3回** **【到達目標】** Unit 2: Routes of Drug Administration  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第4回** **【到達目標】** Unit 2: Routes of Drug Administration  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第5回** **【到達目標】** Unit 3: Drug Development and Approval  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第6回** **【到達目標】** Unit 3: Drug Development and Approval  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第7回** **【到達目標】** Unit 4: What is Kampo?  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第8回** **【到達目標】** Unit 4: What is Kampo?  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第9回** **【到達目標】** Unit 5: Helicobacter pylori and the New Drugs for Peptic Ulcers  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第10回** **【到達目標】** Unit 5: Helicobacter pylori and the New Drugs for Peptic Ulcers  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第11回** **【到達目標】** Unit 6: Heart Disease: Nitroglycerin as a Cardiovascular Drug  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第12回** **【到達目標】** Unit 6: Heart Disease: Nitroglycerin as a Cardiovascular Drug  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第13回** **【到達目標】** Unit 7: Respiratory Disease: The Renewed Threat of Tuberculosis  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第14回** **【到達目標】** Unit 7: Respiratory Disease: The Renewed Threat of Tuberculosis  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第15回** **【到達目標】** 復習・まとめ  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物

**評価の時期・方法・基準**

平常点(毎回の提出物を採点したもの(単語テスト(Level 2)(20%)を含む))(50%)、定期試験(50%)で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Wonders of Medicine 南雲堂 1700円  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

**英語Ib (Fクラス)**

English I

箕田 正 開 (ミタ マサハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F)薬学準備教育

ユニット：(2)薬学英语入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

参考書…必要に応じて授業中に紹介する。

関連科目

英語 I-a

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

英語Ic (Aクラス)

English Ic

箕田 正 開 (ミタ マサル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く】、【話す】(TOEIC SPでランクC (470～725点)を狙うための基礎力を身につける。)

・本授業では、実社会で注目されているTOEICの対策テキストを使用して、英語の総合力を高めることを目指す。

・2回の授業でテキスト1章のペースを進める。

・又、プリントを配布して、リスニング、読解、語彙などの様々な練習問題を行う。

・予定する授業内容は授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 Unit 8: Medical Treatment and Insurance (医療・保険)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第2回 【到達目標】 Unit 8: Medical Treatment and Insurance (医療・保険)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第3回 【到達目標】 Unit 9: Culture and Entertainment (文化・娯楽)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第4回 【到達目標】 Unit 9: Culture and Entertainment (文化・娯楽)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第5回 【到達目標】 Unit 10: Shopping (買い物)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第6回 【到達目標】 Unit 10: Shopping (買い物)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第7回 【到達目標】 Unit 11: Sports and Exercise (運動・フィットネス)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第8回 【到達目標】 Unit 11: Sports and Exercise (運動・フィットネス)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第9回 【到達目標】 Unit 12: Trouble and Claims (トラブル・申請)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第10回 【到達目標】 Unit 12: Trouble and Claims (トラブル・申請)

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第11回 【到達目標】 Unit 13: Extra Test 1

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第12回 【到達目標】 Unit 13: Extra Test 1

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第13回 【到達目標】 Unit 14: Extra Test 2

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第14回 【到達目標】 Unit 14: Extra Test 2

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

第15回 【到達目標】 総復習

【学習方法・自己学習課題】 Listening, Grammar, Reading

【評価】 小テスト、提出物、

定期試験

評価の時期・方法・基準

TOEIC IP (20%)、平常点 (毎回の提出物を採点したもの (単語テスト (Level 3) (10%)を含む)) (40%)、定期試験 (40%)で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…Start-up Course for the TOEIC Test 成美堂 (2000円)

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円

参考書…特になし

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

英語Ic (Bクラス)

English Ic

村木 美紀子 (ムラキ ミキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く】、【話す】(TOEIC SPでランクC (470～725点)を狙うための基礎力を身につける。)

【読む】：優しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)

【書く】：短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)

【聞く・話す】：英語の基本的音声聞き分けができる。(知識・技能)

・本授業では教科書に加え、実社会から得られる資料を利用して、実践的な英語能力の習得を目指す。

・予定する授業内容は授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 オリエンテーション

授業の概要説明と評価方法について

第2回 【到達目標】 Lesson 1, 2

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第3回 【到達目標】 Lesson 3, 4

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第4回 【到達目標】 Lesson 5, 6

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第5回 【到達目標】 Lesson 7, 8

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第6回 【到達目標】 Lesson 9, 10

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第7回 【到達目標】 Lesson 11, 12

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第8回 【到達目標】 Lesson 13, 14

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第9回 【到達目標】 Lesson 15, 16

【学習方法・自己学習課題】 講義・演習

【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

第10回 【到達目標】 Lesson 17, 18

- 第11回 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト  
 【到達目標】 Lesson 19, 20  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第12回 【到達目標】 Lesson 21, 22  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第13回 【到達目標】 Lesson 23, 24  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第14回 【到達目標】 総合復習 (listening/reading)  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第15回 【到達目標】 総合復習 (listening/reading) ・定期試験対策  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

**評価の時期・方法・基準**

TOEIC IP (20%)、単語テスト (Level 3) (10%)、定期試験 (20%)、クラス演習・提出物 (50%) で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…新TOEICテスト・ナビゲーター「Navigator for the TOEIC Test Newly Updated Edition」南雲堂、1890円  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円

参考書…なし

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**

辞書必携。

英語Ic (Cクラス) English Ic				
ダンカン マイルズ ホワイト				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SPでランクC (470～725点) を狙うための基礎力を身につける。)  
 ・ TOEIC, vocabulary, comprehension

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第2回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第3回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第4回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第5回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score

- 第6回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第7回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第8回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第9回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第10回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第11回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第12回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第13回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第14回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score
- 第15回 【到達目標】 TOEIC proficiency, listening ability, vocabulary expansion, reading and cultural pattern comprehension.  
 【学習方法・自己学習課題】 Task-based practice for listening, reading, comprehension  
 【評価】 Each class task work, quiz, mini-test totals 3 points toward a final score

**評価の時期・方法・基準**

Class tasks, quizzes, mini-tests 45%, Final exam 25%, TOEIC IP 20%, Vocabulary (Level 3) 10%  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…SCD Revised, Richard Rowat, Weissman Press, ISBN: 978-4-9905671-1-8  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円

参考書…特になし

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

All students must attend every class.

英語Ic (Dクラス)  
English Ic

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SPでランクC (470～725点)を狙うための基礎力を身につける。)  
 ・本授業では、TOEICの対策テキストを使用して、英語の総合力を高めることを目指す。  
 ・プリントを配布して、読解、語彙などの様々な練習問題を行う。  
 ・予定する授業内容は授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進捗や内容など調整することもある。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Orientation  
 Vocabulary quiz 1  
 Lesson 1, 2  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第2回 【到達目標】 Vocabulary quiz 2  
 Lesson 3, 4  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第3回 【到達目標】 V. quiz 3  
 Lesson 5, 6  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第4回 【到達目標】 V. quiz 4  
 Lesson 7, 8  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第5回 【到達目標】 V. quiz 5  
 Review 1～8  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第6回 【到達目標】 V. quiz 6  
 Lesson 9, 10  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第7回 【到達目標】 V. quiz 7  
 Lesson 11, 12  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第8回 【到達目標】 V. quiz 8  
 Lesson 13, 14  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第9回 【到達目標】 V. quiz 9  
 Lesson 15, 16  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第10回 【到達目標】 V. quiz 10  
 Review 9～16  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第11回 【到達目標】 V. quiz 11  
 Lesson 17, 18  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第12回 【到達目標】 V. quiz 12  
 Lesson 19, 20  
 【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"  
 【評価】 小テスト、提出物、定期試験
- 第13回 【到達目標】 V. quiz 13

Lesson 21, 22

【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"

【評価】 小テスト、提出物、定期試験

第14回 【到達目標】 V. quiz 14  
 Lesson 23, 24

【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"

【評価】 小テスト、提出物、定期試験

第15回 【到達目標】 V. quiz 15  
 Review and Preparation for Final Exam.

【学習方法・自己学習課題】 "Listening, Grammar, Reading"

【評価】 小テスト、提出物、定期試験

評価の時期・方法・基準

TOEIC IP (20%)、単語テスト (Level 3) (10%)、小テスト、授業態度、提出物、定期試験など (70%) で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格

教材等

教科書…Navigator for the TOEIC Test  
 「新TOEICテスト ナビゲーター」(南雲堂)  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

辞書必携

英語Ic (Eクラス)

English Ic

米田 繭子 (ヨネダ マユコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SPでランクC (470～725点)を狙うための基礎力を身につける。)  
 【読む】：優しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)  
 【書く】：短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)  
 【聞く・話す】：英語の基本的音声聞き分けができる。(知識・技能)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Unit 1: 交通と情報案内  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (1) pp.158-161  
 小テスト  
 演習発表
- 第3回 【到達目標】 Unit 2: 指示と説明  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (2) pp.162-165  
 小テスト  
 演習発表
- 第4回 【到達目標】 Unit 3: 飲食  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (3) pp.166-169  
 小テスト  
 演習発表
- 第5回 【到達目標】 Unit 4: ビジネス  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (4) pp.170-173  
 小テスト  
 演習発表
- 第6回 【到達目標】 Unit 5: 通信・コミュニケーション  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (5) pp.174-177  
 小テスト  
 演習発表
- 第7回 【到達目標】 Unit 6: 社交  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト (6) pp.178-181  
 小テスト

- 演習発表
- 第8回 【到達目標】 Unit 7:招待・案内  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (7) pp.182-185  
小テスト
- 演習発表
- 第9回 【到達目標】 Unit 8:医療・保険  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (8) pp.186-189  
小テスト
- 演習発表
- 第10回 【到達目標】 Unit 9:文化・娯楽  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (9) pp.190-193  
小テスト
- 演習発表
- 第11回 【到達目標】 Unit 10:買い物  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (10) pp.194-197  
小テスト
- 演習発表
- 第12回 【到達目標】 Unit 11:運動・フィットネス  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (11) pp.198-201  
小テスト
- 演習発表
- 第13回 【到達目標】 Unit 11:トラブル・申請  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (12) pp.158-171  
小テスト
- 演習発表
- 第14回 【到達目標】 Extra Test 1  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (13) pp.172-185  
小テスト
- 演習発表
- 第15回 【到達目標】 Extra Test 2  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (14) pp.186-201  
小テスト

**評価の時期・方法・基準**

TOEIC IPテスト (20%)、単語テスト (Level 3) (10%)、小テスト (10%)、授業態度 (20%)、定期試験 (40%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…教科書・・・北山長貴・Bill Benfield (著) Start-up Course for the TOEIC Test「TOEICテストへのファーストステップ」成美堂 (2000円+税)  
西谷恒志(著) The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**

辞書必携。  
出席日数は平常点としない。  
予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

**英語Ic (Fクラス)**  
English Ic

岩永道子 (イワナガ ミチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育  
ユニット：(2) 薬学英语入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SPでランクC (470～725点)を狙うための基礎力を身につける。)  
・テキストはTOEICの問題集を使用する。  
・Part1～Part7までの問題例を含む一つのユニットを2回の授業で進む。  
・文法の復習は適宜プリント教材で行なう。  
・なおTOEIC演習とは別に適宜リーディング用の題材をプリント配布し、自然科学の話題に触れる英文を読む。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 授業方針の説明と テキスト Unit 7前半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第2回 【到達目標】 Unit 7 後半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第3回 【到達目標】 Unit 8 前半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第4回 【到達目標】 Unit 8 後半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第5回 【到達目標】 プリント教材によるリーディング演習  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第6回 【到達目標】 Unit 9 前半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第7回 【到達目標】 Unit 9 後半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第8回 【到達目標】 Unit 10 前半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第9回 【到達目標】 Unit 10 後半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第10回 【到達目標】 プリント教材によるリーディング演習  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第11回 【到達目標】 Unit 11 前半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第12回 【到達目標】 Unit 11 後半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第13回 【到達目標】 Unit 12 前半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第14回 【到達目標】 プリント教材によるリーディング演習  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表
- 第15回 【到達目標】 Unit 12 後半  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 授業終了後の定期試験  
演習発表

**評価の時期・方法・基準**

定期試験 (60%)、TOEIC IP (20%)、(授業内での) 単語のテスト (Level 3) (10%)、課題・発表点 (10%) で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。出席は評価の中には入らないが、全授業回数の半分以上出席していることが評価の最低条件となる。

**教材等**

教科書…Welcome to the TOEIC Test, 著者：Yoshio Kitahara, 出版社：Asahi Press, 1800円  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円  
参考書…特になし

**関連科目**

日本で発行されている科学雑誌

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

英語I d (Aクラス)  
English I d

岩永道子 (イワナガ ミチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)・テキストは、科学技術に焦点をあて最新のテーマを取り上げた読解用のもの。  
 ・毎回1章を進み、あとの5回の授業ではTOEICの問題をプリントして配布し、演習を行う。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Unit 12 Cell Phones  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第2回 【到達目標】 Unit 13 The Formation of the Solar System  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第3回 【到達目標】 Unit 14 Volcanoes  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第4回 【到達目標】 プリント教材によるTOEIC問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第5回 【到達目標】 Unit 15 Tsunamis  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第6回 【到達目標】 Unit 16 The Atmosphere  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第7回 【到達目標】 Unit 17 Undersea Mining  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第8回 【到達目標】 プリント教材によるTOEIC問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第9回 【到達目標】 Unit 18 Space Probes  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第10回 【到達目標】 Unit 19 Lunar Laboratory  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第11回 【到達目標】 Unit 20 Detecting Planet  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第12回 【到達目標】 プリント教材によるTOEIC問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第13回 【到達目標】 Unit 21 Little Particles  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第14回 【到達目標】 Unit 22 Big Science  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表
- 第15回 【到達目標】 プリント教材によるTOEIC問題演習  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 授業終了後の定期試験  
 演習発表

評価の時期・方法・基準

定期試験(70%)、(授業内での)単語のテスト(Level 4)(20%)、課題・発表点(10%)で総合的に評価します。100点満点中60点

以上で合格。出席は評価の中には入らないが、全授業回数の上半分以上出席していることが評価の最低条件となる。

教材等

教科書…Our Unique Planet, IAN BORING, RUTH UNBOM 著  
 成美堂 1800円  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円  
 参考書…特になし

関連科目

日本で発行されている科学雑誌

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

基礎科目

英語I d (Bクラス)  
English I d

米田 繭子 (ヨネダ マユコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英语入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)・【読む】：易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)  
 【書く】：短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)  
 【聞く・話す】：英語の基礎的音声を聞き分けることができる。(知識・技能)  
 「テキストは、環境と健康に関する7分野の話題を取り上げたものである。この授業では、英文を丁寧に読み進めていくことで読解力を高め、各章に用意されている確認問題を使って内容理解の力を養う。さらに、リスニングの練習問題を活用することによって、聴解力の向上を図る。」

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Unit 10: Getting an Extra Boost: Sports Supplements 「さらに頑張る人のためのスポーツ・サプリメント」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト(1)：pp.204-207  
 小テスト  
 演習発表
- 第3回 【到達目標】 Unit 10: Getting an Extra Boost: Sports Supplements 「さらに頑張る人のためのスポーツ・サプリメント」  
 Unit 11: Better than Chicken Soup? A New Cold Medicine 「チキンスープより効果がある新しいかぜ薬」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト(2)：pp.207-211  
 小テスト  
 演習発表
- 第4回 【到達目標】 Unit 11: Better than Chicken Soup? A New Cold Medicine 「チキンスープより効果がある新しいかぜ薬」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト(3)：pp.212-215  
 小テスト  
 演習発表
- 第5回 【到達目標】 Unit 12: Drug-resistant Superbugs 「薬をはねつける耐性菌」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト(4)：pp.216-219  
 小テスト  
 演習発表
- 第6回 【到達目標】 Unit 12: Drug-resistant Superbugs 「薬をはねつける耐性菌」  
 Unit 13: Global Warming: A Global Warning 「地球温暖化は、全世界への警鐘」  
 【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
 【評価】 単語テスト(5)：pp.220-223  
 小テスト  
 演習発表
- 第7回 【到達目標】 Unit 13: Global Warming: A Global Warning 「地球温暖化は、全世界への警鐘」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 単語テスト (6) : pp.224-227

小テスト  
演習発表  
第8回 【到達目標】 Unit 14: Solar Energy: A Gift from the Sun 「万物に注ぐ太陽の恵み」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (7) : pp.228-231

小テスト  
演習発表  
第9回 【到達目標】 Unit 14: Solar Energy: A Gift from the Sun 「万物に注ぐ太陽の恵み」  
Unit 15: A Drop in the Bucket: Storing Drinking Water 「水は命の泉：世界の貯水層」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (8) : pp.232-235

小テスト  
演習発表  
第10回 【到達目標】 Unit 15: A Drop in the Bucket: Storing Drinking Water 「水は命の泉：世界の貯水層」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (9) : pp.236-239

小テスト  
演習発表  
第11回 【到達目標】 Unit 16: A Brown Cloud over Asia 「アジアを襲う黄砂」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (10) : pp.240-243

小テスト  
演習発表  
第12回 【到達目標】 Unit 16: A Brown Cloud over Asia 「アジアを襲う黄砂」

Unit 17: Cleaning up the Mess: Oil Spills 「原油流出がもたらしたもの」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (11) : pp.244-247

小テスト  
演習発表  
第13回 【到達目標】 Unit 17: Cleaning up the Mess: Oil Spills 「原油流出がもたらしたもの」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (12) : pp.248-251

小テスト  
演習発表  
第14回 【到達目標】 Unit 18: Building a Nuclear Mountain 「どうする核廃棄物の貯蔵施設」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (13) : pp.252-257

小テスト  
演習発表  
第15回 【到達目標】 Unit 18: Building a Nuclear Mountain 「どうする核廃棄物の貯蔵施設」

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 定単語テスト (14) : pp.204-257

小テスト  
演習発表  
評価の時期・方法・基準  
単語テスト (Level 4) (20%)、小テスト (20%)、授業態度 (20%)、定期試験 (40%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等  
教科書…小林 敏彦、Shawn M. Clankie (著) The Earth and Our Health 「私たちの地球と健康」 成美堂 (1,800円+税)  
西谷 恒志 (著) The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

参考書…なし

関連科目

英語全般

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

辞書必携。

出席日数は平常点としない。

予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

英語I d (Cクラス)  
English I d

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英语入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)

・科学記事を想定して書かれたテキストを使用します。

・前期と同じテキストで、後期は Technology, Animals, Plants などについて学習します。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 Vocabulary quiz 1  
Unit 13

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第2回 【到達目標】 Vocabulary quiz 2  
Unit 14

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第3回 【到達目標】 V. quiz 3  
Unit 15

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第4回 【到達目標】 V. quiz 4  
Unit 16

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第5回 【到達目標】 V. quiz 5  
Review 13~16

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第6回 【到達目標】 V. quiz 6  
Unit 17

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第7回 【到達目標】 V. quiz 7  
Unit 18

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第8回 【到達目標】 V. quiz 8  
Unit 19

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第9回 【到達目標】 V. quiz 9  
Unit 20

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第10回 【到達目標】 V. quiz 10  
Review 17~20

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第11回 【到達目標】 V. quiz 11  
Unit 21

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第12回 【到達目標】 V. quiz 12  
Unit 22

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第13回 【到達目標】 V. quiz 13  
Unit 23

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第14回 【到達目標】 V. quiz 14  
Unit 24

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

第15回 【到達目標】 V. quiz 15  
Review and Preparation for Final Exam.

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験、単語クイズ

評価の時期・方法・基準

単語テスト (Level 4) (20%)、定期試験・小テスト・授業態度・レポートなど (80%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…Science Insight 科学の今を探る 成美堂  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校  
語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

担当者の研究室等

1号館2階（非常勤講師室）

備考

辞書必携

英語I d (Dクラス) English I d				
村木 美紀子 (ムラキ ミキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
ユニット：(2) 薬学英語入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
【読む】、【書く】、【聞く・話す】（英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。）  
（講義概要）近年話題の幹細胞研究の変遷に関する話題を中心として、医薬品の開発の現状と課題、今後発展する新しい医療について取り上げる。その中から、製薬企業や医療業界で就業する際に必要となる実践的な英語コミュニケーション能力や語彙形成を目指す。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 8. Caught Up in Cloning (p161-186)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第3回 【到達目標】 8. Caught Up in Cloning (p161-186)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第4回 【到達目標】 9. The Rise and Fall of a "Supreme Scientist" (p187-218)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第5回 【到達目標】 9. The Rise and Fall of a "Supreme Scientist" (p187-218)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第6回 【到達目標】 10. Safe Harbors (p219-234)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第7回 【到達目標】 10. Safe Harbors (p219-234)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第8回 【到達目標】 11. A Jolt from Japan (p235-256)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第9回 【到達目標】 11. A Jolt from Japan (p235-256)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第10回 【到達目標】 12. Looking Ahead (p257-284)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第11回 【到達目標】 12. Looking Ahead (p257-284)  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第12回 【到達目標】 復習・まとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第13回 【到達目標】 復習・まとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第14回 【到達目標】 復習・まとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト
- 第15回 【到達目標】 復習・まとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 提出物、クラス演習、単語テスト

評価の時期・方法・基準

単語テスト (Level 4) (20%)、定期試験 (20%)、クラス演習・提出物 (60%) で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…The Stem Cell Hope, Alice Park, Penguin Group (ISBN 9780452297968)

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

参考書…なし

関連科目

なし

担当者の研究室等

1号館2階（非常勤講師室）

備考

辞書必携。

英語I d (Eクラス) English I d				
ダンカン マイルズ ホワイト				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
ユニット：(2) 薬学英語入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
【読む】、【書く】、【聞く・話す】（英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。）  
・ To identify, practise and comprehend functional patterns and structures within authentic cultural communicative contexts

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Imagination and conditional advice  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第2回 【到達目標】 Comparison using analysis  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第3回 【到達目標】 Comparison for discovery and invention  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第4回 【到達目標】 Formal opinions I: what is the best  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第5回 【到達目標】 Formal opinions II: what is good and bad with reasons  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第6回 【到達目標】 Formal opinions III: what may be true or false with reasons, sources  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第7回 【到達目標】 Criteria for explanations  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第8回 【到達目標】 Tall tales with embellishment, deception  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第9回 【到達目標】 Patterns, methods, techniques in advertising and promotion  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
【評価】 Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第10回 【到達目標】 Mass media and the news in all formats  
【学習方法・自己学習課題】 Task-based exercises with

- listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第11回 **【到達目標】** Evaluation and review according to criteria and comparison  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第12回 **【到達目標】** Research methods and process: academic, scientific, anecdotal  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第13回 **【到達目標】** Rethinking history: past speculation  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第14回 **【到達目標】** Envisioning the future: future speculation and reasoning  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes
- 第15回 **【到達目標】** Course review  
**【学習方法・自己学習課題】** Task-based exercises with listening, speech, reading writing  
**【評価】** Each class has 3 or 4 points from in-class tasks, mini-tests, quizzes

**評価の時期・方法・基準**

In-class tasks, quizzes, mini-tests 55%, Final exam 25%, Vocabulary (Level 4) 20%  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…SCD Revised, Richard Rowat, Weissman Press, ISBN: 978-4-9905671-1-8

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

参考書…特になし

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

All students must attend every class.

**英語I d (Fクラス)**  
 English I d

箕田 正 開 (ミタ マサハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)

(講義概要) 薬に関する基礎知識や病気の治療のための医薬品の特徴と開発の歴史、そして副作用の問題、薬剤師の役割などについて書かれた文章を読む。構文は単純であるが、語彙にはやや見慣れないものがあるかもしれない。その後、内容理解、リスニング、語彙形成などの練習問題(教科書付属のもの以外も含む)を行う。特に医学用語の習得に重点を置く。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 **【到達目標】** Unit 8: Anti-anxiety Agents  
**【学習方法・自己学習課題】** 授業方針の説明、演習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第2回 **【到達目標】** Unit 8: Anti-anxiety Agents  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第3回 **【到達目標】** Unit 9: Chemotherapy: An Old Treatment with New Hope for the Future  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習

**【評価】** 授業終了後の定期試験

- 提出物
- 第4回 **【到達目標】** Unit 9: Chemotherapy: An Old Treatment with New Hope for the Future  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第5回 **【到達目標】** Unit 10: AIDS: Getting a Handle on Treatment  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第6回 **【到達目標】** Unit 10: AIDS: Getting a Handle on Treatment  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第7回 **【到達目標】** Unit 11: Immunosuppressant Drugs and the Transplant Revolution  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第8回 **【到達目標】** Unit 11: Immunosuppressant Drugs and the Transplant Revolution  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第9回 **【到達目標】** Unit 12: Adverse Drug Reactions  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第10回 **【到達目標】** Unit 12: Adverse Drug Reactions  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第11回 **【到達目標】** Unit 13: Iatrogenic CDJ  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第12回 **【到達目標】** Unit 13: Iatrogenic CDJ  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第13回 **【到達目標】** Unit 14: Pharmacists and Society  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第14回 **【到達目標】** Unit 14: Pharmacists and Society  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物
- 第15回 **【到達目標】** 復習・まとめ  
**【学習方法・自己学習課題】** 演習、語彙の学習  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 提出物

**評価の時期・方法・基準**

平常点(毎回の提出物を採点したもの(単語テスト(Level 4)(20%)を含む)) (50%)、定期試験(50%)で総合的に評価します。具体的には授業で指示します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Wonders of Medicine 南雲堂 1700円

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円

参考書…必要に応じて授業中に紹介する。

**関連科目**

英語 I-c

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**英語II a (Aクラス)**  
 English II a

岩橋 一 樹 (イワハシ カズキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SP-testでランクC (470～725点)を狙える力を身につける。)  
・TOEICテストで500点を取れるように文法や単語の知識を獲得する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 授業の概要と評価についての説明  
Chapter 1 Computers and Society 易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の基礎的音声を聞き分けることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 1の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 確認テスト 課題提出(授業中に実施)
- 第2回 【到達目標】 Chapter 1 Computers and Society  
Chapter 2 Business and Transaction  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の基礎的音声を聞き分けることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 1, 2の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 確認テスト 課題提出(授業中に実施)
- 第3回 【到達目標】 Chapter 2 Business and Transaction  
Chapter 3 At the Office  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の基礎的音声を聞き分けることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 2, 3の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 確認テスト 課題提出(授業中に実施)
- 第4回 【到達目標】 Chapter 3 At the Office  
Chapter 4 Cars and Society  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の基礎的音声を聞き分けることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 3, 4の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 確認テスト 課題提出(授業中に実施)
- 第5回 【到達目標】 Chapter 4 Cars and Society  
Chapter 5 Eating and Drinking  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の基礎的音声を聞き分けることができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 4, 5の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 確認テスト 課題提出(授業中に実施)
- 第6回 【到達目標】 Chapter 5 Eating and Drinking  
Chapter 6 Shopping  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語による日常会話での質疑応答ができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 5, 6の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 確認テスト 課題提出(授業中に実施)
- 第7回 【到達目標】 Chapter 6 Shopping  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語による日常会話での質疑応答ができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 6の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 確認テスト 課題提出(授業中に実施)
- 第8回 【到達目標】 Chapter 7 Entertainment  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語による日常会話での質疑応答ができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 7の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)
- 第9回 【到達目標】 Chapter 7 Entertainment  
Chapter 8 Accidents and Crimes  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語による日常会話での質疑応答ができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 7, 8の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)
- 第10回 【到達目標】 Chapter 8 Accidents and Crimes  
Chapter 9 Teaching and Learning  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語による日常会話での質疑応答ができる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 8, 9の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)
- 第11回 【到達目標】 Chapter 9 Teaching and Learning

Chapter 10 Medicine and Hospitals

易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。

- 【学習方法・自己学習課題】 Chapter 9, 10の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)
- 第12回 【到達目標】 Chapter 10 Medicine and Hospitals  
Chapter 11 Finance and Banks  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 10, 11の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)
- 第13回 【到達目標】 Chapter 11 Finance and Banks  
Chapter 12 Economy and Industry  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 11, 12の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)
- 第14回 【到達目標】 Chapter 12 Economy and Industry  
Chapter 13 Geography and Travels  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 12, 13の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)
- 第15回 【到達目標】 Chapter 13 Geography and Travels  
Chapter 14 Weather and Climate  
易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。  
【学習方法・自己学習課題】 Chapter 13, 14の問題に答え、わからない単語の意味を調べる。講義・演習方式  
【評価】 単語テスト 定期試験 課題提出(授業中に実施)

評価の時期・方法・基準

単語テスト (Levels 1 & 2) (20%)、確認テスト (30%)、定期試験 (40%)、課題提出 (10%) で総合的に評価する。以上を総合して60%以上が合格。

教材等

教科書…『TOEICテスト トータル演習』(成美堂) 2000円  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円 (1年次に購入済)

参考書…なし

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

1号館2階 (非常勤講師室)

備考

教科書に付属のCDは家でしっかり聞くこと。NHKラジオの英会話関連の番組を家で自主的に聞くこと。TOEICテストや英検などの資格試験はできるだけ頻繁に受けること。授業以外のところでも自主的に勉強したり、試験慣れするとTOEICのスコアが上がります。

英語IIa (Bクラス)

English Ila

木村 理恵子 (キムラ リエコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
ユニット：(2) 薬学英語入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SP-testでランクC (470～725点)を狙える力を身につける。)  
本授業では、1年生から行ってきたTOEICを通しての英語

の学びのまとめを行って行きます。  
TOEIC SP-testでランクC (470~725点) を狙える力を身につけることが目的です。  
さらに 後期への薬学英語への準備として図書館ワークを行いながら、少しずつ薬学英語への分野を拡げて行く予定です。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 授業の進め方の説明  
Lesson 1 消える音 (1)  
Lesson 2 動詞  
【学習方法・自己学習課題】 実際の授業の進め方をLesson 1-2を通して行います。  
進め方や、学習ポイントを押さえて これからの授業を受ける準備をしてください。さらにTOEICの単語の範囲も示しますので 毎回の小テストの中に入ると考えておいてください。  
【評価】 N/A
- 第2回 【到達目標】 Lesson 3 消える音 (2)  
Lesson 4 時制  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 4の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第3回 【到達目標】 Lesson 5 応答の予測  
Lesson 6 形容詞  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 6の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第4回 【到達目標】 Lesson 7 1つになる音  
Lesson 8 名詞  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 8の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第5回 【到達目標】 Lesson 9 音の短縮  
Lesson 10 分詞構文  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 10の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第6回 【到達目標】 Lesson 11 つながる音 (1)  
Lesson 12 不定詞  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 12の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第7回 【到達目標】 Review Test (Lesson 1-12のうち偶数番号Lessonから)  
【学習方法・自己学習課題】 テキストからのリーディングテストと、  
リスニングについては応用のテストを行う  
【評価】 Review Test
- 第8回 【到達目標】 Lesson 13 つながる音 (2)  
Lesson 14 動名詞  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 14の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第9回 【到達目標】 Lesson 15 無声化する音  
Lesson 16 一致  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 16の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第10回 【到達目標】 Lesson 17 有声化する音  
Lesson 18 関係詞  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 18の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第11回 【到達目標】 Lesson 19 弱くなる音  
Lesson 20 接続詞  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 20の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト

- 第12回 【到達目標】 Lesson 21 音の弱形と強形  
Lesson 22 仮定法  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 22の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第13回 【到達目標】 Lesson 23 類言語  
Lesson 24 否定  
指定されているTOEIC単語  
【学習方法・自己学習課題】 Lesson 24の予習ができていること  
指定されているTOEIC単語が学習されていること  
【評価】 小テスト
- 第14回 【到達目標】 Review Test (Lesson 13-24の偶数番号Lessonより)  
【学習方法・自己学習課題】 テキストからのリーディングテストと、  
リスニングについては応用のテストを行う  
【評価】 Review Test
- 第15回 【到達目標】 Listening Test (テキストのLesson奇数番号から)  
【学習方法・自己学習課題】 テキストからのまとめとしてテキストからのリスニングテストを行います。  
【評価】 Listening Test

評価の時期・方法・基準

定期試験 (50%) (Listening Testはここに含まれます)、小テスト (単語テスト (Levels 1 \$ 2) が含まれています) (20%)、Review Test (20%)、提出物 (10%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「Navigator for the TOEIC Test」朝日出版社 (1890円)  
参考書…The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円  
1年生から利用しているものを利用してください。

関連科目

N/A

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

英語 I IaではTOEICの単語のLevel 1-2を復習の範囲としています。

英語II a (Cクラス)

English Iia

沢田 美保子 (サワタ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	C	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
ユニット：(2) 薬学英語入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SP-testでランクC (470~725点) を狙える力を身につける。)  
・TOEICテスト用テキストを使用し、英語技能全般の修得を目指す。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Orientation  
Lesson 1, 2  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第2回 【到達目標】 Vocabulary quiz 1  
Lesson 3, 4  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第3回 【到達目標】 V. quiz 2  
Lesson 5, 6  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第4回 【到達目標】 V. quiz 3  
Lesson 7, 8  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第5回 【到達目標】 V. quiz 4  
Review 1~8  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等

- 第6回 【到達目標】 V. quiz 5  
Lesson 9, 10  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第7回 【到達目標】 V. quiz 6  
Lesson 11, 12  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第8回 【到達目標】 V. quiz 7  
Lesson 13, 14  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第9回 【到達目標】 V. quiz 8  
Lesson 15, 16  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第10回 【到達目標】 V. quiz 9  
Review 9~16  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第11回 【到達目標】 V. quiz 10  
Lesson 17, 18  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第12回 【到達目標】 V. quiz 11  
Lesson 19, 20  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第13回 【到達目標】 V. quiz 12  
Lesson 21, 22  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第14回 【到達目標】 V. quiz 13  
Lesson 23, 24  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等
- 第15回 【到達目標】 V. quiz 14  
Review and Preparation for the Final Exam.  
【学習方法・自己学習課題】 Reading, Listening, Gramma  
【評価】 定期試験、受講態度、小テスト、宿題等

**評価の時期・方法・基準**

単語テスト (Levels 1 & 2) (20%)、受講態度、小テスト、提出物、定期試験 (80%) で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…Navigator for the TOEIC Test : Newly Updated Edition

「新TOEIC テスト ナビゲーター」 (南雲堂)

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円 (1年次に購入済)

参考書…講義初回で指示する

**関連科目**

その他の英語のクラス

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

辞書必携

**英語IIa (Dクラス)**

English Ila

山内 浩 充 (ヤマウチ ヒロミツ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	D	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SP-testでランクC (470~725点) を狙える力を身につける。)

・就職課の求人票を見ていると、TOEIC のスコア何点以上、英検何級以上という条件をよく見ます。それぞれの企業が求めている英語力のレベルは様々ですが、社会がある一定水準の英語力を求め、採用の基準としているのは明らかです。そこで、本講義では、TOEIC の初級レベルから中級レベルまでの対策を行い、TOEIC 470点以上のCランク、すなわちある程度の業務上のコミュニケーションができる英語力を身につけてもらいま

す。  
毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
【学習方法・自己学習課題】 講義の進め方、評価方法を説明  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第2回 【到達目標】 Unit 1 食事・レストラン  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 1 の予習  
動詞の選び方を学習 (1)  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第3回 【到達目標】 Unit 2 旅行・空港  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 2 の予習  
未来を表す表現を学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第4回 【到達目標】 Unit 3 観光・ホテル  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 3 の予習  
過去形と形容詞について学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第5回 【到達目標】 Unit 4 スポーツ・娯楽  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 4 の予習  
時制について学習 (1)  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第6回 【到達目標】 Unit 5 ファッション・ショッピング  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 5 の予習  
時制について学習 (2)  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第7回 【到達目標】 Unit 6 教育・学校・文化  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 6 の予習  
動詞の選び方を学習 (2)  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第8回 【到達目標】 中間テスト  
【学習方法・自己学習課題】 中間テストにむけての学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第9回 【到達目標】 Unit 7 交通・通勤  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 7 の予習  
不定詞と比較について学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第10回 【到達目標】 Unit 8 電話・メール・郵便  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 8 の予習  
分詞と動名詞について学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第11回 【到達目標】 Unit 9 天気・自然  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 9 の予習  
仮定法について学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第12回 【到達目標】 Unit 10 家庭生活・不動産  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 10 の予習  
関係詞について学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第13回 【到達目標】 Unit 11 コンピューター  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 11 の予習  
接続詞 (1) と数の一致について学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第14回 【到達目標】 Unit 12 オフィス事務用品  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 12 の予習  
接続詞 (2) について学習  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験
- 第15回 【到達目標】 Unit 13 求人・仕事  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 13 の予習  
語彙を増やす  
【評価】 単語テスト・観察記録・中間テスト・定期試験

**評価の時期・方法・基準**

単語テスト (Levels 1 & 2) (20%)、観察記録 (質疑応答、予習状況など) (30%)、定期試験以外に中間テストを実施する。中間テストと定期試験の平均を50%として総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…My First TOEIC Test 光富省吾、池田祐子 著 朝日出版社、1800円

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円 (1年次に購入済)

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

英語辞書必ず持参の事

英語IIa (Eクラス)  
English Ila

米田 繭子 (ヨネダ マユコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	E	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SP-testでランクC (470~725点) を狙える力を身につける。)  
 【読む】：優しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)  
 【書く】：短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)  
 【聞く・話す】：英語の基本的な音を聞き分けることができる。(知識・技能)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Lesson 1 Headhunting  
 Lesson 2 The Internet  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (1) pp.2-13  
 小テスト  
 演習発表
- 第3回 【到達目標】 Lesson 3 Weddings  
 Lesson 4 Corporate Culture  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (2) pp.14-25  
 小テスト  
 演習発表
- 第4回 【到達目標】 Lesson 5 Music  
 Lesson 6 Movies  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (3) pp.26-37  
 小テスト  
 演習発表
- 第5回 【到達目標】 Lesson 7 Sightseeing  
 Lesson 8 Recruiting  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (4) pp.38-49  
 小テスト  
 演習発表
- 第6回 【到達目標】 Lesson 9 Shopping  
 Lesson 10 Forecasts  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (5) pp.50-61  
 小テスト  
 演習発表
- 第7回 【到達目標】 Lesson 11 Customs  
 Lesson 12 Crime  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (6) pp.62-73  
 小テスト  
 演習発表
- 第8回 【到達目標】 Lesson 13 New Products  
 Lesson 14 Global Matters  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (7) pp.74-87  
 小テスト  
 演習発表
- 第9回 【到達目標】 Lesson 15 Health  
 Lesson 16 Parties  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (8) pp.90-101  
 小テスト  
 演習発表
- 第10回 【到達目標】 Lesson 17 Skiing  
 Lesson 18 Travel  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (9) pp.102-113  
 小テスト  
 演習発表
- 第11回 【到達目標】 Lesson 19 Dating  
 Lesson 20 Hospitals  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (10) pp.114-123  
 小テスト

- 演習発表
- 第12回 【到達目標】 Lesson 21 Advertising  
 Lesson 22 Opportunities  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (11) pp.124-131  
 小テスト  
 演習発表
- 第13回 【到達目標】 Lesson 23 Employment  
 Lesson 24 Banking / Finance  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (12) pp.132-139  
 小テスト  
 演習発表
- 第14回 【到達目標】 復習  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (13) pp.140-147  
 小テスト  
 演習発表
- 第15回 【到達目標】 復習  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義、予習  
 【評価】 単語テスト (14) pp.148-155  
 小テスト  
 演習発表

評価の時期・方法・基準

単語テスト (Levels 1 & 2) (20%)、小テスト (20%)、授業態度 (20%)、定期試験 (40%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…Donald Beaver・Michael Walker・Kei Mihara (著)  
 TOEIC テスト・ナビゲーター 「Navigator for the TOEIC Test」 南雲堂、1,800円  
 西谷 恒志 (著) The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円 (1年次に購入済)

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

辞書必携。  
 出席日数は平常点としない。  
 予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

英語IIa (Fクラス)  
English Ila

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	F	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SP-testでランクC (470~725点) を狙える力を身につける。)  
 ・この授業の目的はTOEICでランクC (470~725点) レベルに到達することである。TOEICで頻出されるテーマに沿って同形式のリスニングおよびリーディング問題にできる限り多く取り組むことでスコアアップを図る。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 模擬問題を解答し、TOEICの概要を知る  
 【学習方法・自己学習課題】 リスニング、リーディング  
 【評価】 期末試験
- 第2回 【到達目標】 Unit 1: ショッピングに関係する問題について学ぶ。  
 【学習方法・自己学習課題】 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
 【評価】 小テスト・期末試験
- 第3回 【到達目標】 Unit 2: オフィスで使われる表現について学ぶ。  
 【学習方法・自己学習課題】 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
 【評価】 小テスト・定期試験
- 第4回 【到達目標】 Unit 3: 外食するときを使う表現について学ぶ。  
 【学習方法・自己学習課題】 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
 【評価】 小テスト・定期試験
- 第5回 【到達目標】 Unit 4: 会議で使われる表現について学ぶ。

- 【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第6回 **【到達目標】** Unit 5: ホテル、空港など交通機関を利用するときに使われる表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第7回 **【到達目標】** Unit 6: 昇進など、人事異動に関する表現について学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第8回 **【到達目標】** Unit 7: カスタマーサービスに関する表現について学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第9回 **【到達目標】** Unit 8: 奨学金を申請する際に使われる表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第10回 **【到達目標】** Unit 9: ATM、郵便局に関する表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第11回 **【到達目標】** Unit 10: 家庭内での生活に関わる表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第12回 **【到達目標】** Unit 11: オフィスマネージメントに関する表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第13回 **【到達目標】** Unit 12: 健康に関する表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第14回 **【到達目標】** まとめの模擬問題に取り組み、授業の成果を確認する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 指定されたリスニング、リーディング問題及び語彙テストの準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第15回 **【到達目標】** まとめの模擬問題に取り組み、授業の成果を確認する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 復習と定期試験の準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験

**評価の時期・方法・基準**  
 単語テスト (Levels 1 & 2) (20%)、小テスト及び授業中観察記録 (40%)、定期試験 (40%) で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…Ultimate Solution to the TOEIC TEST (マクミランランゲージハウス)  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円 (1年次に購入済)  
**参考書**…初回講義で指示する。

**関連科目**  
 英語科目全般  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階(非常勤講師室)

英語II b (Aクラス) English II				
中 道 英 美 子 (ナカミチ エミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
**【読む】、【書く】、【聞く・話す】** (英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)  
 このクラスの目的は、英語を通してコミュニケーション能力を

高め、同時に教養を身につけることである。具体的には日常生活の中での、さまざまなシチュエーションでくり広げられる会話を視聴し、内容把握、語彙や表現の確認、そしてそれらを応用したスピーキング練習を行う。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回 **【到達目標】** 授業の概要について知る。  
 Unit 1: はじめての出会いで役に立つ表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第2回 **【到達目標】** Unit 2: 感情表現について学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・期末試験
- 第3回 **【到達目標】** Unit 3: ショッピングで役立つ表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第4回 **【到達目標】** Unit 4: 街を歩くときに役立つ表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第5回 **【到達目標】** Unit 5: 旅行の際に役立つ表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第6回 **【到達目標】** Unit 6: 余暇の過ごし方に関する表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第7回 **【到達目標】** Unit 7: 金銭に関する表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第8回 **【到達目標】** Unit: 8 尊敬する人物を語る時に役立つ表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第9回 **【到達目標】** Unit 9: 記憶について語る時に役立つ表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第10回 **【到達目標】** Unit 10: 健康に関する表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第11回 **【到達目標】** Unit 11: 特技について語る時に役立つ表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第12回 **【到達目標】** Unit 12: 映画に関する表現を学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第13回 **【到達目標】** まとめと復習  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第14回 **【到達目標】** まとめと復習  
**【学習方法・自己学習課題】** リスニング、スピーキング  
**【評価】** 小テスト・定期試験
- 第15回 **【到達目標】** まとめと復習  
**【学習方法・自己学習課題】** 復習と定期試験の準備  
**【評価】** 小テスト・定期試験

**評価の時期・方法・基準**  
 小テスト (単語テスト (Levels 3 & 4) (20%) を含む) 及び授業中観察記録 (50%)、定期試験 (50%) で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格

**教材等**  
**教科書**…World Link Book 1: Developing English Fluency, HIGHLIGHTED SPECIAL EDITION (トムソンコーポレーション)  
 The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円 (1年次に購入済)  
**参考書**…初回講義で指示する。

**関連科目**  
 英語科目全般  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階(非常勤講師室)

英語II b (Bクラス) English II				
米 田 繭 子 (ヨネダ マユコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
**【読む】、【書く】、【聞く・話す】**（英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。）  
**【読む】**：優しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。（知識・技能）  
**【書く】**：短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。（知識・技能）  
**【聞く・話す】**：英語の基本的音声聞き分けができる。（知識・技能）  
 ・本授業では、自然科学系の話題を取り扱った教材を用いて、語彙力、聴解力、読解力の向上を目指します。」

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価
- 第1回 **【到達目標】** オリエンテーション  
 授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 **【到達目標】** Chapter 1: 医学的な真実  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (1) pp.158-165  
 小テスト  
 演習発表
- 第3回 **【到達目標】** Chapter 2: テレビを見ると太る？  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (2) pp.166-173  
 小テスト  
 演習発表
- 第4回 **【到達目標】** Chapter 3: メラトニンと時差ぼけ  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (3) pp.174-181  
 小テスト  
 演習発表
- 第5回 **【到達目標】** Chapter 4: 人体の不思議—発熱  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (4) pp.182-189  
 小テスト  
 演習発表
- 第6回 **【到達目標】** Chapter 5: うじ虫を使った治療  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (5) pp.190-197  
 小テスト  
 演習発表
- 第7回 **【到達目標】** Chapter 6: 土星の第6衛星タイタン  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (6) pp.198-201, pp.158-171  
 小テスト  
 演習発表
- 第8回 **【到達目標】** Chapter 7: 心肺機能蘇生法  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (7) pp.172-201  
 小テスト  
 演習発表
- 第9回 **【到達目標】** Chapter 9: コーヒーの歴史  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (8) pp.204-211  
 小テスト  
 演習発表
- 第10回 **【到達目標】** Chapter 10: 不思議なホルモン—メラトニン  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (9) pp.212-219  
 小テスト  
 演習発表
- 第11回 **【到達目標】** Chapter 12: カフェインは危険なアルカイド？  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (10) pp.220-227  
 小テスト  
 演習発表
- 第12回 **【到達目標】** Chapter 13: 人体の不思議—体温  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (11) pp.228-235  
 小テスト  
 演習発表
- 第13回 **【到達目標】** Chapter 14: テレビではうそがわかりにくい？  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (12) pp.236-243  
 小テスト  
 演習発表
- 第14回 **【到達目標】** Chapter 15: ブロccoliは万能薬？  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習  
**【評価】** 単語テスト (13) pp.244-251  
 小テスト  
 演習発表
- 第15回 **【到達目標】** Chapter 17: 幼児期にテレビを見すぎると攻撃的になる？  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習

**【評価】** 単語テスト (14) pp.252-257  
 小テスト  
 演習発表

**評価の時期・方法・基準**  
 単語テスト (Levels 3 & 4) (20%)、小テスト (20%)、授業態度 (20%)、定期試験 (40%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…小 中 秀彦・Karl Kruszelnicki New Moments in Science「やさしい生活科学」成美堂 (1, 800円+税)  
 西谷恒志(著) The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円(1年次に購入済)

**参考書**…なし

**関連科目**  
 他の英語科目

**担当者の研究室等**  
 1号館2階(非常勤講師室)

**備考**  
 辞書必携。  
 出席日数は平常点としない。  
 予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

英語II b (Cクラス) English II				
木村理恵子 (キムラ リエコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	C	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
**【読む】、【書く】、【聞く・話す】**（英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。）  
 ・本授業では 学生は医療系テキストを利用し さまざまな医療の基本的な用語を知り、さらにコミュニケーション能力と教養を身につけていくことが目的です。  
 ・毎回の授業では読むことが基本になっていますが、将来のコミュニケーション能力を伸ばすという点から薬についての簡単な表現を利用した内容を説明するというも行います。  
 ・さらに、1年生で利用したTOEICの単語の復習も含まれています。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価
- 第1回 **【到達目標】** 授業の流れの説明  
 Unit 1 Basics for Health Care Professionals  
**【学習方法・自己学習課題】** 実際にテキストを利用して 授業の流れや小テストの内容などを確認します。  
**【評価】** N/A
- 第2回 **【到達目標】** Unit 2 The Digestive System: How It Works  
 ToEIC Quiz 1  
**【学習方法・自己学習課題】** 予習用プリントを利用して 本Unit内容を予習しておくこと。  
 なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。  
**【評価】** 小テスト
- 第3回 **【到達目標】** Unit 3 The Cardiovascular System: The Heart, Pump for Life-giving Blood  
 ToEIC Quiz 2  
**【学習方法・自己学習課題】** 予習用プリントを利用して 本Unit内容を予習しておくこと。  
 なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。  
**【評価】** 小テスト
- 第4回 **【到達目標】** Unit 4 The Neurological System: Neuroscience  
 ToEIC Quiz 3  
**【学習方法・自己学習課題】** 予習用プリントを利用して 本Unit内容を予習しておくこと。  
 なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。  
**【評価】** 小テスト
- 第5回 **【到達目標】** Unit 5 The Urinary System: Kidney Transplantation  
 ToEIC Quiz 4  
**【学習方法・自己学習課題】** 予習用プリントを利用して 本Unit内容を予習しておくこと。  
 なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。  
**【評価】** 小テスト
- 第6回 **【到達目標】** Unit 6 The Reproductive System: Infertility Treatments

Toeic Quiz 5

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。

【評価】 小テスト

第7回 【到達目標】 中間テスト (Unit 1-6)

【学習方法・自己学習課題】 Unit 1-6の内容の理解とリスニングを理解しておくこと。

【評価】 まとめテスト

第8回 【到達目標】 Unit 7 The Skeletal System: Bone Health

Toeic Quiz 6

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。

【評価】 小テスト

第9回 【到達目標】 Unit 8 The Immune System: Allergies

Toeic Quiz 7

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。

【評価】 小テスト

第10回 【到達目標】 Unit 9 The Endocrine System: Diabetes

Toeic Quiz 8

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。

【評価】 小テスト

第11回 【到達目標】 Unit 10 Preventing the Spread of Infectious Disease

Toeic Quiz 9

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。

【評価】 小テスト

第12回 【到達目標】 Unit 11 Cancer Detection

Toeic Quiz 10

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

なお、指定されているTOEIC単語も学習しておくこと。

【評価】 小テスト

第13回 【到達目標】 Unit 12 Robotic Surgery

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

【評価】 小テスト

第14回 【到達目標】 Unit 14 Clinical Research

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

【評価】 小テスト

第15回 【到達目標】 Unit 15 Health Care for the Aging: Geriatric Nursing

尚、期末テストについてもこの時に話をします。

【学習方法・自己学習課題】 予習用プリントを利用して 本 Unit内容を予習しておくこと。

【評価】 小テスト

評価の時期・方法・基準

単語テスト (Levels 3 & 4) (20%)、小テスト (20%)、定期テスト (中間・期末) (50%)、提出物 (10%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…[Understanding Health Care] 朝日出版 (1800円)  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円  
1年生から利用しているテキストです。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

英語IIBではTOEICの単語のLevel 3-4が復習される予定です。

語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(TOEIC SP-testでランクC (470~725点) を狙える力を身につける。)

・本授業では、風邪の民間療法の検証、頭痛、不眠症、麻酔、香辛料の医学的価値など、医療・健康に関する記事を読んでいきます。それとともに、患者と、薬剤師や看護師、医師との会話表現を学び、日本を訪れる外国人とのコミュニケーション能力を身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 オリエンテーション

【学習方法・自己学習課題】 教科書、英和辞典を持参すること

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第2回 【到達目標】 Colds, Flu and Folk Advice

【学習方法・自己学習課題】 Unit 1「かぜ、インフルエンザ、その伝統療法の検証」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第3回 【到達目標】 Mask-wearing Significantly Boosts Flu Protection

【学習方法・自己学習課題】 Unit 2「マスクの着用で呼吸器系伝染病から身を守る」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第4回 【到達目標】 Drinking Beer Could Provide Health Benefits

【学習方法・自己学習課題】 Unit 3「ビールと健康面の新たな追求」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第5回 【到達目標】 Alcohol, the 'Asian Flush' and the Risk of Cance

【学習方法・自己学習課題】 Unit 4「アルコールと発ガンのリスク」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第6回 【到達目標】 Cancer May Soon Be World's Leading Kille

【学習方法・自己学習課題】 Unit 5「ガンはやがて世界の死因のトップに」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第7回 【到達目標】 Insomnia

【学習方法・自己学習課題】 Unit 6「不眠症」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第8回 【到達目標】 中間試験

【学習方法・自己学習課題】 中間試験の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第9回 【到達目標】 The Mystery of Derams and Dreaming

【学習方法・自己学習課題】 Unit 7「夢のミステリー」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第10回 【到達目標】 Headache

【学習方法・自己学習課題】 Unit 8「頭痛」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第11回 【到達目標】 Saving Preterm Babies with an Idea from Nature

【学習方法・自己学習課題】 Unit 9「カンガルーからヒントを得た未熟児看護法」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第12回 【到達目標】 Looking for New Uses for Spices in the Medical La

【学習方法・自己学習課題】 Unit 10「スパイスの新たな医学的可能性」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第13回 【到達目標】 Feeling No Pain: The World of Anesthesia

【学習方法・自己学習課題】 Unit 11「麻酔の世界」の予習

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第14回 【到達目標】 How Autoimmune Diseases Attack the Body's Defenses: A Look at Lupus (1)

【学習方法・自己学習課題】 Unit 12「自己免疫疾患・ループスの検証」の予習 (1)

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

第15回 【到達目標】 How Autoimmune Diseases Attack the Body's Defenses: A Look at Lupus (2)

【学習方法・自己学習課題】 Unit 12「自己免疫疾患・ループスの検証」の予習 (2)

【評価】 観察記録・中間試験・定期試験

評価の時期・方法・基準

期末試験以外に、6月ごろに中間試験を実施します。中間試験と期末試験の平均を60%、観察記録(質疑応答、予習状況など)を20%、単語テスト (Levels 3 & 4) を20%とし、総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…「Caregiver」 近藤進 他 朝日出版社 (1800円 税別)

The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円 (1年次に購入済)

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

英語IIb (Dクラス)				
English II				
山内 浩 充 (ヤマウチ ヒロミツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	D	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英语入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英

## 英語II b (Eクラス)

English II

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	E	前期	選択	1

## コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)

(アメリカの科学雑誌、Odyssey から記事を選んだ英語教材を使用。科学分野の英語に慣れるよう学習する)

## 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 Orientation

Unit 1

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第2回 【到達目標】 Vocabulary quiz 1

Unit 2

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第3回 【到達目標】 Vocabulary quiz 2

Unit 3

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第4回 【到達目標】 V. quiz 3

Unit 4

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第5回 【到達目標】 V. quiz 4

Unit 5

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第6回 【到達目標】 V. quiz 5

Unit 6

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第7回 【到達目標】 V. quiz 6

Unit 7

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第8回 【到達目標】 V. quiz 7

Unit 8

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第9回 【到達目標】 V. quiz 8

Unit 9

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第10回 【到達目標】 V. quiz 9

Unit 10

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第11回 【到達目標】 V. quiz 10

Unit 11

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第12回 【到達目標】 V. quiz 11

Unit 12

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第13回 【到達目標】 V. quiz 12

Unit 13

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第14回 【到達目標】 V. quiz 13

Unit 14

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

第15回 【到達目標】 V. quiz 14

Unit 15

Review and Preparation for the Final Exam.

【学習方法・自己学習課題】 Reading, Comprehension, Listening

【評価】 小テスト、授業態度、定期試験など総合的に評価

## 評価の時期・方法・基準

単語テスト (Levels 3 &amp; 4) (20%)、受講態度、小テスト、提出物、定期試験 (80%) で総合的に評価します。以上を総合して60%以上が合格。

## 教材等

教科書…Science for Everyone 最新科学は面白い (金星堂)  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」 成美堂、1700円(1年次に購入済)

参考書…授業中に指示をする。

## 関連科目

英語全般

## 担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

## 備考

辞書必携

## 英語II b (Fクラス)

English II

岩橋 一樹 (イワハシ カズキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	F	前期	選択	1

## コース・ユニット・一般目標

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)

・具体的にはこの授業では、健康や栄養に関するテキストを用いて発音練習、内容を把握する練習を行う。同時に語彙を増やし、それを運用するライティング、スピーキング訓練を行っていく。また、新聞記事を読んだりニュースなど視聴をしてその内容を説明する練習も行う。

## 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 オリエンテーション 授業の概要や評価方法についての説明

Unit 1 Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas

【学習方法・自己学習課題】 Unit 1の予習(単語の意味調べ、本文の内容確認)

【評価】 確認テスト、小テスト、グループワーク

第2回 【到達目標】 Unit 1 Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas

Unit 2 WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings

【学習方法・自己学習課題】 Unit 1 Unit 2の予習(単語の意味調べ、本文の内容確認)

【評価】 確認テスト、小テスト、グループワーク

第3回 【到達目標】 Unit 2 WHO: Bird Flu May Have Passed Between Siblings

Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training

【学習方法・自己学習課題】 Unit 2 Unit 3の予習(単語の意味調べ、本文の内容確認)

【評価】 確認テスト、小テスト、グループワーク

第4回 【到達目標】 Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training

Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young

【学習方法・自己学習課題】 Unit 3 Unit 4の予習(単語の意味調べ、本文の内容確認)

【評価】 確認テスト、小テスト、グループワーク

第5回 【到達目標】 Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young

Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows

【学習方法・自己学習課題】 Unit 4 Unit 5の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 確認テスト、小テスト、グループワーク

第6回 【到達目標】 Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows

Unit 6 New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone's Taste

【学習方法・自己学習課題】 Unit 5 Unit 6の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 確認テスト、小テスト、グループワーク

第7回 【到達目標】 Unit 6 New Alcohol-flavored Biscuits Not to Everyone's Taste

【学習方法・自己学習課題】 Unit 6の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 確認テスト、小テスト、グループワーク

第8回 【到達目標】 Unit 7 Study: Tea Drinking May Help Lower High Blood Pressure

【学習方法・自己学習課題】 Unit 7の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

第9回 【到達目標】 Unit 7 Study: Tea Drinking May Help Lower High Blood Pressure

【学習方法・自己学習課題】 Unit 7の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

第10回 【到達目標】 Unit 8 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure

【学習方法・自己学習課題】 Unit 8の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

第11回 【到達目標】 Unit 9 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise

【学習方法・自己学習課題】 Unit 9の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

第12回 【到達目標】 Unit 10 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads

【学習方法・自己学習課題】 Unit 10の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

第13回 【到達目標】 Unit 11 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks

【学習方法・自己学習課題】 Unit 11の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

第14回 【到達目標】 Unit 12 Fitness: How Much Water Is Enough During Exercise?

【学習方法・自己学習課題】 Unit 12の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

第15回 【到達目標】 Unit 13 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114

【学習方法・自己学習課題】 Unit 13の予習（単語の意味調べ、本文の内容確認）

【評価】 定期試験、小テスト、グループワーク

評価の時期・方法・基準

単語テスト (Levels 3 & 4) (20%)、確認テスト (30%)、定期試験 (40%)、グループワーク (10%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…Readings from Health and Nutrition News (金星堂) 1850円  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test「学校語彙で学ぶTOEICテスト」成美堂、1700円（昨年購入してもらったものを引き続き使用します。また、毎回授業で行う小テストはその中から出題します。）

関連科目

その他の英語のクラス

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

備考

海外のニュース、映画、音楽、スポーツ中継など、自分にとって興味のあるものを原語で楽しむようにしましょう。楽しむ事が語学上達の鍵になります。

薬学英語 (Aクラス)  
English for Pharmacist

岩橋一樹 (イワハシ カズキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】SBOs:

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 授業の概要説明・評価方法についての説明  
Lesson 1. Honeybees and Honeyを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 1の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第2回 【到達目標】 Lesson 1. Honeybees and Honey, Lesson 2. The Ways Herbs Are Usedを読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 1 Lesson 2の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第3回 【到達目標】 Lesson 2. The Ways Herbs Are Used, Lesson 3. Does the Sea Aqurt Help Prevent Alzheimer's?を読み、科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 2 Lesson 3の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第4回 【到達目標】 Lesson 3. Does the Sea Aqurt Help Prevent Alzheimer's? Lesson 4.Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stressを読み、英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 3 Lesson 4の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第5回 【到達目標】 Lesson 4. Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stress, Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processesを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 4 Lesson 5の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第6回 【到達目標】 Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processes, Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 5 Lesson 6の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第7回 【到達目標】 Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 6の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第8回 【到達目標】 Lesson 7 Biometricsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 7の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第9回 【到達目標】 Lesson 7 Biometrics Lesson 8 Disease-Sniffing Dogsを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 7 Lesson 8の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第10回 【到達目標】 Lesson 8 Disease-Sniffing Dogs, Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challengedを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 8 Lesson 9の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第11回 【到達目標】 Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challenged, Lesson 10 Blood and What It Tells Usを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 9 Lesson

- 10の予習  
**【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 10 Blood and What It Tells Us Lesson 11 What Are Generic Drugs?を読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 10 Lesson 11の予習  
**【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 11 What Are Generic Drugs? Lesson 12 Traditional Medicinesを読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 11 Lesson 12の予習  
**【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 12 Traditional Medicines Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 12 Lesson 13の予習  
**【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 13の予習  
**【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約

**評価の時期・方法・基準**

平常点(単語テスト、確認テスト、グループワークで行う教科書の要約等)(50%)、定期試験(50%)で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Quest for a Better Life(南雲堂フェニックス) 1700円

参考書…なし

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

海外のニュース、映画、音楽、スポーツ中継など、自分にとって興味のあるものを原語で楽しむようにしましょう。楽しむ事が語学上達の鍵になります。

**薬学英語 (Bクラス)**

English for Pharmacist

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** **【到達目標】** Orientation Part1  
 1. Honeybees and Honey  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第2回** **【到達目標】** 2. The Ways Herbs Are Used  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第3回** **【到達目標】** Part 2  
 3. Does the Sea Squirt Help Prevent Alzheimer's  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第4回** **【到達目標】** 4. Tend-and- Befriend  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension

- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験  
**【到達目標】** 5. Bridging the Learning Gap  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension
- 第6回** **【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験  
**【到達目標】** 6. Da Vinci's Medical Legacy  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第7回** **【到達目標】** 7. Biometrics  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第8回** **【到達目標】** Part 3  
 8. Disease-Sniffing Dogs  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第9回** **【到達目標】** 9. Hipotherapy  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第10回** **【到達目標】** 10. Blood and What It Tells Us  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第11回** **【到達目標】** 11. What Are Generic Drugs?  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第12回** **【到達目標】** 12. Traditional Medicines  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第13回** **【到達目標】** Part 4  
 13. Biofuels  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第14回** **【到達目標】** 14. Extraterrestrial Life  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第15回** **【到達目標】** Review and Preparation for Final Exam  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験

**評価の時期・方法・基準**

平常点(小テスト、授業態度、レポート)(50%)、定期試験(50%)で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Quest for A Better Life 医療、健康、環境のための総合英語 南雲堂フェニックス 1700円

**関連科目**

英語全般

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**

辞書必携

**薬学英語 (Cクラス)**

English for Pharmacist

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	C	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
  2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
  3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
  4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)
- ・医療に関わる基礎的なリーディングとライティング能力を養う。授業では毎回医療、健康、地球環境など、科学にまつわるさまざまなトピックについて書かれた短い文章を読み、内容把握、語彙の確認を行う。最後に学習した知識を応用して英作文問題に取り組み、扱ったテーマに関して英語で説明する訓練も

行う。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ミツバチの生態、蜂蜜の栄養価、効能に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第2回** 【到達目標】 ハーブと人間の関わりに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第3回** 【到達目標】 アルツハイマー病に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第4回** 【到達目標】 ストレスに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第5回** 【到達目標】 脳の男女差に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第五章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第6回** 【到達目標】 レオナルドダヴィンチに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第六章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第7回** 【到達目標】 生態認証に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第七章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第8回** 【到達目標】 医療犬に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第八章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第9回** 【到達目標】 乗馬療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第九章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第10回** 【到達目標】 血液成分、血液検査に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第11回** 【到達目標】 ジェネリック薬品に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第12回** 【到達目標】 民間療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第13回** 【到達目標】 バイオ燃料に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第14回** 【到達目標】 地球外生命に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第15回** 【到達目標】 まとめと復習  
【学習方法・自己学習課題】 すべての章を読み返す。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。

**評価の時期・方法・基準**

平常点（受講態度：毎回講義中に指示する口頭発表を評価するもの）(50%)、定期試験（50%）で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Quest for a Better Life (南雲堂)  
参考書…初回講義で指示する。

**関連科目**

すべての英語科目

**担当者の研究室等**

非常勤講師室

**薬学英语（Dクラス）**  
English for Pharmacist

岩橋一樹 (イワハシ カズキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	D	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英语

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】 SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 授業の概要説明・評価方法についての説明  
Lesson 1. Honeybees and Honeyを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 1の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第2回** 【到達目標】 Lesson 1. Honeybees and Honey, Lesson 2. The Ways Herbs Are Usedを読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 1 Lesson 2の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第3回** 【到達目標】 Lesson 2. The Ways Herbs Are Used, Lesson 3. Does the Sea Aqurt Help Prevent Alzheimer's?を読み、科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 2 Lesson 3の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第4回** 【到達目標】 Lesson 3. Does the Sea Aqurt Help Prevent Alzheimer's? Lesson 4. Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stressを読み、英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 3 Lesson 4の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第5回** 【到達目標】 Lesson 4. Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stress, Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processesを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 4 Lesson 5の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第6回** 【到達目標】 Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processes, Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 5 Lesson 6の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第7回** 【到達目標】 Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 6の予習  
【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第8回** 【到達目標】 Lesson 7 Biometricsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 7の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第9回** 【到達目標】 Lesson 7 Biometrics Lesson 8 Disease-Sniffing Dogsを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 7 Lesson 8の予習

- 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第10回 【到達目標】 Lesson 8 Disease-Sniffing Dogs, Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challengedを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 8 Lesson 9の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第11回 【到達目標】 Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challenged, Lesson 10 Blood and What It Tells Usを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 9 Lesson 10の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第12回 【到達目標】 Lesson 10 Blood and What It Tells Us Lesson 11 What Are Generic Drugs?を読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 10 Lesson 11の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第13回 【到達目標】 Lesson 11 What Are Generic Drugs? Lesson 12 Traditional Medicinesを読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 11 Lesson 12の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第14回 【到達目標】 Lesson 12 Traditional Medicines Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 12 Lesson 13の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第15回 【到達目標】 Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 13の予習  
【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約

**評価の時期・方法・基準**

平常点(単語テスト、確認テスト、グループワークで行う教科書の要約等)(50%)、定期試験(50%)で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Quest for a Better Life(南雲堂フェニックス) 1700円  
参考書…なし

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

海外のニュース、映画、音楽、スポーツ中継など、自分にとって興味のあるものを原語で楽しむようにしましょう。楽しむ事が語学上達の鍵になります。

**薬学英語 (Eクラス)**

English for Pharmacist

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	E	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】 SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 【到達目標】 Orientation  
Part1

1. Honeybees and Honey  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第2回 【到達目標】 2. The Ways Herbs Are Used  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第3回 【到達目標】 Part 2  
3. Does the Sea Squirt Help Prevent Alzheimer's  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
medical terminology  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第4回 【到達目標】 4. Tend-and- Befriend  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第5回 【到達目標】 5. Bridging the Learning Gap  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第6回 【到達目標】 6. Da Vinci's Medical Legacy  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
medical terminology  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第7回 【到達目標】 7. Biometrics  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第8回 【到達目標】 Part 3  
8. Disease-Sniffing Dogs  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第9回 【到達目標】 9. Hipotherapy  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
medical terminology  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第10回 【到達目標】 10. Blood and What It Tells Us  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第11回 【到達目標】 11. What Are Generic Drugs?  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第12回 【到達目標】 12. Traditional Medicines  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
medical terminology  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第13回 【到達目標】 Part 4  
13. Biofuels  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第14回 【到達目標】 14. Extraterrestrial Life  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第15回 【到達目標】 Review and Preparation for Final Exam  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験

**評価の時期・方法・基準**

平常点(小テスト、授業態度、レポート)(50%)、定期試験(50%)で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Quest for A Better Life  
医療、健康、環境のための総合英語 南雲堂フェニックス 1700円

**関連科目**

英語全般

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**

辞書必携

**薬学英語 (Fクラス)**

English for Pharmacist

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	F	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】 SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
  2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
  3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
  4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)
- ・医療に関わる基礎的なリーディングとライティング能力を養う。授業では毎回医療、健康、地球環境など、科学にまつわるさまざまなトピックについて書かれた短い文章を読み、内容把握、語彙の確認を行う。最後に学習した知識を応用して英作文問題に取り組んだり、扱ったテーマに関して英語で説明する訓練も行う。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ミツバチの生態、蜂蜜の栄養価、効能に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第2回** 【到達目標】 ハーブと人間の関わりに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第3回** 【到達目標】 アルツハイマー病に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第4回** 【到達目標】 ストレスに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第5回** 【到達目標】 脳の男女差に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第五章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第6回** 【到達目標】 レオナルドダヴィンチに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第六章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第7回** 【到達目標】 生態認証に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第七章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第8回** 【到達目標】 医療犬に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第八章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第9回** 【到達目標】 乗馬療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第九章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第10回** 【到達目標】 血液成分、血液検査に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第11回** 【到達目標】 ジェネリック薬品に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第12回** 【到達目標】 民間療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第13回** 【到達目標】 バイオ燃料に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第14回** 【到達目標】 地球外生命に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。

- 【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第15回** 【到達目標】 まとめと復習  
【学習方法・自己学習課題】 すべての章を読み返す。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 評価の時期・方法・基準**  
平常点（受講態度：毎回講義中に指示する口頭発表を評価するもの）(50%)、定期試験（50%）で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
教科書…The Quest for a Better Life (南雲堂)  
参考書…初回講義で指示する。
- 関連科目**  
すべての英語科目
- 担当者の研究室等**  
非常勤講師室

医療英会話（「ア」クラス） Medical English Conversation				
山内浩充(ヤマウチ ヒロミツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ア	後期	選択	1

- コース・ユニット・一般目標**  
コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語  
一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。  
【会話・ヒアリング】  
1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べるができる。(知識・技能)  
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
・外国人の患者さんに対応できるように、また、海外で病気や事故にあった時に対応できるように、医療に関わる基礎的なリスニングとスピーキングを身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 教科書を持参すること  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第2回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 かげの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第3回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 かげの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第4回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第5回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第6回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、アレルギーの有無の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第7回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、薬歴の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第8回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、食事や嗜好品の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第9回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、副作用の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第10回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、薬の保管方法の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第11回** 【到達目標】 薬局での会話

**【学習方法・自己学習課題】** 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、会計のときの会話を学習

**【評価】** 観察記録・小テスト

第12回 **【到達目標】** 薬局での会話  
**【学習方法・自己学習課題】** 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (1)

第13回 **【到達目標】** 薬局での会話  
**【学習方法・自己学習課題】** 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (2)

第14回 **【到達目標】** 薬局での会話  
**【学習方法・自己学習課題】** 投与方法 (舌下錠・吸入薬など) を学習

第15回 **【到達目標】** 薬局での会話  
**【学習方法・自己学習課題】** 妊婦に対する薬物使用の説明の仕方を学習

**【評価】** 観察記録・小テスト

**評価の時期・方法・基準**  
観察記録 (質疑応答、授業態度など) を30%、小テストを70%とし、総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…「薬剤師のための実践英会話 第2版」小宮山貴子著 じほう (3400円 税別)

**関連科目**  
他の英語科目

**担当者の研究室等**  
1号館2階、非常勤講師室

**備考**  
英語の学習には日々の積み重ねが必要ですので、怠らないように。

医療英会話 (「イ」クラス)				
Medical English Conversation				
村上 幸太郎 (ムラカミ コウタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	イ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語  
一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**【会話・ヒアリング】**  
1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)  
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

・グローバル化が進む今日では、日本にも数多くの外国人が滞在・居住しています。また、皆さんも将来的に海外で薬剤師や研究者として働くことがあるかもしれません。そこで、この授業では外国人が来院した場合にコミュニケーションができるよう、基礎的な言い回しや専門用語について学習します。相手と完璧に意思疎通ができるようになるのは難しいことですが、症状や病名などの重要な表現だけでも理解しておけばいざという時に役立つと思います。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 **【到達目標】** イントロダクション  
**【学習方法・自己学習課題】** 授業の進め方、評価方法などについて説明する。  
**【評価】** 特になし。

第2回 **【到達目標】** 処方箋受付時、薬の上手な服用方法などに関する言い回しを理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第3回 **【到達目標】** 処方箋受付時、薬の副作用などに関する言い回しを理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第4回 **【到達目標】** 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で

(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第5回 **【到達目標】** 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第6回 **【到達目標】** 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第7回 **【到達目標】** 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第8回 **【到達目標】** 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第9回 **【到達目標】** 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第10回 **【到達目標】** 患者へのインタビューに関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第11回 **【到達目標】** 服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第12回 **【到達目標】** 服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第13回 **【到達目標】** 発表に関する準備を進める。(班決め、原稿作りなど)  
**【学習方法・自己学習課題】** グループに分かれて各自発表に向けて準備する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第14回 **【到達目標】** 発表に関する準備を進める。(原稿作り、発表の練習など)  
**【学習方法・自己学習課題】** グループに分かれて各自発表に向けて準備する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

第15回 **【到達目標】** 発表を行う。  
**【学習方法・自己学習課題】** グループで病院や薬局における英語でのやり取りを行う。  
**【評価】** 発表でのパフォーマンスを評価する。

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験は行いません。授業の最終回で口頭によるチェックを行い、その結果を普段の授業態度などと合わせて総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…「薬剤師のための実践英会話」小宮山貴子著、じほう 3400円  
参考書…特になし。

**担当者の研究室等**  
1号館2階 非常勤講師室

**備考**  
よほどの事情がない限り授業には出席し、また最低限のマナーを守るよう心がけましょう。英語を話すことに自信がない人も多いと思いますが、まずは文法知識などに縛られずに思ったことを口に出すことから始めましょう。

医療英会話（「ウ」クラス）  
Medical English Conversation

木村 理恵子（キムラ リエコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ウ	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 授業の目的・内容を説明します  
Common Expressions: Chapter 2 主な症状  
【学習方法・自己学習課題】 授業が始まるまでにこの箇所は予習しておくこと  
聞いてわかること  
【評価】 実際に聞いてもらい、小テストのような形で記録してもらいます。
- 第2回** 【到達目標】 Common Expressions: Chapter 3 服薬指導例文  
【学習方法・自己学習課題】 薬効41種の薬の中で指定されるもの、すべてが英語で説明できること  
【評価】 実際に小テストの形で説明してもらいます。
- 第3回** 【到達目標】 Common Expressions: Chapter 3 薬の正しい使い方  
Common Expressions: Chapter 3 薬の正しい服用時間  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所から指定する部分について、英語で説明ができること  
【評価】 実際に小テストの形で説明してもらいます。
- 第4回** 【到達目標】 Common Expressions: Chapter 4 患者との会話  
Review Test  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
【評価】 Review Test
- 第5回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 1 処方箋受付時  
Dialog 1 処方箋の調剤をします  
Dialog 4 こちらが今日あなたに処方された薬です  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第6回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 3 毎食後となる前に1錠ずつ服用してください  
Dialog 4 もし薬を飲み忘れても、2回分を一度に飲んではいけません  
Dialog 5 自分勝手にいきなりふくやくを中断してはいけません  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第7回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 6 この薬を服用すると眠くなるかもしれません  
Part 1 Chapter 3 投与方法  
Dialog 1 錠剤を絶佳において、溶ききるまで飲みこんだり嚙んだりしないでください  
Dialog 3 少なくとも数秒間は息をとめることがコツです。また、この薬は一度に2階以上は吸入しないように  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第8回** 【到達目標】 第5回から第7回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。

- 【評価】 Review Test
- 第9回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 3 投与方法  
Dialog 6 自分勝手に錠剤を割ったり、つぶしたり、ある意はカプセルの中身をとりだしてはいけません  
Dialog 7 茶さじに顆粒を取って、水に溶いて飲みます。その後、10ml程度の水や湯冷ましを飲ませてください。  
Chapter 4 日常生活の注意点  
Dialog 2 ビタミンKwも多く含んでいる食べ物を避けるか、または常に一定量を取るようにするかどちらかが必要です。  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第10回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
Dialog 4 薬に対して何かアレルギーがありますか？  
Dialog 5 これまでに何か薬物療法を受けたことがありますか？  
Dialog 6 いつ頃から服用しているのですか？どのように服用していますか？  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第11回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
Dialog 7 何かOTC薬を常用されていますか？  
Dialog 8 これまでに何か特別な食事療法をしていましたか？  
Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導  
Dialog 1 今日のお加減はいかがですか？綿日は内科病棟担当の薬剤師です。  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第12回** 【到達目標】 第9回から第11回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
【評価】 Review Test
- 第13回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導  
Dialog 2 入院時まで何か薬を服用していましたか？  
Chapter 7 保険薬局での服薬指導  
Dialog 2 それでしたら、この薬はいかがでしょう  
Chapter 8 会計  
Dialog 1 お待たせしました・ほんじつのお薬代は1580円です。お支払はどのようになりますか？  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第14回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 9 その他  
Dialog 1 どうぞ落ち着いてください。そして、誤飲の状況を正しく教えてください。緊急を要する状態ではないので、心配いりません。  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第15回** 【到達目標】 第13回から第14回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
【評価】 Review Test
- 評価の時期・方法・基準  
Review Test (50%)、授業内活動参加と提出物 (50%) で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。
- 教材等  
教科書…「薬剤師のための実践英会話」(時報) 定価3400円  
参考書…N/A
- 関連科目  
他の英語科目  
担当者の研究室等

## 医療英会話(「エ」クラス)

Medical English Conversation

玉木 晋太(タマキ シンタ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	エ	後期	選択	1

## コース・ユニット・一般目標

コース:(G)薬学アドバンスト教育

ユニット:(1)実用薬学英語

一般目標:薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

## 【会話・ヒアリング】

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
  - 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  - 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- ・本講義では、薬学に関わる基礎的な英語のlisteningとspeakingの技能を身に付けることを目標とする。また、その上で必要となる基本的な文法事項や語彙の整理を行い、全体的な英語運用能力の向上を目指す。

## 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

## 第1回 【到達目標】 ガイダンス

【学習方法・自己学習課題】 授業内容の説明

小テストの実施範囲についての説明

座席決定など

小テスト範囲の事後学習

【評価】 今後の授業についてしっかり理解すること

## 第2回 【到達目標】 処方箋受付時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter1-1, 1-2

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第3回 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter2-1, 2-2

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第4回 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter2-1, 2-2

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第5回 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter2-5, 2-6

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第6回 【到達目標】 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter4-1, 4-2

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第7回 【到達目標】 中間審査でこれまでの基礎の定着を確認

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

しっかり内容を暗記できているか。

正しい発音ができているか。

流暢に話せているか。

## 第8回 【到達目標】 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter4-3, 4-4

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第9回 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter5-1, 5-2

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第10回 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter5-3, 5-4

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第11回 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter5-5, 5-6

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第12回 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter5-7, 5-8

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第13回 【到達目標】 挨拶と自己紹介についての基礎的なフレーズを覚える

Chapter6-1、薬歴の作成についての基礎的なフレーズを覚える

Chapter7-1

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第14回 【到達目標】 会計時の基礎的なフレーズを覚える

Chapter8-1, 8-2

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。

テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

小テスト範囲の事後学習

【評価】 小テストのスコア。

話をしっかり聴き、板書等ができていますか。

スピーキングの練習をしっかりとっているか。

## 第15回 【到達目標】 最終審査でこれまでの基礎の定着を確認

小テスト

【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。

【評価】 小テストのスコア。  
しっかり内容を暗記できているか。  
正しい発音ができているか。  
流暢に話せているか。

**評価の時期・方法・基準**

授業態度・小テスト・中間審査・最終審査を元に総合的に判断する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山貴子 「薬剤師のための実践英会話（時報）」  
（3400円）

参考書…授業中に指示

**関連科目**

すべての英語科目

**担当者の研究室等**

授業中に指示

**備考**

電子辞書等の持参が望ましい  
遅刻厳禁（遅刻は2回で1回分の欠席とする。）

医療英会話（「オ」クラス） Medical English Conversation				
岡 あゆみ (オカ アユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	オ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
- 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
・医療に関わる基礎的なlisteningとspeakingを身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
P.70-71 嗜好品について (Dialog31)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第2回 【到達目標】 P.54-55 症状の尋ね方ー痛み (Dialog23)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 P.70 嗜好品について (Dialog31) 暗唱
- 第3回 【到達目標】 P.62-63 過去の薬物療法について (Dialog27)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 P.54 症状の尋ね方ー痛み (Dialog23) 暗唱
- 第4回 【到達目標】 p.64-65 現在服用中の薬について (Dialog28)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 P.62 過去の薬物療法について (Dialog27) 暗唱
- 第5回 【到達目標】 p.66-67 OTC薬の服用について (Dialog29)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.64 現在服用中の薬について (Dialog28) 暗唱
- 第6回 【到達目標】 p.85-86 薬歴の作成について (Dialog36)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.66 OTC薬の服用について (Dialog29) 暗唱
- 第7回 【到達目標】 p.86-87 OTC薬の説明 (Dialog37)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.85 薬歴の作成について (Dialog36) 暗唱
- 第8回 【到達目標】 p.96-97 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog41)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.86 OTC薬の説明 (Dialog37) 暗唱
- 第9回 【到達目標】 p.2-3 処方せん受付 (Dialog1)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 p.96 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog41) 暗唱

- 第10回 【到達目標】 p.10-11 処方薬を渡す (Dialog4)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.2 処方せん受付 (Dialog1) 暗唱
- 第11回 【到達目標】 p.16-17 薬を飲み忘れたとき (Dialog7)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.10 処方薬を渡す (Dialog4) 暗唱
- 第12回 【到達目標】 p.20-21 副作用について (Dialog9)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.16 薬を飲み忘れたとき (Dialog7) 暗唱
- 第13回 【到達目標】 p.26-27 舌下錠の服用方法 (Dialog11)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.20 副作用について (Dialog9) 暗唱
- 第14回 【到達目標】 p.38-39 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.26 舌下錠の服用方法 (Dialog11) 暗唱
- 第15回 【到達目標】 p.14-15 用法・用量の説明 (Dialog6)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.38 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17) 暗唱

**評価の時期・方法・基準**

15回の講義中に口頭等で評価する。授業内アクティビティ (30%)、暗唱 (70%) で総合的に評価する。基本的なことをおろそかにせず、積極的に授業に臨むことが期待される。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山 貴子 編著『薬剤師のための実践英会話』(第2版)  
(じほう)

参考書…辞書

**担当者の研究室等**

非常勤控室

**備考**

期末試験は行わない。  
出席日数は平常点としない。

医療英会話（「カ」クラス） Medical English Conversation				
米田 繭子 (ヨネダ マユコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	カ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
- 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
・国際化が進む医療現場では、英会話のできる薬剤師が求められている。そこで、薬学領域の業務に必要とされる専門用語や英語表現を習得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Chapter 1: 処方せん受付時  
・処方せん受付  
・処方せん受付時の質問  
・妊婦に対する薬物使用の注意  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第3回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第4回 【到達目標】 Chapter 2: 薬剤交付時  
・処方薬を渡す

- ・副作用について
- ・保管方法について
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習
- 【評価】** 授業態度
- 第5回 **【到達目標】** ペアごとにダイアログを発表
- 【学習方法・自己学習課題】** 発表練習
- 【評価】** 発表評価、授業態度
- 第6回 **【到達目標】** Chapter 3: 投与方法
  - ・舌下錠の服用方法
  - ・吸入薬の吸入方法
  - ・徐放性製剤服用時の注意点
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習
- 【評価】** 授業態度
- 第7回 **【到達目標】** ペアごとにダイアログを発表
- 【学習方法・自己学習課題】** 発表練習
- 【評価】** 発表評価、授業態度
- 第8回 **【到達目標】** Chapter 4: 日常生活の注意点
  - ・規則的な食事と運動の必要性
  - ・ワーファリン服用中の食べ物に関する指導
  - ・日光過敏症になりやすい薬
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習
- 【評価】** 授業態度
- 第9回 **【到達目標】** ペアごとにダイアログを発表
- 【学習方法・自己学習課題】** 発表練習
- 【評価】** 発表評価、授業態度
- 第10回 **【到達目標】** Chapter 5: 患者インタビュー
  - ・症状の尋ね方—痛み
  - ・治療経過の説明
  - ・アレルギーの有無について
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習
- 【評価】** 授業態度
- 第11回 **【到達目標】** ペアごとにダイアログを発表
- 【学習方法・自己学習課題】** 発表練習
- 【評価】** 発表評価、授業態度
- 第12回 **【到達目標】** Chapter 5: 患者インタビュー
  - ・過去の薬物療法について
  - ・現在服用中の薬について
  - ・OTC薬の服用について
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習
- 【評価】** 授業態度
- 第13回 **【到達目標】** ペアごとにダイアログを発表
- 【学習方法・自己学習課題】** 発表練習
- 【評価】** 発表評価、授業態度
- 第14回 **【到達目標】** Chapter 7: 保険薬局での服薬指導
  - ・薬歴の作成について
  - ・OTC薬の説明
- Chapter 8: 会計
  - ・薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義、演習、予習
- 【評価】** 授業態度
- 第15回 **【到達目標】** ペアごとにダイアログを発表
- 【学習方法・自己学習課題】** 発表練習
- 【評価】** 発表評価、授業態度

**評価の時期・方法・基準**

発表や授業での積極性等により総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山 貴子 (著) 「薬剤師のための実践英会話」第2版 じほう (3,400円+税)

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

辞書必携。  
出席日数は平常点としない。  
予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

**医療英会話 (「キ」クラス)**  
Medical English Conversation

山内 浩 充 (ヤマウチ ヒロミツ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	キ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語  
一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**【会話・ヒアリング】**

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べる事ができる。(知識・技能)
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  - ・外国人の患者さんに対応できるように、また、海外で病気や事故にあった時に対応できるように、医療に関わる基礎的なリスニングとスピーキングを身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 **【到達目標】** ガイダンス
- 【学習方法・自己学習課題】** 教科書を持参すること
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第2回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** かげの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (1)
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第3回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** かげの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (2)
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第4回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (1)
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第5回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (2)
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第6回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 症状の表現と薬の効能や使用方法を復習するとともに、アレルギーの有無の尋ね方を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第7回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 症状の表現と薬の効能や使用方法を復習するとともに、薬歴の尋ね方を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第8回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 症状の表現と薬の効能や使用方法を復習するとともに、食事や嗜好品の尋ね方を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第9回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 症状の表現と薬の効能や使用方法を復習するとともに、副作用の説明の仕方を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第10回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 症状の表現と薬の効能や使用方法を復習するとともに、薬の保管方法の説明の仕方を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第11回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 症状の表現と薬の効能や使用方法を復習するとともに、会計のときの会話を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第12回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (1)
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第13回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (2)
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第14回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 投与方法 (舌下錠・吸入薬など) を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト
- 第15回 **【到達目標】** 薬局での会話
- 【学習方法・自己学習課題】** 妊婦に対する薬物使用の説明の仕方を学習
- 【評価】** 観察記録・小テスト

**評価の時期・方法・基準**

観察記録(質疑応答、授業態度など)を30%、小テストを70%とし、総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「薬剤師のための実践英会話 第2版」小宮山貴子 著 じほう (3400円 税別)

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階、非常勤講師室

**備考**

英語の学習には日々の積み重ねが必要ですので、怠らないように。

## 医療英会話（「ク」クラス）

Medical English Conversation

米田 蘭子 (ヨネダ マユコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ク	後期	選択	1

### コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
  - 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  - 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- ・国際化が進む医療現場では、英会話のできる薬剤師が求められている。そこで、薬学領域の業務に必要なとされる専門用語や英語表現を習得する。

### 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 オリエンテーション

授業の概要説明と評価方法について

第2回 【到達目標】 Chapter 1:処方せん受付時

・処方せん受付

・処方せん受付時の質問

・妊婦に対する薬物使用の注意

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 授業態度

第3回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表

【学習方法・自己学習課題】 発表練習

【評価】 発表評価、授業態度

第4回 【到達目標】 Chapter 2: 薬剤交付時

・処方薬を渡す

・副作用について

・保管方法について

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 授業態度

第5回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表

【学習方法・自己学習課題】 発表練習

【評価】 発表評価、授業態度

第6回 【到達目標】 Chapter 3: 投与方法

・舌下錠の服用方法

・吸入薬の吸入方法

・徐放性製剤服用時の注意点

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 授業態度

第7回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表

【学習方法・自己学習課題】 発表練習

【評価】 発表評価、授業態度

第8回 【到達目標】 Chapter 4: 日常生活の注意点

・規則的な食事と運動の必要性

・ワーファリン服用中の食べ物に関する指導

・日光過敏症になりやすい薬

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 授業態度

第9回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表

【学習方法・自己学習課題】 発表練習

【評価】 発表評価、授業態度

第10回 【到達目標】 Chapter 5: 患者インタビュー

・症状の尋ね方一痛み

・治療経過の説明

・アレルギーの有無について

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 授業態度

第11回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表

【学習方法・自己学習課題】 発表練習

【評価】 発表評価、授業態度

第12回 【到達目標】 Chapter 5: 患者インタビュー

・過去の薬物療法について

・現在服用中の薬について

・OTC薬の服用について

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 授業態度

第13回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表

【学習方法・自己学習課題】 発表練習

【評価】 発表評価、授業態度

第14回 【到達目標】 Chapter 7: 保険薬局での服薬指導

・薬歴の作成について

・OTC薬の説明

Chapter 8: 会計

・薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行

【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習

【評価】 授業態度

第15回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表

【学習方法・自己学習課題】 発表練習

【評価】 発表評価、授業態度

### 評価の時期・方法・基準

発表や授業での積極性等により総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

### 教材等

教科書…小宮山 貴子 (著) 「薬剤師のための実践英会話」第2版 じほう (3,400円+税)

### 担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

### 備考

辞書必携。

出席日数は平常点としない。

予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

## 医療英会話（「ケ」クラス）

Medical English Conversation

岡 あゆみ (オカ アユミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ケ	後期	選択	1

### コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
  - 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  - 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- ・医療に関わる基礎的なlisteningとspeakingを身につける。

### 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 オリエンテーション

P.70-71 嗜好品について (Dialog31)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

第2回 【到達目標】 P.54-55 症状の尋ね方一痛み (Dialog23)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 P.70 嗜好品について (Dialog31) 暗唱

第3回 【到達目標】 P.62-63 過去の薬物療法について (Dialog27)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 P.54 症状の尋ね方一痛み (Dialog23) 暗唱

第4回 【到達目標】 p.64-65 現在服用中の薬について (Dialog28)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 P.62 過去の薬物療法について (Dialog27) 暗唱

第5回 【到達目標】 p.66-67 OTC薬の服用について (Dialog29)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 p.64 現在服用中の薬について (Dialog28) 暗唱

第6回 【到達目標】 p.85-86 薬歴の作成について (Dialog36)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 p.66 OTC薬の服用について (Dialog29) 暗唱

第7回 【到達目標】 p.86-87 OTC薬の説明 (Dialog37)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 p.85 薬歴の作成について (Dialog36) 暗唱

第8回 【到達目標】 p.96-97 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog41)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

【評価】 p.86 OTC薬の説明 (Dialog37) 暗唱

第9回 【到達目標】 p.2-3 処方せん受付 (Dialog1)

【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

- 【評価】 p.96 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog4) 暗唱
- 第10回 【到達目標】 p.10-11 処方薬を渡す (Dialog4)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第11回 【評価】 p.2 処方せん受付 (Dialog1) 暗唱  
【到達目標】 p.16-17 薬を飲み忘れたとき (Dialog7)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第12回 【評価】 p.10 処方薬を渡す (Dialog4) 暗唱  
【到達目標】 p.20-21 副作用について (Dialog9)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第13回 【評価】 p.16 薬を飲み忘れたとき (Dialog7) 暗唱  
【到達目標】 p.26-27 舌下錠の服用方法 (Dialog11)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第14回 【評価】 p.20 副作用について (Dialog9) 暗唱  
【到達目標】 p.38-39 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第15回 【評価】 p.26 舌下錠の服用方法 (Dialog11) 暗唱  
【到達目標】 p.14-15 用法・用量の説明 (Dialog6)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.38 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17) 暗唱

**評価の時期・方法・基準**

15回の講義中に口頭等で評価する。授業内アクティビティ (30%)、暗唱 (70%) で総合的に評価する。基本的なことをおろそかにせず、積極的に授業に臨むことが期待される。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山 貴子 編著『薬剤師のための実践英会話』(第2版) (じほう)

参考書…辞書

**担当者の研究室等**

非常勤控室

**備考**

期末試験は行わない。  
出席日数は平常点としない。

**医療英会話 (「コ」クラス)**  
Medical English Conversation

木村 理恵子 (キムラ リエコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	コ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**【会話・ヒアリング】**

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べるができる。(知識・技能)
- 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 授業の目的・内容を説明します  
Common Expressions: Chapter 2 主な症状  
【学習方法・自己学習課題】 授業が始まるまでにこの箇所は予習しておくこと  
聞いてわかること  
【評価】 実際に聞いてもらい、小テストのような形で記録してもらいます。
- 第2回 【到達目標】 Common Expressions : Chapter 3 服薬指導例文  
【学習方法・自己学習課題】 薬効41種の薬の中で指定されるもの、すべてが英語で説明できること  
【評価】 実際に小テストの形で説明してもらいます。
- 第3回 【到達目標】 Common Expressions : Chapter 3 薬の正しい使い方  
Common Expressions : Chapter 3 薬の正しい服用時間  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所から指定する部分について、英語で説明ができること

- 第4回 【評価】 実際に小テストの形で説明してもらいます。  
【到達目標】 Common Expressions : Chapter 4 患者との会話 Review Test  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。
- 第5回 【評価】 Review Test  
【到達目標】 Part 1 Chapter 1 処方箋受付時  
Dialog 1 処方箋の調剤をします  
Dialog 4 こちらが今日あなたに処方された薬です  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第6回 【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
【到達目標】 Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 3 毎食後となる前に1錠ずつ服用してください  
Dialog 4 もし薬を飲み忘れても、2回分を一度に飲んではいけません  
Dialog 5 自分勝手にいきなりふくやくを中断してはいけません  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第7回 【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
【到達目標】 Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 6 この薬を服用すると眠くなるかもしれません  
Part 1 Chapter 3 投与方法  
Dialog 1 錠剤を絶佳において、溶ききるまで飲みこんだり嚥んだりしないでください  
Dialog 3 少なくとも数秒間は息をとめることがコツです。  
また、この薬は一度に2階以上は吸入しないように  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第8回 【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
【到達目標】 第5回から第7回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。
- 第9回 【評価】 Review Test  
【到達目標】 Part 1 Chapter 3 投与方法  
Dialog 6 自分勝手に錠剤を割ったり、つぶしたり、あるいはカプセルの中身をとりだしてはいけません  
Dialog 7 茶さじに顆粒を取って、水に溶いて飲ませます。その後、10ml程度の水や湯冷ましを飲ませてください。  
Chapter 4 日常生活の注意点  
Dialog 2 ビタミンKw0多く含んでいる食べ物を避けるか、または常に一定量を取るようになるかどちらかが必要です。  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第10回 【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
【到達目標】 Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
Dialog 4 薬に対して何かアレルギーがありますか？  
Dialog 5 これまでに何か薬物療法を受けたことがありますか？  
Dialog 6 いつ頃から服用しているのですか？どのように服用していますか？  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第11回 【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
【到達目標】 Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
Dialog 7 何かOTC薬を常用されていますか？  
Dialog 8 これまでに何か特別な食事療法をしていましたか？  
Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導  
Dialog 1 今日のお加減はいかがですか？綿日は内科病棟担当の薬剤師です。  
【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。

- 第12回** 【到達目標】 第9回から第11回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
 【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
 【評価】 Review Test
- 第13回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導  
 Dialog 2 入院時まで何か薬を服用していましたか？  
 Chapter 7 保険薬局での服薬指導  
 Dialog 2 それでしたら、この薬はいかがでしょう  
 Chapter 8 会計  
 Dialog 1 お待たせしました・ほんじつのお薬代は1580円です。お支払はどのようになさいますか？  
 【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
 実際に発音をする。  
 指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
 【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第14回** 【到達目標】 Part 1 Chapter 9 その他  
 Dialog 1 どうぞ落ち着いてください。そして、誤飲の状況を正しく教えてください。緊急を要する状態ではないので、心配いりません。  
 【学習方法・自己学習課題】 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
 実際に発音をする。  
 指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
 【評価】 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第15回** 【到達目標】 第13回から第14回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
 【学習方法・自己学習課題】 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
 【評価】 Review Test
- 評価の時期・方法・基準**  
 Review Test (50%)、授業内活動参加と提出物 (50%) で総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
 教科書…「薬剤師のための実践英会話」(時報) 定価3400円  
 参考書…N/A
- 関連科目**  
 他の英語科目
- 担当者の研究室等**  
 1号館2階(非常勤講師室)

医療英会話(「サ」クラス)				
Medical English Conversation				
玉木晋太(タマキ シンタ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	サ	後期	選択	1

- コース・ユニット・一般目標**  
 コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
 ユニット：(1) 実用薬学英語  
 一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。  
 【会話・ヒアリング】  
 1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べるができる。(知識・技能)  
 2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
 3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
 ・本講義では、薬学に関わる基礎的な英語のlisteningとspeakingの技能を身に付けることを目標とする。また、その上で必要となる基本的な文法事項や語彙の整理を行い、全体的な英語運用能力の向上を目指す。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ガイダンス  
 【学習方法・自己学習課題】 授業内容の説明  
 小テストの実施範囲についての説明  
 座席決定など  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 今後の授業についてしっかり理解すること
- 第2回** 【到達目標】 処方箋受付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter1-1, 1-2

- 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第3回** 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter2-1, 2-2  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第4回** 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter2-1, 2-2  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第5回** 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter2-5, 2-6  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第6回** 【到達目標】 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter4-1, 4-2  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第7回** 【到達目標】 中間審査でこれまでの基礎の定着を確認  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 しっかり内容を暗記できているか。  
 正しい発音ができているか。  
 流暢に話せているか。
- 第8回** 【到達目標】 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter4-3, 4-4  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第9回** 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter5-1, 5-2  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
 【評価】 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第10回** 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter5-3, 5-4  
 小テスト  
 【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習

- 【評価】** 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができていますか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第11回** **【到達目標】** 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚えるChapter5-5, 5-6  
小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができていますか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第12回** **【到達目標】** 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚えるChapter5-7, 5-8  
小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができていますか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第13回** **【到達目標】** 挨拶と自己紹介についての基礎的なフレーズChapter6-1、薬歴の作成についての基礎的なフレーズを覚えるChapter7-1  
小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができていますか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第14回** **【到達目標】** 会計時の基礎的なフレーズを覚えるChapter8-1, 8-2  
小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができていますか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第15回** **【到達目標】** 最終審査でこれまでの基礎的な定着を確認  
小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。  
**【評価】** 小テストのスコア。  
しっかりと内容を暗記できているか。  
正しい発音ができているか。  
流暢に話せているか。

**評価の時期・方法・基準**

授業態度・小テスト・中間審査・最終審査を元に総合的に判断する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

**教科書**…小宮山貴子 「薬剤師のための実践英会話（時報）」（3400円）

**参考書**…授業中に指示

**関連科目**

すべての英語科目

**担当者の研究室等**

授業中に指示

**備考**

電子辞書等の持参が望ましい  
遅刻厳禁（遅刻は2回で1回分の欠席とする。）

**医療英会話（「シ」クラス）**

Medical English Conversation

村上 幸太郎(ムラカミ コウタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	シ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**【会話・ヒアリング】**

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べるができる。(知識・技能)
  2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- ・グローバル化が進む今日では、日本にも数多くの外国人が滞在・居住しています。また、皆さんも将来的に海外で薬剤師や研究者として働くこともあるかもしれません。そこで、この授業では外国人が来院した場合にコミュニケーションができるよう、基礎的な言い回しや専門用語について学習します。相手と完璧に意思疎通ができるようになるのは難しいことですが、症状や病名などの重要な表現だけでも理解しておけばいざという時に役立つと思います。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** **【到達目標】** イントロダクション  
**【学習方法・自己学習課題】** 授業の進め方、評価方法などについて説明する。  
**【評価】** 特になし。
- 第2回** **【到達目標】** 処方箋受付時、薬の上手な服用方法などに関する言い回しを理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第3回** **【到達目標】** 処方箋受付時、薬の副作用などに関する言い回しを理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第4回** **【到達目標】** 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第5回** **【到達目標】** 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第6回** **【到達目標】** 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第7回** **【到達目標】** 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第8回** **【到達目標】** 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第9回** **【到達目標】** 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第10回** **【到達目標】** 患者へのインタビューに関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第11回** **【到達目標】** 服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第12回** **【到達目標】** 服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

- 第13回** 【到達目標】 発表に関する準備を進める。(班決め、原稿作りなど)  
 【学習方法・自己学習課題】 グループに分かれて各自発表に向けて準備する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第14回** 【到達目標】 発表に関する準備を進める。(原稿作り、発表の練習など)  
 【学習方法・自己学習課題】 グループに分かれて各自発表に向けて準備する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第15回** 【到達目標】 発表を行う。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループで病院や薬局における英語でのやり取りを行う。  
 【評価】 発表でのパフォーマンスを評価する。

**評価の時期・方法・基準**

定期試験は行いません。授業の最終回で口頭によるチェックを行い、その結果を普段の授業態度などと合わせて総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…『薬剤師のための実践英会話』小宮山貴子著、じほう 3400円  
 参考書…特になし。

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

よほどの事情がない限り授業には出席し、また最低限のマナーを守るよう心がけましょう。英語を話すことに自信がない人も多いと思いますが、まずは文法知識などに縛られずに思ったことを口に出すことから始めましょう。

海外語学研修 Overseas Language Training				
齋 藤 安以子 (サイトウ アイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	集中	選択	2

**コース・ユニット・一般目標**

この研修は、語学力(英語力)の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は約35~40万円程度を予定(為替レートにより変動の可能性あり)。\*詳細は、3月~4月の募集ガイダンスで周知する。

**学習方法・自己学習課題**

- 3月上旬~4月下旬
- 募集ガイダンス(日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する)、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務付けられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。
- 5月
- 申込書の提出
- 5月下旬
- 派遣学生の決定および履修申請
- 6月~8月
- 事前ガイダンスを実施(全3回)
- 8月上旬
- 結団式
- 研修スケジュール>
- [2週間コース]
- 8月中旬~8月下旬(予定)
- [3週間コース]
- 8月中旬~9月上旬(予定)
- 9月
- 成果報告書の提出
- 9月中旬
- 成果報告会

**評価の時期・方法・基準**

帰国後に提出する成果報告書(20%)および研修先での成績(80%)を基に評価する。

**教材等**

教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。  
 参考書…研修先の国、地域の観光局等のホームページ・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

**備考**

- ①参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡すること。
- ②事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意すること。

スポーツ科学 Sports Science				
横 山 喬 之 (ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：教養  
 ユニット：スポーツ科学  
 一般目標：スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ガイダンス  
 【学習方法・自己学習課題】 履修ガイダンス、コース種目分け  
 【評価】 観察記録
- 第2回** 【到達目標】 体力測定①  
 【学習方法・自己学習課題】 屋外種目  
 【評価】 体力測定評価
- 第3回** 【到達目標】 体力測定②  
 【学習方法・自己学習課題】 屋内種目  
 【評価】 体力測定評価
- 第4回** 【到達目標】 バレーボール  
 【学習方法・自己学習課題】 基礎技術(パス・レシーブ)  
 【評価】 観察記録
- 第5回** 【到達目標】 バレーボール  
 【学習方法・自己学習課題】 基礎技術(パス・レシーブ)  
 【評価】 観察記録
- 第6回** 【到達目標】 バレーボール  
 【学習方法・自己学習課題】 基礎技術(サーブ・アタック・ブロック)  
 【評価】 観察記録
- 第7回** 【到達目標】 バレーボール  
 【学習方法・自己学習課題】 基礎技術(サーブ・アタック・ブロック)  
 【評価】 観察記録
- 第8回** 【到達目標】 バレーボール  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム リーグ戦  
 【評価】 観察記録
- 第9回** 【到達目標】 バレーボール  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム リーグ戦  
 【評価】 観察記録
- 第10回** 【到達目標】 フットサル  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習(パス・キック・ランニング等)  
 【評価】 観察記録
- 第11回** 【到達目標】 フットサル  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習(パス・キック・ランニング等)  
 【評価】 観察記録
- 第12回** 【到達目標】 フットサル  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習・ミニゲーム  
 【評価】 観察記録
- 第13回** 【到達目標】 フットサル  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習・ミニゲーム  
 【評価】 観察記録
- 第14回** 【到達目標】 フットサル  
 【学習方法・自己学習課題】 リーグ戦  
 【評価】 観察記録
- 第15回** 【到達目標】 フットサル  
 【学習方法・自己学習課題】 リーグ戦  
 【評価】 観察記録

**評価の時期・方法・基準**

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…使用しない  
 参考書…使用しない

**担当者の研究室等**

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)

**スポーツ科学**  
Sports Science

内村直也 (ウチムラ ナオヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：教養  
 ユニット：スポーツ科学  
 一般目標：スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 ガイダンス  
 【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
 【評価】 観察記録
- 第2回 【到達目標】 体力測定①  
 屋外種目  
 【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
 【評価】 観察記録
- 第3回 【到達目標】 体力測定②  
 屋内種目  
 【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
 【評価】 観察記録
- 第4回 【到達目標】 ハンドボール  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術（キャッチボール・ドリブル、シュート）  
 【評価】 観察記録
- 第5回 【到達目標】 ハンドボール  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術（キャッチボール・ドリブル、シュート）  
 【評価】 観察記録
- 第6回 【到達目標】 ハンドボール  
 【学習方法・自己学習課題】 応用技術（ルール・ゲーム）  
 【評価】 観察記録
- 第7回 【到達目標】 ハンドボール  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
 【評価】 観察記録
- 第8回 【到達目標】 ハンドボール  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
 【評価】 観察記録
- 第9回 【到達目標】 ハンドボール  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
 【評価】 観察記録
- 第10回 【到達目標】 アルティメット  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術（パス・キャッチ・スロ一、シュート、ドリブル）  
 【評価】 観察記録
- 第11回 【到達目標】 アルティメット  
 【学習方法・自己学習課題】 基本技術（パス・キャッチ・スロ一、シュート、ドリブル）  
 【評価】 観察記録
- 第12回 【到達目標】 アルティメット  
 【学習方法・自己学習課題】 応用技術（ルール・ゲーム）  
 【評価】 観察記録
- 第13回 【到達目標】 アルティメット  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
 【評価】 観察記録
- 第14回 【到達目標】 アルティメット  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
 【評価】 観察記録
- 第15回 【到達目標】 アルティメット  
 【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
 【評価】 観察記録

**評価の時期・方法・基準**

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…使用しない  
 参考書…使用しない

**担当者の研究室等**

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)

**スポーツ科学**  
Sports Science

藤林真美 (フジバヤシ マミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

本授業は、スポーツ活動を通じて健康・体力観を育成し、身体能力の維持・増進、およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 ガイダンス  
 【学習方法・自己学習課題】 履修上の注意、コース種目分け  
 【到達目標】 体力測定①  
 【学習方法・自己学習課題】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ  
 【評価】 体力測定評価
- 第2回 【到達目標】 体力測定②  
 【学習方法・自己学習課題】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳  
 【評価】 体力測定評価
- 第3回 【到達目標】 健康・体力について基礎知識を習得し、本授業がそれにどのように貢献し得るか検討する。  
 【学習方法・自己学習課題】 健康・体力について講義を行う。自分自身の生活習慣を振り返り、第2・3回めの授業で行った体力測定結果と併せて、望ましい生活習慣について考察する。  
 【評価】 レポート
- 第5回 【到達目標】 レクリエーション1  
 【学習方法・自己学習課題】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第6回 【到達目標】 レクリエーション2  
 【学習方法・自己学習課題】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第7回 【到達目標】 ウォーキング  
 【学習方法・自己学習課題】 ウォーキングの運動効果など基礎知識を学び、ウォーキングラリーを行う。  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第8回 【到達目標】 ウォーキング・ジョギング  
 【学習方法・自己学習課題】 有酸素運動の方法や効果について学ぶ。歩数計をつけてウォーキング・ジョギングを行い、効果的な強度を修得する。  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第9回 【到達目標】 レジスタンス運動1  
 【学習方法・自己学習課題】 レジスタンス運動の有用性を修得する。自重を用いたレジスタンス運動を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第10回 【到達目標】 レジスタンス運動2  
 【学習方法・自己学習課題】 サーキット運動を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第11回 【到達目標】 球技1  
 【学習方法・自己学習課題】 バasketボールやドッジボールなど球技を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第12回 【到達目標】 球技2  
 【学習方法・自己学習課題】 バasketボールやドッジボールなど球技を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第13回 【到達目標】 コンディショニング1  
 【学習方法・自己学習課題】 ヨガやピラティスを体験する。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第14回 【到達目標】 コンディショニング2  
 【学習方法・自己学習課題】 ヨガやスポーツマッサージを行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
 【評価】 授業内容のまとめ
- 第15回 【到達目標】 総括  
 【学習方法・自己学習課題】 自分自身の健康の維持・増進を目的としてどのような運動を継続することができるか考え、実際に運動メニューを考案する。  
 【評価】 レポート

**評価の時期・方法・基準**

評価の時期：学部所定の日程  
 評価方法・基準：出席を重視したうえで、平常態度、レポート、

技能などを総合して評価する。100点満点中、60点以上で合格とする。

**関連科目**

健康科学

**担当者の研究室等**

枚方学舎グリーンハウス（体育準備室）。ただし授業開講曜日のみ。  
他の曜日は、寝屋川学舎総合体育館1階 藤林研究室。

英語IIc（「ア」クラス） English IIC				
山内 浩 充(ヤマウチ ヒロミツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ア	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

外国人の患者さんに対応できるように、また、海外で病気や事故にあった時に対応できるように、医療に関わる基礎的なリスニングとスピーキングを身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 教科書を持参すること  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第2回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 かぜの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第3回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 かぜの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第4回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第5回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第6回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、アレルギーの有無の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第7回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、薬歴の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第8回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、食事や嗜好品の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第9回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、副作用の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第10回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、薬の保管方法の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第11回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、会計のときの会話を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第12回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト

- 第13回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第14回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 投与方法（舌下錠・吸入薬など）を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第15回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 妊婦に対する薬物使用の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト

**評価の時期・方法・基準**

観察記録（質疑応答、授業態度など）を30%、小テストを70%とします。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「薬剤師のための実践英会話 第2版」 小宮山貴子 著 じほう (3400円 税別)

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階、非常勤講師室

**備考**

英語の学習には日々の積み重ねが必要ですので、怠らないように。

英語IIc（「イ」クラス） English IIC				
村 上 幸 大 郎(ムラカミ コウタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	イ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

グローバル化が進む今日では、日本にも数多くの外国人が滞在・居住しています。また、皆さんも将来的に海外で薬剤師や研究者として働くこともあるかもしれません。そこで、この授業では外国人が来院した場合にコミュニケーションができるよう、基礎的な言い回しや専門用語について学習します。相手と完璧に意思疎通ができるようになるのは難しいことですが、症状や病名などの重要な表現だけでも理解しておけばいざという時に役立つと思います。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 イントロダクション  
【学習方法・自己学習課題】 授業の進め方、評価方法などについて説明する。  
【評価】 特になし。
- 第2回** 【到達目標】 処方箋受付時、薬の上手な服用方法などに関する言い回しを理解する。  
【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第3回** 【到達目標】 処方箋受付時、薬の副作用などに関する言い回しを理解する。  
【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第4回** 【到達目標】 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(1)  
【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第5回** 【到達目標】 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(2)  
【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で

(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第6回 【到達目標】** 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)

**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第7回 【到達目標】** 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)

**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第8回 【到達目標】** 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(1)

**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第9回 【到達目標】** 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(2)

**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第10回 【到達目標】** 患者へのインタビューに関する言い回しを理解する。(1)

**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第11回 【到達目標】** 服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)

**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第12回 【到達目標】** 服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)

**【学習方法・自己学習課題】** 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第13回 【到達目標】** 発表に関する準備を進める。(班決め、原稿作りなど)

**【学習方法・自己学習課題】** グループに分かれて各自発表に向けて準備する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第14回 【到達目標】** 発表に関する準備を進める。(原稿作り、発表の練習など)

**【学習方法・自己学習課題】** グループに分かれて各自発表に向けて準備する。

**【評価】** 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。

**第15回 【到達目標】** 発表を行う。

**【学習方法・自己学習課題】** グループで病院や薬局における英語でのやり取りを行う。

**【評価】** 発表でのパフォーマンスを評価する。

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験は行いません。授業の最終回で口頭によるチェックを行い、その結果を普段の授業態度などと合わせて総合的に評価します。

100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…『薬剤師のための実践英会話』小宮山貴子著、じほう 3400円

参考書…特になし。

**担当者の研究室等**  
1号館2階 非常勤講師室

**備考**  
よほどの事情がない限り授業には出席し、また最低限のマナーを守るよう心がけましょう。英語を話すことに自信がない人も多いと思いますが、まずは文法知識などに縛られずに思ったことを口に出すことから始めましょう。

英語IIc (「ウ」クラス)  
English IIC

木村 理恵子 (キムラ リエコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ウ	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】** 授業の目的・内容を説明します  
Common Expressions: Chapter 2 主な症状  
**【学習方法・自己学習課題】** 授業が始まるまでにこの箇所は予習しておくこと  
聞いてわかること  
**【評価】** 実際に聞いてもらい、小テストのような形で記録してもらいます。
- 第2回 【到達目標】** Common Expressions: Chapter 3 服薬指導例文  
**【学習方法・自己学習課題】** 薬効41種の薬の中で指定されるもの、すべてが英語で説明できること  
**【評価】** 実際に小テストの形で説明してもらいます。
- 第3回 【到達目標】** Common Expressions: Chapter 3 薬の正しい使い方  
Common Expressions: Chapter 3 薬の正しい服用時間  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所から指定する部分について、英語で説明ができること  
**【評価】** 実際に小テストの形で説明してもらいます。
- 第4回 【到達目標】** Common Expressions: Chapter 4 患者との会話  
Review Test  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
**【評価】** Review Test
- 第5回 【到達目標】** Part 1 Chapter 1 処方箋受付時  
Dialog 1 処方箋の調剤をします  
Dialog 4 こちらが今日あなたに処方された薬です  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第6回 【到達目標】** Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 3 毎食後となる前に1錠ずつ服用してください  
Dialog 4 もし薬を飲み忘れても、2回分を一度に飲んではいけません  
Dialog 5 自分勝手にいきなりふくやくを中断してはいけません  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第7回 【到達目標】** Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 6 この薬を服用すると眠くなるかもしれません  
Part 1 Chapter 3 投与方法  
Dialog 1 錠剤を絶佳において、溶ききるまで飲みこんだり嚙んだりしないでください  
Dialog 3 少なくとも数秒間は息をとめることがコツです。  
また、この薬は一度に2階以上は吸入しないように  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第8回 【到達目標】** 第5回から第7回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。

- 【評価】** Review Test
- 第9回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 3 投与方法  
 Dialog 6 自分勝手に錠剤を割ったり、つぶしたり、ある意はカプセルの中身をとりだしてはいけません  
 Dialog 7 茶さじに顆粒を取って、水に溶いて飲ませます。その後、10ml程度の水や湯冷ましを飲ませてください。  
 Chapter 4 日常生活の注意点  
 Dialog 2 ビタミンK w o多く含んでいる食べ物を避けるか、または常に一定量を取るようになるかどちらかが必要です。  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
 実際に発音をする。  
 指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第10回** **【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
**【到達目標】** Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
 Dialog 4 薬に対して何かアレルギーがありますか？  
 Dialog 5 これまでに何か薬物療法を受けたことがありますか？  
 Dialog 6 いつ頃から服用しているのですか？どのように服用していますか？  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
 実際に発音をする。  
 指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第11回** **【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
**【到達目標】** Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
 Dialog 7 何かOTC薬を常用されていますか？  
 Dialog 8 これまでに何か特別な食事療法をしていましたか？  
 Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導  
 Dialog 1 今日のお加減はいかがですか？綿日は内科病棟担当の薬剤師です。  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
 実際に発音をする。  
 指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第12回** **【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
**【到達目標】** 第9回から第11回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。
- 第13回** **【評価】** Riview Test  
**【到達目標】** Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導  
 Dialog 2 入院時まで何か薬を服用していましたか？  
 Chapter 7 保険薬局での服薬指導  
 Dialog 2 それでしたら、この薬はいかがでしょう  
 Chapter 8 会計  
 Dialog 1 お待たせしました・ほんっじつのお薬代は1580円です。お支払はどのようになりますか？  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
 実際に発音をする。  
 指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第14回** **【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
**【到達目標】** Part 1 Chapter 9 その他  
 Dialog 1 どうぞ落ち着いてください。そして、誤飲の状況を正しく教えてください。緊急を要する状態ではないので、心配いりません。  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
 実際に発音をする。  
 指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。
- 第15回** **【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。  
**【到達目標】** 第13回から第14回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。
- 【評価】** Review Test
- 評価の時期・方法・基準**  
 Review Test 50%  
 授業内活動参加と提出物 50%  
 100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
 教科書…「薬剤師のための実践英会話」(時報) 定価3400円  
 参考書…N/A
- 関連科目**  
 他の英語科目

担当者の研究室等  
 1号館2階(非常勤講師室)

英語IIc (「エ」クラス)  
 English IIC

玉木晋太(タマキ シンタ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	エ	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(G)薬学アドバンスト教育  
 ユニット：(1) 実用薬学英語  
 一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。  
**【会話・ヒアリング】**  
 1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)  
 2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
 3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
 本講義では、薬学に関わる基礎的な英語のlisteningとspeakingの技能を身に付けることを目標とする。また、その上で必要となる基本的な文法事項や語彙の整理を行い、全体的な英語運用能力の向上を目指す。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** **【到達目標】** ガイダンス  
**【学習方法・自己学習課題】** 授業内容の説明  
 小テストの実施範囲についての説明  
 座席決定など  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 今後の授業についてしっかり理解すること
- 第2回** **【到達目標】** 処方箋受付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter1-1, 1-2  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第3回** **【到達目標】** 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter2-1, 2-2  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第4回** **【到達目標】** 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter2-1, 2-2  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第5回** **【到達目標】** 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter2-5, 2-6  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第6回** **【到達目標】** 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚える  
 Chapter4-1, 4-2  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。

- 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第7回** **【到達目標】** 中間審査でこれまでの基礎の定着を確認  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 しっかり内容を暗記できているか。  
 正しい発音ができているか。  
 流暢に話せているか。
- 第8回** **【到達目標】** 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚えるChapter4-3, 44  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第9回** **【到達目標】** 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚えるChapter5-1, 5-2  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第10回** **【到達目標】** 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚えるChapter5-3, 5-4  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第11回** **【到達目標】** 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚えるChapter5-5, 5-6  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第12回** **【到達目標】** 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚えるChapter5-7, 5-8  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第13回** **【到達目標】** 挨拶と自己紹介についての基礎的なフレーズChapter6-1、薬歴の作成についての基礎的なフレーズを覚えるChapter7-1  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第14回** **【到達目標】** 会計時の基礎的なフレーズを覚えるChapter8-1, 8-2  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
 小テスト範囲の事後学習  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 話をしっかり聴き、板書等ができていくか。  
 スピーキングの練習をしっかりとっているか。

- 第15回** **【到達目標】** 最終審査でこれまでの基礎の定着を確認  
 小テスト  
**【学習方法・自己学習課題】** 小テストの実施。  
 今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。  
**【評価】** 小テストのスコア。  
 しっかり内容を暗記できているか。  
 正しい発音ができているか。  
 流暢に話せているか。
- 評価の時期・方法・基準**  
 授業態度・小テスト・中間審査・最終審査を元に総合的に判断。  
 100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
**教科書**…小宮山貴子 「薬剤師のための実践英会話（時報）」  
 (3400円)  
**参考書**…授業中に指示
- 関連科目**  
 すべての英語科目
- 担当者の研究室等**  
 授業中に指示
- 備考**  
 電子辞書等の持参が望ましい  
 遅刻厳禁（遅刻は2回で1回分の欠席とする。）

**英語IIc（「オ」クラス）**

English IIC

		岡	あゆみ (オカ アユミ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	オ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**【会話・ヒアリング】**

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べるができる。(知識・技能)
  - 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  - 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- 医療に関わる基礎的なlisteningとspeakingを身につける。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** **【到達目標】** オリエンテーション  
 P.70-71 嗜好品について (Dialog31)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第2回** **【到達目標】** P.54-55 症状の尋ね方ー痛み (Dialog23)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第3回** **【到達目標】** P.70 嗜好品について (Dialog31) 暗唱  
**【到達目標】** P.62-63 過去の薬物療法について (Dialog27)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第4回** **【到達目標】** P.54 症状の尋ね方ー痛み (Dialog23) 暗唱  
**【到達目標】** p.64-65 現在服用中の薬について (Dialog28)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第5回** **【到達目標】** P.62 過去の薬物療法について (Dialog27) 暗唱  
**【到達目標】** p.66-67 OTC薬の服用について (Dialog29)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第6回** **【到達目標】** p.64 現在服用中の薬について (Dialog28) 暗唱  
**【到達目標】** p.85-86 薬歴の作成について (Dialog36)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第7回** **【到達目標】** p.66 OTC薬の服用について (Dialog29) 暗唱  
**【到達目標】** p.86-87 OTC薬の説明 (Dialog37)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第8回** **【到達目標】** p.85 薬歴の作成について (Dialog36) 暗唱  
**【到達目標】** p.96-97 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog41)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第9回** **【到達目標】** p.86 OTC薬の説明 (Dialog37) 暗唱  
**【到達目標】** p.2-3 処方せん受付 (Dialog1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

- 認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.96 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog41) 暗唱
- 第10回 【到達目標】 p.10-11 処方薬を渡す (Dialog4)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.2 処方せん受付 (Dialog1) 暗唱
- 第11回 【到達目標】 p.16-17 薬を飲み忘れたとき (Dialog7)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.10 処方薬を渡す (Dialog4) 暗唱
- 第12回 【到達目標】 p.20-21 副作用について (Dialog9)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.16 薬を飲み忘れたとき (Dialog7) 暗唱
- 第13回 【到達目標】 p.26-27 舌下錠の服用方法 (Dialog11)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.20 副作用について (Dialog9) 暗唱
- 第14回 【到達目標】 p.38-39 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.26 舌下錠の服用方法 (Dialog11) 暗唱
- 第15回 【到達目標】 p.14-15 用法・用量の説明 (Dialog6)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 【評価】 p.38 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17) 暗唱

**評価の時期・方法・基準**

15回の講義中に口頭等で評価する。  
授業内アクティビティ 30%  
暗唱 70%  
基本的なことをおろそかにせず、積極的に授業に臨むことが期待される。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山 貴子 編著『薬剤師のための実践英会話』(第2版) (じほう)

参考書…辞書

**担当者の研究室等**

非常勤控室

**備考**

期末試験は行わない。  
出席日数は平常点としない。

英語IIc (「カ」クラス) English IIc				
米田 繭子 (ヨネダ マユコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	カ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語  
一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

「国際化が進む医療現場では、英会話のできる薬剤師が求められている。そこで、薬学領域の業務に必要とされる専門用語や英語表現を習得する。」

**毎回の到達目標・学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
授業の概要説明と評価方法について
- 第2回 【到達目標】 Chapter 1:処方せん受付時  
・処方せん受付  
・処方せん受付時の質問  
・妊婦に対する薬物使用の注意  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第3回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習

- 【評価】 発表評価、授業態度
- 第4回 【到達目標】 Chapter 2: 薬剤交付時  
・処方薬を渡す  
・副作用について  
・保管方法について  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第5回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第6回 【到達目標】 Chapter 3: 投与方法  
・舌下錠の服用方法  
・吸入薬の吸入方法  
・徐放性製剤服用時の注意点  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第7回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第8回 【到達目標】 Chapter 4:日常生活の注意点  
・規則的な食事と運動の必要性  
・ワーファリン服用中の食べ物に関する指導  
・日光過敏症になりやすい薬  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第9回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第10回 【到達目標】 Chapter 5:患者インタビュー  
・症状の尋ね方一痛み  
・治療経過の説明  
・アレルギーの有無について  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第11回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第12回 【到達目標】 Chapter 5:患者インタビュー  
・過去の薬物療法について  
・現在服用中の薬について  
・OTC薬の服用について  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第13回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第14回 【到達目標】 Chapter 7:保険薬局での服薬指導  
・薬歴の作成について  
・OTC薬の説明  
Chapter 8:会計  
・薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第15回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度

**評価の時期・方法・基準**

発表や授業での積極性等により総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山 貴子 (著) 「薬剤師のための実践英会話」第2版 じほう (3,400円+税)

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

辞書必携。  
出席日数は平常点としない。  
予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

英語IIc (「キ」クラス) English IIc				
山内 浩充 (ヤマウチ ヒロミツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	キ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語  
一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および

医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**【会話・ヒアリング】**

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
  2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- 外国人の患者さんに対応できるように、また、海外で病気や事故にあった時に対応できるように、医療に関わる基礎的なリスニングとスピーキングを身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 教科書を持参すること  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第2回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 かげの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第3回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 かげの症状や、気分が悪いときの表現と、症状の尋ね方を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第4回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第5回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 目や皮膚の症状を表す表現と、薬効や薬の正しい使い方を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第6回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、アレルギーの有無の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第7回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、薬歴の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第8回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、食事や嗜好品の尋ね方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第9回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、副作用の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第10回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、薬の保管方法の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第11回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 症状の表現と薬の効能や使用法を復習するとともに、会計のときの会話を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第12回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (1)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第13回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 処方箋の受付時と引渡し時の会話を学習 (2)  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第14回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 投与方法 (舌下錠・吸入薬など) を学習  
【評価】 観察記録・小テスト
- 第15回** 【到達目標】 薬局での会話  
【学習方法・自己学習課題】 妊婦に対する薬物使用の説明の仕方を学習  
【評価】 観察記録・小テスト

**評価の時期・方法・基準**

観察記録 (質疑応答、授業態度など) を 30%、小テストを 70% とします。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「薬剤師のための実践英会話 第2版」 小宮山貴子 著 じほう (3400円 税別)

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階、非常勤講師室

**備考**

英語の学習には日々の積み重ねが必要ですので、怠らないように。

**英語IIc (「ク」クラス)**

English IIC

米田 繭子 (ヨネダ マユコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ク	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

**【会話・ヒアリング】**

1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)
  2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- 「国際化が進む医療現場では、英会話のできる薬剤師が求められている。そこで、薬学領域の業務に必要とされる専門用語や英語表現を習得する。」

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 オリエンテーション  
授業の概要説明と評価方法について
- 第2回** 【到達目標】 Chapter 1: 処方せん受付時  
・処方せん受付  
・処方せん受付時の質問  
・妊婦に対する薬物使用の注意  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第3回** 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第4回** 【到達目標】 Chapter 2: 薬剤交付時  
・処方薬を渡す  
・副作用について  
・保管方法について  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第5回** 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第6回** 【到達目標】 Chapter 3: 投与方法  
・舌下錠の服用方法  
・吸入薬の吸入方法  
・徐放性製剤服用時の注意点  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第7回** 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第8回** 【到達目標】 Chapter 4: 日常生活の注意点  
・規則的な食事と運動の必要性  
・ワーファリン服用中の食べ物に関する指導  
・日光過敏症になりやすい薬  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第9回** 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第10回** 【到達目標】 Chapter 5: 患者インタビュー  
・症状の尋ね方ー痛み  
・治療経過の説明  
・アレルギーの有無について  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第11回** 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第12回** 【到達目標】 Chapter 5: 患者インタビュー  
・過去の薬物療法について  
・現在服用中の薬について  
・OTC薬の服用について  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度

- 第13回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度
- 第14回 【到達目標】 Chapter 7:保険薬局での服薬指導  
・薬歴の作成について  
・OTC薬の説明  
Chapter 8:会計  
・薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行  
【学習方法・自己学習課題】 講義、演習、予習  
【評価】 授業態度
- 第15回 【到達目標】 ペアごとにダイアログを発表  
【学習方法・自己学習課題】 発表練習  
【評価】 発表評価、授業態度

**評価の時期・方法・基準**

発表や授業での積極性等により総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山 貴子 (著) 「薬剤師のための実践英会話」第2版 じほう (3,400円+税)

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

辞書必携。  
出席日数は平常点としない。  
予定する授業内容は上記の授業計画の通りであるが、受講生の学習状況を考慮して進度や内容など調整することもある。

**英語IIc (「ケ」クラス)**

English IIC

岡 あゆみ (オカ アユミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	ケ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語  
一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。  
【会話・ヒアリング】  
1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)  
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
医療に関わる基礎的なlisteningとspeakingを身につける。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 オリエンテーション  
P.70-71 嗜好品について (Dialog31)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。
- 第2回 【到達目標】 P.54-55 症状の尋ね方ー痛み (Dialog23)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 P.70 嗜好品について (Dialog31) 暗唱
- 第3回 【到達目標】 P.62-63 過去の薬物療法について (Dialog27)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 P.54 症状の尋ね方ー痛み (Dialog23) 暗唱
- 第4回 【到達目標】 p.64-65 現在服用中の薬について (Dialog28)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 P.62 過去の薬物療法について (Dialog27) 暗唱
- 第5回 【到達目標】 p.66-67 OTC薬の服用について (Dialog29)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.64 現在服用中の薬について (Dialog28) 暗唱
- 第6回 【到達目標】 p.85-86 薬歴の作成について (Dialog36)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.66 OTC薬の服用について (Dialog29) 暗唱
- 第7回 【到達目標】 p.86-87 OTC薬の説明 (Dialog37)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.85 薬歴の作成について (Dialog36) 暗唱
- 第8回 【到達目標】 p.96-97 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog41)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。

- 【評価】 p.86 OTC薬の説明 (Dialog37) 暗唱
- 第9回 【到達目標】 p.2-3 処方せん受付 (Dialog1)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.96 薬の値段、代金の受け取り、領収書の発行 (Dialog41) 暗唱
- 第10回 【到達目標】 p.10-11 処方薬を渡す (Dialog4)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.2 処方せん受付 (Dialog1) 暗唱
- 第11回 【到達目標】 p.16-17 薬を飲み忘れたとき (Dialog7)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.10 処方薬を渡す (Dialog4) 暗唱
- 第12回 【到達目標】 p.20-21 副作用について (Dialog9)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.16 薬を飲み忘れたとき (Dialog7) 暗唱
- 第13回 【到達目標】 p.26-27 舌下錠の服用方法 (Dialog11)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.20 副作用について (Dialog9) 暗唱
- 第14回 【到達目標】 p.38-39 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.26 舌下錠の服用方法 (Dialog11) 暗唱
- 第15回 【到達目標】 p.14-15 用法・用量の説明 (Dialog6)  
【学習方法・自己学習課題】 語彙、文法、意味、発音などを確認後、ペアで会話練習をする。  
【評価】 p.38 赤ちゃんへの粉ぐすりの与え方 (Dialog17) 暗唱

**評価の時期・方法・基準**

15回の講義中に口頭等で評価する。  
授業内アクティビティ 30%  
暗唱 70%  
基本的なことをおろそかにせず、積極的に授業に臨むことが期待される。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山 貴子 編著『薬剤師のための実践英会話』(第2版) (じほう)

参考書…辞書

**担当者の研究室等**

非常勤控室

**備考**

期末試験は行わない。  
出席日数は平常点としない。

**英語IIc (「コ」クラス)**

English IIC

木村 理恵子 (キムラ リエコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	コ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
ユニット：(1) 実用薬学英語  
一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。  
【会話・ヒアリング】  
1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べることができる。(知識・技能)  
2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)  
3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 授業の目的・内容を説明します  
Common Expressions: Chapter 2 主な症状  
【学習方法・自己学習課題】 授業が始まるまでにこの箇所は予習しておくこと  
聞いてわかること  
【評価】 実際に聞いてもらい、小テストのような形で記録してもらいます。
- 第2回 【到達目標】 Common Expressions : Chapter 3 服薬指導例文  
【学習方法・自己学習課題】 薬効4 1種の薬の中で指定される

- もの、すべてが英語で説明できること
- 【評価】** 実際に小テストの形で説明してもらいます。
- 第3回** **【到達目標】** Common Expressions : Chapter 3 薬の正しい使い方  
Common Expressions : Chapter 3 薬の正しい服用時間  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所から指定する部分について、英語で説明ができること  
**【評価】** 実際に小テストの形で説明してもらいます。
- 第4回** **【到達目標】** Common Expressions : Chapter 4 患者との会話  
Review Test  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
**【評価】** Review Test
- 第5回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 1 処方箋受付時  
Dialog 1 処方箋の調剤をします  
Dialog 4 こちらが今日あなたに処方された薬です  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第6回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 3 毎食後となる前に1錠ずつ服用してください  
Dialog 4 もし薬を飲み忘れても、2回分を一度に飲んではいけません  
Dialog 5 自分勝手にいきなりふくやくを中断してはいけません  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第7回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 2 薬剤交付時  
Dialog 6 この薬を服用すると眠くなるかもしれません  
Part 1 Chapter 3 投与方法  
Dialog 1 錠剤を絶佳において、溶ききるまで飲みこんだり嚙んだりしないでください  
Dialog 3 少なくとも数秒間は息をとめることがコツです。また、この薬は一度に2階以上は吸入しないように  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第8回** **【到達目標】** 第5回から第7回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
**【評価】** Review Test
- 第9回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 3 投与方法  
Dialog 6 自分勝手に錠剤を割ったり、つぶしたり、ある意はカプセルの中身をとりだしてはいけません  
Dialog 7 茶さじに顆粒を取って、水に溶いて飲ませます。その後、10ml程度の水や湯冷ましを飲ませてください。  
Chapter 4 日常生活の注意点  
Dialog 2 ビタミンKwも多く含んでいる食べ物を避けるか、または常に一定量を取るようになるかどちらかが必要です。  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第10回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
Dialog 4 薬に対して何かアレルギーがありますか？  
Dialog 5 これまでに何か薬物療法を受けたことがありますか？  
Dialog 6 いつ頃から服用しているのですか？どのように服用していますか？  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第11回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 5 患者インタビュー  
Dialog 7 何かOTC薬を常用されていますか？  
Dialog 8 これまでに何か特別な食事療法をしていましたか？  
Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導

- Dialog 1 今日のお加減はいかがですか？綿日は内科病棟担当の薬剤師です。
- 【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第12回** **【到達目標】** 第9回から第11回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
**【評価】** Review Test
- 第13回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 6 入院患者への服薬指導  
Dialog 2 入院時まで何か薬を服用していましたか？  
Chapter 7 保険薬局での服薬指導  
Dialog 2 それでしたら、この薬はいかがでしょう  
Chapter 8 会計  
Dialog 1 お待たせしました・ほんじつのお薬代は1580円です。お支払はどのようになさいますか？  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第14回** **【到達目標】** Part 1 Chapter 9 その他  
Dialog 1 どうぞ落ち着いてください。そして、誤飲の状況を正しく教えてください。緊急を要する状態ではないので、心配いりません。  
**【学習方法・自己学習課題】** 発音を聞きながら、会話の流れを理解する。  
実際に発音をする。  
指示に従って 薬剤師部分の発話を実際に覚える。  
**【評価】** 実際に小テストの形で発話してもらいます。
- 第15回** **【到達目標】** 第13回から第14回での説明、または会話をすべて自分なりに説明できるようになる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 上記の箇所の患者との一般会話を含め、今までに学んだ表現をテストしますので、聞いてわからねばならない箇所、そして説明できるか所について復習しておくこと。  
**【評価】** Review Test
- 評価の時期・方法・基準**  
Review Test 50%  
授業内活動参加と提出物 50%  
100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
教科書…「薬剤師のための実践英会話」(時報) 定価3400円  
参考書…N/A
- 関連科目**  
他の英語科目
- 担当者の研究室等**  
1号館2階(非常勤講師室)

**英語IIc (「サ」クラス)**

English IIC

玉 木 晋 太 (タマキ シンタ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	サ	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【会話・ヒアリング】

- 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べるができる。(知識・技能)
  - 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  - 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- 本講義では、薬学に関わる基礎的な英語のlisteningとspeakingの技能を身に付けることを目標とする。また、その上で必要となる基本的な文法事項や語彙の整理を行い、全体的な英語運用能力の向上を目指す。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 授業内容の説明  
小テストの実施範囲についての説明  
座席決定など  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 今後の授業についてしっかり理解すること
- 第2回** 【到達目標】 処方箋受付時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter1-1, 1-2  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第3回** 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter2-1, 2-2  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第4回** 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter2-1, 2-2  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第5回** 【到達目標】 薬剤交付時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter2-5, 2-6  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第6回** 【到達目標】 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter4-1, 4-2  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第7回** 【到達目標】 中間審査でこれまでの基礎の定着を確認  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
しっかり内容を暗記できているか。  
正しい発音ができているか。  
流暢に話せているか。
- 第8回** 【到達目標】 日常生活の注意点指導時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter4-3, 4-4  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第9回** 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter5-1, 5-2  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。

- スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第10回** 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter5-3, 5-4  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第11回** 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter5-5, 5-6  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第12回** 【到達目標】 患者インタビュー時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter5-7, 5-8  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第13回** 【到達目標】 挨拶と自己紹介についての基礎的なフレーズを覚える  
Chapter6-1、薬歴の作成についての基礎的なフレーズを覚える  
Chapter7-1  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第14回** 【到達目標】 会計時の基礎的なフレーズを覚える  
Chapter8-1, 8-2  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
テキスト中の会話文をCDにて聴き、文法・語彙の確認を行う。その後ペアで練習する。練習の際に発音指導を行う。  
小テスト範囲の事後学習  
【評価】 小テストのスコア。  
話をしっかり聴き、板書等ができているか。  
スピーキングの練習をしっかりとっているか。
- 第15回** 【到達目標】 最終審査でこれまでの基礎の定着を確認  
小テスト  
【学習方法・自己学習課題】 小テストの実施。  
今まで学習した基本フレーズを暗記し、発表を行う。  
【評価】 小テストのスコア。  
しっかり内容を暗記できているか。  
正しい発音ができているか。  
流暢に話せているか。

**評価の時期・方法・基準**

授業態度・小テスト・中間審査・最終審査を元に総合的に判断。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…小宮山貴子 「薬剤師のための実践英会話（時報）」  
（3400円）

参考書…授業中に指示

**関連科目**

すべての英語科目

**担当者の研究室等**

授業中に指示

**備考**

電子辞書等の持参が望ましい  
遅刻厳禁（遅刻は2回で1回分の欠席とする。）

**英語IIc（「シ」クラス）**

English IIC

村上 幸太郎(ムラカミ コウタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	シ	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
 ユニット：(1) 実用薬学英語  
 一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

- 【会話・ヒアリング】
1. 平易な英語を用いた専門分野のプレゼンテーションを理解し、概要を述べるができる。(知識・技能)
  2. 薬学関連の研究やビジネスで用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
  3. 医療の現場で用いられる基本的な会話を英語で行うことができる。(知識・技能)
- グローバル化が進む今日では、日本にも数多くの外国人が滞在・居住しています。また、皆さんも将来的に海外で薬剤師や研究者として働くことがあるかもしれません。そこで、この授業では外国人が来院した場合にコミュニケーションができるよう、基礎的な言い回しや専門用語について学習します。相手と完璧に意思疎通ができるようになるのは難しいことですが、症状や病名などの重要な表現だけでも理解しておけばいざという時に役立つと思います。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 イントロダクション  
 【学習方法・自己学習課題】 授業の進め方、評価方法などについて説明する。  
 【評価】 特になし。
- 第2回 【到達目標】 処方箋受付時、薬の上手な服用方法などに関する言い回しを理解する。  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第3回 【到達目標】 処方箋受付時、薬の副作用などに関する言い回しを理解する。  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第4回 【到達目標】 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(1)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第5回 【到達目標】 薬剤交付時、主な症状の表現に関する言い回しを理解する。(2)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第6回 【到達目標】 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第7回 【到達目標】 投与方法、服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第8回 【到達目標】 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(1)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第9回 【到達目標】 日常生活の注意点、患者との会話に関する言い回しを理解する。(2)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第10回 【到達目標】 患者へのインタビューに関する言い回しを理解する。(1)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第11回 【到達目標】 服薬指導に関する言い回しを理解する。(1)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で

(予習)、それをダイアログの中で応用する。

- 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第12回 【到達目標】 服薬指導に関する言い回しを理解する。(2)  
 【学習方法・自己学習課題】 基本的な言い回しを理解した上で(予習)、それをダイアログの中で応用する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第13回 【到達目標】 発表に関する準備を進める。(班決め、原稿作りなど)  
 【学習方法・自己学習課題】 グループに分かれて各自発表に向けて準備する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第14回 【到達目標】 発表に関する準備を進める。(原稿作り、発表の練習など)  
 【学習方法・自己学習課題】 グループに分かれて各自発表に向けて準備する。  
 【評価】 小テストの結果、授業態度、発表への積極的な参加から総合的に評価する。
- 第15回 【到達目標】 発表を行う。  
 【学習方法・自己学習課題】 グループで病院や薬局における英語でのやり取りを行う。  
 【評価】 発表でのパフォーマンスを評価する。

評価の時期・方法・基準

定期試験は行いません。授業の最終回で口頭によるチェックを行い、その結果を普段の授業態度などと合わせて総合的に評価します。  
 100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…『薬剤師のための実践英会話』小宮山貴子著、じほう 3400円

参考書…特になし。

担当者の研究室等

1号館2階 非常勤講師室

備考

よほどの事情がない限り授業には出席し、また最低限のマナーを守るよう心がけましょう。英語を話すことに自信がない人も多いと思いますが、まずは文法知識などに縛られずに思ったことを口に出すことから始めましょう。

英語II d (Aクラス)

English IId

岩橋一樹 (イワハシ カズキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
 ユニット：(1) 実用薬学英語  
 一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 授業の概要説明・評価方法についての説明  
 Lesson 1. Honeybees and Honey を読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 1の予習  
 【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第2回 【到達目標】 Lesson 1. Honeybees and Honey, Lesson 2. The Ways Herbs Are Used を読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 1 Lesson 2の予習  
 【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第3回 【到達目標】 Lesson 2. The Ways Herbs Are Used, Lesson 3. Does the Sea Aqurt Help Prevent Alzheimer's? を読み、科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習・Lesson 2 Lesson 3

- の予習
- 第4回** 【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 3. Does the Sea Squirt Help Prevent Alzheimer's? Lesson 4. Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stressを読み、英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 3 Lesson 4の予習
- 第5回** 【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 4. Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stress, Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processesを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 4 Lesson 5の予習
- 第6回** 【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processes, Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 5 Lesson 6の予習
- 第7回** 【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 6の予習
- 第8回** 【評価】 単語テスト 確認テスト 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 7 Biometricsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 7の予習
- 第9回** 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 7 Biometrics Lesson 8 Disease-Sniffing Dogsを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 7 Lesson 8の予習
- 第10回** 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 8 Disease-Sniffing Dogs, Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challengedを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 8 Lesson 9の予習
- 第11回** 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challenged, Lesson 10 Blood and What It Tells Usを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 9 Lesson 10の予習
- 第12回** 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 10 Blood and What It Tells Us Lesson 11 What Are Generic Drugs?を読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 10 Lesson 11の予習
- 第13回** 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 11 What Are Generic Drugs? Lesson 12 Traditional Medicinesを読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 11 Lesson 12の予習
- 第14回** 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 12 Traditional Medicines Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 12 Lesson 13の予習
- 第15回** 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約  
**【到達目標】** Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 13の予習
- 【評価】 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 評価の時期・方法・基準**  
 単語テスト20% 確認テスト30% 定期試験40% グループワークで行う教科書本文の要約10%  
 100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
 教科書…The Quest for a Better Life(南雲堂フェニックス) 1700円  
 参考書…なし

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

海外のニュース、映画、音楽、スポーツ中継など、自分にとって興味のあるものを原語で楽しむようにしましょう。楽しむ事が語学上達の鍵になります。

**英語II d (Bクラス)**

English IId

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 Orientation Part1  
 1. Honeybees and Honey  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第2回** 【到達目標】 2. The Ways Herbs Are Used  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第3回** 【到達目標】 Part 2  
 3. Does the Sea Squirt Help Prevent Alzheimer's  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
 medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第4回** 【到達目標】 4. Tend-and- Befriend  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第5回** 【到達目標】 5. Bridging the Learning Gap  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第6回** 【到達目標】 6. Da Vinci's Medical Legacy  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
 medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第7回** 【到達目標】 7. Biometrics  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第8回** 【到達目標】 Part 3  
 8. Disease-Sniffing Dogs  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第9回** 【到達目標】 9. Hipotherapy  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
 medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第10回** 【到達目標】 10. Blood and What It Tells Us  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第11回** 【到達目標】 11. What Are Generic Drugs?  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第12回** 【到達目標】 12. Traditional Medicines  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
 medical terminology  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第13回** 【到達目標】 Part 4  
 13. Biofuels  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験

- 第14回 **【到達目標】** 14. Extraterrestrial Life  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第15回 **【到達目標】** Review and Preparation for Final Exam  
**【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
**【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験

**評価の時期・方法・基準**  
 定期試験、小テスト、授業態度、レポートなど総合的に評価。  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…The Quest for A Better Life  
 医療、健康、環境のための総合英語 南雲堂フェニックス 1700円

**関連科目**  
 英語全般

**担当者の研究室等**  
 1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**  
 辞書必携

英語II d (Cクラス) English IId				
中 道 英美子 (ナカミチ エミコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	C	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
 ユニット：(1) 実用薬学英語  
 一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。  
**【読解・作文】** SBOs：  
 1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)  
 2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)  
 3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)  
 4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)  
 医療に関わる基礎的なリーディングとライティング能力を養う。授業では毎回医療、健康、地球環境など、科学にまつわるさまざまなトピックについて書かれた短い文章を読み、内容把握、語彙の確認を行う。最後に学習した知識を応用して英作文問題に取り組んだり、扱ったテーマに関して英語で説明する訓練も行う。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回 **【到達目標】** ミツバチの生態、蜂蜜の栄養価、効能に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第2回 **【到達目標】** ハーブと人間の関わりに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第3回 **【到達目標】** アルツハイマー病に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第4回 **【到達目標】** ストレスに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第5回 **【到達目標】** 脳の男女差に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第五章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第6回 **【到達目標】** レオナルドダヴィンチに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第六章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第7回 **【到達目標】** 生態認証に関する語彙・表現を取得し、英語で

- 説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第七章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第8回 **【到達目標】** 医療犬に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第八章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第9回 **【到達目標】** 乗馬療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第九章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第10回 **【到達目標】** 血液成分、血液検査に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第十章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第11回 **【到達目標】** ジェネリック薬品に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第十一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第12回 **【到達目標】** 民間療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第十二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第13回 **【到達目標】** バイオ燃料に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第十三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第14回 **【到達目標】** 地球外生命に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 第十四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。
- 第15回 **【到達目標】** まとめと復習  
**【学習方法・自己学習課題】** すべての章を読み返す。  
**【評価】** 講義中の口頭発表を評価する。

**評価の時期・方法・基準**  
 受講態度50%、定期試験50%で評価する。受講態度は毎回講義中に指示する口頭発表を評価するものである。定期試験は期末に行う。  
 100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
**教科書**…The Quest for a Better Life (南雲堂)  
**参考書**…初回講義で指示する。

**関連科目**  
 すべての英語科目

**担当者の研究室等**  
 非常勤講師室

英語II d (Dクラス) English IId				
岩 橋 一 樹 (イワハシ カズキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	D	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：(G) 薬学アドバンスト教育  
 ユニット：(1) 実用薬学英語  
 一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。  
**【読解・作文】** SBOs：  
 1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)  
 2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)  
 3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)  
 4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 **【到達目標】** 授業の概要説明・評価方法についての説明  
 Lesson 1. Honeybees and Honeyを読み、自然科学各分野に

- おける基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 1の予習
- 【評価】** 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第2回** **【到達目標】** Lesson 1. Honeybees and Honey, Lesson 2. The Ways Herbs Are Usedを読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 1 Lesson 2の予習
- 【評価】** 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第3回** **【到達目標】** Lesson 2. The Ways Herbs Are Used, Lesson 3. Does the Sea Squirt Help Prevent Alzheimer's?を読み、科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 2 Lesson 3の予習
- 【評価】** 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第4回** **【到達目標】** Lesson 3. Does the Sea Squirt Help Prevent Alzheimer's? Lesson 4. Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stressを読み、英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 3 Lesson 4の予習
- 【評価】** 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第5回** **【到達目標】** Lesson 4. Tend-and-Befriend: Women's Way of Coping with Stress, Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processesを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 4 Lesson 5の予習
- 【評価】** 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第6回** **【到達目標】** Lesson 5. Bridging the Learning Gap: Differences between Boys and Girls in Learning Processes, Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 5 Lesson 6の予習
- 【評価】** 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第7回** **【到達目標】** Lesson 6 Da Vinci's Legacy: Decoding the Secrets of Leonardoを読み、薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 6の予習
- 【評価】** 単語テスト 確認テスト 本文の要約
- 第8回** **【到達目標】** Lesson 7 Biometricsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 7の予習
- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第9回** **【到達目標】** Lesson 7 Biometrics Lesson 8 Disease-Sniffing Dogsを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 7 Lesson 8の予習
- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第10回** **【到達目標】** Lesson 8 Disease-Sniffing Dogs, Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challengedを読み、科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 8 Lesson 9の予習
- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第11回** **【到達目標】** Lesson 9 Hippotherapy: Horseback Riding for the Physically and Mentally Challenged, Lesson 10 Blood and What It Tells Usを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 9 Lesson 10の予習
- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第12回** **【到達目標】** Lesson 10 Blood and What It Tells Us Lesson 11 What Are Generic Drugs?を読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 10 Lesson 11の予習
- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第13回** **【到達目標】** Lesson 11 What Are Generic Drugs? Lesson 12 Traditional Medicinesを読み、薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 11 Lesson 12の予習
- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第14回** **【到達目標】** Lesson 12 Traditional Medicines Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 12 Lesson 13の予習

- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 第15回** **【到達目標】** Lesson 13 Biofuels: Power from Plantsを読み、自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。
- 【学習方法・自己学習課題】** 講義・演習・Lesson 13の予習
- 【評価】** 単語テスト 定期試験 本文の要約
- 評価の時期・方法・基準**  
単語テスト20% 確認テスト30% 定期試験40% グループワークで行う教科書本文の要約10%  
100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
**教科書**…The Quest for a Better Life(南雲堂フェニックス) 1700円  
**参考書**…なし
- 関連科目**  
他の英語科目
- 担当者の研究室等**  
1号館2階(非常勤講師室)
- 備考**  
海外のニュース、映画、音楽、スポーツ中継など、自分にとって興味のあるものを原語で楽しむようにしましょう。楽しむ事が語学上達の鍵になります。

## 英語II d (Eクラス)

English IId

沢田 美保子 (サワダ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	E	後期	選択	1

### コース・ユニット・一般目標

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)

### 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回** **【到達目標】** Orientation Part1  
1. Honeybees and Honey
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第2回** **【到達目標】** 2. The Ways Herbs Are Used
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第3回** **【到達目標】** Part 2  
3. Does the Sea Squirt Help Prevent Alzheimer's
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
medical terminology
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第4回** **【到達目標】** 4. Tend-and-Befriend
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第5回** **【到達目標】** 5. Bridging the Learning Gap
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第6回** **【到達目標】** 6. Da Vinci's Medical Legacy
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
medical terminology
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第7回** **【到達目標】** 7. Biometrics
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第8回** **【到達目標】** Part 3  
8. Disease-Sniffing Dogs
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験
- 第9回** **【到達目標】** 9. Hippotherapy
- 【学習方法・自己学習課題】** reading, listening, comprehension  
medical terminology
- 【評価】** 受講態度、小テスト、定期試験

- 第10回 【到達目標】 10. Blood and What It Tells Us  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第11回 【到達目標】 11. What Are Generic Drugs?  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第12回 【到達目標】 12. Traditional Medicines  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
medical terminology  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第13回 【到達目標】 Part 4  
13. Biofuels  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第14回 【到達目標】 14. Extraterrestrial Life  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験
- 第15回 【到達目標】 Review and Preparation for Final Exam  
【学習方法・自己学習課題】 reading, listening, comprehension  
【評価】 受講態度、小テスト、定期試験

**評価の時期・方法・基準**

定期試験、小テスト、授業態度、レポートなど総合的に評価。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Quest for A Better Life  
医療、健康、環境のための総合英語 南雲堂フェニックス 1700円

**関連科目**

英語全般

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**備考**

辞書必携

**英語II d (Fクラス)**

English IId

中道 英美子 (ナカミチ エミコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	F	後期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(G) 薬学アドバンスト教育

ユニット：(1) 実用薬学英語

一般目標：薬学に関連した学術誌、雑誌、新聞の読解、および医療現場、研究室、学術会議などで必要とされる実用的英語力を身につけるために、科学英語の基本的知識と技能を修得し、生涯にわたって学習する習慣を身につける。

【読解・作文】 SBOs：

1. 科学実験、操作、結果の説明などに関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
  2. 薬学関連分野の英語論文などの内容を説明できる。(知識・技能)
  3. 薬学関連分野でよく用いられる英単語を正確に記述できる。(知識・技能)
  4. 英語で論文を書くために必要な基本構文を使用できる。(知識・技能)
- 医療に関わる基礎的なリーディングとライティング能力を養う。授業では毎回医療、健康、地球環境など、科学にまつわるさまざまなトピックについて書かれた短い文章を読み、内容把握、語彙の確認を行う。最後に学習した知識を応用して英作文問題に取り組んだり、扱ったテーマに関して英語で説明する訓練も行う。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 ミツバチの生態、蜂蜜の栄養価、効能に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第2回 【到達目標】 ハーブと人間の関わりに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第3回 【到達目標】 アルツハイマー病に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第4回 【到達目標】 ストレスに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。

- 【学習方法・自己学習課題】 第四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第5回 【到達目標】 脳の男女差に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第五章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第6回 【到達目標】 レオナルドダヴィンチに関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第六章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第7回 【到達目標】 生態認証に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第七章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第8回 【到達目標】 医療犬に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第八章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第9回 【到達目標】 乗馬療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第九章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第10回 【到達目標】 血液成分、血液検査に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第11回 【到達目標】 ジェネリック薬品に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十一章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第12回 【到達目標】 民間療法に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十二章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第13回 【到達目標】 バイオ燃料に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十三章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第14回 【到達目標】 地球外生命に関する語彙・表現を取得し、英語で説明することができる。  
【学習方法・自己学習課題】 第十四章を添付のCDを聴きながら読み、あとの練習問題を解答する。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。
- 第15回 【到達目標】 まとめと復習  
【学習方法・自己学習課題】 すべての章を読み返す。  
【評価】 講義中の口頭発表を評価する。

**評価の時期・方法・基準**

受講態度50%、定期試験50%で評価する。受講態度は毎回講義中に指示する口頭発表を評価するものである。定期試験は期末に行う。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…The Quest for a Better Life (南雲堂)  
参考書…初回講義で指示する。

**関連科目**

すべての英語科目

**担当者の研究室等**

非常勤講師室

**英語IIIa (ABCクラス)**

English IIIa

沢田 美保子 (サワタ ミホコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ABC	前期	選択	1

**コース・ユニット・一般目標**

コース：(F) 薬学準備教育

ユニット：(2) 薬学英語入門

一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」

に関する基礎的知識と技能を修得する。  
 【読む】、【書く】、【聞く・話す】（英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。）  
 ・「健康」関連のトピックについて実践的な英語読解力を養うため、新聞、雑誌に掲載された話題に取り組みます。授業後半はDVD英語アニメ“リトルチャロ”を学習し、楽しみながらリスニング力を増強します。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 Orientation  
 Unit 1: Experts say economy class can kill  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験
- 第2回 【到達目標】 Unit 2: The added cost of convenience  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第3回 【到達目標】 Unit 3: Human pheromones  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第4回 【到達目標】 Review: 1~3  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第5回 【到達目標】 Unit 4: Do you really know the risks of smoking?  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第6回 【到達目標】 Unit 5: Cleanliness obsession unhealthy  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第7回 【到達目標】 Unit 6: Technostress  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第8回 【到達目標】 Review: 4~6  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第9回 【到達目標】 Unit 7: Rediscovering nature's healing powers  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第10回 【到達目標】 Unit 8: Who needs meat?  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第11回 【到達目標】 Unit 9: Laughter prescription for good health  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、小テスト
- 第12回 【到達目標】 Review: 7~9  
 【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
 【評価】 定期試験、観察記録
- 第13回 【到達目標】 Unit 10: Ever-growing life span  
 【学習方法・自己学習課題】 講義と演習  
 【評価】 定期試験、観察記録
- 第14回 【到達目標】 Unit 11: Keeping regular hours can prevent "akibate"  
 【学習方法・自己学習課題】 講義と演習  
 【評価】 定期試験、観察記録
- 第15回 【到達目標】 Review and Preparation for Exam  
 【学習方法・自己学習課題】 講義と演習  
 【評価】 定期試験、観察記録

評価の時期・方法・基準  
 単語小テスト (20%)、授業観察記録 (30%)、定期試験 (50%)  
 で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等 教科書…Curing the Future (健康を科学する) (成美堂)

関連科目 他の英語科目  
 担当者の研究室等 1号館2階(非常勤講師室)

備考 英語辞書必ず持参

英語IIIa (DEFクラス)				
English IIIa				
木村理恵子 (キムラ リエコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	DEF	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標  
 コース：(F) 薬学準備教育  
 ユニット：(2) 薬学英語入門  
 一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。

【読む】、【書く】、【聞く・話す】（英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。）

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価
- 第1回 【到達目標】 授業の流れと目的を知る。  
 Unit 1 Basics for Health Care Professionals  
 薬学分野のさまざまな学問分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 1の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
 必要なことを授業中に記録していく。  
 【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績にカウントされる。
- 第2回 【到達目標】 Unit 1の内容がわかる。  
 TOEICより、いくつかの問題を解く。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 1からの小テスト予習  
 【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。
- 第3回 【到達目標】 Unit 2 The Digestive System: How It Works  
 の内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 2の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
 必要なことを授業中に記録していく。  
 【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。
- 第4回 【到達目標】 Unit 2の内容がわかる。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 2からの小テスト予習  
 【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。
- 第5回 【到達目標】 Unit 3 The Cardiovascular System: The Heart, Pump for Life-giving Blood の内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 3の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
 必要なことを授業中に記録していく。  
 【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。
- 第6回 【到達目標】 Unit 3の内容がわかる。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 3からの小テスト予習  
 【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。
- 第7回 【到達目標】 Unit 4 The Neurological System: Neuroscience の内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 4の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
 必要なことを授業中に記録していく。  
 【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。
- 第8回 【到達目標】 Unit 4の内容がわかる。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 4からの小テスト予習  
 【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。
- 第9回 【到達目標】 Unit 5 The Urinary System: Kidney Transplantation の内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 5の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
 必要なことを授業中に記録していく。  
 【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。
- 第10回 【到達目標】 Unit 5の内容がわかる。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 5からの小テスト予習  
 【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。
- 第11回 【到達目標】 Unit 6 The Reproductive System: Infertility Treatmentsの内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 6の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
 必要なことを授業中に記録していく。  
 【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。
- 第12回 【到達目標】 Unit 6の内容がわかる。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 6からの小テスト予習  
 【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。
- 第13回 【到達目標】 Unit 7 The Skeletal System: Bone Healthの内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
 さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
 【学習方法・自己学習課題】 Unit 7の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
 必要なことを授業中に記録していく。

【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。

第14回 【到達目標】 Unit 7 の内容がわかる。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 7 から的小テスト予習  
【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第15回 【到達目標】 前期に学んだことの復習と確認をすることで、学んだことを再度思い出す。  
【学習方法・自己学習課題】 テキスト・配布プリントからの確認  
【評価】 提出されるレポートを成績に入れる。

評価の時期・方法・基準  
小テスト (35%)、提出物 (5%)、レポート (10%)、期末テスト (50%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等  
教科書…『Understanding Health Care』朝日出版 本体 1800円  
参考書…授業中に指示をする。

関連科目  
N/A

担当者の研究室等  
1号館2階 (非常勤講師室)

備考  
必要な知識はしっかりメモを行って自分の知識とする努力をすること。  
図書館でのワークも行う。

英語IIIb (ABCクラス) English III				
沢田 美保子 (サワダ ミホコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ABC	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標  
コース：(F) 薬学準備教育  
ユニット：(2) 薬学英語入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)

・「健康」関連のトピックを、辞書に頼ることなく情報を素早く読み取る技能を習得します。授業後半はDVD英語アニメ”リトルチャロ”を学習し、楽しみながらリスニング力を増強します。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 Orientation  
Unit 12: Doctors prescribe antiaging therapy  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験

第2回 【到達目標】 Unit 13: Towers suffer wave of protest over health risks  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第3回 【到達目標】 Unit 14: Warnings about drugs go unheeded  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第4回 【到達目標】 Review: 12~14  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第5回 【到達目標】 Unit 15: First cloned human embryo  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第6回 【到達目標】 Unit 16: Now you see it, now you don't  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第7回 【到達目標】 Unit 17: Mechanical heart recipient paired with advocate  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第8回 【到達目標】 Review: 15~17  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第9回 【到達目標】 Unit 18: Blood supply could dry up  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第10回 【到達目標】 Unit 19: Should you have your baby now?  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、小テスト

第11回 【到達目標】 Unit 20: Evolution: Who's responsible?  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義

【評価】 定期試験、小テスト

第12回 【到達目標】 Review: 18~20  
【学習方法・自己学習課題】 演習、講義  
【評価】 定期試験、観察記録

第13回 【到達目標】 Handout: Medical terminology  
【学習方法・自己学習課題】 講義と演習  
【評価】 定期試験、観察記録

第14回 【到達目標】 Hand out: Medical terminology  
【学習方法・自己学習課題】 講義と演習  
【評価】 定期試験、観察記録

第15回 【到達目標】 Review and Preparation for Exam  
【学習方法・自己学習課題】 講義と演習  
【評価】 定期試験、観察記録

評価の時期・方法・基準  
単語小テスト (20%)、授業観察記 (30%)、定期試験 (50%) で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等  
教科書…Curing the Future (健康を科学する) (成美堂)

関連科目  
他の英語科目

担当者の研究室等  
1号館2階(非常勤講師室)

備考  
英語辞書必ず持参

英語IIIb (DEFクラス) English III				
木村 理恵子 (キムラ リエコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	DEF	後期	選択	1

コース・ユニット・一般目標  
コース：(F) 薬学準備教育  
ユニット：(2) 薬学英語入門  
一般目標：薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基礎的知識と技能を修得する。  
【読む】、【書く】、【聞く・話す】(英語を通してコミュニケーション能力と教養を身につける。)

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 Unit 8 The Immune System: Allergiesの内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 8の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
必要なことを授業中に記録していく。  
【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績にカウントされる。

第2回 【到達目標】 Unit 8の内容がわかる。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 8からの小テスト予習  
【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第3回 【到達目標】 Unit 9 The Endocrine System: Diabetes の内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 9の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
必要なことを授業中に記録していく。  
【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。

第4回 【到達目標】 Unit 9の内容がわかる。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 9からの小テスト予習  
【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第5回 【到達目標】 Unit 10 Preventing the Spread of Infectious Disease の内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 10の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
必要なことを授業中に記録していく。  
【評価】 課題を授業中に出すので、その提出が成績としてカウントされる。

第6回 【到達目標】 Unit 10の内容がわかる。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。  
【学習方法・自己学習課題】 Unit 10からの小テスト予習  
【評価】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第7回 【到達目標】 Unit 11 Cancer Detection の内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
さらに、薬学/医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 11の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
必要なことを授業中に記録していく。

【**評価**】 課題を授業に出すので、その提出が成績としてカウントされる。

第8回 【**到達目標**】 Unit 11の内容がわかる。  
さらに、薬学/i医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 11からの小テスト予習

【**評価**】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第9回 【**到達目標**】 Unit 12 Robotic Surgeryの内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
さらに、薬学/i医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 12の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
必要なことを授業中に記録していく。

【**評価**】 課題を授業に出すので、その提出が成績としてカウントされる。

第10回 【**到達目標**】 Unit 12の内容がわかる。  
さらに、薬学/i医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 12からの小テスト予習

【**評価**】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第11回 【**到達目標**】 Unit 13 From Genetic Research to Personalized Medicinesの内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
さらに、薬学/i医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 13の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
必要なことを授業中に記録していく。

【**評価**】 課題を授業に出すので、その提出が成績としてカウントされる。

第12回 【**到達目標**】 Unit 13の内容がわかる。  
さらに、薬学/i医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 13からの小テスト予習

【**評価**】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第13回 【**到達目標**】 Unit 14 Clinical Researchの内容を文法、そして医学用語という点から理解する。  
さらに、薬学/i医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 14の本文から英文の構成を中心に説明を聞き、理解をする。  
必要なことを授業中に記録していく。

【**評価**】 課題を授業に出すので、その提出が成績としてカウントされる。

第14回 【**到達目標**】 Unit 14の内容がわかる。  
さらに、薬学/i医学分野についての英語表現を知る。

【**学習方法・自己学習課題**】 Unit 14からの小テスト予習

【**評価**】 小テストの成績が成績にカウントされる。

第15回 【**到達目標**】 後期に学んだことの復習と確認をすることで、学んだことを再度思い出す。

【**学習方法・自己学習課題**】 テキスト・配布プリントからの確認

【**評価**】 提出されるレポートを成績に入れる。

評価の時期・方法・基準  
小テスト(35%)、提出物(5%)、レポート(10%)、期末テスト(50%)で総合的に評価します。100点満点中60点以上で合格。

教材等  
教科書…『Understanding Health Care』朝日出版 本体1800円  
参考書…授業中に指示をする。

関連科目  
N/A

担当者の研究室等  
1号館2階(非常勤講師室)

備考  
必要な知識はしっかりメモを行って自分の知識とする努力をすること。  
図書館でのワークも行う。

スポーツ科学実習I Practice of Sports Science I				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標  
コース：教養  
ユニット：スポーツ科学  
一般目標：スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

践する能力を育成することを目的とする。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【**到達目標**】 ガイダンス  
【**学習方法・自己学習課題**】 履修ガイダンス、コース種目分け  
【**評価**】 観察記録

第2回 【**到達目標**】 体力測定①  
【**学習方法・自己学習課題**】 屋外種目  
【**評価**】 体力測定評価

第3回 【**到達目標**】 体力測定②  
【**学習方法・自己学習課題**】 屋内種目  
【**評価**】 体力測定評価

第4回 【**到達目標**】 バレーボール  
【**学習方法・自己学習課題**】 基礎技術(パス・レシーブ)  
【**評価**】 観察記録

第5回 【**到達目標**】 バレーボール  
【**学習方法・自己学習課題**】 基礎技術(パス・レシーブ)  
【**評価**】 観察記録

第6回 【**到達目標**】 バレーボール  
【**学習方法・自己学習課題**】 基礎技術(サーブ・アタック・ブロック)  
【**評価**】 観察記録

第7回 【**到達目標**】 バレーボール  
【**学習方法・自己学習課題**】 基礎技術(サーブ・アタック・ブロック)  
【**評価**】 観察記録

第8回 【**到達目標**】 バレーボール  
【**学習方法・自己学習課題**】 ゲーム リーグ戦  
【**評価**】 観察記録

第9回 【**到達目標**】 バレーボール  
【**学習方法・自己学習課題**】 ゲーム リーグ戦  
【**評価**】 観察記録

第10回 【**到達目標**】 フットサル  
【**学習方法・自己学習課題**】 基本技術練習(パス・キック・ラッキング等)  
【**評価**】 観察記録

第11回 【**到達目標**】 フットサル  
【**学習方法・自己学習課題**】 基本技術練習(パス・キック・ラッキング等)  
【**評価**】 観察記録

第12回 【**到達目標**】 フットサル  
【**学習方法・自己学習課題**】 基本技術練習・ミニゲーム  
【**評価**】 観察記録

第13回 【**到達目標**】 フットサル  
【**学習方法・自己学習課題**】 基本技術練習・ミニゲーム  
【**評価**】 観察記録

第14回 【**到達目標**】 フットサル  
【**学習方法・自己学習課題**】 リーグ戦  
【**評価**】 観察記録

第15回 【**到達目標**】 フットサル  
【**学習方法・自己学習課題**】 リーグ戦  
【**評価**】 観察記録

評価の時期・方法・基準  
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等  
教科書…使用しない  
参考書…使用しない

担当者の研究室等  
枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)

スポーツ科学実習I Practice of Sports Science I				
内村 直也(ウチムラ ナオヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標  
コース：教養  
ユニット：スポーツ科学  
一般目標：スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【**到達目標**】 ガイダンス  
【**学習方法・自己学習課題**】 実習・演習  
【**評価**】 観察記録

第2回 【**到達目標**】 体力測定①

- 屋外種目  
【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
【評価】 観察記録
- 第3回 【到達目標】 体力測定②  
屋内種目  
【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
【評価】 観察記録
- 第4回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（キャッチボール・ドリブル、シュート）  
【評価】 観察記録
- 第5回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（キャッチボール・ドリブル、シュート）  
【評価】 観察記録
- 第6回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 応用技術（ルール・ゲーム）  
【評価】 観察記録
- 第7回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第8回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第9回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第10回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（パス・キャッチ・スロー、シュート、ドリブル）  
【評価】 観察記録
- 第11回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（パス・キャッチ・スロー、シュート、ドリブル）  
【評価】 観察記録
- 第12回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 応用技術（ルール・ゲーム）  
【評価】 観察記録
- 第13回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第14回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第15回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 評価の時期・方法・基準  
単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
100点満点中60点以上で合格。
- 教材等  
教科書…使用しない  
参考書…使用しない
- 担当者の研究室等  
枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)

スポーツ科学実習I Practice of Sports Science I				
藤林真美(フジバヤシ マミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	選択	1

- コース・ユニット・一般目標  
本授業は、スポーツ活動を通じて健康・体力観を育成し、身体能力の維持・増進、およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価
- 第1回 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 履修上の注意、コース種目分け  
【到達目標】 体力測定①  
【学習方法・自己学習課題】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ  
【評価】 体力測定評価
- 第2回 【到達目標】 体力測定②  
【学習方法・自己学習課題】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳  
【評価】 体力測定評価
- 第3回 【到達目標】 体力測定②  
【学習方法・自己学習課題】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳  
【評価】 体力測定評価

- 第4回 【到達目標】 健康・体力について基礎知識を習得し、本授業がそれにどのように貢献し得るか検討する。  
【学習方法・自己学習課題】 健康・体力について講義を行う。自分自身の生活習慣を振り返り、第2・3回めの授業で行った体力測定結果と併せて、望ましい生活習慣について考察する。  
【評価】 レポート
- 第5回 【到達目標】 レクリエーション1  
【学習方法・自己学習課題】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第6回 【到達目標】 レクリエーション2  
【学習方法・自己学習課題】 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第7回 【到達目標】 ウォーキング  
【学習方法・自己学習課題】 ウォーキングの運動効果など基礎知識を学び、ウォーキングラリーを行う。  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第8回 【到達目標】 ウォーキング・ジョギング  
【学習方法・自己学習課題】 有酸素運動の方法や効果について学ぶ。歩数計をつけてウォーキング・ジョギングを行い、効果的な強度を修得する。  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第9回 【到達目標】 レジスタンス運動1  
【学習方法・自己学習課題】 レジスタンス運動の有用性を修得する。自重を用いたレジスタンス運動を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第10回 【到達目標】 レジスタンス運動2  
【学習方法・自己学習課題】 サーキット運動を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第11回 【到達目標】 球技1  
【学習方法・自己学習課題】 バasketボールやドッジボールなど球技を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第12回 【到達目標】 球技2  
【学習方法・自己学習課題】 バasketボールやドッジボールなど球技を行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第13回 【到達目標】 コンディショニング1  
【学習方法・自己学習課題】 ヨガやピラティスを体験する。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第14回 【到達目標】 コンディショニング2  
【学習方法・自己学習課題】 ヨガやスポーツマッサージを行う。(大阪工業大体育館にて行う)  
【評価】 授業内容のまとめ
- 第15回 【到達目標】 総括  
【学習方法・自己学習課題】 自分自身の健康の維持・増進を目的としてどのような運動を継続することができるか考え、実際に運動メニューを考案する。  
【評価】 レポート
- 評価の時期・方法・基準  
評価の時期：学部所定の日程  
評価方法・基準：出席を重視したうえで、平常態度、レポート、技能などを総合して評価する。100点満点中、60点以上で合格とする。
- 関連科目  
健康科学
- 担当者の研究室等  
枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)。ただし授業開講曜日のみ。  
他の曜日は、寝屋川学舎総合体育館1階 藤林研究室。

スポーツ科学実習II Practice of Sports Science II				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	選択	1

- コース・ユニット・一般目標  
コース：教養  
ユニット：スポーツ科学  
一般目標：スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理

解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 履修ガイダンス、コース種目分け  
【評価】 観察記録
- 第2回 【到達目標】 体力測定①  
【学習方法・自己学習課題】 屋外種目  
【評価】 体力測定評価
- 第3回 【到達目標】 体力測定②  
【学習方法・自己学習課題】 屋内種目  
【評価】 体力測定評価
- 第4回 【到達目標】 バレーボール  
【学習方法・自己学習課題】 基礎技術（パス・レシーブ）  
【評価】 観察記録
- 第5回 【到達目標】 バレーボール  
【学習方法・自己学習課題】 基礎技術（パス・レシーブ）  
【評価】 観察記録
- 第6回 【到達目標】 バレーボール  
【学習方法・自己学習課題】 基礎技術（サーブ・アタック・ブロック）  
【評価】 観察記録
- 第7回 【到達目標】 バレーボール  
【学習方法・自己学習課題】 基礎技術（サーブ・アタック・ブロック）  
【評価】 観察記録
- 第8回 【到達目標】 バレーボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム リーグ戦  
【評価】 観察記録
- 第9回 【到達目標】 バレーボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム リーグ戦  
【評価】 観察記録
- 第10回 【到達目標】 フットサル  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）  
【評価】 観察記録
- 第11回 【到達目標】 フットサル  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習（パス・キック・ランニング等）  
【評価】 観察記録
- 第12回 【到達目標】 フットサル  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習・ミニゲーム  
【評価】 観察記録
- 第13回 【到達目標】 フットサル  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術練習・ミニゲーム  
【評価】 観察記録
- 第14回 【到達目標】 フットサル  
【学習方法・自己学習課題】 リーグ戦  
【評価】 観察記録
- 第15回 【到達目標】 フットサル  
【学習方法・自己学習課題】 リーグ戦  
【評価】 観察記録

評価の時期・方法・基準

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…使用しない  
参考書…使用しない

担当者の研究室等

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)

- 第2回 【到達目標】 体力測定①  
屋外種目  
【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
【評価】 観察記録
- 第3回 【到達目標】 体力測定②  
屋内種目  
【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
【評価】 観察記録
- 第4回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（キャッチボール・ドリブル、シュート）  
【評価】 観察記録
- 第5回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（キャッチボール・ドリブル、シュート）  
【評価】 観察記録
- 第6回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 応用技術（ルール・ゲーム）  
【評価】 観察記録
- 第7回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第8回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第9回 【到達目標】 ハンドボール  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第10回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（パス・キャッチ・スロー、シュート、ドリブル）  
【評価】 観察記録
- 第11回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 基本技術（パス・キャッチ・スロー、シュート、ドリブル）  
【評価】 観察記録
- 第12回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 応用技術（ルール・ゲーム）  
【評価】 観察記録
- 第13回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第14回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録
- 第15回 【到達目標】 アルティメット  
【学習方法・自己学習課題】 ゲーム（リーグ戦）  
【評価】 観察記録

評価の時期・方法・基準

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…使用しない  
参考書…使用しない

担当者の研究室等

枚方学舎グリーンハウス(体育準備室)

スポーツ科学実習II Practice of Sports Science II				
内村直也 (ウチムラ ナオヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

コース：教養  
ユニット：スポーツ科学  
一般目標：スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 実習・演習  
【評価】 観察記録

スポーツ科学実習II Practice of Sports Science II				
藤林真美 (フジバヤシ マミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	選択	1

コース・ユニット・一般目標

本授業は、スポーツ活動を通じて健康・体力観を育成し、身体能力の維持・増進、およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 履修上の注意、コース種目分け
- 第2回 【到達目標】 体力測定①  
【学習方法・自己学習課題】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ  
【評価】 体力測定評価
- 第3回 【到達目標】 体力測定②  
【学習方法・自己学習課題】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳

- 第4回** 【評価】 体力測定評価  
**【到達目標】** 健康・体力について基礎知識を習得し、本授業がそれにどのように貢献し得るか検討する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 健康・体力について講義を行う。自分自身の生活習慣を振り返り、第2・3回めの授業で行った体力測定結果と併せて、望ましい生活習慣について考察する。
- 第5回** 【評価】 レポート  
**【到達目標】** レクリエーション1  
**【学習方法・自己学習課題】** 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第6回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** レクリエーション2  
**【学習方法・自己学習課題】** 対人・グループによるゲーム系運動を行い、広義の「体力」のうち、柔軟性、平衡感覚、敏捷性を養うことを目的とする。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第7回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** ウォーキング  
**【学習方法・自己学習課題】** ウォーキングの運動効果など基礎知識を学び、ウォーキングラリーを行う。
- 第8回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** ウォーキング・ジョギング  
**【学習方法・自己学習課題】** 有酸素運動の方法や効果について学ぶ。歩数計をつけてウォーキング・ジョギングを行い、効果的な強度を修得する。
- 第9回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** レジスタンス運動1  
**【学習方法・自己学習課題】** レジスタンス運動の有用性を修得する。自重を用いたレジスタンス運動を行う。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第10回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** レジスタンス運動2  
**【学習方法・自己学習課題】** サーキット運動を行う。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第11回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** 球技1  
**【学習方法・自己学習課題】** バasketボールやドッジボールなど球技を行う。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第12回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** 球技2  
**【学習方法・自己学習課題】** バasketボールやドッジボールなど球技を行う。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第13回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** コンディショニング1  
**【学習方法・自己学習課題】** ヨガやピラティスを体験する。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第14回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** コンディショニング2  
**【学習方法・自己学習課題】** ヨガやスポーツマッサージを行う。(大阪工業大体育館にて行う)
- 第15回** 【評価】 授業内容のまとめ  
**【到達目標】** 総括  
**【学習方法・自己学習課題】** 自分自身の健康の維持・増進を目的としてどのような運動を継続することができるか考え、実際に運動メニューを考案する。
- 【評価】 レポート

**評価の時期・方法・基準**

評価の時期：学部所定の日程  
 評価方法・基準：出席を重視したうえで、平常態度、レポート、技能などを総合して評価する。100点満点中、60点以上で合格とする。

**関連科目**

健康科学

**担当者の研究室等**

枚方学舎グリーンハウス（体育準備室）。ただし授業開講曜日のみ。  
 他の曜日は、寝屋川学舎総合体育館1階 藤林研究室。

**文章表現法 (Aクラス)**  
Academic Japanese

大石 真由香 (オオイシ マユカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。

大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。

考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くかなど、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 導入  
授業の内容、進め方について  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第2回 【到達目標】 文章の書き方1  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第3回 【到達目標】 文章の書き方2  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第4回 【到達目標】 事実の記述と意見の記述  
事実を述べる文章と意見を述べる文章の違いを学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第5回 【到達目標】 説明文  
論理的に説明する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第6回 【到達目標】 【課題1】ある事物について、論理的に説明する文章を書く  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第7回 【到達目標】 要約1  
要約の方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第8回 【到達目標】 課題1フィードバック、要約2  
課題1を見直す。要約文を作成する  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（要約文の作成）  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第9回 【到達目標】 構成  
レポートなどの文章構成を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第10回 【到達目標】 引用1  
文章を引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第11回 【到達目標】 引用2  
グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第12回 【到達目標】 【課題2】資料を引用して意見を述べる  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第13回 【到達目標】 手紙1  
手紙の様式を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第14回 【到達目標】 課題2フィードバック、手紙2  
課題2を見直す。手紙を書く。  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（手紙の作成）  
【評価】 手紙  
授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第15回 【到達目標】 本講義のまとめ

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト

**評価の時期・方法・基準**

授業への取り組み (20%)、課題提出 (40%)、定期試験期間の定期試験 (40%) により総合的に評価する。

100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…配布プリントによる  
参考書…授業中に指示します。

**関連科目**

コミュニケーション論

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**文章表現法 (Bクラス)**  
Academic Japanese

丹下 暖子 (タンゲ アツコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。

大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。

考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くかなど、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 導入  
授業の内容、進め方について  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第2回 【到達目標】 文章の書き方1  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第3回 【到達目標】 文章の書き方2  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第4回 【到達目標】 事実の記述と意見の記述  
事実を述べる文章と意見を述べる文章の違いを学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第5回 【到達目標】 説明文  
論理的に説明する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第6回 【到達目標】 【課題1】ある事物について、論理的に説明する文章を書く  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第7回 【到達目標】 要約1  
要約の方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第8回 【到達目標】 課題1フィードバック、要約2  
課題1を見直す。要約文を作成する  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（要約文の作成）  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第9回 【到達目標】 構成  
レポートなどの文章構成を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第10回 【到達目標】 引用1  
文章を引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第11回 【到達目標】 引用2  
グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義

- 【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第12回 【到達目標】 【課題2】 資料を引用して意見を述べる  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第13回 【到達目標】 手紙1  
手紙の様式を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第14回 【到達目標】 課題2 フィードバック、手紙2  
課題2を見直す。手紙を書く。  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（手紙の作成）  
【評価】 手紙  
授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第15回 【到達目標】 本講義のまとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 評価の時期・方法・基準  
授業への取り組み（20%）、課題提出（40%）、定期試験期間の定期試験（40%）により総合的に評価する。  
100点満点中60点以上で合格。
- 教材等  
教科書…配布プリントによる  
参考書…授業中に指示します。
- 関連科目  
コミュニケーション論
- 担当者の研究室等  
1号館2階（非常勤講師室）

### 文章表現法（Cクラス） Academic Japanese

田中教子（タナカ ノリコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	必修	2

#### コース・ユニット・一般目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。  
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。  
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くかなど、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

#### 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 導入  
授業の内容、進め方について  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第2回 【到達目標】 文章の書き方1  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第3回 【到達目標】 文章の書き方2  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第4回 【到達目標】 事実の記述と意見の記述  
事実を述べる文章と意見を述べる文章の違いを学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第5回 【到達目標】 説明文  
論理的に説明する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第6回 【到達目標】 【課題1】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第7回 【到達目標】 要約1  
要約の方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第8回 【到達目標】 課題1 フィードバック、要約2

課題1を見直す。要約文を作成する  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（要約文の作成）

- 【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第9回 【到達目標】 構成  
レポートなどの文章構成を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第10回 【到達目標】 引用1  
文章を引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第11回 【到達目標】 引用2  
グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第12回 【到達目標】 【課題2】 資料を引用して意見を述べる  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第13回 【到達目標】 手紙1  
手紙の様式を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第14回 【到達目標】 課題2 フィードバック、手紙2  
課題2を見直す。手紙を書く。  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（手紙の作成）  
【評価】 手紙  
授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第15回 【到達目標】 本講義のまとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト

#### 評価の時期・方法・基準

授業への取り組み（20%）、課題提出（40%）、定期試験期間の定期試験（40%）により総合的に評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

#### 教材等

教科書…配布プリントによる  
参考書…授業中に指示します。

#### 関連科目

コミュニケーション論

#### 担当者の研究室等

1号館2階（非常勤講師室）

### 文章表現法（Dクラス） Academic Japanese

大石真由香（オオイシ マユカ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	前期	必修	2

#### コース・ユニット・一般目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。  
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。  
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くかなど、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

#### 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 導入  
授業の内容、進め方について  
【学習方法・自己学習課題】 講義
- 第2回 【到達目標】 文章の書き方1  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第3回 【到達目標】 文章の書き方2  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第4回 【到達目標】 事実の記述と意見の記述  
事実を述べる文章と意見を述べる文章の違いを学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義

- 【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第5回 【到達目標】 説明文  
論理的に説明する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第6回 【到達目標】 【課題1】ある事物について、論理的に説明する文章を書く  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第7回 【到達目標】 要約1  
要約の方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第8回 【到達目標】 課題1フィードバック、要約2  
課題1を見直す。要約文を作成する  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（要約文の作成）  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第9回 【到達目標】 構成  
レポートなどの文章構成を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第10回 【到達目標】 引用1  
文章を引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第11回 【到達目標】 引用2  
グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第12回 【到達目標】 【課題2】資料を引用して意見を述べる  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第13回 【到達目標】 手紙1  
手紙の様式を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第14回 【到達目標】 課題2フィードバック、手紙2  
課題2を見直す。手紙を書く。  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（手紙の作成）  
【評価】 手紙  
授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第15回 【到達目標】 本講義のまとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト

**評価の時期・方法・基準**

授業への取り組み（20%）、課題提出（40%）、定期試験期間の定期試験（40%）により総合的に評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…配布プリントによる  
参考書…授業中に指示します。

**関連科目**

コミュニケーション論

**担当者の研究室等**

1号館2階（非常勤講師室）

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 導入  
授業の内容、進め方について  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【到達目標】 文章の書き方1  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第2回 【到達目標】 文章の書き方2  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第3回 【到達目標】 事実の記述と意見の記述  
事実を述べる文章と意見を述べる文章の違いを学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第4回 【到達目標】 説明文  
論理的に説明する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第5回 【到達目標】 【課題1】ある事物について、論理的に説明する文章を書く  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第6回 【到達目標】 要約1  
要約の方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第7回 【到達目標】 課題1フィードバック、要約2  
課題1を見直す。要約文を作成する  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（要約文の作成）  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第8回 【到達目標】 構成  
レポートなどの文章構成を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第9回 【到達目標】 引用1  
文章を引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第10回 【到達目標】 引用2  
グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第11回 【到達目標】 【課題2】資料を引用して意見を述べる  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第12回 【到達目標】 手紙1  
手紙の様式を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第13回 【到達目標】 課題2フィードバック、手紙2  
課題2を見直す。手紙を書く。  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（手紙の作成）  
【評価】 手紙  
授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第14回 【到達目標】 本講義のまとめ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト

**評価の時期・方法・基準**

授業への取り組み（20%）、課題提出（40%）、定期試験期間の定期試験（40%）により総合的に評価する。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…配布プリントによる  
参考書…授業中に指示します。

**関連科目**

コミュニケーション論

**担当者の研究室等**

1号館2階（非常勤講師室）

文章表現法（Eクラス） Academic Japanese				
丹下 暖子（タンゲ アツコ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	前期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。  
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。  
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くかなど、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

**文章表現法 (Fクラス)**  
Academic Japanese

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	前期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。

大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。

考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くかなど、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 導入  
授業の内容、進め方について  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第2回** 【到達目標】 文章の書き方1  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第3回** 【到達目標】 文章の書き方2  
文章表現の基礎を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第4回** 【到達目標】 事実の記述と意見の記述  
事実を述べる文章と意見を述べる文章の違いを学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第5回** 【到達目標】 説明文  
論理的に説明する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第6回** 【到達目標】 【課題1】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第7回** 【到達目標】 要約1  
要約の方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第8回** 【到達目標】 課題1フィードバック、要約2  
課題1を見直す。要約文を作成する  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（要約文の作成）  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第9回** 【到達目標】 構成  
レポートなどの文章構成を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第10回** 【到達目標】 引用1  
文章を引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第11回** 【到達目標】 引用2  
グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第12回** 【到達目標】 【課題2】 資料を引用して意見を述べる  
【学習方法・自己学習課題】 課題の作成・提出  
【評価】 課題による
- 第13回** 【到達目標】 手紙1  
手紙の様式を学ぶ  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第14回** 【到達目標】 課題2フィードバック、手紙2  
課題2を見直す。手紙を書く。  
【学習方法・自己学習課題】 講義と実践（手紙の作成）  
【評価】 手紙  
授業終了後の定期試験  
小テスト
- 第15回** 【到達目標】 本講義のまとめ

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

**評価の時期・方法・基準**

授業への取り組み (20%)、課題提出 (40%)、定期試験期間の定期試験 (40%) により総合的に評価する。

100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…配布プリントによる

参考書…授業中に指示します。

**関連科目**

コミュニケーション論

**担当者の研究室等**

1号館2階 (非常勤講師室)

**コミュニケーション論 (1・3クラス)**

Study of Communication

櫻井 清華 (サクライ キョカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	1・3	前期	選択	2

**コース・ユニット・一般目標**

コース：ヒューマニズムについて学ぶ

一般目標：生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

ユニット：(3)信頼関係の確立を目指して

一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。

この講義では、わたしたちが日常におこなっているコミュニケーションの特性や仕組みを知り、そのうえで表現のスキルを向上させていくことをめざしています。

わたしたちは日々、ことばを話し、読み、書き、そうして周囲の人びととコミュニケートしつつ生活をしています。コミュニケーションの諸場面に生じる問題をとおして、円滑な意志疎通のあり方を探っていくことにしましょう。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 オリエンテーション  
コミュニケーションとはどのような現象を指しているか考えてみましょう。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録
- 第2回** 【到達目標】 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。  
コミュニケーションモデルを通してメッセージの流通・応答経路の仕組みを学びましょう。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録
- 第3回** 【到達目標】 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。  
私たちがどのようにしてことばを理解し認知しているのか、コンテキスト・コンテンスをとおして考えてみましょう。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録
- 第4回** 【到達目標】 言語的および非言語的コミュニケーションの方法を概説できる。  
ことばを使用しないコミュニケーションのあり方を考えてみましょう。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録
- 第5回** 【到達目標】 言語の生得性について概説できるようになる。  
言語獲得と成長過程の関係について学びましょう。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録
- 第6回** 【到達目標】 意志、情報の伝達に必要な要素を列挙できる。  
コミュニケーションにおけるメッセージの送り手と受け手の関係について考えてみましょう。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録
- 第7回** 【到達目標】 言葉とはなにか、というテーマについて概説できるようになる。

ソシュールの記号論をもとに、言語と指示対象の関係について学びましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第8回 【到達目標】 言葉とはなにか、というテーマについて概説できるようになる。

ソシュールの記号論をもとに、言語と指示対象の関係について学びましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第9回 【到達目標】 言葉の働きを認識する。

ヴィトゲンシュタインの言語論をもとに、言語に関する認識の諸相を学びましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第10回 【到達目標】 相手の立場、文化、習慣などによって、コミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。

日常何気なく使用しているスキーマとスクリプト、または言外の意味について考えてみましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第11回 【到達目標】 非言語行為について概説できるようになる。

非言語行為と言語行為の齟齬や相乗効果について考えてみましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第12回 【到達目標】 相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する。

しぐさや表情が、コミュニケーションに及ぼす影響力について実際の経験から考えてみましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第13回 【到達目標】 非言語行為の生得性と文化差を概説できるようになる。

非言語行為の生得性と文化差の多様な例を知ることで、現在の非言語行為についての認識を深めましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第14回 【到達目標】 メディア戦略について認識を深める。

広告メディアのメッセージ性を読み解くことで広告主の戦略を学び、「記号を消費する消費者」にならないことを目指しましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

第15回 【到達目標】 うわさの構造について概説できるようになる。

うわさの発生要件・伝搬経路・変形過程について、実際の例から学びましょう。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了時の定期試験・小テスト・レポート・観察記録

**評価の時期・方法・基準**

平常点（小テスト、レポート、観察記録など）と試験によって、総合的に評価します。  
（平常点30点、定期試験70点）  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…『コミュニケーション学への招待』橋元良明編著（大修館書店）定価2,100円＋税  
参考書…適宜、講義のなかで紹介いたします。

**関連科目**

国語学、言語学、日本語学、社会学、コミュニケーション学など

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

コース：ヒューマニズムについて学ぶ  
一般目標：生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

ユニット：(3) 信頼関係の確立を目指して

一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を習得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 【到達目標】 オリエンテーション

授業の内容、進め方について

【学習方法・自己学習課題】 講義

第2回 【到達目標】 コミュニケーションとは何かを理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

第3回 【到達目標】 言語コミュニケーション1

コミュニケーション手段としての言語の役割を理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

第4回 【到達目標】 言語コミュニケーション2

具体例により、言語を用いるコミュニケーションを理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

第5回 【到達目標】 非言語コミュニケーション1

言語によらないコミュニケーションを理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 提出物による

小テスト

第6回 【到達目標】 非言語コミュニケーション2

具体例により、言語によらないコミュニケーションを理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

第7回 【到達目標】 言語によるコミュニケーションの実践1・・・

他己紹介1

【学習方法・自己学習課題】 他己紹介の準備をする。

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

第8回 【到達目標】 言語によるコミュニケーションの実践1・・・

他己紹介2

【学習方法・自己学習課題】 グループに分かれ他己紹介をする。

【評価】 観察記録

小テスト

第9回 【到達目標】 コミュニケーションとしての敬語1

敬語の役割、種類を理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

第10回 【到達目標】 コミュニケーションとしての敬語2

練習問題により、場面に応じた敬語の使い方を理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

練習問題

【評価】 授業終了後の定期試験

小テスト

第11回 【到達目標】 コミュニケーションの実践2・・・グループディスカッション

【学習方法・自己学習課題】 グループに分かれディスカッションを行う。

【評価】 観察記録

小テスト

第12回 【到達目標】 コミュニケーションの実践2・・・グループディスカッションとプレゼンテーション

ディスカッションしたことをプレゼンテーションする。

【学習方法・自己学習課題】 グループディスカッションとプレゼンテーションの準備をする。

【評価】 経過観察

小テスト

第13回 【到達目標】 コミュニケーションの実践2・・・プレゼンテーション

【学習方法・自己学習課題】 グループ単位でプレゼンテーションを行い、相互に評価する。

【評価】 経過観察

小テスト

第14回 【到達目標】 異文化コミュニケーション

異文化の中でのコミュニケーションについて理解する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験

コミュニケーション論 (2・4クラス)				
Study of Communication				
細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	2・4	前期	選択	2

コース・ユニット・一般目標

- 小テスト
- 第15回 **【到達目標】** 本講義の総括  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験  
 小テスト
- 評価の時期・方法・基準**  
 定期試験期間の定期試験（50点）、授業での作業（50点）により、総合的に評価する。  
 100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
**教科書**…配布プリント  
**参考書**…適宜提示
- 関連科目**  
 日本語表現、言語学、心理学、社会学、世界史など
- 担当者の研究室等**  
 1号館2階(非常勤講師室)

ボランティア活動論 Study of Volunteer Activity				
森本 誠一 (モリモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	前期	選択	2

- コース・ユニット・一般目標**  
 コース：ヒューマニズムについて学ぶ  
 一般目標：生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。  
 ユニット：(3) 信頼関係の確立を目指して  
 一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。  
 東日本大震災という未曾有の災害を経験し、ボランティア活動が日本で再び注目されるようになってきました。1995年が日本のボランティア元年と呼ばれるようになったきっかけは阪神・淡路大震災でした。ただ、一言でボランティア活動と言っても、災害ボランティア、福祉ボランティア、文化ボランティアなど、活動の分野や種類もさまざまです。この授業では、ボランティア活動の意義、歴史、活動の種類や分野、社会制度との関係、日本と諸外国における現状など、ボランティア活動論の基本を学習し理解することを目標としています。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回 **【到達目標】** イントロダクション——この授業で何を学ぶのか、授業の全体像を把握する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第2回 **【到達目標】** 概論——ボランティア活動の意義、目的、必要性について理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第3回 **【到達目標】** さまざまなボランティア活動——ボランティア活動の分野や種類について一定の知識を身につけ説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第4回 **【到達目標】** ボランティア活動の歴史——ボランティア活動のおおまかな歴史について理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第5回 **【到達目標】** 市民社会論——ボランティア活動の基礎にある市民について、市民とは何か、市民社会とはどのようなものかを理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第6回 **【到達目標】** NPO、NGO——NPO、NGOとは何か、またそれらがボランティア活動において果たす役割とはどのようなものなのかを理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第7回 **【到達目標】** 社会制度とボランティア活動——社会制度がNPO、NGOの活動やボランティア活動にもたらす影響につ

- いて理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第8回 **【到達目標】** 日本のボランティア活動——日本におけるボランティア活動が、どのように始まり、どのように広がっていったのか、阪神・淡路大震災および東日本大震災との関連で理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第9回 **【到達目標】** 諸外国のボランティア活動——諸外国のボランティア活動について日本との比較で理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第10回 **【到達目標】** 災害ボランティア——災害ボランティアの種類や特徴について理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第11回 **【到達目標】** 福祉ボランティア——福祉ボランティアの種類や特徴について理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第12回 **【到達目標】** 文化ボランティア——文化ボランティアの種類や特徴について理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第13回 **【到達目標】** 国際ボランティア——国際ボランティアの種類や特徴について理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第14回 **【到達目標】** 企業ボランティア——企業ボランティアの種類や特徴、個人ボランティアとの違いについて理解し説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。
- 第15回 **【到達目標】** まとめ——この授業で何を学んだのかを振り返り、それを自分自身のことばで表現できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 受講態度、リアクションペーパー、および小テストにより評価する。

**評価の時期・方法・基準**  
 この授業は受講態度15%、小テスト25%、期末試験60%で評価します。具体的には受講態度15点、不定期で実施する小テスト25点、期末試験60点（100点満点を60点換算）で評価します。100点満点中60点以上で合格とします。

- 教材等**  
**教科書**…特になし。  
**参考書**…内海成治・水野義之・入江幸男編『ボランティア学を学ぶ人のために』世界思想社、1999年（2,310円）

**備考**  
 この授業は講義形式ですが、受講生との対話を通じて授業を進めていきます。授業を受けるにあたって膨大な資料を読んだり多くのことを暗記したりする必要はありませんが、毎回の授業に出席しなくては学習の効果は薄いでしょう。また、授業の終わりに毎回リアクションペーパーを提出してもらい、第2回目以降は授業のはじめにそれを取り上げます。

日本国憲法 Constitutional Law				
小宮山 直子 (コミヤマ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	選択	2

- コース・ユニット・一般目標**  
 コース：教養（F 薬学準備教育）  
 ユニット：(1) 人と文化  
 一般目標：薬学領域の学習と併行して、人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、知識を獲得し、さまざまな考え方にふれ、物事を多角的にみる能力を養う。そして見識のある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑽に努める習慣を身につける。  
 本講義では、日本国憲法の基礎的知識を習得することを目的と

しています。さらにその知識を活用して、社会における多様な問題について、自分の言葉で発言できるようにすることを目標とします。できるだけ身近な素材を利用して講義を進めますので、「憲法」と日常生活との関わりについて考えてもらえる機会になるでしょう。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 はじめに  
講義の進め方および成績評価について  
現代日本の法制度の概要について  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
日本法全体における憲法の位置づけを確認しておく。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第2回** 【到達目標】 憲法とは何か：  
近代憲法の特徴について  
明治憲法及び日本国憲法の歴史について  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
明治憲法と日本国憲法の違いについて整理しておく。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第3回** 【到達目標】 日本国憲法の基本原理：国民主権・平和主義を中心の考察する。  
戦後からこれまでの憲法にかかわる重要判例を概観する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
日本国憲法制定に関わった人物を各自で調べてみる。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第4回** 【到達目標】 自由権①  
信教の自由・政教分離の原則：教育現場で問題になった信教の自由をめぐる事例を検討する、また政教分離にかかわる重要判例を取り上げる。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
政教分離にかかわる最近の判例を調べる。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第5回** 【到達目標】 自由権②  
表現の自由：表現の自由の限界を、わいせつ物の規制とプライバシー権にかかわる点から考える。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
わいせつ物が規制される理由について賛否両論の意見を整理しておく。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第6回** 【到達目標】 自由権③  
人身の自由：適正手続の保障について考察する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
死刑制度をめぐるさまざまな意見についてまとめる。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第7回** 【到達目標】 自由権④  
職業選択の自由・経済活動の自由  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
職業選択の自由に関する重要判例を整理する。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第8回** 【到達目標】 社会権①  
生存権と生活保護：生活保護をめぐる事例を考察する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
講義のなかで取り上げた「中嶋学資保険訴訟」判決の重要点を各自で整理する。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第9回** 【到達目標】 社会権②  
教育を受ける権利  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
社会権が登場する歴史的背景について復習しておく。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第10回** 【到達目標】 法の下の平等  
平等権に関わる最重要判例を考察する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
戦前からこれまでの女性の社会的地位の変化について整理しておく。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第11回** 【到達目標】 人権の享有主体／新しい人権  
外国人にかかわる憲法問題を考察する。また人権規定の私人間効力について説明する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
憲法に関する新聞記事を調査する。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第12回** 【到達目標】 統治のしくみ①  
国会・内閣の基本的機能について考察する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
憲法に関する新聞記事を調査する。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第13回** 【到達目標】 統治のしくみ②  
裁判所の組織、司法権の独立などについて考察する。  
また、裁判員制度の問題点を検討する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
裁判員制度の概要について整理しておく。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第14回** 【到達目標】 憲法改正の問題：  
戦後からこれまでの憲法改正の動向を概観する。

- 【学習方法・自己学習課題】 講義  
人権にかかわる改正案を考えてみる。  
【評価】 定期試験・平常点
- 第15回** 【到達目標】 まとめ  
これまでの講義のまとめと復習を行う  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期試験・平常点
- 評価の時期・方法・基準**  
定期試験90点、平常点（コミュニケーションペーパーなどの提出）10点。詳しくは初回の講義で説明します。  
100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
教科書…松井茂記『日本国憲法を考える（最新版）』（大阪大学出版会）  
参考書…芦部信喜編『憲法』（岩波書店）  
『別冊ジュリスト 憲法判例百選 I・II』
- 関連科目**  
法学入門
- 担当者の研究室等**  
1号館2階（非常勤講師室）

生命倫理学 Bioethics				
遠矢和希(トオヤ ワキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	必修	2

- コース・ユニット・一般目標**  
コース：ヒューマニズムについて学ぶ  
ユニット：(1) 生と死  
一般目標：人の誕生から死までの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。  
ユニット：(2) 医療技術の担い手としてのこころ構え  
一般目標：常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようになるために必要なこころ構えを身につける。  
ユニット：(3) 医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、他専門職種、地域社会との信頼関係を確立できるようにするために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。
- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回** 【到達目標】 医療倫理・生命倫理の基本原則と課題  
医療・生命科学研究が守るべき原則を理解し、患者主体の医療に必要な事を説明できる（4原則、インフォームドコンセント等）。薬剤師の倫理規定を理解する。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期試験
- 第2回** 【到達目標】 生殖補助医療技術  
生殖補助医療技術について説明できる（AIHとAID、体外受精、代理懐胎）。女性の身体の道具化、ビジネス化、児の出自を知る権利、保険適用と技術の拡大について考える。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期試験
- 第3回** 【到達目標】 着床前診断と出生前診断  
胚・胎児の異常の有無を調べる診断と、胚選択・選択的中絶について説明できる。優生思想、優生保護法の倫理的問題、胎児条項、中絶にかかわるリプロダクティブ・ライツ、胚と胎児の道德的地位について考える。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期試験
- 第4回** 【到達目標】 脳死と臓器移植  
生体・死体・脳死臓器移植の違いを理解する。脳死の定義と判定、臓器移植法改正について説明できる。脳死は人の死か、脳死患者と移植待機患者とそれぞれの家族の苦悩について考える。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期試験
- 第5回** 【到達目標】 ターミナル（終末期）とセデーション（鎮静）の倫理  
終末期における死の受容、緩和ケアによるQOLの向上について理解し、チーム医療の重要性を認識する。ホスピススタッフと遺族の思い、セデーションの倫理的問題、リヴィング・ウィル等について考える。  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 定期試験
- 第6回** 【到達目標】 患者のQOLとは何か  
映像資料を通して、患者のQOLとは何か、自分が当事者であればどう考え行動するか、専門職医療者としては何ができるかを考える。

【学習方法・自己学習課題】 これまでの講義内容の確認。映像資料鑑賞

【評価】 鑑賞後の小レポート

第7回

【到達目標】 疾患を持って生きること

難治性疾患、慢性疾患、感染症に関する倫理的問題と、患者の生活における課題について理解する。慢性疾患の患者に対する服薬指導、HIV感染者の差別問題、難治性疾患の療養に関して医療者ができることについて考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第8回

【到達目標】 認知症医療の倫理

認知症患者のQOL、抑制（化学的抑制）の倫理について理解する。介護保険法（2000年）以降の高齢者医療、新しい認知症ケア、在宅医療、高齢者虐待リスクと、在宅医療を行う薬剤師の役割について考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第9回

【到達目標】 安楽死と尊厳死

安楽死と尊厳死の違いについて説明できる。海外における主要な出来事と関連法、日本における横浜地裁判決による要件を理解する。患者と家族に対して専門職医療者としてできることを考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第10回

【到達目標】 リスクマネジメント

医療事故と医療過誤の違い、ヒヤリ・ハットについて説明できる。失敗から学ぶこと、医薬分業、薬学的ケアを考え、薬剤師によるリスクマネジメントの必要性を認識する。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第11回

【到達目標】 先端医療技術・研究と人間の尊厳

再生医療研究におけるヒト細胞や胚利用（ES細胞、iPS細胞、EG細胞、クローン技術等）、倫理指針について説明できる。研究におけるヒト細胞・胚の扱いと人間の尊厳、エンハンスメント、遺伝子改変と次世代への影響について考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第12回

【到達目標】 遺伝子診断・遺伝子医療

遺伝性疾患の発症前診断と遺伝カウンセリングの重要性、知らないでいる権利について理解する。遺伝子医療におけるゲノム創薬、テーラーメイド医療、個人情報取り扱いについて理解する。DTC、遺伝子差別、セルフメディケーションへの薬剤師の関わりを考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第13回

【到達目標】 臨床研究の倫理

医薬品の研究・開発・供給のプロセスにおける倫理指針とヘルシンキ宣言を理解する。非臨床試験における動物実験の倫理、被験者（患者）の権利と尊厳の保護について理解し、プラセボ対照試験、医薬品特許と途上国問題について考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第14回

【到達目標】 薬害と医療倫理

薬害の定義と歴史について理解する（スモン、薬害エイズ等）。薬害の原因を分析し、社会的防止対策、専門職としての防止対策について考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 定期試験

第15回

【到達目標】 生命倫理と人間の尊厳

映像資料鑑賞を通して生命倫理に関する問題を考える。患者（また家族）の抱える倫理的問題を分析し、専門職種としての自分の考えを整理し、チームカンファレンス等に対応する態勢を持つ。

【学習方法・自己学習課題】 これまでの講義内容の確認。映像資料鑑賞

【評価】 鑑賞後の小レポート

評価の時期・方法・基準

授業中のレポート提出30点、定期試験期間中の試験70点。100点満点の60点以上で合格。

教材等

教科書…なし。必要に応じてレジュメを配布する。

参考書…"伏木信次他「生命倫理と医療倫理」(2500円)"

関連科目

哲学、倫理学、心理学、コミュニケーション論、薬事環境衛生法規他

担当者の研究室等

1号館2階(非常勤講師室)

## 心理学 Psychology

小 牧 一 裕 (コマキ カスヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	選択	2

### コース・ユニット・一般目標

コース：ヒューマニズムについて学ぶ

一般目標：生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人と共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。

ユニット：(3) 信頼関係の確立を目指して

一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようにするために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。

心理学とは、われわれが周囲のさまざまな環境とのかかわりの中でとる行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。授業では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。現代社会での実際的な問題、日常的な話題を多く取り上げ、個人・対人間・集団関係での行動と心理の理解を目指す。

### 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

第1回 【到達目標】 人間関係の基礎1：一人ひとりの違いや類似を説明する概念のひとつであるパーソナリティについて、さまざまな考え方を紹介する。また、実際にパーソナリティを測定する尺度を用いて、自分の性格について考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後のレポート・学習態度

第2回 【到達目標】 人間関係の基礎2：パーソナリティの形成に影響を与える外的要因について、文化、家庭、学校、地域に分けて説明する。われわれがいかにして現在の自分になったのかについて考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後のレポート・学習態度

第3回 【到達目標】 人間関係を動かすもの：人が人間関係を含む行動をするとき、その原因を心理学では総称して動機づけという。動機的動機と社会的動機、外発的動機と内発的動機、さらに動機づけの発達について理解を深める。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後のレポート・学習態度

第4回 【到達目標】 人間関係の生涯発達：人とうまく関わっていく能力は、主には小さい子どものころに培われる。この社会性の発達について、人の生涯をいくつかの時期（乳幼児期、児童期、青年期、中年期）に分けて学ぶ。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後のレポート・学習態度

第5回 【到達目標】 人間関係の始まり1：自分のことは自分が一番良く知っていると考える人は多いが、本当にそうだろうか？ 自分の気づかない自分について知り、また、自分の情報を他の人に言う自己開示や他の人に良い印象を与える過程についても考える。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後のレポート・学習態度

第6回 【到達目標】 人間関係の始まり2：われわれが人と良い関係を築いていくためには、まず自分を取り巻く環境や他者を知ることが必要となる。ここでは、他者を理解するプロセスに動く、心理的な規則やルールについて学ぶ。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後のレポート・学習態度

第7回 【到達目標】 人間関係の始まり3：われわれは印象形成の次の行動として、相手の人に対する評価的な感情を抱く。ここでは、人に対する好意的や非好意的な態度である対人魅力の規定因について考えてみる。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後のレポート・学習態度

第8回 【到達目標】 人間関係の展開1：われわれ一人ひとりの態度はさまざまに異なっている。自分と意見が違う人と接することはよくあることだが、そのときにどのような行動を取るだろうか。ここでは説得に関して、影響する要因とその応用について学ぶ。

【学習方法・自己学習課題】 講義

【評価】 授業終了後の定期試験・学習態度

第9回 【到達目標】 人間関係の展開2：人はどのようなときに他の人を助け、あるいは怒りから攻撃にうつるのだろうか。援助については、緊急事態における援助行動に見られる特徴を中心に、怒りや攻撃については、怒りのコントロールを中心に学ぶ。

【学習方法・自己学習課題】 講義

- 第10回** 【評価】 授業終了後の定期試験・学習態度  
**【到達目標】** 人間関係の展開3：集団が個人の行動に対して強い影響力を持つことは、日常的によく経験することである。ここでは、他者の行動や態度を変えようとする試みである社会的影響の過程の中で、同調と服従について考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験・学習態度
- 第11回** 【到達目標】 社会における人間関係1：人とうまくいかないときに、その原因はコミュニケーションにあることが多い。コミュニケーションの阻害や歪みについてその原因を理解し、より良い人間関係を築くための対策を考えてみる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後のレポート・学習態度
- 第12回** 【到達目標】 社会における人間関係2：対人関係において、うまくいかなかったときの対応や注意点について学ぶ。トラブルがもたらせたくなったときの対応、さらに苦情処理で気をつけることについて理解を深める。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験・学習態度
- 第13回** 【到達目標】 社会における人間関係3：集団の中でリーダーシップを発揮したり、集団のまとまり（凝集性）をよくするにはどうしたらいいのだろうか。リーダーシップの諸理論を学び、集団のまとまりを高める方法について理解を深める。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験・学習態度
- 第14回** 【到達目標】 社会における人間関係4：職場の人間関係は、離職の原因にもなるし、やる気の源にもなる。ここではストレスの原因とその結果に影響を及ぼす要因として人間関係や個人特性に注目し、どのようにしたらストレスに強くなれるのかについて学ぶ。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験・学習態度
- 第15回** 【到達目標】 まとめ：これまでの授業に関して、伝えたいポイントを再確認し、言い足りなかったところについて補足説明を行う。さらに、われわれが心理学をどのように日常生活に活用できるのかについて考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 授業終了後の定期試験・学習態度

**評価の時期・方法・基準**  
 定期試験、大レポート、小レポート、学習態度から総合して評価する。100点満点中60点以上で合格とする。

**教材等**  
 教科書…「人間関係を学ぶ心理学」安藤明人他 福村出版（¥2100）  
**担当者の研究室等**  
 1号館2階（非常勤講師室）

<b>哲学</b> philosophy				
<b>石崎嘉彦</b> (イシザキ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	選択	2

**コース・ユニット・一般目標**  
 コース：教養（F 薬学準備教育）  
 ユニット：(1) 人と文化  
 一般目標：薬学領域の学習と併行して、人文科学、社会科学および自然科学などの広く学び、知識を獲得し、さまざまな考え方や感じ方にふれ、物事を多角的にみる能力を養う。そして見識のある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑽に努める習慣を身につける。

ここではそれを哲学的伝統に触れることによって習得する。もともと哲学(Philosophy)とは「知を愛すること (philosophia)」というくらいの意味の言葉であった。それは今ではやたら難しい思考や議論を行う学問と解されるようになってしまっているが、この講義では、そのような難解な「哲学」とは一線を画して、哲学の本来の意味である「愛知」という意味に立ち帰り、人間とりわけ自己知の営みと解してとして講義していく。特にここではそれを「弁証法的な「思考法」としてとらえ返し、現代世界の諸問題を考えて行くのに不可欠な視点として提示していく。それを通して、現代の諸問題を哲学的な目で見ると習慣を身につけて頂きたい。

- 毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**
- 第1回** 【到達目標】 はじめに  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義の概要を説明し全体の見取り図を述べる。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。

- 第2回** 【到達目標】 理論と実践の問題とは何かを考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第3回** 【到達目標】 弁証法的あるいは対話的であることについて理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第4回** 【到達目標】 政治哲学と弁証法の関わりについて考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第5回** 【到達目標】 近代性の原理としての和解性概念について理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第6回** 【到達目標】 「宗教」と「愛」の原理について理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第7回** 【到達目標】 近代性を運命との闘争と和解として捉える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第8回** 【到達目標】 愛の財産に対する敗北の意味について。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第9回** 【到達目標】 弁証法と推理連結の意味を理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第10回** 【到達目標】 限定的否定と絶対的否定一判断から推論へを説明する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第11回** 【到達目標】 市民社会と労働の世界の到来と社会の物象化について。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第12回** 【到達目標】 労働と生産の社会と普遍同質的国家。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第13回** 【到達目標】 弁証法と解釈学—ポストモダンの超克のために。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第14回** 【到達目標】 古典の注意深い読解と政治的实践について理解する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。
- 第15回** 【到達目標】 友好的対話と哲学的弁証法—一般教養教育の可能性と共生の試み。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書の当該箇所をあらかじめ読んで講義を聴講する。  
**【評価】** 受講の姿勢、講義への関わり、議論への参加などを総合評価する。

**評価の時期・方法・基準**  
 修学状況（出席、授業への参加の度合い）と最終試験として作成されたレポートなどによって総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
 教科書…石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法』（晃洋書房）  
 参考書…石崎嘉彦ほか著『ポストモダン時代の倫理』（ナカニシヤ出版）、

石崎嘉彦ほか著『グローバル世界と倫理』（ナカニシヤ出版）

関連科目

倫理学、応用倫理学

担当者の研究室等

寝屋川学舎7号館4階（石崎教授室）

備考

思考することが大切です。それを喜びとなしうるよう

文学 Literature				
中 嶋 謙 昌 (ナカシマ ケンスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	選択	2

コース・ユニット・一般目標

コース：教養（F 薬学準備教育）

ユニット：（1）人と文化

一般目標：薬学領域の学習と併行して、人文科学、社会科学および自然科学などの広く学び、知識を獲得し、さまざまな考え方、感じ方にふれ、物事を多角的にみる能力を養う。そして文学を読むことで人生を豊かにする。

百人一首をとりあげ、主要な和歌を中心に読んでいく。百人一首の各歌から、王朝和歌がどのように移り変わっていったのかを把握する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 百人一首とは何か—なぜ後半部分の歌は覚えにくいのか  
【学習方法・自己学習課題】 講義・事典等で概要を把握。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第2回 【到達目標】 百人一首の構成を知る  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首全体を概観。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第3回 【到達目標】 天皇の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第4回 【到達目標】 万葉集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第5回 【到達目標】 六歌仙の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第6回 【到達目標】 古今集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第7回 【到達目標】 古今集撰者たちの歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第8回 【到達目標】 後撰集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第9回 【到達目標】 拾遺集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第10回 【到達目標】 女流歌人たちの歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第11回 【到達目標】 後拾遺集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第12回 【到達目標】 金葉・詞花集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第13回 【到達目標】 千載集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点

平常点

- 第14回 【到達目標】 新古今集時代の歌を読む  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首該当箇所を熟読。  
【評価】 定期試験  
平常点
- 第15回 【到達目標】 ふたたび百人一首とは何か  
【学習方法・自己学習課題】 講義・百人一首全体を概観。  
【評価】 定期試験  
平常点

評価の時期・方法・基準

平常点（小テスト・受講態度）（30点）と定期試験（70点）で総合的に評価する。私語など、他の受講生の迷惑となるような行動に対しては厳しく対応する。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…資料を配付する。

参考書…講義中に指示する。

関連科目

なし

担当者の研究室等

1号館2階（非常勤講師室）

法学入門

Introduction to Jurisprudence

菅原 絵美 (スガワラ エミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	選択	2

コース・ユニット・一般目標

コース：教養（F 薬学準備教育）

ユニット：（1）人と文化

一般目標：薬学領域の学習と併行して、人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、知識を獲得し、さまざまな考え方にふれ、物事を多角的にみる能力を養う。そして見識のある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑽に努める習慣を身につける。

「法学入門」：法は堅く不動のイメージがつきまとう。しかし、実際に法を理解するためには、「法が社会のなかでどんな機能を果たしているのか」について、憲法や民法・刑法といった法律の条文そのもの（「規範」）に加え、法律の定立・適用・執行などの「制度」、法的思考などの「技術」、さらにはどのような人が法律を扱っているのかという「主体」など、動態的な視点が必要になる。この法がもつダイナミズムを重視し、具体的な事例（学生の関心事例や医療に関する事例など）を用い、今後の社会生活で活用できるような法学の基礎的知識を身につけることを目標とする。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 イントロダクション  
講義の目的、進め方や成績評価／私たちの生活と法・法律  
【学習方法・自己学習課題】 講義  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第2回 【到達目標】 法および法律とは(1)  
法および法律の基礎知識／法的思考（リーガルマインド）とは  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第3回 【到達目標】 法および法律とは（2）  
日本社会と法・法律の歩み／日本の法制度  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第4回 【到達目標】 憲法（1）  
国民主権／平和主義／権力分立  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第5回 【到達目標】 憲法(2)  
基本的人権の保障  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート

- ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第6回** 【到達目標】 刑法  
罪刑法定主義／犯罪の成立要件／刑事手続  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第7回** 【到達目標】 民法（1）  
契約の自由／財産関係と法  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第8回** 【到達目標】 民法(2)  
家族関係（結婚、離婚、相続など）と法  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第9回** 【到達目標】 損害賠償  
「もし交通事故をおこしてしまったら…」の場合をめぐる法律問題を考える  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第10回** 【到達目標】 労働法  
労働法の理念／労働する権利の保障／労働基本権（団結権、団体交渉権、争議権）  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第11回** 【到達目標】 国際法  
国際社会と法／領域と海洋法／国際貿易・投資体制  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第12回** 【到達目標】 裁判員制度  
「裁判員に選ばれたら…」の場合をめぐる、裁判員制度の概要および「法律を扱う立場」を考える  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第13回** 【到達目標】 医療と法・法律  
医療活動に関わる法律問題（特に、薬事法など薬学と関連する事例・事件を中心に）  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第14回** 【到達目標】 その他の社会生活とかかわる法律  
環境やジェンダーなど社会生活とかかわる法律問題を考える  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習・予習として講義と関連する関心事例（事件・ニュース）を新聞等で確認  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 第15回** 【到達目標】 まとめ  
これまでの講義のまとめと復習を行う  
【学習方法・自己学習課題】 前回の復習  
【評価】 アンケート  
ペーパー（不定期）  
定期試験
- 評価の時期・方法・基準**  
成績は、毎回の授業アンケートの提出状況、不定期に課すレポートの成績および定期試験で、総合的に評価する。100点満点中60点以上で合格。
- 教材等**  
教科書…特に指定しない。  
適宜資料を配付する。  
参考書…適宜講義のなかで紹介する。

**関連科目**

日本国憲法  
担当者の研究室等  
1号館2階(非常勤講師室)

経済学 Economics				
紀国正典(キノクニ マサノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	選択	2

**コース・ユニット・一般目標**

コース：教養（F薬学準備教育） ユニット：F（1）人と文化  
一般目標：人間の持続的的幸福を実現する経済と金融のあり方を、生活者の立場から、金融を通してわかりやすく学びます。  
さらに詐欺にあったり、損失をかかえたり、借金漬けになったりしないための生活知識を、わかりやすく学びます。  
薬学部の学生さんも、生涯かかわる生活問題ですので、興味・関心をもって参加していただけたらと思います。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 講義・学習方法および成績評価方法について知る。  
教科書の概要と学び方について知る。  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書を購入の上、必ず持参すること。  
【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。
- 第2回** 【到達目標】 人間の持続的的幸福を実現する経済と金融について知る。  
：リスクとリスク管理・制御  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所への復習。  
【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。
- 第3回** 【到達目標】 リスク管理・制御の失敗例について考える。  
：世界金融危機と原発事故・放射能汚染  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所への復習。  
【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。
- 第4回** 【到達目標】 生活者の直面するリスクと金融リスクおよびリスク管理方法について考える。  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所への復習。  
【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。
- 第5回** 【到達目標】 買う取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える（1）。  
：悪徳商法と振り込め詐欺  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所への復習。  
【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。
- 第6回** 【到達目標】 買う取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える（2）。  
：インターネット詐欺とネット通販  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所への復習。  
【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。
- 第7回** 【到達目標】 借りる取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える（1）。  
：キャッシングとリボ払い  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所への復習。  
【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。
- 第8回** 【到達目標】 借りる取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える（2）。  
：貧困とヤミ金問題  
【学習方法・自己学習課題】 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所への復習。

- 第9回** 【評価】 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。  
**【到達目標】** 貯める取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える(1)。  
 : 預貯金と利殖商法  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所での復習。  
**【評価】** 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。  
**第10回** 【到達目標】 貯める取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える(2)。  
 : 公社債(国債)と財政危機  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所での復習。  
**【評価】** 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。  
**第11回** 【到達目標】 貯める取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える(3)。  
 : 外国為替相場(円高・円安)と世界経済  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所での復習。  
**【評価】** 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。  
**第12回** 【到達目標】 貯める取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える(4)。  
 : 外貨建金融商品  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所での復習。  
**【評価】** 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。  
**第13回** 【到達目標】 貯める取引にひそむリスクとリスク管理方法について考える(5)。  
 : 投資信託と株式投資  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所での復習。  
**【評価】** 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。  
**第14回** 【到達目標】 公共財である金融の制御方法について考える(1)。  
 : 社会的責任金融・国際的責任金融  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所での復習。  
**【評価】** 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。  
**第15回** 【到達目標】 公共財である金融の制御方法について考える(2)。  
 : 金融消費者保護と金融ユニバーサルデザイン  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義での説明、教材DVDの上映、自分で考えた感想・意見カードの提出、教科書の関係箇所での復習。  
**【評価】** 毎回の授業で提出する感想・意見カードと期末レポートを点数化し、合計して評価します。

**評価の時期・方法・基準**

毎回の授業で提出する感想・意見カード(70点)と期末レポート(30点)を点数化し合計し、100点の範囲内に調整して、評点をだします。100点満点中60点以上で合格とします。

**教材等**

教科書…紀国正典著『金融の公共性と金融ユニバーサルデザイン』ナカニシヤ出版  
 参考書…授業の際に、テーマにそって、参考文献、参考ウェブサイトなどを示します。

**担当者の研究室等**

1号館2階(非常勤講師室)

**備考**

まじめに努力すれば、誰でも良い成績をとれる講義です。しかし、マナー・モラルを守らない不真面目な学生さんは、確実に単位をとれません。次の講義方針で臨みます。  
 1. 努力がむくわれる講義(まじめに努力したことが成績に反映するように工夫しております。)  
 2. 参加型講義(学生さんが意見カードで自分の感想や考えを述べることを求め、それを成績に反映します。)  
 3. モラル・マナーが守られる講義(私語でうるさい学生さんは退出させ、単位を出しません。遅刻の多い学生さんはマイナス評価をします。)

**女性学**

Women's Studies

荒木 菜穂(アラキ ナホ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	前期	選択	2

**コース・ユニット・一般目標**

コース: ヒューマニズムについて学ぶ  
 ユニット: (3) 信頼関係の確立を目指して  
 一般目標: 医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。  
**【コミュニケーション】**、**【相手の気持ちに配慮する】**、**【患者の気持ちに配慮する】**  
 女性学とは、男女ともが、社会のしくみについて考える場である。社会の「主人公」が男性であることが自明であった時代、「見えない存在」とされていた女性のあり方に目を向けることが女性学のきっかけとなった。しかし、それは、性別によって個人が生き方を決められてしまう社会のしくみそのものを問う学問および活動を意味する。現在では、性をめぐる社会のしくみは、男女それぞれの個人としての「生きにくさ」と何かしら関係があるのかもしれないと捉えられる一方、「もはや性別による不都合など存在しない」という意見も多く見られる。本授業では、1970年代以降、女性学において語られてきた様々なトピックをヒントに、性をめぐるの、今日の社会的なしくみについて、家族、恋愛、仕事、セクシュアリティなど様々な角度から理解を深める。また、一般論としての「あたりまえ」ではなく、自分を主語としてそれらの問題について語るができるようになることを目標とする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 イントロダクション/女性学とは何かを知る  
**【学習方法・自己学習課題】** 女性学について、また、日本における女性学誕生からジェンダー概念の普及までの簡単な歴史の振り返りを行う。  
**【評価】** 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。  
**第2回** 【到達目標】 メディアの中の男女のイメージを観る(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** 様々なメディアの中で、男性、女性のイメージがどのように描き分けられているか、またなぜそうになっているのかについて考える。配布プリントの復習と意識的なメディア視聴をし、次回の準備とする。  
**【評価】** 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。  
**第3回** 【到達目標】 メディアの中の男女のイメージを観る(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** メディアにおける表現の問題性、また、メディアと接する際のリテラシーについて考える。配布プリントの復習と、意識的なメディア視聴をする。  
**【評価】** 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。  
**第4回** 【到達目標】 女性運動から学ぶ  
**【学習方法・自己学習課題】** 過去および現在のフェミニズム運動やその主張の多様性から平等とは何かを学ぶ。配布プリントの復習を行う。  
**【評価】** 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。  
**第5回** 【到達目標】 恋愛・結婚・家族とジェンダーについて考える(1)  
**【学習方法・自己学習課題】** モテ非モテ、愛と暴力など、日常的問題の背景にある社会のしくみを知る。配布プリントの復習を行う。  
**【評価】** 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。  
**第6回** 【到達目標】 恋愛・結婚・家族とジェンダーについて考える(2)  
**【学習方法・自己学習課題】** 恋愛意識、経済、家族のあり方など、様々な社会の問題と結びつく「結婚」という制度について、結婚が困難になりつつある近年の現状をデータなどで振り返り、その構造について考える。配布プリントの復習を行う。  
**【評価】** 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。  
**第7回** 【到達目標】 恋愛・結婚・家族とジェンダーについて考える(3)  
**【学習方法・自己学習課題】** 結婚・家族などをめぐる「あたりまえ」を疑ってみる。配布プリントの復習を行う。  
**【評価】** 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。  
**第8回** 【到達目標】 個人の外見と身体と社会との関係性を知る  
**【学習方法・自己学習課題】** 個人の「見た目」がジェンダーや社会による制約を受ける問題について、単に批判するだけ

でなく、我々が積極的に表現する行為としての意味を考える。配布プリントの復習を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか

第9回 【到達目標】 身体と性を考える  
【学習方法・自己学習課題】 出産・健康・医療めぐり、男女の身体や性が社会とどのような関係にあったのかを学ぶ。配布プリントの復習を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。

第10回 【到達目標】 セクシュアリティとジェンダーを考える  
【学習方法・自己学習課題】 快楽の性、性的なものをめぐる差別など、性と社会に関する様々なことを学ぶ。配布プリントの復習を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。

第11回 【到達目標】 労働と社会のしくみを知る (1)  
【学習方法・自己学習課題】 個人が生きていく上で仕事、労働、生活について、現代の男女のライフコースとの関わりで考える。配布プリントの復習、事例に基づくレポート課題を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。

第12回 【到達目標】 労働と社会のしくみを知る (2)  
【学習方法・自己学習課題】 格差社会と男女共同参画といった観点から、資本主義社会の中のジェンダーと労働について学ぶ。配布プリントの復習を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。

第13回 【到達目標】 グローバリゼーションとジェンダーを自分の問題として考える  
【学習方法・自己学習課題】 様々な文化における男女を取り巻く社会状況に目を向け、「私」とは、どのような立ち位置の女性(男性)か、について考える。配布プリントの復習を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。

第14回 【到達目標】 教育とジェンダーを考える  
【学習方法・自己学習課題】 日本の教育に関するジェンダーの問題について考える。配布プリントの復習を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。

第15回 【到達目標】 今日的課題と向き合う  
【学習方法・自己学習課題】 震災、貧困、ネット社会など、社会の変化をもたらした様々なキーワードを、女性学、ジェンダーの切り口から再考する。配布プリントの復習を行う。

【評価】 授業内容の理解と、自分にひきつけての意見が持っているか。

**評価の時期・方法・基準**

授業内レポートおよび課題レポート (30点)、定期試験 (70点) により総合評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…指定なし  
参考書…授業中に適宜指示する。

**関連科目**

社会と個人について考える科目全てに関連性があるといえます。

**担当者の研究室等**

1号館2階 非常勤講師室

**備考**

難解な理論を把握することよりも、日常生活の中の問題を、「あたりまえ」だけではない様々な視点で考えることができるようになることが本授業の目的です。この問題はなぜ起こっているのだろう、世の中ってどうなってるんだろう、と一緒に考えていけたらと思います。

統計学演習 Statistics Practice				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

この授業ではデータ解析で用いられる統計学の基礎を学び、統計学的推論について理解する。一部の統計処理は実際にエクセルを用いて行う。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 【到達目標】 統計の役割と種類、尺度を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第2回 【到達目標】 度数分布、ヒストグラムを理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第3回 【到達目標】 代表値 (平均値、中央値、最頻値など) を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第4回 【到達目標】 代表値と散布度 (分散、標準偏差など) を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第5回 【到達目標】 連続変数の相関係数と回帰直線を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第6回 【到達目標】 順位尺度の相関係数、カテゴリ尺度の相関係数を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第7回 【到達目標】 演習問題ができる  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第8回 【到達目標】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率 (1) を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第9回 【到達目標】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率 (2) を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第10回 【到達目標】 二項分布、 $\chi^2$ 乗分布、F分布、t分布を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第11回 【到達目標】 母集団から標本集団を推定を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第12回 【到達目標】 標本集団から母集団を推定 (平均値) を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第13回 【到達目標】 標本集団から母集団を推定 (比率) を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第14回 【到達目標】 標本集団から母集団を推定 (t検定) を理解・習得する  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

第15回 【到達目標】 演習問題ができる  
【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
【評価】 定期試験

**評価の時期・方法・基準**

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり (「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より)。

**教材等**

教科書…やさしい保健統計学 [改訂第5版]。縣俊彦。南江堂。2013年1月1日。1890円。

参考書…随時紹介する。

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

7号館3階24

**備考**

なし

情報処理・統計学演習 Exercise in Information Processing				
小堀 栄子 (コボリ エイコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

この授業ではデータ解析で用いられる統計学の基礎を学び、統計学的推論について理解する。一部の統計処理は実際にエクセルを用いて行う。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 【到達目標】 統計の役割と種類、尺度を理解・習得する

- 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第2回 【到達目標】 度数分布、ヒストグラムを理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第3回 【到達目標】 代表値（平均値、中央値、最頻値など）を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第4回 【到達目標】 代表値と散布度（分散、標準偏差など）を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第5回 【到達目標】 連続変数の相関係数と回帰直線を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第6回 【到達目標】 順位尺度の相関係数、カテゴリ尺度の相関係数を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第7回 【到達目標】 演習問題ができる  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第8回 【到達目標】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率（1）を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第9回 【到達目標】 正規分布、標準正規分布、確率、累積確率（2）を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第10回 【到達目標】 二項分布、 $\chi^2$ 乗分布、F分布、t分布を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第11回 【到達目標】 母集団から標本集団を推定を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第12回 【到達目標】 標本集団から母集団を推定（平均値）を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第13回 【到達目標】 標本集団から母集団を推定（比率）を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第14回 【到達目標】 標本集団から母集団を推定（t検定）を理解・習得する  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験
- 第15回 【到達目標】 演習問題ができる  
 【学習方法・自己学習課題】 講義・演習  
 【評価】 定期試験

**評価の時期・方法・基準**

定期試験60%以上で合格。授業全15回出席が前提。出席の扱いは学生便覧のとおり（「出席状況が好ましくない場合は、単位を認めないことがあります」学生便覧より）。

**教材等**

教科書…やさしい保健統計学 [改訂第5版]. 縣俊彦. 南江堂. 2013年1月1日. 1890円.  
 参考書…随時紹介する。

**関連科目**

なし

**担当者の研究室等**

7号館3階24

**備考**

なし

日本国憲法 Constitutional Law				
小宮山 直子 (コミヤマ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	選択	2

**コース・ユニット・一般目標**

コース : 教養 (F 薬学準備教育)  
 ユニット : (1) 人と文化  
 一般目標 : 薬学領域の学習と併行して、人文科学、社会科学お

よび自然科学などを広く学び、知識を獲得し、さまざまな考え方にふれ、物事を多角的にみる能力を養う。そして見識のある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑽に努める習慣を身につける。本講義では、日本国憲法の基礎的知識を習得することを目的としています。さらにその知識を活用して、社会における多様な問題について、自分の言葉で発言できるようになることを目標とします。できるだけ身近な素材を利用して講義を進めますので、「憲法」と日常生活との関わりについて考えてもらえる機会になるでしょう。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回 【到達目標】 はじめに講義の進め方および成績評価について現代日本の法制度の概要について  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 日本法全体における憲法の位置づけを確認しておく。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第2回 【到達目標】 憲法とは何か：近代憲法の特徴について明治憲法及び日本国憲法の歴史について  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 明治憲法と日本国憲法の違いについて整理しておく。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第3回 【到達目標】 日本国憲法の基本原理：国民主権・平和主義を中心の考察する。戦後からこれまでの憲法にかかわる重要判例を概観する。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 日本国憲法制定に関わった人物を各自で調べてみる。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第4回 【到達目標】 自由権①  
 信教の自由・政教分離の原則：教育現場で問題になった信教の自由をめぐる事例を検討する、また政教分離にかかわる重要判例を取り上げる。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 政教分離にかかわる最近の判例を調べる。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第5回 【到達目標】 自由権②  
 表現の自由：表現の自由の限界を、わいせつ物の規制とプライバシー権にかかわる点から考える。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 わいせつ物が規制される理由について賛否両論の意見を整理しておく。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第6回 【到達目標】 自由権③  
 人身の自由：適正手続の保障について考察する。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 死刑制度をめぐるさまざまな意見についてまとめる。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第7回 【到達目標】 自由権④  
 職業選択の自由・経済活動の自由  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 職業選択の自由に関する重要判例を整理する。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第8回 【到達目標】 社会権①  
 生存権と生活保護：生活保護をめぐる事例を考察する。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 講義のなかで取り上げた「中嶋学資保険訴訟」判決の重要点を各自で整理する。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第9回 【到達目標】 社会権②  
 教育を受ける権利  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 社会権が登場する歴史的背景について復習しておく。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第10回 【到達目標】 法の下の平等  
 平等権に関わる最重要判例を考察する。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 戦前からこれまでの女性の社会的地位の変化について整理しておく。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第11回 【到達目標】 人権の享有主体／新しい人権  
 外国人にかかわる憲法問題を考察する。また人権規定の私人間効力について説明する。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 憲法に関する新聞記事を調査する。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第12回 【到達目標】 統治のしくみ①  
 国会・内閣の基本的機能について考察する。  
 【学習方法・自己学習課題】 講義  
 憲法に関する新聞記事を調査する。  
 【評価】 定期試験・平常点
- 第13回 【到達目標】 統治のしくみ②  
 裁判所の組織、司法権の独立などについて考察する。また、裁判員制度の問題点を検討する。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
裁判員制度の概要について整理しておく。

**【評価】** 定期試験・平常点

第14回 **【到達目標】** 憲法改正の問題：戦後からこれまでの憲法改正の動向を概観する。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
人権にかかわる改正案を考えてみる。

**【評価】** 定期試験・平常点

第15回 **【到達目標】** まとめ  
これまでの講義のまとめと復習を行う

**【学習方法・自己学習課題】** 講義  
**【評価】** 定期試験・平常点

**評価の時期・方法・基準**  
定期試験90点、平常点（コミュニケーションペーパーなどの提出）10点。詳しくは初回の講義で説明します。  
100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…松井茂記『日本国憲法を考える（最新版）』（大阪大学出版会）  
参考書…芦部信喜編『憲法』（岩波書店）  
『別冊ジュリスト 憲法判例百選 I・II』

**関連科目**  
法学入門

**担当者の研究室等**  
1号館2階（非常勤講師室）

科学技術史 History of Sciences				
柳田 一夫 (ヤナダ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	後期	選択	2

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：教養（F 薬学準備教育）  
(1) 人と文化  
一般目標：薬学領域の学習と併行して、人文科学、社会科学および自然科学などを広く学び、知識を獲得し、さまざまな考え方や感じ方に触れ、物事を多角的にみる能力を養う。そして見識ある人間としての基礎を築くために、自分自身についての洞察を深め、生涯にわたって自己研鑽に努める習慣を身につける。（講義全体に関する到達目標：薬学部で習得すべき知識と技能に関連させながら、薬と医療行為についての理解を深める。）

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 **【到達目標】** 講義計画の概要を説明できる。科学と技術の関係、および歴史を学ぶ意義について説明できる。最近の科学技術の話題について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第2回 **【到達目標】** 科学的方法、推論の仕方、観察と実験について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第3回 **【到達目標】** 顕微鏡の発達、細胞説形成の経過について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第4回 **【到達目標】** 自然発生説の否定（フランチェスコ・レディの対照実験、パスツールの白鳥の首フラスコの実験）について説明できる。また、パスツールによる光学分割について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第5回 **【到達目標】** 電子顕微鏡の発達とその応用について説明できる。1～5回目までの内容を振り返り、概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第6回 **【到達目標】** 有機合成のはじまりと生気論の否定、合成染料とその影響について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第7回 **【到達目標】** 合成染料と医学、合成医薬品の誕生、化学療法剤、抗生物質について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）

**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第8回 **【到達目標】** アンモニア合成を例に用いて化学平衡について説明できる。また、アンモニア合成が及ぼした影響について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第9回 **【到達目標】** ナイロンを例に用いて合成繊維について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第10回 **【到達目標】** 6～10回目までの内容を振り返り、概説できる。また、簡単な化合物の命名法について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第11回 **【到達目標】** エネルギーを理解するために、熱と温度の違いについて説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第12回 **【到達目標】** エネルギー保存の法則の例として、仕事と熱の関係について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第13回 **【到達目標】** 電池の仕組みをダニエル電池を例に用いて説明できる。電池の応用として、pHメーターの仕組みについて説明できる。また、長期使用電源の例として心臓ペースメーカーのリチウム電池について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第14回 **【到達目標】** 最近の科学技術の話題（エネルギー問題など）について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

第15回 **【到達目標】** 最近の科学技術の話題（医療器具・機械など）について説明できる。11～15回目までの内容を振り返り、概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義（講義室）  
**【評価】** レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**  
講義中適宜提出するレポート（30点）および定期試験（70点）で評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…上田誠也・竹内敬人・松岡正剛ほか11名著 「理科基礎 自然のすがた・科学の見かた」 東京書籍（610円）

**関連科目**  
物理学、化学、生物学

**担当者の研究室等**  
1号館2階 薬学教育研究室、ASC（Academic Support Center）（枚方キャンパス）

**備考**  
「広い視野から個々の科目を関連付ける」、そのような勉強法のヒントになることを願っています。

臨床心理学 Clinical Psychology				
溝口 前子 (ミゾグチ サキコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	前期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**  
コース：ヒューマニズムについて学ぶ  
ユニット：(3) 信頼関係の確立を目指して  
一般目標：医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、同僚、地域社会との信頼関係を確立できるようになるために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。  
〔相手の気持ちに配慮する〕  
〔患者の気持ちに配慮する〕

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

第1回 **【到達目標】** オリエンテーション  
臨床心理学とは何かを概説できる。

- 【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義  
**【評価】** 定期試験  
**第2回** **【到達目標】** 臨床心理学の基礎理論（1）  
 心の構造①—フロイトにおける無意識について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義、VTR  
**【評価】** 定期試験  
**第3回** **【到達目標】** 臨床心理学の基礎理論（2）  
 心の構造②—ユングにおける無意識について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義、VTR  
**【評価】** 定期試験  
**第4回** **【到達目標】** 臨床心理学の基礎理論（3）  
 心の発達①—幼児期から学童期の心理発達について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義、VTR、資料配布  
**【評価】** 定期試験  
**第5回** **【到達目標】** 臨床心理学の基礎理論（4）  
 心の発達②—青年期から成人期の心理発達について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義  
**【評価】** 定期試験  
**第6回** **【到達目標】** 臨床心理学の基礎理論（5）  
 心の発達③—老年期の心理発達について概説できる  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義、VTR  
**【評価】** 定期試験  
**第7回** **【到達目標】** 心理検査実習（1）  
 質問紙法の結果の処理と解釈について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 体験学習（検査用紙、資料配布）  
**【評価】** レポート・定期試験  
**第8回** **【到達目標】** 心理検査実習（2）  
 投影法の結果の処理と解釈について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 体験学習（2B～4Bの鉛筆持参）、パワーポイント講義  
**【評価】** レポート・定期試験  
**第9回** **【到達目標】** 臨床心理学的接近法（1）  
 心の病①—神経症、精神病について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義  
**【評価】** 定期試験  
**第10回** **【到達目標】** 臨床心理学的接近法（2）  
 心の病②—人格障害、発達障害について概説できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義、VTR  
**【評価】** 定期試験  
**第11回** **【到達目標】** 臨床心理学的接近法（3）  
 臨床心理学的アセスメントの方法について説明できる  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義、資料配布  
**【評価】** 定期試験  
**第12回** **【到達目標】** 臨床心理学的援助法（1）  
 心理療法の実践—基本的態度、基本構造とコミュニケーションのあり方について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義  
**【評価】** 定期試験  
**第13回** **【到達目標】** 臨床心理学的援助法（2）  
 心理療法の実際問題—面接場面で生じる困難と留意点について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義  
**【評価】** 定期試験  
**第14回** **【到達目標】** 臨床心理学的援助法（3）  
 コミュニケーションの背景にある（転移）感情について理解することができる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義、課題プリント配布  
**【評価】** レポート・定期試験  
**第15回** **【到達目標】** 心理療法と薬物療法  
 服薬の心理学的意味について説明できる。  
**【学習方法・自己学習課題】** 教科書・パワーポイント講義  
**【評価】** 定期試験

**評価の時期・方法・基準**

レポート（30点）、定期試験（70点）により評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…「はじめの臨床心理学」森谷寛之・竹松志乃 編著 北樹出版（2625円）  
 参考書…講義の中で随時紹介する。

**関連科目**

心理学Ⅰ・Ⅱ、教育心理学など

**担当者の研究室等**

1号館2階（非常勤講師室）

**医療倫理**  
 Medical Ethics

遠矢和希（トオヤ ワキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E F	後期	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

コース：ヒューマニズムについて学ぶ

ユニット：(1) 生と死

一般目標：人の誕生から死までの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。

ユニット：(2) 医療技術の担い手としてのこころ構え

一般目標：常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようになるために必要なこころ構えを身につける。

ユニット：(3) 医療の担い手の一員である薬学専門家として、患者、他専門職種、地域社会との信頼関係を確立できるようにするために、相手の心理、立場、環境を理解するための基本的知識、技能、態度を修得する。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

**第1回** **【到達目標】** 医療倫理・生命倫理の基本原則と課題

医療・生命科学研究が守るべき原則を理解し、患者主体の医療に必要な事を説明できる（4原則、インフォームドコンセント等）。薬剤師の倫理規定を理解する。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

**【評価】** 定期試験

**第2回**

**【到達目標】** 生殖補助医療技術

生殖補助医療技術について説明できる（AIHとAID、体外受精、代理懐胎）。女性の身体の道具化、ビジネス化、児の出自を知る権利、保険適用と技術の拡大について考える。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

**【評価】** 定期試験

**第3回**

**【到達目標】** 着床前診断と出生前診断

胚・胎児の異常の有無を調べる診断と、胚選択・選択的中絶について説明できる。優生思想、優生保護法の倫理的問題、胎児条項、中絶にかかわるリプロダクティブ・ライツ、胚と胎児の道徳的地位について考える。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

**【評価】** 定期試験

**第4回**

**【到達目標】** 脳死と臓器移植

生体・死体・脳死臓器移植の違いを理解する。脳死の定義と判定、臓器移植法改正について説明できる。脳死は人の死か、脳死患者と移植待機患者とそれぞれの家族の苦悩について考える。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

**【評価】** 定期試験

**第5回**

**【到達目標】** ターミナル（終末期）とセデーション（鎮静）

の倫理  
 終末期における死の受容、緩和ケアによるQOLの向上について理解し、チーム医療の重要性を認識する。ホスピススタッフと遺族の思い、セデーションの倫理的問題、リビング・ウィル等について考える。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

**【評価】** 定期試験

**第6回**

**【到達目標】** 患者のQOLとは何か

映像資料を通して、患者のQOLとは何か、自分が当事者であればどう考え行動するか、専門職医療者としては何ができるかを考える。

**【学習方法・自己学習課題】** これまでの講義内容の確認。映像資料鑑賞

**【評価】** 鑑賞後の小レポート

**第7回**

**【到達目標】** 疾患を持って生きること

難治性疾患、慢性疾患、感染症に関する倫理的問題と、患者の生活における課題について理解する。慢性疾患の患者に対する服薬指導、HIV感染者の差別問題、難治性疾患の療養に関して医療者ができることについて考える。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

**【評価】** 定期試験

**第8回**

**【到達目標】** 認知症医療の倫理

認知症患者のQOL、抑制（化学的抑制）の倫理について理解する。介護保険法（2000年）以降の高齢者医療、新しい認知症ケア、在宅医療、高齢者虐待リスクと、在宅医療を行う薬剤師の役割について考える。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

**【評価】** 定期試験

**第9回**

**【到達目標】** 安楽死と尊厳死

安楽死と尊厳死の違いについて説明できる。海外における主要な出来事と関連法、日本における横浜地裁判決による要件を理解する。患者と家族に対して専門職医療者としてできることを考える。

**【学習方法・自己学習課題】** 講義

- 【評価】** 定期試験
- 第10回 **【到達目標】** リスクマネジメント  
医療事故と医療過誤の違い、ヒヤリ・ハットについて説明できる。失敗から学ぶこと、医薬分業、薬学的ケアを考え、薬剤師によるリスクマネジメントの必要性を認識する。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義
- 第11回 **【到達目標】** 先端医療技術・研究と人間の尊厳  
再生医療研究におけるヒト細胞や胚利用（ES細胞、iPS細胞、EG細胞、クローン技術等）、倫理指針について説明できる。研究におけるヒト細胞・胚の扱いと人間の尊厳、エンハンスメント、遺伝子改変と次世代への影響について考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義
- 第12回 **【到達目標】** 遺伝子診断・遺伝子医療  
遺伝性疾患の発症前診断と遺伝カウンセリングの重要性、知らないでいる権利について理解する。遺伝子医療におけるゲノム創薬、テーラーメイド医療、個人情報取り扱いについて理解する。DTC、遺伝子差別、セルフメディケーションへの薬剤師の関わりを考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義
- 第13回 **【到達目標】** 臨床研究の倫理  
医薬品の研究・開発・供給のプロセスにおける倫理指針とヘルシンキ宣言を理解する。非臨床試験における動物実験の倫理、被験者（患者）の権利と尊厳の保護について理解し、プラセボ対照試験、医薬品特許と途上国問題について考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義
- 第14回 **【到達目標】** 薬害と医療倫理  
薬害の定義と歴史について理解する（スモン、薬害エイズ等）。薬害の原因を分析し、社会的防止対策、専門職としての防止対策について考える。  
**【学習方法・自己学習課題】** 講義
- 第15回 **【到達目標】** 生命倫理と人間の尊厳  
映像資料鑑賞を通して生命倫理に関する問題を考える。患者（また家族）の抱える倫理的問題を分析し、専門職種としての自分の考えを整理し、チームカンファレンス等に対応する態勢を持つ。  
**【学習方法・自己学習課題】** これまでの講義内容の確認。映像資料鑑賞
- 【評価】** 鑑賞後の小レポート
- 評価の時期・方法・基準**  
授業中のレポート提出30点、定期試験期間中の試験70点。100点満点の60点以上で合格。
- 教材等**  
教科書…なし。必要に応じてレジュメを配布する。  
参考書…"伏木信次他「生命倫理と医療倫理」(2,500円)"
- 関連科目**  
哲学、倫理学、心理学、コミュニケーション論、薬事環境衛生法規他
- 担当者の研究室等**  
1号館2階(非常勤講師室)

- 解を得ることができる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** 授業の進め方について(林田・橋本・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** なし
- 第2回 **【授業テーマ】** 人権とは何か  
**【内容・方法 等】** 人権という考え方の基本について(石崎・林田担当)  
**【事前・事後学習課題】** 資料の予習
- 第3回 **【授業テーマ】** 人権の歴史  
**【内容・方法 等】** 人権という考え方の歴史について(林田・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第4回 **【授業テーマ】** 女性と人権  
**【内容・方法 等】** 女性差別の現状と構造(林田・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第5回 **【授業テーマ】** 指紋あるいは遺伝子情報と人権  
**【内容・方法 等】** 個人識別とプライバシーの保護について(石崎・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第6回 **【授業テーマ】** 警察と人権  
**【内容・方法 等】** 民事不介入の原則について(林田・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第7回 **【授業テーマ】** 国際問題としての人権  
**【内容・方法 等】** 貧困や難民問題と人権の問題について(石崎・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第8回 **【授業テーマ】** 日本における人権問題  
**【内容・方法 等】** 同和問題の歴史と現状(橋本・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第9回 **【授業テーマ】** 教育と人権  
**【内容・方法 等】** 人権問題と教育の役割(林田・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第10回 **【授業テーマ】** 監獄と人権  
**【内容・方法 等】** 一望監獄（パノプティコン）と見えない権力(林田・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第11回 **【授業テーマ】** 情報化社会における人権問題  
**【内容・方法 等】** 身体障害と表現(橋本・林田担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第12回 **【授業テーマ】** マスメディアとネット社会の人権問題  
**【内容・方法 等】** マスコミによる人権侵害と報道の自由について(橋本・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第13回 **【授業テーマ】** 人権問題の全体を再考する  
**【内容・方法 等】** 具体的な経験を語り合うことを通して(林田・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** これまでのまとめを行っておく
- 第14回 **【授業テーマ】** 人権についての考えをまとめる  
**【内容・方法 等】** これまでの講義をまとめてレポートを作成する(石崎・橋本・林田担当)  
**【事前・事後学習課題】** これまでの復習
- 第15回 **【授業テーマ】** 総括と展望  
**【内容・方法 等】** 纏めた文章の相互批評と評価(石崎・橋本・林田担当)  
**【事前・事後学習課題】** レポートを読み返しておく
- 評価方法（基準）**  
授業中における意見の表明など授業参加点と授業中に行う論文形式の小テストにより総合的に評価する。
- 教材等**  
教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。  
参考書…とくになし。
- 学生へのメッセージ**  
人権がわたしたちの日常にきわめて深くかかわっている事柄であることを理解できるような講義を目指す。複数の教員が同一テーマについて同じ時間内に講義するという他に例のない授業形式の醍醐味に触れて欲しい。
- 関連科目**  
法学、歴史学、日本史学、哲学、日本文学
- 担当者の研究室等**  
7号館4階(石崎・橋本・林田研究室)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「社会と人権」 Human rights and Society				
		石 崎 嘉 彦 (イシザキ ヨシヒコ)		
		林 田 敏 子 (ハヤシダ トシコ)		
		橋 本 正 俊 (ハシモト マサトシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。具体的には「現実生活と人権」および「人権の歴史」の二つをテーマとして、担当者がそれぞれ専門的な見地から講義するとともに、教員間、教員と学生間の討議を通して人権に対する総合的な理解の獲得をめざす。授業においては、毎回二人以上の教員が出席し担当する。

**授業方法と留意点**  
毎回、二名以上の教員が同一テーマについて、異なる立場と視点から講義する。

**科目学習の効果（資格）**  
人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「薬系インターンシップ・ボランティア」  
Internship and Volunteer for Pharmacy Student

中尾 晃 幸 (ナカオ テルユキ)  
小西 元 美 (コニシ モトミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	A B C D E F	通年	選択	2

コース・ユニット・一般目標

コース：本学独自の薬学専門教育 ユニット：キャリア形成  
一般目標：医療人として相手（患者）を思いやる心を持ち、情熱と責任ある態度で積極的かつ協動的に行動できるようになるために、倫理観と奉仕・慈愛の心、円滑な対人力、協調的精神、情熱と責任感及び豊かな人間性など、医療人に相応しい知識、技能、態度を身につける。

(3) 薬系インターンシップ・ボランティア（なりたい自分をきめる（インターンシップ・ボランティア））

一般目標：自らがその能力及び適性、志望に応じて主体的に進路を選択できるようになるために、自己研鑽・参加型学習によって必要な情報を収集する。

補足説明：薬学部では、1、2年次：「なりたい自分をさがす」、3、4年次：「なりたい自分をきめる」、5、6年次：「なりたい自分にむかう」を到達目標と定め、全学年にわたるキャリア形成教育を展開している。「薬系インターンシップ・ボランティア」では、自らの能力及び適性、志望に応じて進路を選択できるようになるために、薬剤師が活躍している現場での就労体験（インターンシップ）やボランティア活動を行い、自らのキャリアプランが正しいか否かを確認する。

毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価

- 第1回 【到達目標】 SBO：インターンシップとボランティアの到達目標を説明する。  
内容：「薬系インターンシップ・ボランティア」ガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 レポート（終了時に提出、総括的評価）
- 第2回 【到達目標】 SBO：医療の担い手にふさわしい態度を示す（1）。  
内容：マナーガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 講義及びロールプレイ（講義室）  
【評価】 活動日誌（インターンシップ・ボランティア活動中、総括的評価）
- 第3回 【到達目標】 SBO：医療の担い手にふさわしい態度を示す（2）。  
内容：マナーガイダンス  
【学習方法・自己学習課題】 講義及びロールプレイ（講義室）  
【評価】 活動日誌（インターンシップ・ボランティア活動中、総括的評価）
- 第4回 【到達目標】 SBO：医療の担い手として、社会のニーズに目を向ける（態度）。  
医療の担い手として、社会のニーズに対応する方法を提案する（知識、態度）。  
【学習方法・自己学習課題】 -  
【評価】 -
- 第5回 【到達目標】 医療の担い手にふさわしい態度を示す（態度）。  
自らの体験を通して、生命の尊さや医療の関わりについて討議する（態度）。  
【学習方法・自己学習課題】 -  
【評価】 -
- 第6回 【到達目標】 医療に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。  
人の誕生、成長、加齢、死の意味を考察し、討議する（知識、態度）。  
【学習方法・自己学習課題】 -  
【評価】 -
- 第7回 【到達目標】 ヘルシンキ宣言の内容を概説できる。  
薬剤師が在宅医療に関わることの意義を指導薬剤師と話し合う（態度）。  
【学習方法・自己学習課題】 -  
【評価】 -
- 第8回 【到達目標】 自らの能力及び適性から、医療人としての進路を判断する。  
【学習方法・自己学習課題】 -  
【評価】 -
- 第9回 【到達目標】 内容：下記の4コースから一つを選択し、インターンシップあるいはボランティア活動を行う（各コース10日間以上）。コースは、受け入れ人数の関係で希望に添えない場合や実地日が夏期休暇中や土、日曜日になる場合がある。  
【学習方法・自己学習課題】 -  
【評価】 -
- 第10回 【到達目標】 コース1：病院での病棟ボランティア  
【学習方法・自己学習課題】 実習（外部施設）

【評価】 活動日誌（インターンシップ・ボランティア活動中、総括的評価）

- 第11回 【到達目標】 コース2：ドラッグストアでのセルフメディケーションインターンシップ  
【学習方法・自己学習課題】 実習（外部施設）  
【評価】 活動日誌（インターンシップ・ボランティア活動中、総括的評価）
- 第12回 【到達目標】 コース3：保険薬局での地域医療インターンシップ  
【学習方法・自己学習課題】 実習（外部施設）  
【評価】 活動日誌（インターンシップ・ボランティア活動中、総括的評価）
- 第13回 【到達目標】 コース4：CRO又は病院治験部門での医薬品開発インターンシップ+保険薬局での地域医療インターンシップ  
【学習方法・自己学習課題】 実習（外部施設）  
【評価】 活動日誌（インターンシップ・ボランティア活動中、総括的評価）
- 第14回 【到達目標】 内容：事後学習（1）  
【学習方法・自己学習課題】 レポート作成及びプレゼンテーション準備（情報処理演習室、自宅）  
【評価】 レポート（終了時に提出、総括的評価）
- 第15回 【到達目標】 内容：事後学習（2）  
【学習方法・自己学習課題】 プレゼンテーション及びグループ討論（講義室）  
【評価】 口頭試験（総括的評価）

評価の時期・方法・基準

原則として外部施設での活動及び発表会に全て出席し、すべての提出物を提出していること。その上で、活動日誌（60%）、レポート（20%）及び口頭試験（20%）で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。  
活動日誌は、活動日の翌日の午前中にアカデミック・サポート・センター（枚方）に提出して下さい。

関連科目

薬剤師になるために、薬系キャリア形成、病院実務実習、薬局実務実習

担当者の研究室等

中尾：1号館5階（環境保健学研究室）、小西：1号館4階（臨床分析化学研究室）

備考

共同担当：荻田喜代一、河野武幸、木村朋紀、辻塚己、栗尾和佐子、山室晶子、山本祐実 他 薬学部事務室の協力も得ています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「応用倫理学入門」  
Introduction to Applied Ethics

石崎 嘉彦 (イシザキ ヨシヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

応用倫理学は、環境、生命、情報、経済、政治など生活世界の諸問題を「倫理的パラダイム」の視点から総合的に読み解こうとする試みであるが、この講義では、その中でも特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる諸問題に焦点を合わせて考えていこうと思う。そこから、科学とは区別される仕方でも生命、環境、テクノロジーなどの諸問題に対して対処する道があることを確認していく。

授業方法と留意点

石崎嘉彦著『グローバル世界と倫理』（ナカニシヤ出版）をテキストに用いた講義である。とりわけ今年度は、グローバル・エシックスに焦点を合わせた議論となる。

科目学習の効果（資格）

近代的思考法を超える新しい思考法の獲得に繋がる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに  
【内容・方法 等】 授業の進め方、評価の仕方、倫理について  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界の倫理と人間論  
【内容・方法 等】 人間論としての倫理学、いわゆる肉眼で見ることの復権について  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化とグローバル世界  
【内容・方法 等】 経済のグローバル化と政治のグローバル化  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回 【授業テーマ】 倫理と自然法について  
【内容・方法 等】 力の世界と野蛮化の可能性について  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回 【授業テーマ】 グローバル世界と帝国  
【内容・方法 等】 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために

- 第6回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 人権とヒューマンズムのために  
【内容・方法 等】 欲待の倫理—共同への欲求と親密圏について
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 テクノロジーの専制  
【内容・方法 等】 総動員体制にどう応えるか—技術とナショナリズムに抗して
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 南北問題と環境の倫理学  
【内容・方法 等】 全体論は悪いか—自国の利益よりも世界全体の利益を優先させるために
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 管理社会から福祉社会へ  
【内容・方法 等】 グローバル化による管理社会の到来に立ち向かうために
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 帝国主義でも全体主義的帝国でもなく  
【内容・方法 等】 徳と教養の帝国、愛郷主義の帝国は可能か
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 男女と貧富の平等について  
【内容・方法 等】 差異を超える論理はありうるのか
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 大衆・メディア・コミュニケーション  
【内容・方法 等】 情報技術とメディアの横暴を押し止めるために
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 平和の問題と倫理  
【内容・方法 等】 戦争をこの世からなくすことについて—グローバリズムを越えて
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 共生のために—まともにかえて  
【内容・方法 等】 コスモポリタニズムと共生
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 到達度の点検と確認  
【内容・方法 等】 レポート作成とその評価

**評価方法 (基準)**  
講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定

**教材等**  
教科書…石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)  
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダン的人間論』(ナカニシヤ出版)  
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』(ナカニシヤ出版)

**学生へのメッセージ**  
これからの時代を生きていくためのキーワードは「倫理」と「正義」だよ

**関連科目**  
哲学、エコロジー、環境倫理学、技術者倫理、情報倫理など  
**担当者の研究室等**  
7号館4階(石崎研究室)

教養特別講義I~V「役立つ金融知力」 Useful Financial Literacy				
東 浩 規 (ヒガシ ヒロキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
金融の自由化が進展し、多様な金融商品やサービスが登場するなど、消費者の選択肢が大きく広がり、これまでも増して利便性や収益機会が得られるようになりました。その一方で、私たちに金融取引において、自身の判断と責任において行うべきとする「自己責任」が求められる時代になっています。  
自分で考え、行動することが求められるなか、「自立した個人」となるための素養・能力を養うことが今、必要とされています。これから社会人となる学生諸君も、金融・経済やマーケットの仕組みを理解する知識を身に付けていくことは、とても大切です。これらは、さまざまな金銭・金融トラブルから私たちの身を守るのに役立つばかりでなく、今後の豊かな人生の実現に欠かせないものだからです。  
本講義は、個人のライフステージのさまざまな局面で自立的な意思決定や適切な判断を行うのに役立つ、金融リテラシー(知力)を養成することを目指しています。

**授業方法と留意点**  
講義形式で、時事的な問題も適宜取り上げながら、基礎的内容から実務の入り口まで解説を行い、実践的な知識の習得を図ります。

**科目学習の効果 (資格)**

- ファイナンシャル・プランナー資格(民間資格)、ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格)
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 金融知力の必要性  
【内容・方法 等】 ガイダンス  
金融リテラシー(知力)の必要性について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第2回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(1)  
【内容・方法 等】 GDPや景気動向、経済指標等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第3回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(2)  
【内容・方法 等】 金利、金融政策、景気対策等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第4回** 【授業テーマ】 ライフプランニング(1)  
【内容・方法 等】 私たちの将来設計と資金計画について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第5回** 【授業テーマ】 ライフプランニング(2)  
【内容・方法 等】 私たちの将来設計と資金計画、人生の三大資金について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。  
課題レポート：自分の将来設計をする/キャッシュフロー表の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 貯蓄型商品  
【内容・方法 等】 預貯金や金利計算について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第7回** 【授業テーマ】 リスクとリターン  
【内容・方法 等】 金融取引に関わるリスクとリターン、およびリスクを分散する方法について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第8回** 【授業テーマ】 投資信託  
【内容・方法 等】 投資信託の特徴やその仕組みについて学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)とレジュメをよく読み復習する。
- 第9回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(1)  
【内容・方法 等】 株式の基礎知識、株価変動の要因、経済と株式市場の関係等について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第10回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(2)  
【内容・方法 等】 株式指標や投資指標等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第11回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(1)  
【内容・方法 等】 債券投資の特徴とリスク、利回り等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第12回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(2)  
【内容・方法 等】 債券の格付け、金利と債券価格、日本の財政等について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第13回** 【授業テーマ】 外貨建て商品、証券化  
【内容・方法 等】 外貨建て商品や為替の基本的な仕組み、証券化について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第14回** 【授業テーマ】 セーフティネット  
【内容・方法 等】 セーフティネットについて学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、経済や金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布された

レジュメをよく読み復習する。

- 第15回 【授業テーマ】 まとめと定期試験対策  
 【内容・方法等】 これまでの学習のまとめ、試験の想定問題とその対策。  
 【事前・事後学習課題】 教科書とこれまで配布されたレジュメをよく読んで、総復習をすること。

評価方法 (基準)

学期末試験期間中に実施する筆記試験70%、課題レポート30%を基本に、理解度を確認する<まとめ問題>や授業への取り組み姿勢等を総合的に評価。なお、試験は持ち込み不可。

教材等

教科書…『ファイナンス基礎 (第四版)』発行：NPO法人金融  
 知力普及協会  
 (一般の書店では購入できないので注意して下さい)  
 教科書は授業では使用しません。レジュメ・資料を、  
 毎回配布します。

参考書…特定のもの是指定しません

学生へのメッセージ

経済や金融をより身近に感じてもらうためにも、新聞・ニュースには必ず目を通す習慣を身に付け、今世の中で何が起きているのか常に関心を持つようしてください。事後学習として、テキスト(授業の該当ページ)と配布されたレジュメをよく読んで復習しておくこと、またとつきにくい話であっても自分自身で考える、わからないところは調べてみる姿勢が望ましい。  
 社会人としてしっかり生きていける素養を磨くことを目標とします。授業に積極的で、私語をしない学生の参加を歓迎します。

関連科目

「ビジネスマナー」「就職実践基礎」

担当者の研究室等

11号館1階 (教務課)

備考

この授業は、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社による「寄附講座」です。

**教養特別講義I～V 「地域連携教育活動I」**  
 Community-Based Education Support Activities I

浅野 英一 (アサノ エイイチ)  
 浦野 崇央 (ウラノ タカオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスマナーの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握するの機会を持ち、人間の成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動I」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果 (資格)

活動を通して責任の自覚と人間の成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育-1 (授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。)  
 【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育-2  
 【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について(学外講師を含む)  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育-3  
 【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について(教育委員会からの学外講師)  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回 【授業テーマ】 活動準備  
 【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する  
 【事前・事後学習課題】 年間計画(案)の作成
- 第5回 【授業テーマ】 活動-1  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始  
 活動業務日報・活動時間票の提出

- 第6回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
 【授業テーマ】 活動-2  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出
- 第7回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
 【授業テーマ】 活動-3  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出
- 第8回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
 【授業テーマ】 活動-4  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第9回 【授業テーマ】 活動-5  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第10回 【授業テーマ】 活動-6  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第11回 【授業テーマ】 活動-7  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第12回 【授業テーマ】 活動-8  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 活動-9  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第14回 【授業テーマ】 活動-10  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回 【授業テーマ】 活動-11  
 【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回 【授業テーマ】 活動-12  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第17回 【授業テーマ】 活動-13  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第18回 【授業テーマ】 活動-14  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第19回 【授業テーマ】 活動-15  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第20回 【授業テーマ】 活動-16  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第21回 【授業テーマ】 活動-17  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第22回 【授業テーマ】 活動-18  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第23回 【授業テーマ】 活動-19  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第24回 【授業テーマ】 活動-20  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第25回 【授業テーマ】 活動-21  
 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
 活動業務日報・活動時間票の提出  
 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

- 第26回 【授業テーマ】 活動-2 2  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第27回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2 3  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2 4  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2 5  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動  
時間票
- 第30回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2 6・最終報告会

評価方法 (基準)  
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数(出席数)票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

**教材等**

教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する

**学生へのメッセージ**

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

**関連科目**

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

**担当者の研究室等**

7号館5階 (浅野研究室)  
7号館4階 (浦野研究室)

**備考**

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

- 【事前・事後学習課題】 年間計画(案)の作成
- 第5回 【授業テーマ】 活動-1  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動開始  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第6回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第7回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-3  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第8回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-4  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
- 第9回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗  
状況報告書の作成  
【授業テーマ】 活動-5  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第10回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-6  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第11回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-7  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第12回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-8  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第13回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表  
準備  
【授業テーマ】 活動-9  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動  
時間票・活動進捗状況報告書②の提出
- 第14回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗  
状況報告書の作成  
【授業テーマ】 活動-1 0  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第15回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-1 1  
【内容・方法 等】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回 【授業テーマ】 活動-1 2  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第17回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-1 3  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第18回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-1 4  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第19回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-1 5  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
- 第20回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗  
状況報告書の作成  
【授業テーマ】 活動-1 6  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第21回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-1 7  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第22回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-1 8  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第23回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-1 9  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第24回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2 0  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出

**教養特別講義I～V「地域連携教育活動II」**  
Community-Based Education Support ActivitiesII

浅野 英一 (アサノ エイイチ)  
浦野 崇央 (ウラノ タカオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

**授業方法と留意点**

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動I」を履修した学生のみが登録できる。

**科目学習の効果(資格)**

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育-1 (授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。)  
【内容・方法 等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育-2  
【内容・方法 等】 マナー講座・小中学校の教育現場について(学外講師を含む)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育-3  
【内容・方法 等】 「守秘義務」の意味とその内容について(教育委員会からの学外講師)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回 【授業テーマ】 活動準備  
【内容・方法 等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成

- 第25回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 1  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第26回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 2  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第27回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 3  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 4  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 5  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第30回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動－2 6・最終報告会
- 評価方法 (基準)  
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数 (出席数) 票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

7号館5階 (浅野研究室)  
7号館4階 (浦野研究室)

備考

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「青少年育成ファシリテーター養成講座」  
Facilitator Training Program

浅野 英一 (アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、サービスマナーの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立ったという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、寝屋川青年会議所主催事業、交野市役所。

授業方法と留意点

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動を行います。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果 (資格)

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育－1 (授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。)  
【内容・方法等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「活動についての心構え」
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育－2  
【内容・方法等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「守秘義務について」

- 第3回 【授業テーマ】 事前教育－3  
【内容・方法等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「安全管理スキルについて」
- 第4回 【授業テーマ】 事前教育－4  
【内容・方法等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、AEDの使用法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「救命救護スキルについて」
- 第5回 【授業テーマ】 事前教育－5  
【内容・方法等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「安全対策スキルについて」
- 第6回 【授業テーマ】 事前教育－6  
【内容・方法等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「人とのかかわり方について」
- 第7回 【授業テーマ】 事前教育－7  
【内容・方法等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談 (ホウ・レン・ソウ) の重要性を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「報告、連絡、相談について」
- 第8回 【授業テーマ】 事前教育－8  
【内容・方法等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレイキング手法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「アイスブレイキング手法について」
- 第9回 【授業テーマ】 事前教育－9  
【内容・方法等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
- 第10回 【授業テーマ】 事前教育－10  
【内容・方法等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法  
【事前・事後学習課題】 活動計画 (案) を作成する
- 第11回 【授業テーマ】 実践活動－1  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第12回 【授業テーマ】 実践活動－2  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第13回 【授業テーマ】 実践活動－3  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第14回 【授業テーマ】 実践活動－4  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第15回 【授業テーマ】 実践活動－5  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第16回 【授業テーマ】 実践活動－6  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第17回 【授業テーマ】 実践活動－7  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第18回 【授業テーマ】 実践活動－8  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第19回 【授業テーマ】 実践活動－9  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第20回 【授業テーマ】 実践活動－10  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第21回 【授業テーマ】 実践活動－11  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第22回 【授業テーマ】 実践活動－12

- 【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
- 第23回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動ー1 3  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
- 第24回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動ー1 4  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
- 第25回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動ー1 5  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
- 第26回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動ー1 6  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
- 第27回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動ー1 7  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
- 第28回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動ー1 8  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑱
- 第29回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動ー1 9  
【内容・方法等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
- 第30回 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 最終報告（後期分）

**評価方法**（基準）  
①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調書、以上の4点を総合的に判断して評価する。

**教材等**  
教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する

**学生へのメッセージ**  
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

**担当者の研究室等**  
7号館5階（浅野研究室）

**備考**  
授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」**  
Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)  
亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)  
西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとて多いですので、早めに対策をしておくこと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。  
学科の学習・教育目標との対応：〔II〕

**授業方法と留意点**  
授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

**科目学習の効果（資格）**  
就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施

- 【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算①  
【内容・方法等】 四則演算①・分数①
- 第3回 【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと  
【授業テーマ】 数と計算②  
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①
- 第4回 【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと  
【授業テーマ】 数と計算③  
【内容・方法等】 方程式②
- 第5回 【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと  
【授業テーマ】 割合①  
【内容・方法等】 割合①
- 第6回 【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと  
【授業テーマ】 割合②  
【内容・方法等】 割合②・濃度算
- 第7回 【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと  
【授業テーマ】 割合③  
【内容・方法等】 割合③・仕事算
- 第8回 【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと  
【授業テーマ】 講義の振り返り①  
【内容・方法等】 中テスト
- 第9回 【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと  
【授業テーマ】 金銭問題①  
【内容・方法等】 損益算
- 第10回 【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと  
【授業テーマ】 金銭問題②  
【内容・方法等】 分割払い
- 第11回 【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと  
【授業テーマ】 速度算①  
【内容・方法等】 速さの考え方
- 第12回 【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと  
【授業テーマ】 速度算②  
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき
- 第13回 【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと  
【授業テーマ】 場合の数・確率①  
【内容・方法等】 場合の数
- 第14回 【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと  
【授業テーマ】 場合の数・確率②  
【内容・方法等】 確率
- 第15回 【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと  
【授業テーマ】 講義の振り返り②  
【内容・方法等】 最終テスト
- 【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

**評価方法**（基準）  
テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

**教材等**  
教科書…オリジナル教材を使用します。  
また適宜Smart SPIの活用を指示します。  
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。  
（例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所）

**学生へのメッセージ**  
7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策をしておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。  
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

**関連科目**  
キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

**担当者の研究室等**  
3号館4階 キャリア教育推進室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」**  
Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)  
亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)  
西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦悩する学生がとて多いですので、早めに対策しておくことが後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。  
学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

**科目学習の効果（資格）**

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施  
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算①  
【内容・方法等】 四則演算①・分数①  
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 数と計算②  
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①  
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 数と計算③  
【内容・方法等】 方程式②  
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合①  
【内容・方法等】 割合①  
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 割合②  
【内容・方法等】 割合②・濃度算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 割合③  
【内容・方法等】 割合③・仕事算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 講義の振り返り①  
【内容・方法等】 中テスト  
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 金銭問題①  
【内容・方法等】 損益算  
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 金銭問題②  
【内容・方法等】 分割払い  
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 速度算①  
【内容・方法等】 速さの考え方  
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 速度算②  
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき  
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 場合の数・確率①  
【内容・方法等】 場合の数  
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 場合の数・確率②  
【内容・方法等】 確率  
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り②  
【内容・方法等】 最終テスト  
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

**評価方法（基準）**

テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

**教材等**

教科書…オリジナル教材を使用します。  
また適宜Smart SPIの活用を指示します。  
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことが参考になります。  
(例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

**学生へのメッセージ**

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。  
受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

**関連科目**

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

**担当者の研究室等**

3号館4階 キャリア教育推進室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」**

Business Manners

津村 英二 (ツムラ エイジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	ABCDEF	前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

【コース・ユニット・一般目標】  
コース：本学独自の薬学専門教育  
ユニット：キャリア形成 一般目標：医療人として相手（患者）を思いやる心を持ち、情熱と責任ある態度で積極的かつ協調的に行動できるようにするために、倫理観と奉仕・慈愛の心、円滑な対人力、協調的精神、情熱と責任感及び豊かな人間性など、医療人に相応しい知識、技能、態度を身につける。  
(4) ビジネスマナー（なりたいたい自分をきめる）  
一般目標：自らがその能力及び適性、志望に応じて主体的に進路を選択できるようになるために、自己研鑽・参加型学習によって必要な情報を収集する。  
補足説明：薬学部では、1、2年次：「なりたいたい自分をさがす」、3、4年次：「なりたいたい自分をきめる」、5、6年次：「なりたいたい自分にむかう」を到達目標と定め、全学年にわたるキャリア形成教育を展開している。「ビジネスマナー」では、  
授業概要：マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解する。  
目的：社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。  
到達目標：社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

**授業方法と留意点**

ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

**科目学習の効果（資格）**

社会に出るために必要なことが分かり、就職活動に意欲的に取り組めるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か  
【内容・方法等】 授業のオリエンテーション  
ビジネスマナーの必要性  
ビジネスにおける最低限のルール  
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 第一印象  
【内容・方法等】 第一印象の重要性  
第一印象をよくする方法  
【事前・事後学習課題】 自分の第一印象を理想に近づけるよう意識してください。
- 第3回 【授業テーマ】 身だしなみ  
【内容・方法等】 身だしなみと態度について  
【事前・事後学習課題】 身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 言葉づかい  
【内容・方法等】 敬語の仕組みと使い方  
【事前・事後学習課題】 尊敬語と謙譲語の違いについて調べてきてください。
- 第5回 【授業テーマ】 指示の受け方  
【内容・方法等】 指示の受け方  
スケジュール管理の仕方  
【事前・事後学習課題】 授業内での課題の続きを終えて来ててください。
- 第6回 【授業テーマ】 電子メールのマナー  
【内容・方法等】 電子メールの書き方  
【事前・事後学習課題】 事前に、電子メール、文書、電話、それぞれの長短を考えて来ててください。  
また、授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第7回 【授業テーマ】 文書のマナー  
【内容・方法等】 文書の書き方  
【事前・事後学習課題】 身の回りにある文書を持って来ててください。

- 第8回 【授業テーマ】 電話のマナー  
【内容・方法 等】 電話のかけ方と受け方  
【事前・事後学習課題】 授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第9回 【授業テーマ】 ホウ・レン・ソウ  
【内容・方法 等】 報告・連絡・相談の仕方  
【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来ててください。
- 第10回 【授業テーマ】 訪問のマナー  
【内容・方法 等】 訪問の仕方  
【事前・事後学習課題】 訪問する際に気を付けることを考えてください。
- 第11回 【授業テーマ】 名刺交換のマナー  
【内容・方法 等】 名刺交換の仕方  
【事前・事後学習課題】 名刺の役割について考えてください。
- 第12回 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー  
【内容・方法 等】 会社説明会で何をすればいいのか  
【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。
- 第13回 【授業テーマ】 面接のマナー  
【内容・方法 等】 面接の種類と面接官の狙いについて  
面接での基本的な振る舞い方  
【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来てください。
- 第14回 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー  
【内容・方法 等】 グループディスカッションの特徴  
グループディスカッションの注意点  
【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
- 第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ  
【内容・方法 等】 授業の振り返り・まとめ  
【事前・事後学習課題】 未提出の課題等がないか確認をしてください。

**評価方法 (基準)**  
平常点30点、グループ貢献度20点、期末テスト50点で総合評価する。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**  
教科書…レジュメ配布  
参考書…必要に応じて参考図書を紹介

**学生へのメッセージ**  
マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

**担当者の研究室等**  
3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義I～V「摂南大学とこの地域を学ぶー北河内学ー」 Introduction to University and Kitakawachi Region 福 田 市 朗 (フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
〔授業概要〕学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。〔目的〕摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。〔到達目標〕摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

**授業方法と留意点**  
摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域(寝屋川市・枚方市・交野市・門真市)に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス(リレー)形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

**科目学習の効果 (資格)**  
自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」  
【内容・方法 等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地

- 域社会との関わり合いについての概要を説明する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
- 第2回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ(1)  
【内容・方法 等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
- 第3回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ(2)  
【内容・方法 等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
- 第4回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ(3)  
【内容・方法 等】 都市(寝屋川市)と地方(和歌山県すさみ町)の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
- 第5回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る(1) 寝屋川市  
【内容・方法 等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。
- 第6回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る(2) 枚方市  
【内容・方法 等】 枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。
- 第7回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る(3) 交野市  
【内容・方法 等】 交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。
- 第8回 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る(4) 門真市  
【内容・方法 等】 門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。
- 第9回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る(1)  
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第10回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る(2)  
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第11回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る(3)  
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第12回 【授業テーマ】 北河内で活躍する人びとや団体を知る(4)  
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

- 第13回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）  
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などが、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第14回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）  
 【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などが、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。  
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第15回** 【授業テーマ】北河内の産業を知る  
 【内容・方法等】北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。  
 【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

**評価方法（基準）**

毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（75%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（25%）を総合して評価する。

**教材等**

教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。

参考書…摂南大学の自校史集。

毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

**学生へのメッセージ**

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。

なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

**関連科目**

地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

**担当者の研究室等**

11号館7階 福田教室

**備考**

学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。

学外講師の関係者が聴講することがあります。

また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

**教養特別講義I～V「簿記の話」**

Talk on Bookkeeping

紙 博文(カミ ヒロフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成する簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解する。簿記の授業というと計算技術的なものとなることが多いが、「教養特別講義」でもありそうした講義は避け、簿記の役割、企業内でよく使用される、手形・小切手、試算表、勘定、取引、売上、利益等の意味について説明する。また、簿記の精緻な構造から、これを生み出した人類の知恵を知る。

**授業方法と留意点**

講義中心に行うが計算プリントも配布する。解答は板書きして説明する。ゆっくりとした進度で授業は進める。

**科目学習の効果（資格）**

日本商工会議所簿記検定等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】簿記の基本 1

【内容・方法等】簿記とは

【事前・事後学習課題】教科書p.11～p.13

必要に応じて練習問題を配布、以降同様

**第2回** 【授業テーマ】簿記の基本 2

【内容・方法等】貸借対照表、損益計算書（資産、負債、純資産、収益、費用）

【事前・事後学習課題】教科書p.11～p.13

**第3回** 【授業テーマ】簿記の基本 3

【内容・方法等】簿記の一巡（取引から決算までの概要）

【事前・事後学習課題】教科書p.15

**第4回** 【授業テーマ】簿記の基本 4

【内容・方法等】取引、仕訳、勘定、勘定科目

【事前・事後学習課題】教科書p.15

**第5回** 【授業テーマ】簿記の基本 5

【内容・方法等】仕訳の演習

【事前・事後学習課題】教科書p.21

**第6回** 【授業テーマ】簿記の基本 6

【内容・方法等】転記、試算表の作成、決算

【事前・事後学習課題】教科書p.24～p.28

**第7回** 【授業テーマ】簿記の実際 1

【内容・方法等】現金、現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金

【事前・事後学習課題】教科書p.38～p.43

**第8回** 【授業テーマ】簿記の実際 2

【内容・方法等】有価証券、手形の処理

【事前・事後学習課題】教科書p.44～p.54

**第9回** 【授業テーマ】簿記の実際 3

【内容・方法等】3分法、売掛金と買掛金

【事前・事後学習課題】教科書p.55～p.61

**第10回** 【授業テーマ】簿記の実際 4

【内容・方法等】固定資産

【事前・事後学習課題】教科書p.69

**第11回** 【授業テーマ】簿記の実際 5

【内容・方法等】決算修正事項と精算表

【事前・事後学習課題】教科書p.76～p.87

**第12回** 【授業テーマ】まとめと確認 1

【内容・方法等】計算問題（プリント配布）を解く

【事前・事後学習課題】計算プリントの復習

**第13回** 【授業テーマ】まとめと確認 2

【内容・方法等】計算問題（プリント配布）を解く

【事前・事後学習課題】計算プリントの復習

**第14回** 【授業テーマ】簿記の面白さ 1

【内容・方法等】簿記の成立

【事前・事後学習課題】教科書p.129～p.131

**第15回** 【授業テーマ】簿記の面白さ 2

【内容・方法等】簿記生成史から学ぶこと

【事前・事後学習課題】教科書p.132～p.143

**評価方法（基準）**

学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

**教材等**

教科書…紙博文著『簿記読本第2版』大学教育出版（1890円）

参考書…授業中指示する

**学生へのメッセージ**

簿記は習うよりも慣れる、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。しかし、本講義は、教養科目という性格上、講義中心で計算問題演習の時間は少ないと思う。足りない分は各自で問題を解いてみる。簿記の面白さがわかってきます。

**関連科目**

財務会計論、国際会計論（経営学部開講科目）

**担当者の研究室等**

11号館8階（紙教室）

**教養特別講義I～V「ポストモダン時代の国際政治経済」**

Postmodern Political Economy

石崎嘉彦(イシザキ ヨシヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

グローバル化したポストモダンの世界は、アレクサンドル・コジェーヴの用語でいえば「普遍同質的国家」と呼ばれる。この講義ではそのような国家(あるいは状態)の動向を理解し、それによる生活世界の破壊に対処する途を模索する。特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる環境破壊、科学技術と生産、経済発展と格差社会などの諸問題を取り上げ、それらの問題にいかに対処すべきかを考えてみる。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（見洋書房）をテキストに用い、講義形式で行われる授業である。

**科目学習の効果（資格）**

世界の政治経済的動向とその原理を理解し、そこから近代的思考法を超える新しい思考法を獲得していきたい。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに  
【内容・方法 等】 授業の進め方、評価の仕方、政治哲学について  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回** 【授業テーマ】 グローバル世界と人間論の課題  
【内容・方法 等】 モダンの終焉とポストモダンの「末人」世界の出現  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回** 【授業テーマ】 グローバル化は普遍同質的国家を可能にするか？  
【内容・方法 等】 まずは経済の領域から始まった運動は政治の世界をもグローバル化しうるか？  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回** 【授業テーマ】 分業と交易社会の出現  
【内容・方法 等】 交易と商品生産社会の出現の意義を歴史から見てとる  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回** 【授業テーマ】 相互承認と等価交換  
【内容・方法 等】 承認をめぐる闘いから生み出されるものが自己意識ではなく物＝商品となる世界であることについて  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第6回** 【授業テーマ】 商品生産と経済的価値の問題  
【内容・方法 等】 労働価値説と剰余価値の生産の問題を考える  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第7回** 【授業テーマ】 精神なき専門家と心情なき享楽人たちの棲むところ  
【内容・方法 等】 私はどこにもいなくなって、ただ商品だけが存在する世界について  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第8回** 【授業テーマ】 物象化された世界の出現  
【内容・方法 等】 コミュニケーション的世界が記号の象徴交換となることについて  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第9回** 【授業テーマ】 グローバル世界は「帝国」の再来である  
【内容・方法 等】 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第10回** 【授業テーマ】 テクノロジーと生産のメカニズム—技術社会論  
【内容・方法 等】 総取り立て体制の出現にどう応えるか—テクノロジーと僭主政治  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第11回** 【授業テーマ】 南北問題と人口問題  
【内容・方法 等】 自国の利益よりも世界全体の利益を優先させることは美德か  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第12回** 【授業テーマ】 現代のコミュニズムとしての国家独占資本主義  
【内容・方法 等】 グローバル化による管理社会の到来によせて  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第13回** 【授業テーマ】 管理社会から福祉社会への通路は存在するか  
【内容・方法 等】 差異を超える論理はありうるのか—EUとユーロ圏の失敗を反面教師として  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第14回** 【授業テーマ】 来るべき時代の共同性を展望する—メディア全体主義に抗して  
【内容・方法 等】 これからの情報社会と人類の共生のために  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第15回** 【授業テーマ】 到達度の点検と確認  
【内容・方法 等】 レポート作成とその評価  
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す
- 評価方法 (基準)**  
講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定
- 教材等**  
教科書…石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（見洋書房）  
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダンの人間論』（ナカニシヤ出版）  
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』『グローバル世界と倫理』（ナカニシヤ出版）
- 学生へのメッセージ**  
講義の根底にある「正義」の概念こそ、これからの時代を生きていくためのキーワードだ
- 関連科目**  
政治学、経済学、エコロジー、応用倫理学、技術者倫理、情報倫理など
- 担当者の研究室等**  
7号館4階（石崎研究室）

教養特別講義 I～V「感染症の歴史・病原体・治療と予防」  
Infectious Diseases

渡部 一仁 (ワタベ カズヒト)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

人類生存の歴史は感染症との戦いであった。ヒトを襲った感染症について、その恐ろしい歴史と、感染症との戦いから生き残るため学んだヒトの知恵を縦糸にして、また、感染症の原因となる微生物の基礎を横糸にして、感染症を学ぶ。具体的には、古くは天然痘から新しくは新型インフルエンザについて、それらの発生の歴史的な背景、病原体本体、治療法と予防法、国際的な規模でのリスクマネージメント体制の構築について学習する。  
学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

感染症の基礎とその予防について多彩なスライドを併用して授業を行う。特に、スライドは要点をまとめつつ、文学や絵画で取り上げられてきた題材を含めて説明する。教科書は特に定めず、毎回講義レジュメを配布する。毎回の授業終了時に理解度確認のレポート提出を科す。

科目学習の効果 (資格)

感染症を具体例として、歴史的背景や病原体、社会防衛と公衆衛生学、地球規模での対策などを学ぶことにより、それぞれの専門分野での学習に有意義な知識と情報が得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 感染症と現代人  
【内容・方法 等】 文明が築かれてから現代まで、約5000年の歴史をたどりながら、人類がどのように感染症と戦い、それを克服してきたかを紹介する。また、現代の我々が直面している感染症についても紹介する。  
【事前・事後学習課題】 1回目の講義内容の要点及び本講義の履修動機をまとめたレポートを提出すること。(レポートは第1回授業終了時に回収)
- 第2回** 【授業テーマ】 感染症対策の歴史  
【内容・方法 等】 感染症の原因となる病原微生物や媒介生物の発見、薬やワクチンの発見、各国の感染症対策について概説する。  
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第3回** 【授業テーマ】 感染症をおこす病原微生物  
【内容・方法 等】 感染症の原因となる寄生虫、細菌、ウイルスの基礎について修得する。  
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第4回** 【授業テーマ】 現代社会と感染症  
【内容・方法 等】 感染症対策は医療体制の整備や発生時の的確な対応、法制度などの整備による事前対応型対策の展開、国際協力などの政策が必要である。また、対策を講じるにあたり関係者や国民の理解の促進も不可欠である。ここでは、国民に脅威を及ぼしてきた感染症の変遷、その対応の変化を講義する。  
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第5回** 【授業テーマ】 新興・再興感染症  
【内容・方法 等】 20世紀後半の一時期に人類は感染症を征服したと思われた時期もあった。しかし、それは誤りであり、まったく新たな感染症(新興感染症)やいったん制圧したかに見えた感染症(再興感染症)が見られている。これらの感染症の歴史的考察から大規模感染症の成立過程や原因微生物と感染経路の解明、撲滅への対策について講義する。  
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第6回** 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(1)  
【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、近年特に話題となった重症急性呼吸器感染症(SARS)と高病原性トリ・インフルエンザについて紹介する。  
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第7回** 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(2)  
【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、エボラ出血熱、ノロウイルス感染症、狂犬病、麻しん、ウエストナイル熱/脳炎などについて紹介する。  
【事前・事後学習課題】 2回～7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。(提出期限：次回授業終了時)
- 第8回** 【授業テーマ】 病原体の飛沫や環境汚染による感染症  
【内容・方法 等】 後進国なみに患者発生の高いわが国の結核に関して、ヒトとの関わり合いから見た結核感染症の歴史

を述べ、さらに、結核感染症の基本的な知識を習得する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、2回～7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成し、授業終了時に提出のこと。

- 第9回** **【授業テーマ】** 人的行為でおきた感染症（1）  
**【内容・方法 等】** 人的行為が主な原因となる感染症の内、感染者数が約4千万人といわれ地球規模の流行（パンデミック）に達しているエイズ・HIV感染症と院内感染として医療の現場で注目されているMRSA感染症について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第10回** **【授業テーマ】** 人的行為でおきた感染症（2）  
**【内容・方法 等】** 人的行為が主な原因となる感染症の内、B型肝炎とC型肝炎、VRE感染症、在郷軍人感染症、カリニ肺炎について紹介する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第11回** **【授業テーマ】** 飲食物を介しておきる感染症  
**【内容・方法 等】** 飲食物を介しておきる感染症の内、1973年に大阪府堺市や岡山県邑久町の学校給食が原因となった集団下痢症のO157感染症、昨年ドイツを中心として発生した腸管出血性大腸菌感染症、2011年4月頃から「ユッケ」を原因とした腸管出血性大腸菌O111による集団食中毒などを紹介する。また、従来の病因物質とは全く異質のタイプであるプリオン病についても講義する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第12回** **【授業テーマ】** 感染症の制御と免疫システム  
**【内容・方法 等】** ギリシャの昔からヒトは一度かかった病気には二度とかからないことを知っていた。それを実際に医療に応用したのは約200年前のジェンナーの種痘である。ここでは、生体防御機構として「免疫」が働いている。免疫とはどのような身体の働きなのかを講義する。また、免疫による感染症の予防に対処も解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第13回** **【授業テーマ】** 話題になった感染症  
**【内容・方法 等】** 近年特に話題となった感染症の中で、エボラ出血熱、マールブルグ出血熱、人食いバクテリア感染症、肺炎球菌感染症について紹介する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第14回** **【授業テーマ】** 予防接種により今我々が命を守ることが出来る  
**【内容・方法 等】** 多くの感染症はワクチンによる予防接種で発症が抑えられており、その成功例としては天然痘の撲滅やポリオの征圧がある。一方、予防接種率の低や副作用の危惧から十分な予防接種が実施されていない感染症もある。今回は、いま我々が予防接種により命を守ることが出来る感染症の具体例（ヒブワクチン、子宮頸がんなど）を取り上げて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 8回～14回目の授業内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。（提出期限：次回授業終了時）
- 第15回** **【授業テーマ】** 感染症のいまと私たちの暮らし  
**【内容・方法 等】** 現代に生きる私たちにとって、感染症をどう位置づけ、個人及び社会全体として感染症から我々を守るために必要な処置や知恵について考える。感染症とバイオテロについて、日本と米国での事件例を概説し、その対策を紹介する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業開始までに1回～14回の講義内容を事前に見直し、それまでに配布した資料を授業時に持参すること。

**評価方法（基準）**

定期試験（記述問題、正誤問題、総合問題）で評価する。理解度確認レポートの内容も評価の対象とする。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…特に定めず

参考書…「感染症と生体防御」河原和夫他著、放送大学教育振興会（2800円）；「感染症とたたかう」岡田春恵他著、岩波書店（740円）；「現代の感染症」相川正道他著、岩波書店（630円）；「人類vs感染症」岡田春恵著、岩波書店（800円）；「Disease 人類を襲った30の病魔」小林力記、医学書院（3990円）；「現代免疫物語」岸本忠三他著、講談社（940円）

**学生へのメッセージ**

文系、理系を問わず感染症に興味のある学生の受講を勧めます。感染症の歴史と原因物質の解説のみならず、その感染症の発生した歴史的背景や時代背景、そこで取り上げられた文学を絵画についても紹介する。

**関連科目**

生物学

**担当者の研究室等**

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」				
Health Science				
藤 林 真 美 (フジバヤシ マミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。  
 学科の学習・教育目標との対応：「A1」

**授業方法と留意点**

レジュメを配布する。

**科目学習の効果（資格）**

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第2回** **【授業テーマ】** 健康づくりの三本柱  
**【内容・方法 等】** 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第3回** **【授業テーマ】** 身体の生理機能  
**【内容・方法 等】** 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？生体の生理について復習する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第4回** **【授業テーマ】** 運動トレーニングが肥満対策になる所以  
**【内容・方法 等】** メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第5回** **【授業テーマ】** 運動トレーニングで何がかわるか？  
**【内容・方法 等】** 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第6回** **【授業テーマ】** どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？  
**【内容・方法 等】** 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第7回** **【授業テーマ】** 基礎栄養学  
**【内容・方法 等】** 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第8回** **【授業テーマ】** 食生活と健康  
**【内容・方法 等】** 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第9回** **【授業テーマ】** ダイエット計画  
**【内容・方法 等】** 近年、性別や年齢による身体の見え方や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第10回** **【授業テーマ】** 女性の健康・男性の健康  
**【内容・方法 等】** 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第11回** **【授業テーマ】** ストレスマネジメント  
**【内容・方法 等】** 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効

なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。  
また他の精神障害についても概説する。

**第12回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
【授業テーマ】 睡眠  
【内容・方法等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料

**第13回** 【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症  
【内容・方法等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料

**第14回** 【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動  
【内容・方法等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料

**第15回** 【授業テーマ】 総括  
【内容・方法等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。  
【事前・事後学習課題】 配布資料

**評価方法（基準）**  
主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

**教材等**  
教科書…特に指定しない  
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

**学生へのメッセージ**  
皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

**関連科目**  
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

**担当者の研究室等**  
総合体育館1階 藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと企業成長」 Marketing and Growth of business				
武居 奈緒子 (タケスエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
この講義では、マーケティングに関する基本的知識を習得することを目的としています。マーケティングとは、企業の対市場活動であり、市場競争の活動のことをさします。マーケティングの基本は、企業が、消費者のニーズを把握して、それに適合する商品・サービスを提供することです。この基本にそって、マーケティングについての理解を深めてもらうとともに、マーケティングの発想で考える能力を養ってもらえればと思います。

**授業方法と留意点**  
講義が中心ですが、ビデオも活用し、企業の実態にそったマーケティングを理解していきます。

**科目学習の効果（資格）**  
マーケティングの発想で社会を見る眼が養えます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 マーケティングの全体像を示します。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第2回** 【授業テーマ】 マーケティング志向  
【内容・方法等】 マーケティングの原点であるマーケティング志向について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第3回** 【授業テーマ】 製品政策  
【内容・方法等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第4回** 【授業テーマ】 価格政策  
【内容・方法等】 価格の設定方法について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第5回** 【授業テーマ】 流通チャネル政策  
【内容・方法等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。

**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第6回** 【授業テーマ】 販売促進政策  
【内容・方法等】 商品のアピールの仕方について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第7回** 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ  
【内容・方法等】 市場細分化、製品ライフサイクルについて考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第8回** 【授業テーマ】 消費行動  
【内容・方法等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第9回** 【授業テーマ】 マーケティング概念の拡張  
【内容・方法等】 大学のマーケティング、地方公共団体のマーケティングについて考えます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第10回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（1）  
【内容・方法等】 マーケティング・リサーチの意義と方法について解説します。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第11回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（2）  
【内容・方法等】 質問票を作成していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第12回** 【授業テーマ】 戦略分析（1）  
【内容・方法等】 競争の3角形、企業の成長戦略、企業の資金配分の仕方について解説します。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第13回** 【授業テーマ】 戦略分析（2）  
【内容・方法等】 ポーターの競争の戦略、企業の地位別戦略について学習していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第14回** 【授業テーマ】 戦略分析（3）  
【内容・方法等】 バリュチェーン分析、SWOT分析について学習していきます。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 全体のまとめをします。  
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

**評価方法（基準）**  
期末テストの成績70%、授業内課題30%

**教材等**  
教科書…講義時に指示します。  
参考書…その都度、指示します。

**学生へのメッセージ**  
授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましよう。

**関連科目**  
マーケティング論

**担当者の研究室等**  
武居教授室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「高齢者の生活とケア」 Promotion of QOL of the Elderly				
石橋 文枝 (イシバシ フミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
我が国は、少子高齢社会、特に高齢社会は、高齢化率20%を超える超高齢社会です。人のライフステージの最終段階は老年期その先は死です。誰もが必ず迎える未来です。人は日々成長・発達をしていきます。老年期に入っても同様です。この講座では、高齢者理解を目的としています。老年期を生きること、老いとは何かをさまざまな視点で考えます。そして、超高齢社会を生きる高齢者の「生活実態・生活の質」に必要な支援方法について学ぶ。

**授業方法と留意点**  
授業計画に沿って、進めていきます。講義を中心に進めていきますが、高齢者に対する制度、政策の理解も重要ですが、まず、視聴覚教材(D

VD)や高齢者疑似体験などを取り入れ、老年期を生きることの理解と個人の老人観を描ける時間にしていきます。  
講義前後にレポート課題を出しますので、欠席をしないよう出席をしてください。1時間限目の講義ですので、遅刻のないよう1日のタイムスケジュールを立て取り組んでください。

**科目学習の効果(資格)**

若者のAgeismの払拭と高齢者支援に必要な「私にできること」の自覚を持つ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 老いるとは  
【内容・方法等】 「老いるとはどういうことか」講義と学生個々の発表を通して高齢者像を明確にする。  
我が国の高齢者人口と今後の推計から考えられること…… 講義  
ライフステージの老年期について  
【事前・事後学習課題】 事前課題：老いることについて 1.身体的 2.精神的 3.社会的にどのような変化が生じるかレポートする  
事後課題：次回テーマの参考文献の配布資料を読んでくる
- 第2回** 【授業テーマ】 老いるとは  
【内容・方法等】 老い-排除と差別：今村仁司 老いの明暗：山折哲雄 老いる身体：栗原彬  
3文断をもとに老いについて講義する  
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする
- 第3回** 【授業テーマ】 老人の歴史  
【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人の歴史を文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。  
【事前・事後学習課題】 参考文献  
老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円
- 第4回** 【授業テーマ】 老人の歴史  
【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人の歴史を文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。  
【事前・事後学習課題】 参考文献  
老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円
- 第5回** 【授業テーマ】 日本における高齢者の歴史  
榎山節考に見る高齢者  
【内容・方法等】 日本における高齢者の歴史 講義  
榎山節考に見る高齢者 DVD鑑賞  
【事前・事後学習課題】 日本の歴史 2013.1月号事後課題：私の老いについてレポートしなさい
- 第6回** 【授業テーマ】 日本における高齢者の歴史  
榎山節考に見る高齢者  
【内容・方法等】 榎山節考に見る高齢者像 DVD鑑賞  
【事前・事後学習課題】 榎山節考 深沢七郎 新潮文庫 420円
- 第7回** 【授業テーマ】 高齢者の不安  
お年寄りの願い 「びんびんころり」  
【内容・方法等】 健康高齢者の実態  
認知症について  
認知症を持つ人を支える  
要介護高齢者 講義中心  
【事前・事後学習課題】 事前学習：認知症について 症状・問題点について調べておく
- 第8回** 【授業テーマ】 高齢者と家族  
【内容・方法等】 家族とは  
要介護者と家族の実態  
【事前・事後学習課題】 事前学習  
介護保険とは
- 第9回** 【授業テーマ】 地域で支える支援  
地域包括支援センター  
介護保険サービス  
【内容・方法等】 フォーマルサービスと地域支援システムについて 講義  
【事前・事後学習課題】 講義終了時に提示します
- 第10回** 【授業テーマ】 高齢者を理解する - 高齢者体験  
【内容・方法等】 高齢者模擬体験  
【事前・事後学習課題】 事後：高齢者体験の感想
- 第11回** 【授業テーマ】 人生の終わりを考える  
「終わりよければすべてよし」  
【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞  
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください
- 第12回** 【授業テーマ】 人生の終わりを考える  
「終わりよければすべてよし」  
【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞  
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください
- 第13回** 【授業テーマ】 高齢者の孤独について  
【内容・方法等】 高齢者の孤独の著書(25人の高齢者の孤

独の語り) 抜粋文献から

高齢者理解：講義

【事前・事後学習課題】 文献紹介：高齢者の孤独 ピアギド・マスン&ピーター・オーレンス編 1890円

- 第14回** 【授業テーマ】 老いの近未来学  
【内容・方法等】 老いをどう創めるか 日野原重明 文献より  
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする

- 第15回** 【授業テーマ】 我が国の世代間関係について  
【内容・方法等】 世代間関係と交流の実際について：講義  
【事前・事後学習課題】 事前課題：テーマ「高齢社会日本における私の役割について」レポート

**評価方法(基準)**

適宜、実施するレポート課題を持って評価。

**教材等**

教科書…購入不要

参考書…講義中に紹介。

**学生へのメッセージ**

みなさんは、老年期から考えると人生の2/3地点で、まさに青春を謳歌できる「時」ときです。この土台を作ってくれた先人のことを考えてみましょう。若いときは一瞬です。そして、ライフステージは、逆戻りができません。人生の最終段階を生きるとはどういうことか、いずれ私たちも足を踏み入れるステージです。高齢社会と聞くと先行きが暗いと思うかも知れませんが、そうだろうか？と考える時間にしましょう。

**関連科目**

-

**担当者の研究室等**

摂南大学 枚方校 7号館 3階 第9教室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」**

Theory of Budo

横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やもの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。

**授業方法と留意点**

講義形式で授業を進める。

**科目学習の効果(資格)**

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 授業内容の説明と武道について  
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
- 第2回** 【授業テーマ】 武道とは何か  
【内容・方法等】 武道の意味や限後について概説する  
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
- 第3回** 【授業テーマ】 武道の特性1  
【内容・方法等】 武道のわざとかたの捉え方について  
【事前・事後学習課題】 「かた」について調べてくる
- 第4回** 【授業テーマ】 武道の特性2  
【内容・方法等】 武道の文化論と人間教育について  
【事前・事後学習課題】 武道から得たことについて考えをまとめる
- 第5回** 【授業テーマ】 武道の身体技法1  
【内容・方法等】 武道特有の身体技法について  
【事前・事後学習課題】 どのような動きがあるのかを調べる
- 第6回** 【授業テーマ】 武道の身体技法2  
【内容・方法等】 身体技法を実践する(総合体育館)  
【事前・事後学習課題】 日常の動きとどのように違うかを実際に感じる
- 第7回** 【授業テーマ】 武道とスポーツ1  
【内容・方法等】 武道とスポーツの相違点について  
【事前・事後学習課題】 スポーツについて調べてくる
- 第8回** 【授業テーマ】 武道とスポーツ2  
【内容・方法等】 武道の歴史的変遷について  
【事前・事後学習課題】 どのような歴史があるかを考える
- 第9回** 【授業テーマ】 柔道の創始1  
【内容・方法等】 嘉納治五郎について  
【事前・事後学習課題】 嘉納治五郎について調べてくる
- 第10回** 【授業テーマ】 柔道の創始2  
【内容・方法等】 嘉納治五郎と講道館柔道について

- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 講道館柔道について調べてくる  
**【授業テーマ】** 柔道における教育的価値1  
**【内容・方法等】** 体育・勝負・修身の目的について
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 練習と稽古の違いについて調べてくる  
**【授業テーマ】** 柔道における教育的価値2  
**【内容・方法等】** 乱取と形について
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 修行の目的について調べてくる  
**【授業テーマ】** 武道とスポーツ3  
**【内容・方法等】** 武道の国際化について  
**【事前・事後学習課題】** どのように武道が世界に広まったかを調べてくる
- 第14回 **【授業テーマ】** 武道とスポーツ4  
**【内容・方法等】** 柔道の歴史的変遷とオリンピックについて  
**【事前・事後学習課題】** 柔道とオリンピックの関係について調べてくる
- 第15回 **【授業テーマ】** 教育現場における武道  
**【内容・方法等】** 教育現場における武道の位置づけについて  
**【事前・事後学習課題】** 自分が行ってきた武道について考えてくる

**評価方法（基準）**  
 試験・小テスト・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。  
 テスト60%、平常態度40%で評価を行う。

**教材等**  
**教科書**…特に指定はしない。  
**参考書**…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007  
 藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不昧堂出版 2007  
 村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012  
 『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

**学生へのメッセージ**  
 質問等がある場合には、横山助教室に来てください。

**関連科目**  
 スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ  
 生涯スポーツ実習  
 健康論  
 保健論

**担当者の研究室等**  
 総合体育館1F横山助教室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」**  
 Project Based LearningⅠ

**澤井健二 (サワイ ケンジ)**  
**石田裕子 (イシダ ユウコ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
**概要：**摂南大学に近い寝屋川市立池の里市民交流センターでは、主に子どもたちを対象とした環境学習を行っている。これに学生が参加・協力することで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となるよう目指す。また、淀川水系を中心とした流域連携活動を行うことで、地域の水辺環境の保全や親水活動の普及に努める。  
**目的：**摂南大学の学内及び隣接する寝屋川第4水路ならびに近隣の小学校である寝屋川市立桜小学校に隣接する水路においてビオトープを整備する。池の里市民交流センターの活動に関わり、淀川水系での流域連携を向上させる。  
**達成目標：**学生は地域の子どもの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系の環境保全について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。

**授業方法と留意点**  
**連携内容・方法：**寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援・活動に参加しプログラムを企画、実践する。淀川愛好会の流域連携活動に参加し、自分たちの活動内容について発表する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
**授業テーマ：**寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト  
**内容：**  
 1. 寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援  
 2. 寝屋川市内の河川と水路の現状把握および水路を活かしたビオトープ整備の意義の理解  
 3. 地域との協働によるビオトープ整備の実践  
 4. ビオトープ整備による、生物環境と住民の関心の向上の検証  
 5. 淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践  
 6. いい川・いい川づくりワークショップでの発表

**方法：**授業のうち半分（月1回）は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、澤井・石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分（月1回）は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。学外発表の場として、近畿水環境交流会（7月）、いい川・いい川づくりワークショップ（9月）を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部生命科学科生態環境学研究室、都市環境工学科水辺環境創出研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。また、本学園OBである、大阪理化学株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。  
**事前事後学習課題：**内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

**評価方法・評価基準**  
**授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生活動に加わること。（60%）**  
**水辺再生の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。（40%）**

**教材等**  
**教科書**…特になし  
**参考書**…特になし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」**  
 Project Based LearningⅠ

**宮本征一 (ミヤモト セイイチ)**  
**榊愛 (サカキ アイ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
**プロジェクト名称** 『居住空間リノベーションの温熱環境アセスメント』  
 近年の居住空間は、建設技術の発展やエネルギーに支えられて、新しく造り出される居住空間は快適で健康的な空間が造り出されつつあります。しかし、現存している居住空間には、暑い・寒いなどの温熱的不快を感じる空間もあり、リノベーション（リフォーム）が必要な空間も多くあります。その際の温熱環境について事前評価（アセスメント）することは、有用な手法です。また、CADやCGなどを用いて対策案をプレゼンテーションすることで、対策後の空間を事前に伝え、共有することができます。  
 連携する設計事務所と共同で事前評価を行い対策を考え、プレゼンテーションし、実際に施工することを目的とします。  
**学科の学習・教育目標との対応：**〔Ⅱ〕

**授業方法と留意点**  
 温熱環境の測定勉強会および実習を、4月から6月の間に10回程度行い、建築環境測定の基礎知識とプレゼンテーション技術を得てもらいます。  
 その後、連携する設計事務所等から依頼された居住空間で測定および分析を行います。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 4月から6月の放課後：温熱環境の測定に関する勉強会および実習（週1回程度）  
 温熱環境について（1回）、測定機器について（2回）、データ処理・分析について（5回）、温熱環境の実習（2回）  
 6月以降：実際の居住空間におけるの測定および分析

**評価方法・評価基準**  
**積極的にプロジェクトに参加しているかどうか。**  
**自発的な行動ができていくかどうか。**  
 参加点 80点  
 成果点 20点

**教材等**  
**教科書**…室内温熱環境測定規準・同解説（日本建築学会）定価1500円  
**参考書**…特になし。

**備考**  
 自発性を重んじますので、積極的に行動できる人を望みます。学外での測定のための交通費などが多少かかります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

橋本正治(ハシモト マサハル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う。地域住民と協働して装置の設置・運用などをおこない、得られたエネルギーは、地域住民との鳥獣被害対策のために利用されている電気柵など地域に特有なものや、災害時の支援設備としての利用をはかる。

達成目標：製品の必要性にはじまり、実際に使う人達から評価を受けるまでの「ものづくり」を体験する

ことで、座学では得られない問題点や拘束条件に対応する能力を育む。加えて地域の人々と関わり、協働し、使い手の顔がみえる製作体験を通じて、ものづくりに関わる技術者としての社会的な責務を体験・修得する

授業方法と留意点

学内活動：通年 週1回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

現地活動：年5回程度 週末および夏期休業期間など

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：

- 1 グリーンエネルギーの必要性と現状について過疎地域を調査し、対象とする地域の活性化に資するエネルギーシステムの概要を決定する。
  - 2 設計・試作を行う。
  - 3 地域住民と協働し設置作業を行い、性能評価・問題点の抽出を行う。(評価などは関連する地域団体と共に行い、利用者の視点を意識する)
  - 4 改善方法の提案と製品の改良を行い、総合的な評価を行う。
- プロジェクトは5人程度の小グループに分け実施する

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる  
活動状況を総合的に判断して評価する

教材等

教科書…なし  
参考書…なし

1. 教員の指導の下に目標と計画を作る。
2. 計画に従って、技術指導を受けながら蒸気機関車を製作する。
3. 計画からの遅れには対策を講じる。
4. 製作時に利用する金属材料、工作機械、工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする。
5. 計画、進捗状況、調査結果等をミーティングで報告する。

評価方法・評価基準

プロジェクトの実実施計画や進捗状況の把握程度、プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について、ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する。

教材等

教科書…なし  
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

池内淳子(イケウチ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【プロジェクトテーマ】

すさみ町における津波避難対策プロジェクト2013=人的被害軽減を目的として=

【授業概要と目的】

東日本大震災は、東北地方沿岸部に津波による壊滅的被害をもたらせた。和歌山県すさみ町は、紀伊半島の先端に位置し、過去の東海地震においても津波被害に遭遇した経験を持つ。本プロジェクトでは、昨年・一昨年と、すさみ町すさみ地区および江住地区において津波災害に対する人的被害軽減策を模索する活動を実施してきた。成果については、1年目はすさみ町役場職員と活動地区の代表者のみに対し報告したが、2年目は役場からの地区住民に対し広く案内され、多くの住民に参加して頂き活発な意見交換を頂いた。本プロジェクトの目標は、履修者が自然災害における人的被害を理解すること、フィールドワークを通じてコミュニケーション能力を向上し、生活者に寄り添った対策案を考案することにあり、これらを通じてすさみ町の津波災害に対する人的被害低減に貢献したいと考える。このためには、防災に関する啓蒙・普及活動としてのアウトリーチ活動が重要であり、これらの活動を通じて履修者のチームワーク力を向上することを目標とする。

【到達目標】

自然災害における人的被害を理解し、現地調査を通じて企画立案能力を育成する。また、町民との対話を通じて社会ニーズを理解し、コミュニケーション能力の向上を図る。さらに、アウトリーチ活動ではチームワーク力の向上を図る。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

- ・大学内においては、東日本大震災や他の自然災害事例について調べ学習を行うことで、自然災害による被害状況の理解し、被害が与える地域社会への影響について学ぶ。
- ・長期休暇中および学校休校日にすさみ町の現地調査を実施し、町民との意見交換会に参加する。
- ・防災教育活動（アウトリーチ活動）は、大学周辺地域やすさみ町等で実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- (1)2011年度の調査結果および津波避難対策の理解
- (2)東日本大震災による津波被害に関する学び
- (3)今年度活動テーマの決定（すさみ町における町民との対話を通じた避難対策の考案方法）
- (4)2012年和歌山県津波避難訓練への参加 ※すさみ町との協議による
- (5)すさみ町の津波に対する人的被害軽減策の考案
- (6)すさみ町における発表会 ※すさみ町との協議による
- (7)防災教育活動準備と実施 ※時期は適宜

評価方法・評価基準

目標達成までのプロセスを重視し、活動への積極性と貢献度を評価する。

教材等

教科書…別途配布する  
参考書…別途配布する

備考

・本プロジェクトは、すさみ町役場およびすさみ町住民の皆さんのご協力のもと遂行される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

池田博一(イケダ ヒロカズ)

一色美博(イツシキ ヨシヒロ)

小川直樹(オガワ ナオキ)

丸山隆三(マルヤマ リュウゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要・目的】

ミニ鉄道プロジェクトとして、レール幅3.5、5インチのミニ鉄道を製作し、運転会などの運営を行う。

蒸気機関車、電気機関車や客車の製作に加えて、軌道、鉄橋、駅舎なども製作し、イベント会場や小学校などで運転会を催す。また、運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え、参加者のものづくりへの関心を高める。ただし、今年度は蒸気機関車などのものづくりに重点を置く。

【到達目標】

蒸気機関車などのものづくり技術を能動的に習得すること。

授業方法と留意点

週1回のミーティングで今後の計画や進捗状況の報告を行います。加えて、皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います。

この科目では、能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです。与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り、その計画を確実に実行する姿勢を学んでください。与えられた環境、条件のもとで、工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です。この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅5インチの蒸気機関車の製作を継続する。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning

浅野 英一 (アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

- ①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。
- ②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
- ③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
- ④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
- ⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。

**授業方法と留意点**

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの3つを同時に行います。

**評価方法・評価基準**

レポート、参加態度を総合的に評価する。

**教材等**

教科書…特に無し。  
参考書…特に無し。

**備考**

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning

佐井 英子 (サイ ヒデコ)  
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等は、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記3市の会社見学会を実施する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

- 授業テーマ：子供株式会社の設立と経営  
内容：
- I 経営、マネジメント、経営戦術、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
  - II 実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
  - III 小学生に指導する。
    1. 名刺をつくらう
    2. 株式会社って何だろう
    3. 株式会社をつくらう
    4. 商売って何だろう。儲けてなんだろう
    5. 経営計画をたてよう
    6. マーケティングをしよう

7. 商品企画書の作成しよう
  8. 銀行にお金を借りよう
  9. 実際に販売してみよう
  10. 帳簿をつけて決算書をつくらう
  11. 税金を納めよう
  12. 決算書を作成しよう
  13. 経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。
- 講義方法：子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。  
事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

**評価方法・評価基準**

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。  
会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。

**教材等**

教科書…特になし  
参考書…必要に応じて適宜指定します。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning

八木 紀一郎 (ヤギ キイチロウ)  
牧野 邦昭 (マキノ クニアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

都市と地方をむすぶツーリズム（観光と地域振興）  
大都市圏住民の観光ニーズと潜在的な観光資源をもつ過疎地域を結びつけるエコツーリズム、グリーンツーリズムの可能性をさぐります。  
到達目標：ポスト・マストツーリズムとして、都市と地方を結ぶツーリズムの可能性をさぐり、またそれが地域振興にどのように結びつくかを知り、現実に応じた企画提案ができるようになることです。一般的にいえば、就業力、つまり創造的な仕事を企画・実施する社会的能力（コミュニケーション、責任感、整理・記録・総括・反省）を身につけることが目標です。

**授業方法と留意点**

寝屋川市および摂南大学と連携協定をもつ和歌山県すさみ町をフィールドとして、すさみ町と寝屋川市の交流実績に留意しつつ、ツーリズム研究をおこないます。  
すさみ町の観光資源・観光客受け入れ体制の調査と寝屋川市などの住民のニーズ調査をおこない、それを結びつけるあり方を考えます。  
学生たち自身で主体的に取り組むために、旅行の企画・実施・ニーズ調査・広告を行う「旅行社」を創設すると考えて、責任を分担し、記録を取りながら取り組みましょう。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

- 年間スケジュールとしては以下になるでしょう。  
4月：前年度本プロジェクトの総括/エコツーリズムの学習  
5月連休：参加可能な人は1回目のすさみ体験  
6月・7月：すさみ町および南紀を目的地にした学生ツアーの企画・準備  
9月：学生向けパイロットツアー実施  
10月～11月：中間報告、すさみ物産フェアへの協力、都市住民の観光ニーズ調査  
12月：現地調査をふまえた宣伝・企画の提案  
1～3月：冬・春のツアープラン  
火曜の昼休みに経済学部の演習室（1号館7階）でランチ持参の打ち合わせ会をもち、課題に応じて随時、時間を設定して作業ミーティングを行います。

**評価方法・評価基準**

活動への実質的参加を前提にした、地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップと創意工夫の評価（60%）、活動の成果をまとめたレポートの評価（40%）。

**教材等**

教科書…なし  
参考書…なし

**備考**

すさみ町、および同町のNGO、寝屋川市などの関係機関団体と協力して実施します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

富岡直美(トミオカ ナオミ)  
水野武(ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- 授業概要： 様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自立的職業人を目指す。
- 目的： 社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。
- 到達目標： 役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。  
学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

- ①絵本や紙芝居について学ぶ。(外部講師)
- ②読み聞かせや紙芝居を練習する。
- ③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
- ④学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- テーマ： 紙芝居ボランティアを通じた社会貢献
  - 内容： 学生の関心事について取材し、そこで得た知見を通じて紙芝居を作成する。寝屋川市内の小中学校などを訪問し、紙芝居上演を中心としたイベントを実施する。
  - 方法： (月2回程度)
    1. 役割分担をし、様々な立場の人にインタビューをする。
    2. インタビュー内容を学生間で共有し、疑問点を調べる。
    3. 自分の考えを表現するための紙芝居を作成する。
    4. 紙芝居を用いたイベントを企画する。
    5. 各種施設などに協力依頼をする。
    6. 紙芝居ボランティアを実行する。
    7. 振り返りを行い、改善する。
- 他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度(50%)、報告書(20%)、成果物(30%)  
による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次(2010)『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

- 活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。
- 絵本や紙芝居について(構成、読み聞かせなど)、専門的な知識を身につけることができるため、表現力(プレゼン能力)の向上が期待される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

羽石寛寿(ハネイシ カンジユ)  
黒澤敏朗(クロザワ トシロウ)  
山本圭三(ヤマモト ケイソウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- 目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。  
概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品創出、休耕地の活用計画を策定します。あわせて、交野市体験ツアーの企画も行います。  
到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。

授業方法と留意点

1. 連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
2. 交野市の住民や観光客へのヒアリングとアンケート調査を行います。
3. 他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
4. 独自の計画案の作成に取り組み、市民にも公表します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1. 集団意思決定のための技術の習得  
KJ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の

演習を授業期間中に学内で行います。

2. アンケート調査の方法の習得  
経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します(他学科の学生も同様)。
3. 農産品とその加工、販売方法(6次産業化)に関する知識の習得  
夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。
4. 観光ツアーに関する知識・情報の収集  
夏休みなどを利用して、先進的な地域の着地型観光ツアーに参加し、その経験を生かせるようにします。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度(回数、活動意欲、結果への貢献度、など)」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。

参考書…入門書として役立つ、数冊の新書を紹介します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

久保貞也(クボ サダヤ)  
針尾大嗣(ハリオ ダイジ)  
牧野幸志(マキノ コウシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学周辺地域の自治体、公的団体から地域の特徴や課題を学び、学生自らが地域の課題を探すための調査を企画、実施し、新たな課題を発見する。そして、その課題の解決に向けた学びへの興味を持ち、実践的な課題解決と総合的な学びを行いながら、社会に貢献できる学生の活動を目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

授業方法と留意点

「地域を知る」  
自治体の観光担当部署や統計調査部門、商工会議所などから講演者を招き、地域の強みや魅力、現在注目されている取り組みなどを知る。また、地域におけるこれからの課題や期待される進展の方向性などを知る。  
「地域を調べる」  
インターネット上で行われている各地域の広報宣伝の実態を調査したり、実際に地域を訪れてフィールドワークを行ったり、現場の担当者の声を聞くなどして、今、地域で行われていること、起きていることを調べる。また、客観的な分析結果を得るための統計処理(主にソフトウェアの利用)についても学ぶ。  
「地域を変えていく」  
本プロジェクトで明らかになった地域の課題や現状に対して、改善や解決の提案を行い、その実施計画について検討を行う。調査対象先との協働関係を構築して、提案内容の実施にチャレンジし、今後の進め方についても検討する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：「地域を知り、地域を調べ、地域を変えていく」

内容：

- (1) 地域の魅力や課題を知る講演会
- (2) 自治体ウェブサイトの分析実習
- (3) 調査対象の選定
- (4) 実践的な分析方法の習得
- (5) 調査企画、準備
- (6) 調査実施
- (7) 分析、報告
- (8) 解決策の提案

方法：月2,3回程度、平日の5時以降に行なう。また、その他に講演会や発表会などを年1,2回予定している(開催は土曜日や特別教育期間など)。主な活動場所は、情報処理教室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設である。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし

参考書…適宜指定する(プロジェクト予算などで購入)

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ： ビース・ツーリズム——学生が企画する学生対象の平和学習旅行プラン——

【授業概要・目的】

エコ・ツーリズムは環境学習を盛り込んだ旅行企画として世界的に定着している。同様に平和学習を盛り込んだ旅行プランとしてのビース・ツーリズムを開発することで、平和に対する関心を高めるといふ社会要請とともに旅行業の商品種の拡大という産業ニーズにも応えることを目指す。

【学生の到達目標】

共同作業に自分から参加する仕方、新しいことに取り組む姿勢、困難を前にしてあきらめずに解決方法を模索する力の成長。

受講生各自がまずそれぞれの成長目標を設定します。

理工学部各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

次のようなことが予定されています。

- ① 旅行商品プランのつくり方についての基本を、提携先企業様から教えていただく
- ② 学生の旅行ニーズについてアンケート調査を実施する
- ③ 平和学習の仕方について外部講師から基礎的知識の提供を受ける
- ④ PDCAについて、本学キャリア担当教員から教えていただく

受講生は、会社内のプロジェクト組織に模した組織体を構成し、全員で業務分担してプロジェクト実行プランに基づいて活動します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【プロジェクトの達成目標】 学生対象の平和学習旅行プランの商品化

おおよ次のようなスケジュールを予定しています。

商品概要の設計(4～7月)→商品採用検討先企業開拓営業(7～10月)→トレードフェア参加(11月)

営業先企業様からの意見への対応策の検討(7～10月)

現地調査(8月)

→採用検討先企業様でのプレゼン(12月)

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します。

教材等

教科書…なし

参考書…適宜、指導します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

内田 勝巳 (ウチダ カツミ)

田中 鮎夢 (タナカ アユム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

モンゴルにおける環境保全を念頭に置いた地域開発の可能性を探る。モンゴルに関わりの深い個人や国際協力NGO等に対するインタビュー等を学生自ら企画し、モンゴル事情に関する理解を深める。次年度も継続できれば、モンゴルの環境NGOプロジェクトへの協力を発展させたい。

授業方法と留意点

学生が主体となり全員で協議しながらプロジェクト作りを進めていく。プロジェクトを開始するに当たり、そもそもプロジェクトとは何かについての説明(期間、予算、人的制約の下での目標設定)、援助機関が行っているプロジェクト形成手法(PCM)を紹介すること等により、学生が効率的に議論を行いプロジェクト形成ができるような基礎知識をあたえる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

(1) モンゴルの自然・社会・経済・文化の情報収集

(2) モンゴルの社会開発等に携わってきた日本国内の個人・団体へのアンケートあるいはインタビューの実施と連携先のNGO事業の視察・打合せ

(3) 情報を整理・分析し、次年度の調査設計にフィードバックする

評価方法・評価基準

活動におけるリーダーシップおよび協議への参加(60%)、活動

成果のプレゼンテーションとレポート作成(40%)

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

ミュージカルをしよう！—摂大生と市民でつくるミュージカル・プロジェクト—

これは、学生提案によるPBL授業です。

【目的】 大学近隣の市民の方の参加を募り、ミュージカル公演を実現します。

【学生の到達目標】 共同作業をする力、困難を乗り越えるために考える力、新しい課題にとりくむ姿勢の向上を目指します。理工学部の各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

ミュージカル公演を実現するためには、たんに役者が練習するだけではなく、そのほかにもさまざまな共同作業が必要になります。

ミュージカル公演実現に必要なほとんどすべての活動を、学生のみで運営します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

おおよ次のようなスケジュールが考えられます。

4月 履修者による組織の立ちあげ(役割分担、演目決定、年間スケジュールの作成)

5月 市民参加の呼びかけ

6月 練習スタート

10月 公演広報の開始

12月 公演実施

役者の他に、たとえば音響や照明スタッフ、連絡・調整を行うマネージャー、広報担当など参加の仕方はさまざまです。

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します

教材等

教科書…なし

参考書…みんなで探します。



**キャリア形成I**  
Career Development I

木村 朋 紀 (キムラ トモキ)  
奥野 智 史 (オクノ トモフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A B C D E F	通年	必修	2

**コース・ユニット・一般目標**

コース：本学独自の薬学専門教育  
ユニット：キャリア形成

一般目標：医療人として相手（患者）を思いやる心を持ち、情熱と責任ある態度で積極的かつ協動的に行動できるようになるために、倫理観と奉仕・慈愛の心、円滑な対人力、協調的精神、情熱と責任感及び豊かな人間性など、医療人に相応しい知識、技能、態度を身につける。

（1）なりたいたい自分をさがす

一般目標：自らがその能力及び適性、志望に応じて主体的に進路を選択できるようになるために、医療現場等で活躍する薬剤師等の体験談などを通して医療や社会全般を概観し、薬剤師の倫理観、使命感、職業観を認識するとともに、自己研鑽・体験型学習により社会人（医療人）に相応しい態度を身につける。

（補足説明）薬学部では、1、2年次：「なりたいたい自分をさがす」、3、4年次：「なりたいたい自分をきめる」、5、6年次：「なりたいたい自分にむかう」を到達目標と定め、キャリア形成教育を展開している。  
\*本講義は2012年度以降入学生を対象とする。

**毎回の到達目標、学習方法・自己学習課題、評価**

- 第1回** 【到達目標】 SBO：キャリア形成の重要性を説明できる。  
（講義内容）薬学生のキャリアデザイン  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 定期試験（総括的評価）
- 第2回** 【到達目標】 SBO：自らのキャリアプランを説明する（1）。  
（演習内容）ポートフォリオの作成（1）  
【学習方法・自己学習課題】 演習（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第3回** 【到達目標】 SBO：自らのキャリアプランを説明する（2）。  
（演習内容）ポートフォリオの作成（2）  
【学習方法・自己学習課題】 演習（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第4回** 【到達目標】 SBO：日本の医療を取り巻く現状を説明できる。  
（講義内容）医療問題と経済学  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第5回** 【到達目標】 SBO：医療の場で求められる薬剤師としてのスキルを説明できる。  
（講義内容）医師が薬剤師に期待すること  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第6回** 【到達目標】 SBO：薬剤師のキャリアパスを比較する（1）。  
（講義内容）基幹病院で活躍する薬剤師  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第7回** 【到達目標】 SBO：薬剤師のキャリアパスを比較する（2）。  
（講義内容）保険薬局で活躍する薬剤師  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第8回** 【到達目標】 SBO：薬剤師のキャリアパスを比較する（3）。  
（講義内容）製薬企業で活躍する薬剤師  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第9回** 【到達目標】 SBO：薬剤師のキャリアパスを比較する（4）。  
（講義内容）行政にかかわる薬剤師  
【学習方法・自己学習課題】 講義（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第10回** 【到達目標】 SBO：自らのキャリアプランを説明する（3）。  
（演習内容）ポートフォリオの作成（3）  
【学習方法・自己学習課題】 演習（講義室）  
【評価】 レポート（総括的評価）  
定期試験（総括的評価）
- 第11回** 【到達目標】 SBO：病院における薬剤師および他の医療スタッフの業務を説明できる。  
（内容）施設見学〈看護学部との共同実施〉または災害救助訓練ボランティア等のボランティア体験（予定）  
【学習方法・自己学習課題】 参加型学習（学外施設）

【評価】 レポート（総括的評価）

定期試験（総括的評価）

**第12回** 【到達目標】 第12回～第17回

下記A～Cのコースから1つ選択し、自己研鑽・参加型学習を行う。

SBO：

チームワークの重要性を例示して説明できる。

チームに参加し、協調的態度で役割を果たす（態度）。

自己の能力の限界を認識し、必要に応じて他者に援助を求める（態度）。

対人関係に影響を及ぼす心理的要因を概説できる。

相手の心理状態とその変化に配慮し、適切に対応する（知識・態度）。

対立意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる（技能）。

【自己研鑽・参加型学習のコース】

A：看護学部学生とのチーム医療演習（看護学部との共同実施）

B：1年次基盤実習の支援

C：地域住民を対象とした健康フォーラムの実施支援

【学習方法・自己学習課題】 自己研鑽・参加型学習（講義室他）

【評価】 観察記録（ピア評価等）（総括的評価）

レポート（総括的評価）

**評価の時期・方法・基準**

成果物（課題やレポート等）（40%）、自己研鑽・体験型学習の取り組み状況（ピア評価等）（20%）、定期試験（40%）で評価する。100点満点中60点以上で合格とする。ただし、修学状況（出席、受講態度等）不良の者については、40点を限度に減点する。

**関連科目**

薬剤師になるために、早期体験学習、スタートアップゼミ、キャリア形成Ⅱ、キャリア形成Ⅲ、臨床研究立案演習、薬局経営・マネジメント論、病院・薬局実務実習、他

**担当者の研究室等**

木村：1号館7階（毒性学研究室）

奥野：1号館5階（公衆衛生学研究室）

**備考**

共同担当：荻田喜代一、河野武幸、曾根知道、藤森先生、小西元美、中尾晃幸、安原智久、辻塚己、吉田侑矢、栗尾和佐子、山室晶子、山本祐実、西川智絵、看護学部教員、外部講師、他  
他方事務室の協力も得ています。

第12回～第17回に実施する自己研鑽・体験型学習のコースは受け入れ人数の関係で希望に添えないことがあります。また、自己研鑽・体験型学習の実施日が土・日・祝日になる場合があります。

